《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報処理法			授業科目番号	1101010
担当者氏名	張　坤			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-1 地域のネットワークを共有する力， ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

パーソナルコンピューターを用いて、学生生活で必要な情報処理の基礎的な知識と操作技術の獲得を目指す。パーソナルコンピューターの仕組みを知る。そのうえで、ワードプロセッサーの基礎的な使用方法、表計算ソフトの基礎的な使用方法、プレゼンテーションソフトの基礎的な使用方法を学ぶ。また、電子メールの受発信、インターネットを通しての情報収集の基礎的な知識と技術を学ぶ。収集した情報の加工、蓄積、検索、利用、廃棄などの情報管理の手法について学ぶとともに、収集したデータの二次的活用方法について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．パーソナルコンピューターの基本的な操作とインターネットからの情報収集・処理・発信ができる。
2．ワードによる文書の作成ができる。
3．パワーポイントによる発表資料作成ができる。
4．エクセルによる表計算とデータの集計などができる。

《評価の方法》

学習態度10%；宿題20%（2，3回程度）；小テスト30%（3回程度）；パワーポイントによるグループ発表40%

《テキスト》

『イチからしっかり学ぶ!Office基礎と情報モラルOffice365・Office2019対応』（noa出版著　noa出版　2019年）

《参考図書》

特に指定しない

《履修上の留意点》

演習科目であるため、講義への出席率を確保するように努める。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	パソコンの基本操作；インターネット・エクスプローラーの操作方法・ファイルの管理など （基本操作演習）	講義の概要の説明 ①パソコンの起動から終了までを一通り行え、その作法を学び、実践する。　②エクスプローラーの表示・操作　③ファイルとフォルダーの操作。 （予習）教科書第2章のStep1	張　坤
2	ワード （文書作成の基本）	①ワードの基本操作・編集機能の紹介　②英数字や漢字を含む様々な文字と、その様々な入力方法　③文章の装飾法のいろいろを学び、実践を行う。 （復習）教科書第1章、教科書第2章のStep1 （予習）教科書第2章のStep2	張　坤
3	ワード （チラシの作成）	チラシを作成することの実践とレポートに必要な機能を学ぶ （復習）教科書第2章	張　坤
4	ワード （復習・小テスト）	学習したワードの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第3章のStep1、2	張　坤
5	エクセル （基礎と表の作成）	①エクセルの基礎を学ぶ　②エクセルを用いて表を作成し、そのうえで、表計算とは何かを実際に体験する。 （復習）教科書第3章のStep1、Step2.1&2.2 （予習）教科書第3章のStep2.3	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報処理法	授業科目番号	1101010
担当者氏名	張　坤		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	エクセル （データ計算の諸機能）	データの順位付け、列・行の検索方法の理解と練習をする。文字列の操作、条件付き集計方法を理解し、実践する。 （復習）教科書第3章のStep2.3 （予習）教科書第3章のStep3	張　坤
7	エクセル （関数とグラフ）	エクセルに用意されている関数について学び、合計や平均値などを計算する。その結果をグラフ表示する。 （復習）教科書第3章	張　坤
8	エクセル （復習・小テスト）	学習したエクセルの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第4章のStep1、2	張　坤
9	パワーポイント （プレゼンテーションの基本とスライドの作成）	パワーポイントの使い方の基本を学び、図表挿入の各機能の紹介と練習。 （復習）教科書第4章のStep1、2 （予習）教科書第4章のStep3	張　坤
10	パワーポイント （発表資料の作成）	チームで発表したいテーマを選択し、それについての発表項目内容を、アウトライン機能を用いて作成する。また、写真・動画の挿入の方法を理解し、プレゼンテーション資料の作成を行う。 （復習）教科書第4章	張　坤
11	パワーポイント （復習・小テスト）	学習したパワーポイントの諸機能の復習と小テストを行う。 （予習）教科書第5章	張　坤
12	情報モラル （ルールとマナー）	①セキュリティと情報モラル　②ルールとマナー　③電子メールの利用際の注意点　④個人情報の保護 （復習）教科書第5章	張　坤
13	パワーポイント （発表練習）	第10回で作成した発表資料を用いて、プレゼンの練習と資料の修正作業を行う。	張　坤
14	グループ発表の実施(1)	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。	張　坤
15	グループ発表の実施(2)とまとめ	前回までに作成したプレゼンテーション資料を用いてプレゼンを行う。 これまで学習した情報処理基礎、用いたツールについてまとめる。	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	ベーシック英語			授業科目番号	1102090
担当者氏名	ポール　エドワーズ			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

国際化する社会の一員として必要となる英語の能力を養成するために、基礎的なリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの能力を獲得する。リーディングでは基礎的な英文法を復習し、知りたいことを的確に読み取る能力を養成する。ライティングでは、目的に応じた正しい英文を書くことができる能力を養成する。リスニングとスピーキングでは、一般的な日常生活場面で使用する英会話の能力を養成する。

《授業の到達目標》

国際社会の一員として必要となる英語の能力を養成するために、基礎的なリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの能力を獲得する。リーディングでは基礎的な英文法を復習し、知りたいことを的確に読み取る能力を養成する。ライティングでは、目的に応じた正しい英文を書くことができる能力を養成する。リスニングとスピーキングは、一般的な日常生活場面で使用する英会話の能力を養成する。

《評価の方法》

定期試験　40%、小テスト（６回目と１１回目の授業内で30分程度のテストを実施する）40%、
学習態度（授業中の積極性、態度をもとに評価する）20%

《テキスト》

『Speaking of People』（Peter Vincent 他著　南雲堂　2020年）

《参考図書》

英和・和英辞典（電子辞書推奨）　他にプリントの収納用にファイルを用意

《履修上の留意点》

生徒中心型の授業なため、英語を使うという意識の切り替えをもって積極的に、特にペアワーク、グループワークの発話アクティビティ等に参加する必要がある。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション 自己紹介①	コース、教材の説明 自己紹介のアクティビティ①	ポール　エドワーズ
2	自己紹介② ユニット１　Speaking About Yourself	自己紹介のアクティビティ②　ペアワークインタビュー、ライティング ユニット１ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
3	ユニット１ ユニット２　What Do You Do?	ユニット１ ユニット２ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
4	ユニット２ ユニット３　What Does He look Like?	ユニット２ ユニット３ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
5	ユニット３ ユニット４　Where Are You From?	ユニット３ ユニット４ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	ベーシック英語	授業科目番号	1102090
担当者氏名	ポール　エドワーズ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	小テスト① ユニット４	小テスト①　テスト範囲ユニット１～前回授業まで 採点 ユニット４ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
7	小テスト返し、ふりかえり ユニット５　Likes and Dislikes	テストの返却、間違いの直し確認 ユニット５ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
8	ユニット５ ユニット６　What's She Like?	ユニット５ ユニット６ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
9	ユニット６ ユニット１１　Talking About Health	ユニット６ ユニット１１ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
10	ユニット１１　Talking About Health	ユニット１１ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
11	小テスト② ユニット１１	小テスト②　テスト範囲ユニット４、５、６、１１の前回授業まで 採点 （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり） ユニット１１	ポール　エドワーズ
12	小テスト返し、ふりかえり ユニット９　How Are You Feeling?	テストの返却、間違いの直し確認 ユニット９ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
13	ユニット９ ユニット１０　Memories	ユニット９ ユニット１０ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
14	ユニット１０ ユニット１２　Mindset	ユニット１０ ユニット１２ （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ
15	ユニット１２ 復習	ユニット１２ ユニット９～ユニット１２の復習 （復習として、テキストまたはプリントの宿題あり）	ポール　エドワーズ

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語表現Ⅰ			授業科目番号	1102130
担当者氏名	渡部　洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》
論理的な文章を演繹的に読解する力、社会生活で必要となる日本語を的確に運用・表現できる力を習得する。
評論や論説などを読解し、文章の構成や展開を把握し、各意味段落の役割を基に文の意味を演繹的に理解し、語や表現の意味を考える。また、主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法と社会生活に必要不可欠な現代敬語を口語表現中心に修得し、文章表現に応用する力を養う。

《授業の到達目標》
日本語の表現構造を踏まえ、ポイントを押さえた文章要約法について学ぶとともに、理解と表現の相互関係についても探求を深める。また、平易な文章題を読み、論理的に思考しながら、その解に至る道筋を理解し、どのような解き方をすれば妥当性のある答えを導けるのかについて主体的に考えられることを目標とする。

《評価の方法》
定期試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

《テキスト》
毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》
参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》
小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	日本語の統語的構造とその特質 （文の構成）	私たちが用いる日本語にはどのような特徴があるのか、その成り立ちについて、特に文の構成という観点から理解を深めます。	渡部洋一郎
2	評論文の特徴と筆者の主張 （主張の組み立て）	評論文における筆者の主張とは何か、また、それはどのような手法に基づいて文章内に展開されているのかを実際の文章を読み解くことで理解します。	渡部洋一郎
3	説明文における実験の手順と説明の論理 （実験観察型説明文の論理）	説明文には、実験や観察したことに基づいて書かれている科学的な文章群が存在します。そこに書かれている実験の順番や観察の条件を変えるとどのようなことが起こるのか、実際に確かめてみましょう。	渡部洋一郎
4	疑問詞及び逆接の接続詞に着目した文章要約法 （長文の要点を短時間で把握する方法）	ある特徴を持った説明文は、3つの観点に着目することで容易に文章の骨子を把握することができます。ここではそれを検討します。	渡部洋一郎
5	文学的文章を読み解く視点 （物語文法）	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	渡部洋一郎

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語表現Ⅰ	授業科目番号	1102130
担当者氏名	渡部　洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	物語文法という理論について学び、それを民話や昔話に当てはめて実際の構造を確認してみましょう。	星新一のショートショートを使います。どのようなテクニックが文章内に隠されているのかを探ります。	渡部洋一郎
7	これまでに学んだことを踏まえて、実際の文章題などを解いてみましょう。	様々な表現の文章題を例にとり、これまで学んだことがどのような点で役に立つのかを実際に試してみます。	渡部洋一郎
8	総合的なまとめ	「日本語Ⅰ」で学んだ文章構造や日本語の論理性、書き手の工夫などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	地域活動論			授業科目番号	1103010
担当者氏名	佐藤　和也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-1 地域のネットワークを共有する力， ◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

市民としての社会的責任に関する態度や素養を養成するとともに、大学生活でも社会生活においても、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む姿勢を育む。つまり、自ら設定した目標に対して、それを行動に移し、粘り強く取り組む姿勢を涵養する。具体的には、地域貢献活動の意義や役割を知る。中越地域における地域貢献活動の内容をフィールドワークを行い把握する。その後、自らができることを考察する。地域活動に関する理解を深めるとともに、参画意識を高め、積極的に地域貢献できる力を育む。

《授業の到達目標》

1．地域活動やボランティアの基礎知識・現状・課題及び社会的役割が理解できる。
2．地域活動に参加する心構えを持つ。
3．「地域の課題」を見つけ、自らが「地域活動」を立ち上げ、「社会貢献」したいことを企画できる。

《評価の方法》

レポート作成　20%
定期試験　　80%

《テキスト》

『テキスト市民活動論』（社会福祉法人大阪ボランティア協会編　社会福祉法人大阪ボランティア協会　2017年）

《参考図書》

都度紹介

《履修上の留意点》

時に、授業の後半に意見や感想等の設問を出し、文書での回答を求めます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 社会が変われば社会保障も変わる	授業の内容紹介　地域活動とは　地域社会が求めているもの 予習：日本の将来の社会を想像してみる 復習：自分のボランティア体験をレポートにまとめる	佐藤　和也
2	ボランティアⅠ ボランティアの歴史と理念	ボランティアの歴史・背景・理念 予習：「ボランティア」という単語に対する自分なりにイメージしておく 復習：「ボランティア」を自分なりに解釈できる	佐藤　和也
3	ボランティアⅡ ボランティア活動の対象分野	ボランティア活動の種類と活動の範囲 予習：自分のボランティア体験時の気持ちを思い出す 復習：人はなぜボランティアをするのか解釈できる	佐藤　和也
4	ボランティアⅢ 社会福祉協議会・ボランティアセンター・ＮＰＯ	ボランティア活動の窓口 　　社会福祉協議会・ボランティアセンター・ＮＰＯの機能と役割 予習：出身地の社会福祉協議会の場所を知る 復習：ＮＰＯの活動分野を知る	佐藤　和也
5	ボランティアⅣ	教育とボランティア　大学生とボランティア 予習：学校で体験したボランティア活動は「ボランティア」といえるのか考える 復習：自分はボランティア活動で充実感を得ることができるのか考える	佐藤　和也

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	地域活動論	授業科目番号	1103010
担当者氏名	佐藤　和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	災害ボランティア	災害ボランティアの現状と課題 予習：災害時のボランティア活動内容を調べる 復習：災害時のボランティア活動の心構えを確認する	佐藤　和也
7	ボランティアマネジメント	ボランティアコーディネーター　ボランティア休暇　ボランティア保険 予習：「マネジメント」の基本を確認する 復習：ボランティアに関する制度を確認する	佐藤　和也
8	地域活動 まちづくり	人口減少に対応する地域活動実践事例 予習：住んでいる地域のまちづくりを確認する 復習：まちづくり活動に参加する	佐藤　和也
9	地域活動 地域包括ケアシステム	住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるために（地域共生） 予習：自分の地区の高齢者世帯を確認する 復習：「共生社会」をイメージできる	佐藤　和也
10	地域活動 貧困の連鎖	社会のひずみ（孤独と格差・就労支援・学習支援）と地域活動 予習：「こども食堂」の目的を確認する 復習：貧困問題を確認する	佐藤　和也
11	国際分野のＮＰＯ活動 ＮＧＯ　Think globally,Act locally	ＮＰＯとＮＧＯの違い　世界の課題とＮＰＯの具体的活動例 予習：世界の課題を考える 復習：フェアトレード商品を購入する	佐藤　和也
12	地域のSDGｓ	地域のSDGｓ協働取り組み事例紹介 予習：SDGｓを理解する 復習：持続可能で包括的な地域づくりを考える	佐藤　和也
13	地域活動への参加に向けてⅠ 地域の課題	自分の出身地の課題と地域活動を調べる　必要な活動を考え計画する 予習：地域の課題には何があるのかイメージしておく 復習：	佐藤　和也
14	地域活動への参加に向けてⅡ 実践者からの報告	活動している人の話を聞く 予習：できれば実践現場を訪ねる　　報告者への質問を用意する 復習：次回の企画の参考にする	佐藤　和也
15	地域活動への参加に向けてⅢ 社会貢献したいこと	これまでの授業を振り返り、これからの地域活動への参加に向けて自らが「地域活動」を立ち上げて「社会貢献」したいことをまとめる 予習： 復習：地域活動に積極的に参加できるような心構えをもつ	佐藤　和也

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅠ			授業科目番号	1104010
担当者氏名	田邊　要補			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働きがいを自ら見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。まず、看護のイメージや看護専門職に社会が求めるものについて理解し、生涯学習を実践、継続する必要性の理解と意欲を育む。さらに、自己にとって看護の道を選択したことの意味を思考するとともに、看護専門職がどのようなキャリア形成支援を受けながら自立し、看護師として成長を続けるのかについて展望する。また、キャリアの選択にむけて様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．自分自身が学生から社会人へとはばたく意味や目標を述べることができる。
2．職業選択や生涯学習の意義について説明することができる。
3．様々な看護の場やそれぞれの特徴を説明することができる。
4．自分の看護観にそった将来のキャリアについての考えを述べることができる。

《評価の方法》

提出物（ワークシート１～４）40%、毎回のコメントシート 20%（第5回～第8回）、最終レポート 40%

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

『大学生のためのキャリアデザイン入門』（岩上真珠、大槻奈巳編　有斐閣　2014年）
『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修　つちや書店　2018年）

《履修上の留意点》

キャリアデザインⅠは、4年次のキャリアデザインⅡの基礎となる科目である。学生から社会人へと成長する過程を1年次からの時間を着実に刻んでいくための学びとする機会とすることを期待する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	キャリアって何？ （キャリア，キャリアデザイン，人生設計，ライフコース）	・大学での学びと自分の将来－仕事の意味と人生設計 ・ライフステージとキャリア（生き方と働き方） ・ライフコースを知ろう－学ぶ，働く，愛する，暮らす ・結婚・出産後の働き方と家族・企業（職場）の協力 【事後学習】自分自身の大学入学の目的・目標、資格取得の目的・目標，働く意味についてワークシート１に記述する。	田邊　要補
2	キャリアデザインと生涯学習の実践－看護職における専門性 （キャリア発達，看護，プロフェッショナル，生涯学習）	・看護におけるキャリア発達 ・新人看護師の職場選択と新人教育研修 ・働きながらキャリアアップを目指す ・プロフェッショナルとして学び続けること 【事後学習】様々な看護専門職のうち関心のあるコースについて調べよう（ワークシート２）。	田邊　要補
3	コミュニケーション能力向上のための自己理解の基礎 （コミュニケーション能力，リフレイミング，自己理解、成長の機会）	・エゴグラムやリフレイミングを用いた自己理解を試みること ・失敗を学びの機会に変えることとは ・逆境を才能の発掘や成長の機会に変える発想について 【事後学習】過去の失敗例を記述し、そこから何を成長に変えることができたのかを振り返る(ワークシート３）。	田邊　要補
4	コミュニケーション能力向上のための他者理解の基礎 （他者理解，ロールモデル，インタビュー方法）	・他者理解の方法を知る　　・インタビュー方法 ・ロールレタリング（役割交換書簡法）の活用 【事後学習】10年後の自分に質問してみたいことを3つ想定し，それらに対する答えをレポートにまとめて提出する（ワークシート４）。	田邊　要補
5	長岡保健所保健師 （行政）	行政の場である、保健所および保健所の保健師としての役割りを理解する。 保健師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）保健所および保健師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅠ	授業科目番号	1104010
担当者氏名	田邊　要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	柏崎市教育委員会学校教育課 （養護教諭）	教育の場である、養護教諭および養護教諭としての役割りを理解する。 養護教諭として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）養護教諭および養護教諭の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
7	こぶし訪問看護ステーション 看護師 （在宅）	在宅の場である、訪問看護ステーションおよび訪問看護ステーションの管理者としての役割りを理解する。 訪問看護師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）訪問看護ステーションおよび訪問看護師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
8	大学教員 専門職業人としての必要な要素 （教育、心構え）	教育の場である、大学教員および大学教員としての役割りを理解する。 専門職業人として、どういうことを身に付けておかなければならないのかについて理解する。 （予習）第1回から第7回までの講義内容を振り返る。 （復習）話し合った内容を振り返り、自分なりに専門職業人として必要な要素をまとめる。	田邊　要補
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	発達心理学			授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎　隆穂			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力				

《授業の概要》

発達心理学の基本的な理論である、フロイトの心理性的発達理論、ゲゼルの成熟優位説、行動主義の学習理論、ピアジェの発生的認識論、バンデューラの社会的認知理論、エリクソンの社会的発達理論を学ぶ。また、論理的思考の発達として、人が年齢とともにどのように思考様式を変化させて行くのかや言葉と概念の発達、発達における教育の役割、対人関係と養育者と子どものアタッチメント、思いやりなどの社会的行動の発達、アイデンティティーやパーソナリティーの発達などについて、誕生から老年期に至るまでを学び、その心理的な特徴が各ライフステージの行動に影響していることを理解する。

《授業の到達目標》

1．人間の発達に関する主要な理論的枠組みについて理解し、説明することができる。
2．思考、言語、社会性、人格などの各側面における人間の時間の経過に伴う変化について、共通点や差異を類別し、論理的に述べることができる。

《評価の方法》

学習態度30%　毎回授業内で行うリアクションペーパーへの質問内容、その他授業内での態度をもとに評価する。
定期試験70%　授業の内容について、主に多肢選択法をもちいた客観テストを期末に行う。

《テキスト》

『保育士を育てる①　保育の心理学』（瀧口綾、福田真奈編著　一藝社　2020年）

《参考図書》

『ゼロからはじめる心理学・入門』（金沢創、市川寛子、作田由衣子著　有斐閣　2015年）

《履修上の留意点》

毎回のリアクションペーパーでは感想でもよいのですが、なるべく自分の質問を考えましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション・発達心理学とは何か	授業の進め方・目標・方向性について解説する。発達心理学はどのような問題を扱っているかを解説する。 （予習）教科書の目次に目を通しておく	宮崎　隆穂
2	人間を取り巻く環境と発達（環境・遺伝・発達・相互作用）	発達にかかわる様々な要因（遺伝・環境）を取り上げ、どのような相互作用が考えられるか概説する。 (予習）教科書第一章p.9-16を読んでおく (復習）授業の内容をもとに質問を考える	宮崎　隆穂
3	生涯発達心理学の視点（発達観・生涯発達・遺伝か環境か）	さまざまな発達観があることを概説し、その中で生涯発達心理学の視点、目標はどこにあるのかを遺伝か環境か論争に関連させながら紹介する。 (予習）教科書第二章p.17-24を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
4	子どもの身体・運動発達（生理的早産・粗大運動・微細運動）	人間の発達において乳児期から幼児期にいたる変化が大きいことを概説し、この時期における初期経験の重要性を紹介する。 (予習）教科書第三章p.25-33を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
5	子どもの知覚・認知の発達（選好注視法・馴化－脱馴化法）	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。 (予習）教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	発達心理学	授業科目番号	1105010
担当者氏名	宮崎　隆穂		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	子どもの知覚・認知の発達②（選好注視法・馴化－脱馴化法）	知覚の発達を測定するために開発された研究手法を概説し、発達心理学上の進展にどのように貢献したかを紹介する。映像資料を提示する。 (予習）教科書第四章p.34-40を読んでおく (復習）授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
7	自己意識の発達（自己鏡像課題・サリーアン課題）	自己意識の分化、自他の区別と共感性の発達との関連を概説する。 (予習）教科書第五章p.41-48を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
8	言葉・コミュニケーションの発達（言語発達・臨界期・敏感期）	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して動物行動学の分野からもたらされた臨界期・敏感期の考え方を紹介する。 (予習）教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
9	言葉・コミュニケーションの発達②（言語発達・臨界期・敏感期）	言葉・コミュニケーションの発達について概説し、関連して臨界期・敏感期の考え方を紹介する。映像資料を提示する。 (予習）教科書第六章p.49-56を読んでおく (復習）授業の内容・映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
10	情緒・欲求の発達（情緒・欲求・感情）	情緒・欲求・感情にかかわる発達心理学上の研究成果を概説する。 (予習）教科書第七章p.57-64を読んでおく (復習）授業の内容をもとに質問を考える	宮崎　隆穂
11	愛着関係の形成と発達（アタッチメント・個人差・SSM）	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。 (予習）教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
12	愛着関係の形成と発達②（アタッチメント・個人差・SSM）	社会性の発達の基礎となるアタッチメントの発達について概説し、その測定法や個人差について考える。映像資料を提示する。 (予習）教科書第八章p.65-72を読んでおく (復習）授業の内容、映像資料の内容等をノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
13	児童期・青年期の発達（ピアジェの認知発達理論・道具的操作期・形式的操作期・アイデンティティの獲得）	児童期･青年期の発達を概説しながら、形式的操作の概念を獲得し、アイデンティティの獲得をはかる時期の発達的特長について紹介する。 (予習）教科書第十二章p.97-104を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
14	成人期・老年期の発達（エリクソンの発達課題・統合性の意味）	生産性にいかに貢献するか、という課題を通して最終的に老いをどのように統合していくのかについて概説する。 (予習）教科書第十三章p.105-112を読んでおく (復習）授業の内容をもとにノートに整理し、質問を考える	宮崎　隆穂
15	まとめ	授業全体について振り返り、到達目標について今一度確認する。 (復習)人間の生涯発達について考えをまとめる	宮崎　隆穂

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅠ			授業科目番号	1105030
担当者氏名	塩野谷　明、内山　尚志、永森　正仁			実務経験のある教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

健康的な生活を営むためには、運動やスポーツを積極的に日常生活に取り入れていくことが必要である。日常の運動がメンタルヘルスや生活の質の向上、疾病の予防などに役立つことを理解し、トレーニングの原理、原則、理論を学ぶ。さらに、スポーツ活動を通じて心身を鍛えるとともに、スポーツ文化に対する理解を深める。具体的には、運動効果と運動不足が健康に与える影響、個人差や加齢による持久力、筋収縮と筋肉トレーニングの理論、日本のスポーツ文化の変遷と現状などである。また自らの身体を知るために体力測定を行う。

《授業の到達目標》

筋の力学的特性、筋収縮のメカニズム、運動とモーメントについて理解させ、学生が将来従事する看護における作業効率の向上、腰痛や肩こり等自身の障害へ対応ができるようにする。また、持続可能な開発目標（SDGs）と国際生活機能分類（ICF）の観点から、健康とスポーツにおける多様性について考察する。

《評価の方法》

定期試験80%、学習態度20%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

基本的に毎週、pptファイルの資料を配布し、それに従って授業を進めていくため理由のない欠席は避ける。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	本講義の総括	健康とスポーツⅠで取り上げる講義概要、ならびに二学期実施の健康とスポーツⅡの内容を含めて、学習者が当該科目Ⅰ、Ⅱを理解する基盤を作ります。講義を構成する生理学、運動学、物理学、心理学の視点から、本講義で目指す目標を設定しやすくします。	塩野谷　明
2	①看護作業と安全	看護作業は安全第一の点を除けば、他のメンバーと気配りをしながら進めるスポーツと似ている。看護作業といえども、人が行う行為なので、いくら気を配っていても、間違い、勘違いによってヒヤリハットといわれる事態が生じる事がある。ここでは看護作業中の誤動作について人間の特性を扱う人間工学と、安全工学の視点からその理論を学びます。	内山　尚志
3	②看護作業の医学的理解	看護作業(運動)について医学的視線から理解を深めます。運動は医学的には運動器という器官が担当します。運動器は骨格系と筋肉系、さらには運動の指令を司る神経系も加わってきます。運動に直接に関わる関節(筋系と骨格系からなります)に着目し、神経系の指令のよってどのように関節が曲がり、運動を実現しているかを学びます。	内山　尚志
4	③看護作業の物理学的理解	看護作業(運動)について物理学的視線から理解を深めます。物理に不慣れな学生にも理解できるように、数学のベクトルから話を始め、物理(力学)に必要なキーワード(力、モーメント等)を理解してもらいます。患者様の移動や移乗などの際、どこに手をかけ、どのような動きをすれば安全で楽に作業が出来るかを理論的に学びます。これまで経験則で理解してきた内容を理論で再確認してもらいます。	内山　尚志
5	健康スポーツとメンタルヘルス①：気晴らしとストレス対応（コーピング）	運動とスポーツは、アクティブなライフスタイルや精神的な安寧（メンタルヘルス）の重要な要素とされており、有効的なコーピング手法の一つである。事例から、多様性と安全性を考慮したメンタルケアに関して考察する。（日常的なメンタルケアに関する考察課題）	永森　正仁

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅠ	授業科目番号	1105030
担当者氏名	塩野谷　明、内山　尚志、永森　正仁		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	健康スポーツとメンタルヘルス②：日常的なセルフモニタリング	メンタルケアには日常的なセルフモニタリングが重要である。主観・客観からの日常のストレスに対するセルフモニタリング支援を目的とした福祉工学の事例を紹介する。（アシスティブテクノロジーに関する考察課題）	永森　正仁
7	健康スポーツとメンタルヘルス③：持続可能な開発目標（SDGs）と健康スポーツ	持続可能な開発目標（SDGs）の目標のひとつに「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」が目標3として設定されている。この目標の観点から、SDGsの取組みと健康スポーツとの関係性を考察する。（SDGsに関する考察課題）	永森　正仁
8	健康スポーツとメンタルヘルス④：多様性と健康スポーツ	2001年WHOで採択された国際生活機能分類（ICF）では、健康という概念を、個人的な状態に起因するものと考える医学モデルのみで解釈しない。それは、新たに対象者を取り巻く社会的な環境そのものを因子として考える。すなわち、医学モデルに社会モデルを加えた、画期的な統合モデルを世界に提示するものであった。この統合モデルから、多様性と健康スポーツを考察する。（健康スポーツに関する考察課題）	永森　正仁
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	スタディスキルズ			授業科目番号	1107010
担当者氏名	板山　稔、田邊　要補			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力				

《授業の概要》

効果的な学習を進めるために必要な「読む」「書く」「話す」「資料の準備」などの学習に必要な基本スキルを学ぶ。
（板山稔/8回）授業の聞き方、ノートの取り方、事前・事後学習課題の取り組み方など、大学生としての効果的な学習方法の基本を具体的に学ぶ。図書館の利用方法についてオリエンテーションを受け、文献や資料の探し方、活用の仕方について学ぶ。グループ単位でテーマを決めて図書館等で文献や資料を調べ、ディスカッションを行いながら調べ学習を深め、資料を作成して成果を発表する。
（田邊要補/7回）レポートの書き方の基本、ディスカッションの方法や司会・書記・発表の役割の基本などについて学ぶ。グループディスカッションにおいては、アサーティブな表現、クリティカルシンキングに関する基礎知識についても学ぶ。

《授業の到達目標》

1．大学の授業を受ける際の基本であるノートテイキング、情報収集の方法を理解し、課題（レポートなど）の作成ができる。
2．幅広いテーマに関心をもち、グループメンバーと協同して調べ学習を行うことができる。
3．調べ学習の成果発表を通して、他のグループのテーマに関心をもち、意見交換ができる。

《評価の方法》

板山担当：グループ学習成果発表資料80%、学習態度（授業での発言、グループ学習への参加態度）20%
田邊担当：レポート・提出課題 70%、毎回のコメントシート 30%

《テキスト》

『看護学生のためのよくわかる大学での学び方』（前原澄子、遠藤俊子監修　金芳堂　2018年）

《参考図書》

1．『大学生学びのハンドブック5訂版』（世界思想社編集部編　世界思想社　2021年）　2．『フレッシュマンセミナーテキスト第2版』（初年次教育テキスト編集委員会編　東京電機大学出版局　2014年）　3．その他授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

受け身ではなく、物事を探求しようとする好奇心を大切に、主体的・積極的な学習とグループワークへの参加を望む。

《備考》

課題の提出にあたっては、締切厳守のこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	大学での学び方 （アカデミックスキル、ノートテイキング、リーディングスキル）	大学で学ぶために必要なスキル（アカデミックスキル：「聴く」「読む」「書く」「調べる」「考える」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」）の概要について学ぶ。 （予習）テキストの1～19ページ、36～47ページを読んでおく。 （復習）授業中に自分がとったノートをまとめ直してみる。	板山　稔
2	情報リテラシーとインターネットの活用 （情報リテラシー、情報モラル）	インターネット社会に必要である、正しく情報を読み解き決定する能力（情報リテラシー）、情報発信とそのルール（情報モラル）について学ぶ。 （予習）テキストの20～25ページを読んでおく。 （復習）自身の情報リテラシー、情報モラルについて考えてみる。	板山　稔
3	情報収集に必要な文献検察と図書館の活用 （文献検索、データベース）	学習を深めるにあたって重要となる情報収集に必要な文献検索と図書館の活用方法について学ぶ。 （予習）テキストの26～35ページを読んでおく。 （復習）図書館の蔵書検索システム使って興味のある書籍を探し、借りて読んでみる。	板山　稔
4	論理的な考え方 （論理的思考）	論理的思考の基礎知識を学ぶ。 （予習）論理的な思考について各自調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
5	レポートの書き方 （レポートとは、テーマ、レポート作成）	レポート作成の基本について学ぶ。 （予習）第4回授業をふりかえるとともに、テキストの59～72ページを読んでおく。 （復習）与えられたテーマについて、実際にレポートを作成する。	田邊　要補

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	スタディスキルズ	授業科目番号	1107010
担当者氏名	板山　稔、田邊　要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	クリティカルシンキングに関する基礎知識 （批判的思考、疑問）	①クリティカルシンキングとは何かについて学ぶ。 ②クリティカルシンキングの３つの基本姿勢について学ぶ。 ③クリティカルシンキング思考過程について学ぶ。 （予習）第4回授業をふりかえるとともに、クリティカルシンキングについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
7	アサーティブな表現方法① （アサーション、自己表現）	①アサーションな表現に関する基礎知識を学ぶ。 ②看護師に何故アサーションが必要なのかについて学ぶ。 （予習）アサーションについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
8	アサーティブな表現方法② （アサーション、自己表現）	①アサーディブな看護師になるための基本について学ぶ。 （予習）第7回で学んだことを十分に理解してくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
9	グループ・ディスカッションに必要なスキルと知識 （グループ・ディスカッション）	①グループ・ディスカッションにおける、「基本」、「関係の構築」、「役割」等について学ぶ。 （予習）ディスカッションについて各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
10	自ら考えたテーマについて、各グループで話し合う。 （討議、発表）	①各自で考えたテーマに沿って、グループで話し合う。 （予習）第4回、第6回目～第9回目の講義資料に目を通し、ディスカッションについて理解を深めておくこと。 （復習）グループでのディスカッションを振り返り、良かった点・改善点についてまとめること。	田邊　要補
11	グループ調べ学習① 「資料の調べ方、読み方、使い方」 （文献検索、文献講読）	資料の調べ方、読み方、使い方を理解し、実際に資料を読んで内容や疑問・関心をまとめる。提示された資料に関して、グループ内で各々の疑問や関心を伝え合い、図書館で文献を検索する。 （予習）文献検索、図書館の利用に関するこれまでの授業資料等を読んでおく。 （復習）文献を読み、グループの学習テーマについて検討する。	板山　稔
12	グループ調べ学習② 「テーマを決める」 （拡散的思考、ブレインストーミング）	調べた文献の内容をもとに、自己の関心ついて紹介し合う。グループ内でテーマに関して討議（拡散的思考）し、グループとしての調べ学習のテーマを検討する。決定したテーマに沿って、文献等を用いてさらに調べる。 （予習）調べた文献を読み、各自が要点等を整理しておく。 （復習）文献を検索し、テーマに関連した内容についてグループで調べる。	板山　稔
13	グループ調べ学習③ 「議論を深める」 （ディスカッション）	各自で調べた内容を報告し合い、グループディスカッションを通して議論を深める。 （予習）テーマについて調べた内容をグループメンバーに報告できるように各自でまとめておく。 （復習）議論の内容を整理し、グループで分担し文献検索・講読を継続する。	板山　稔
14	グループ調べ学習④ 「議論をまとめる」 （レジュメ）	テーマの目的にそってグループの議論をまとめ、発表資料として要約（レジュメ）を作成する。 （予習）講読した文献の内容を整理し、自身の考えまとめておく。 （復習）協力して発表資料（レジュメ）を完成させ、期限までに提出する。	板山　稔
15	グループ調べ学習⑤ 「成果を伝え合う」 （成果発表）	グループでの調べ学習の成果を発表し合う。他のグループのテーマに関心をもち、質疑応答による意見交換を行うことで学習を深める。 （予習）発表に向けてグループ内で役割を決め、練習しておく。 （復習）これまで学習した内容を確認する。	板山　稔

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための生物学			授業科目番号	1107020
担当者氏名	解良　芳夫			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「生物学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。具体的には、生物と遺伝子、遺伝情報とDNA、バイオテクノロジー、細胞とエネルギー、生殖と遺伝と発生、体内環境の維持、免疫、呼吸と光合成、動物の刺激の受容と神経系を介して反応する仕組み、生態系とその保全などである。

《授業の到達目標》

1．生命体の構造について、概説できる。　2．生命体維持の仕組みについて概説できる。　3．生命発生のメカニズムと遺伝について概説できる。　4．個体の調節メカニズムについて概説できる。　5．生物と環境の関わりについて概説できる。

《評価の方法》

定期試験90%。学習態度10%。

《テキスト》

『系統看護学講座　生物学（第10版）』（高畑雅一 他著　医学書院　2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	生命、生物学、生命体のつくりととはたらき	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
2	生命体維持のエネルギー	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
3	細胞の増殖と体のなりたち、生殖と発生	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
4	遺伝情報とのの伝達・発現のしくみ	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
5	個体の調節	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための生物学	授業科目番号	1107020
担当者氏名	解良　芳夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	刺激の受容と行動	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
7	生命の進化と多様性	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
8	生物と環境のかかわり、地球環境と人との共存	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための化学			授業科目番号	1107030
担当者氏名	解良　芳夫			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

入学後に実施する基礎学力判定において、専門分野を学習する上で必要とされる「化学」に関する知識が不十分である者に対しての補習教育である。専門基礎科目の学習を順調に進めるための基礎となる科目であり、特に人体の構造や機能を理解するために必要な基礎知識の獲得を目指す。化学と生活のかかわりについて、関心を高め、日常生活に化学が使用されていることから学ぶ。具体的には、物質の三態と原子の構造、電子配置と周期律、化学反応と酸・塩基、無機物質、有機化合物などの基礎知識の獲得を目指す。

《授業の到達目標》

1．身の回りの化学、元素について概説できる。　2．物質の三態について概説できる。　3．化学反応のメカニズムについて概説できる。　4．原子構造・化学結合について、概説できる。　5．無機物質、有機化合物について概説できる。

《評価の方法》

1.定期試験90%。学習態度10%。

《テキスト》

『系統看護学講座　化学（第７版）』（奈良雅之著　医学書院　2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	身の回りの化学、化学の単位と元素の周期表	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
2	原子の構造と化学結合	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
3	物質の三態、気体の性質	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
4	液体・溶液の性質、化学反応	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
5	反応速度、化学平衡	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫

《基礎教育科目　基礎教育科目　学習力養成》

科目名	看護教育のための化学	授業科目番号	1107030
担当者氏名	解良　芳夫		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	無機化学	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
7	有機化学	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
8	高分子化学	講義、板書、テキストへの書き込み	解良　芳夫
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅰ			授業科目番号	2208010
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血器機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。

《授業の到達目標》

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。

《評価の方法》

15回目の授業において振り返りを行ない、学生の理解度に関して定期試験を行う。成績評価は定期試験100%の割合で行う。

《テキスト》

『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2022年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参する。

《備考》

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	形からみた人体	体表から蝕知する人体の骨格、腹部、骨盤などについて学ぶ。学生は人体の部位と器官について予習する。復習は、これら器官と機能の関連について図示し、機能を説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	素材からみた人体	人体を構成する様々な細胞について学習する。学生は細胞の種類とその機能について行う。復習は、これら様々な細胞がどのようにしてエネルギーを産生し、利用していくか説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	機能からみた人体	生命維持システムと運動調節システムに関与する細胞とホメオスタシスについて学習する。学生は体液の種類とその構成成分について予習する。復習は生命維持と運動機能システムがどのように機能しているか説明できることを目標として行う。	浅見　直
4	栄養の消化と吸収：口、咽頭、食道の構造	栄養の消化と吸収の第一段階である口から食道について学習する。学生はこれらの解剖学的位置関係について予習する。復習は咀嚼と嚥下が各部位でどのように行われるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
5	栄養の消化と吸収：腹部消化管	栄養の消化と吸収に大切な役割を果たす胃と小腸の構造と機能について学習する。学生はこれらの器官の基本的な構造を予習しておく。復習はこれら消化管の吸収機能が糖質、蛋白質、脂質でどのように機能していくか説明できることを目標として行う。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅰ	授業科目番号	2208010
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	栄養の消化と吸収：大腸	栄養の消化と吸収とはまた少し異なる機能をもつ大腸の構造と機能について学習する。学生は大腸の基本的構造について予習する。復習は食物が消化吸収された後、どのようにして糞便となって排泄されるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
7	栄養の消化と吸収：膵臓の構造と機能	栄養の消化に重要な働きをする膵臓について構造と消化酵素などについて学習する。学生は膵臓と膵管の位置関係について予習する。復習は膵管と十二指腸の位置関係と分泌される消化酵素について説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	栄養の消化と吸収：肝臓と腹膜	吸収された栄養物などの分解を行う肝臓についてその形態と機能について学習する。また腹膜の構造とその役割についても学習する。学生は肝臓、膵臓、胆のう、肝管、膵管の位置関係について予習する。復習は肝臓の糖質、蛋白質、脂質などの分解メカニズムとその後の栄養分の処理について説明できることを目標として行う。	浅見　直
9	呼吸器：構造	上気道、下気道、肺などの構造と機能について学習する。学生は口腔から肺までの器官の解剖名と順序を予習する。復習はこれらの構造物と機能の関係を説明できる程度まで復習する。	浅見　直
10	呼吸器：呼気、吸気とガス交換のメカニズム	呼吸器の働きとガス交換の生理について学習する。学生は肺活量、１回換気量などについて基礎的知識を予習する。復習は肺呼吸における酸素と二酸化炭素の吸収と排泄および酸塩基平衡について説明できることを目標として行う。	浅見　直
11	呼吸器：呼吸運動の調節	肺を動かす横隔膜や胸筋などについて学習する。学生は横隔膜と肺の解剖学的関係を予習する。復習はこれらの機能の病態生理について説明できことを目標として行う。	浅見　直
12	血液：組成	血液を構成する血漿、血球などの種類について学習する。学生は血漿と血清の違い、血球の名称について予習する。復習はこれらの血球を図示できることを目標として行う。	浅見　直
13	血液：血液細胞の機能	血漿タンパク質と血球の機能について学習する。学生は各血球の働き、特に外部からの異種抗原処理を担う細胞を挙げ、そのメカニズムを説明できることを目標として行う。	浅見　直
14	血液：血液凝固、血液型	血液はどのようにして凝固するのかを学ぶ。また血液型の種類と不適合輸血などについて学習する。学生は血液凝固成分の名称にどんなものがあるか、予習する。復習は血液凝固カスケードについて図示でき、また血液型の種類と不適合輸血について説明できることを目標とする。	浅見　直
15	振り返り	今まで学んだことを整理し、まだ理解できてない事項があるか自ら検討する。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅱ			授業科目番号	2208020
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

「人体の構造と機能Ⅰ」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。

《評価の方法》

15回目の授業において振り返りを行ない、学生の理解度に関して定期試験を行う。成績評価は定期試験100%の割合で行う。

《テキスト》

『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2022年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参する。

《備考》

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	血液の循環とその調節：心臓、大血管の構成	心臓と大血管の構成と解剖学について学習する。学生は心臓の位置と、心臓から出る大血管にの解剖学てき部位と名称について予習する。復習は心臓と大血管の構成を図示し、説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	血液の循環とその調節：心臓の機能	心臓の拍出機能と心電図について学習する。学生は心臓の内部構造と心電図の波形について予習する。復習は心臓の収縮、拡張と心電図の波形の関連について説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	血液の循環とその調節：末梢循環系の構成	末梢動脈、静脈、毛細血管の構造について学習する。学生は末梢循環系の血管の解剖学的位置関係と主な欠陥の名称について予習する。復習は主な末梢動脈、静脈をその名称を付して図示できることを目標として行う。	浅見　直
4	血液の循環とその調節：血液の循環の調節	血圧、脈波および腎臓と循環系の機能の関連について学習する。学生は血圧が生じるメカニズムについて予習する。復習は血圧と腎臓の関連について具体的な生理物質を挙げ、説明できることを目標として行う。	浅見　直
5	体液の調節と尿の生成：腎臓の構造と機能	体液調節に関わる腎臓の解剖と機能について学習する。学生は腎臓の位置関係と割面における各部の名称について予習する。復習は腎臓の糸球体と尿細管の機能を列挙し、それらの相互関係について説明できることを目標として行う。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能Ⅱ	授業科目番号	2208020
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	体液の調節と尿の生成：尿の生成メカニズム	腎臓における尿の生成メカニズムとレニン-アンギオテンシン-アルドステロン系がどのようにして血圧を調節するか学習する。学生は傍糸球体装置について予習する。復習はこれらの相互作用により、血圧調節がどのようにして行われるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
7	体液の調節と尿の生成：排尿路	腎臓で生成された尿がどのようにして尿道口から排尿されるか、学習する。学生は腎臓、尿管、膀胱、尿道の位置関係について予習する。復習はこれらの経路をどのようにして尿が通過し、排尿されるか説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	体液の調節と尿の生成：水の出納、脱水、酸塩基平衡	体液の調節に重要な水分の出納、脱水の原因、酸塩基平衡などについて学習する。学生は体内水分分布図をみて、その割合の違いを予習する。復習は水分出納の計算ができ、酸塩基平衡のメカニズムを説明できることを目標として行う。	浅見　直
9	内臓機能の調節：自律神経の機能	交感神経と副交感神経の分布と構造およびその機能などについて学習する。学生はこれら自律神経に支配される臓器について予習する。復習は自律神経がどのようにして様々な臓器の機能を調節しているか、説明できることを目標として行う。	浅見　直
10	内臓機能の調節：内分泌系による調節	内分泌物質の伝わり方と各ホルモンの作用について学習する。学生は脳下垂体から分泌されるすべてのホルモンの名称とその標的臓器について学習する。復習は各ホルモンが標的臓器に対する作用と中枢からのネガティブフィードバックのメカニズムについて説明できることを目標として行う。	浅見　直
11	内臓機能の調節：全身の内分泌腺	視床下部-下垂体系について上位中枢からの支配システムについて学習する。学生は視床下部と下垂体の構造について予習する。復習は視床下部がどのようにして下位の標的臓器に作用するか説明できることを目標として行う。	浅見　直
12	内臓機能の調節：視床下部下垂体系と甲状腺	視床下部-下垂体系について上位中枢からの支配システムについて学習する。学生は視床下部と下垂体の構造に加えて甲状腺への作用について予習する。復習はTSHとサイロキシンのフィードバック作用についてホルモン名を挙げて説明できることを目標として行う。	浅見　直
13	内臓機能の調節：膵臓、副腎、性腺の内分泌	膵臓、副腎、性腺の内分泌機能について学習する。学生はこれらの臓器から分泌されるホルモンの名称と作用について予習する。復習は血糖調節、電解質調節、性発達とこれらのホルモンの作用について説明できることを目標として行う。	浅見　直
14	内臓機能の調節：ホルモン分泌の調節	ホルモンによる糖代謝、カルシウム代謝の調節について学び、さらにストレス、乳房の発達、血圧に及ぼす作用について学習する。学生は血糖値、カルシウム動態、二次性徴、血圧調節について予習する。復習はこれらの相互関係について模式図を使い説明できることを目標として行う。	浅見　直
15	振り返り	今まで学んだことを整理し、まだ理解できてない事項があるか自ら検討する。	浅見　直

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護学概論			授業科目番号	2311010
担当者氏名	倉島　幸子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

学問としての看護学を学修する導入として、看護の概念、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来展望について学ぶ。また、看護の本質を理解し看護学の目的論・対象論・方法論について学び、看護実践の基盤となる自然観・人間観・生活観・健康観・看護観を養う。さらに看護の独自性・専門性について理解し、専門職としての看護の役割を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．看護の本質をふまえ看護学の形成と発展、看護の目的論・対象論・方法論を理解することができる。　2．看護の構成概念（人間・環境・健康・看護）について述べることができる。　3．人間及び健康について社会・自然界との関連で理解することができる。　4．チーム医療における専門職者の協働について理解することができる。　5．看護における倫理の問題と取り組みについて理解することができる。　6．看護の提供の仕組みと看護を支える制度について理解することができる。

《評価の方法》

定期試験80%　課題レポート20%

《テキスト》

『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学(1)　看護学概論』（志自岐 康子 他編　メディカ出版　2022年）
『看護覚え書』（Ｆ.ナイチンゲール 著、湯槙ます 他訳　現代社　2011年）
『看護学矛盾論（第2版）』（三瓶眞貴子著　金芳堂　2012年）

《参考図書》

患者・家族、看護師による手記

《履修上の留意点》

授業計画に対応する教科書のページを読んでおくこと。事前に示される課題を学習する。「看護覚え書」、患者・家族、看護師による手記等を購読する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	基礎看護学の科目体系 看護の責務と広がり 看護覚え書 （看護の構造、ナイチンゲールの思考）	科目ガイダンス（学習目的、到達目標、学習方法、受講上の注意、等） 看護の責務と広がり 看護学の学び方 「看護覚書」とナイチンゲールの考え方 （復習）看護学概論テキストの目次に目を通し看護学全体の基本内容をつかむ。　「看護覚書」を読み込みナイチンゲールの考え方をつかむ。	倉島　幸子
2	看護の原点・本質 実践科学としての看護	看護とは何か：①看護の原点　②看護の定義　③保健師助産師看護師法上の定義　④学生のイメージ 実践科学としての看護（看護過程　看護理論　看護技術の科学的検証　エビデンスに基づく看護） （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
3	看護実践のための教育 看護実践のための基準	看護教育制度、看護教育の形態 看護実践のための基準（看護業務基準 看護職の倫理綱領　指針・ガイドライン） （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
4	看護の変遷	近代以前の看護 近代の看護（ナイチンゲールによる近代看護の確立、近代日本における看護） 現代の看護（米国に置ける看護の発展と日本の看護） （予習）事前に提示された課題に取り組む 〈復習〉何が分かったか頭の中を整理しておこう	倉島　幸子
5	人々の生活と健康 健康・病気の捉え方	健康とは、健康の諸相 国民の健康の全体像、人口統計と出生・死亡、ライフスタイル 健康に影響する要因 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護学概論	授業科目番号	2311010
担当者氏名	倉島　幸子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護の概念枠組み ライフサイクルと健康	看護を構成する主要な概念　①人間　②環境　③健康　④看護 人間の成長・発達の捉え方　①小児期から成人期　②老年期 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
7	看護の対象とその理解	統一体、生活者としての人間、人間の共通性と個別性 健康障害をもつ対象の理解 ストレスとコーピング（ホメオスタシスとは、ストレスとは） （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
8	看護の理論と実践	看護理論とは、看護理論の分類（大理論・中範囲理論・小理論） 看護理論の変遷、看護実践を理論で読み解く （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう	倉島　幸子
9	看護における倫理と価値 看護倫理	医療における倫理の歴史的経緯と看護倫理（倫理原則、職業倫理、ケアリング）　倫理と法律　道徳的ジレンマと倫理的課題（インフォームドコンセント）　倫理的課題への対応 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
10	看護ケアの基本的役割 看護過程	患者と看護師のコミュニケーション 基本的役割（支援者・代弁者、学習支援者、ケア提供者） 看護過程と専門職としての看護 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう	倉島　幸子
11	看護における法的側面 医療事故における法的責任	看護と法の関わり、看護をめぐる法と制度の枠組み 看護実践の職業的および法的規制（保健師助産師看護師法） 主な関連法規 医療事故における法的責任 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
12	保健・医療・福祉システム 看護サービスに対する評価	保健・医療・福祉の概念、保健・医療・福祉サービス提供の場 保健・医療・福祉のチーム、多職種で取り組む地域包括ケアシステム 看護サービスに対する評価 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
13	看護の展開と継続性 看護ケアのマネジメント	継続看護、退院支援・退院調整と看護の継続性を担う取り組み 多職種連携・協働における看護 看護のマネジメント・プロセス、医療安全への取り組みと働く人の労働安全 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう	倉島　幸子
14	災害看護の基礎 国際看護	災害看護の必要性、災害サイクルに応じた看護、災害時に必要な知識と技術　災害看護に関わる主な法律と制度　国際保健・看護とは何か、在留外国人・訪日外国人への看護　国際協力保健活動 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
15	これからの看護の課題と展望	社会のニーズに応える看護学教育、看護の専門性を高める教育 看護の専門職としての看護組織（日本看護協会・日本看護学校協議会・日本看護系大学協議会）国際看護師協会 看護行政の組織 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅰ			授業科目番号	2311030
担当者氏名	大橋　洋子、倉島　幸子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護における技術の考え方および共通する基本技術（感染予防、環境の調整、安全・安楽・自立）について学習する。さらにコミュニケーション、教育的関わりと日常生活援助技術として食事、排泄、活動・運動、睡眠・休息、清潔・衣生活について具体的に学ぶ。演習を通し、看護技術について人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。

《授業の到達目標》

1．看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる。　2．科学的根拠に基づき安全・安楽に看護技術を提供する方法を習得できる。　3．日常生活の援助（環境調整、感染予防、体位と移動、食事・排泄、清潔と衣生活））の基本技術を習得できる。　4．看護におけるコミュニケーションについて理解し実践できる。　5．実施した看護技術を振り返り、安全性、有効性の視点からよりよい方法を探求することができる。

《評価の方法》

定期試験60%、技術確認20%、提出記録物20%

《テキスト》

1．『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学(2)　基礎看護技術Ⅰ』（松尾 ミヨ子 他編　メディカ出版　2022年）
2．『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学(3)　基礎看護技術Ⅱ』（松尾ミヨ子 他編　メディカ出版　2022年）
3．『写真でわかる基礎看護技術　アドバンス』（吉田みつ子、本庄恵子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

1．『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ』（医学書院）　2．『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅱ』（医学書院）
3．『看護がみえるvol.1 基礎看護技術』（Medic Media）

《履修上の留意点》

授業内容に関連した教科書及び参考書を十分に読んで動画の視聴等を活用しながら演習ノートを作成して臨む。課題として演習の振り返りレポート提出。技術は授業時間外でのセルフトレーニングで習得。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護技術の概要 ガイダンス （看護技術とは）	科目ガイダンス　実習室ガイダンス 看護技術とは 感染予防を推進する技術・手指衛生・個人防護策(マスク・エプロンの着脱)　（講義・演習） ＜予習・復習＞看護技術とは　　感染予防の技術	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
2	環境を整える技術 （環境整備・環境測定・ベッドメーキング）	環境とは、環境測定（講義・演習） リネン類の取り扱い、ベッドメーキング ＜予習・復習＞環境整備　　リネン類の取り扱い　　ベッドメーキング技術	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
3	環境を整える技術 （ベッドメーキング）	ベッドメーキング、シーツ交換（演習） ＜予習＞ベッドメーキング ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
4	コミュニケーション技術 （コミュニケーション）	コミュニケーションの概念、教育的かかわり、 コミュニケーションの実際（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞演習の振り返り	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
5	休息・活動・運動を支援する技術 （活動・運動の意義、活動・運動の生理的メカニズム）	休息、活動、運動の意義、生理的メカニズム、 効果的で安楽な動きをつくりだす技術、ボディメカニクス（講義） ＜予習・復習＞事前に提示された課題に取り組む	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅰ	授業科目番号	2311030
担当者氏名	大橋　洋子、倉島　幸子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	活動・運動の援助技術 （体位変換、車椅子への移乗・移送、ストレッチャー移送）	各種体位のとり方、車椅子への移乗と移送、 ストレッチャーによる移送、歩行自助具の使い方　（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
7	身体の清潔を援助する技術 （寝衣交換、清拭）	身体の清潔を援助する技術①　寝衣交換、清拭　（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
8	身体の清潔を援助する技術 （清拭）	清拭　（演習） （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
9	身体の清潔を援助する技術 （洗髪、陰部洗浄、足浴）	身体の清潔を援助する技術②　洗髪、陰部洗浄、足浴　（講義・演習） （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
10	身体の清潔を援助する技術 （洗髪、足浴）	洗髪、足浴（演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
11	排泄の援助技術 （便器・尿器の当て方、おむつ交換）	排泄を促す技術（排泄の意義、排尿・排便のメカニズム、排泄のニーズ）床上排泄 便器・尿器の当て方、おむつ交換（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
12	身体の清潔を援助する技術 （陰部洗浄） 食事・栄養摂取を促す技術	陰部洗浄（演習） 食事・栄養の意義、食事の生理的メカニズム、栄養状態、電解質のバランスの査定（講義） ＜予習＞事前に提示された課題に取り組む ＜復習＞演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
13	食事・栄養摂取を促す技術 （口腔ケア）	食事を促す援助（講義） 口腔ケア（演習） （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
14	食事・栄養摂取を促す技術 （食事介助） 技術確認	食事介助　（演習） （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
15	技術確認	基礎看護技術演習Ⅱで実施した中から選び、習得できた技術を確認する。	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	チーム医療論			授業科目番号	2311090
担当者氏名	加固　正子、小山　歌子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎3-2 多職種と連携・協働する力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

患者を中心とした良質な「チーム医療」が実践できる基礎的な能力を養う。また、医療専門職が互いの特性を理解し、尊重し合ってコミュニケーションをとりながら協調的に医療を実践できる素養を身につける。
（加固正子/7回）チーム医療の概念、及び医療チームを構成する専門職の役割について理解し、看護職と他職種との関係を学ぶ。次に、対象や家族中心の多職種連携の考え方、臨床でのチーム医療から切れ目なく地域でのケアにつながることの重要性について学ぶ。また、チーム医療及び他職種との協働の中で看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。
（小山歌子/1回）地域におけるチーム医療においての現状と課題について学ぶ。

《授業の到達目標》

保健医療分野での多職種連携の重要性を学び看護師の役割を説明することができる。
保健医療現場における多職種間コミュニケーションについて説明できる。
多職種連携場面における看護師の役割について主体的に考えることができる。

《評価の方法》

①授業中の学習態度10%：授業中の発言、態度を基に評価する。　②事後課題50%（書式等は授業中に指示する）
③課題レポート40%(書式、テーマ等は授業中に説明する）

《テキスト》

『「チーム医療」とは何か 第2版』（細田満和子 著　日本看護協会出版会　2021年）

《参考図書》

『新しいチーム医療 改訂版』（田村由美編著　看護の科学社　2018年）

《履修上の留意点》

本講義ではチーム医療の理念を実現するため、授業においては学生の皆さんと意見交換しながら授業を進めるので、自ら考える主体的授業への参加を望みます。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	病院、医療関係職種、チーム医療、専門性	・チーム医療とは？ ・チーム医療はどう変化してきたのか ・チーム医療を支える制度（もの） （予習）p.2～30を熟読する （復習）【事後課題１】4つのキーワードについて簡潔にまとめレポートする	加固　正子
2	看護職の役割、健康教育、ケア調整、スペシャリスト	・チーム医療と専門性を高める看護職 ・健康教育、ケア調整、治療的ケアのサポート、ケアの提供 （予習）p.31～133）を熟読し看護職の役割について考える （復習）【事後課題２】看護職の役割について、学んだ内容を簡潔にまとめレポートする	加固　正子
3	専門性志向、患者志向、職種構成志向、協働志向	・チーム医療の４つの要素 専門性志向から患者志向の医療へ 職種志向（分業）から協働志向へ （予習）p.72～100を熟読する （復習）チーム医療における４つの要素について振り返り、受講カードに記載する	加固　正子
4	チーム・アプローチ、多職種コミュニケーション、チーム・カンファレンス、当事者参画	・医療専門職者間のコミュニケーション ・チーム・アプローチ （予習）p.200～234を熟読する （復習）【事後課題３】テキストにある「医療と介護の間で看護師の感じるジレンマ」について、レポートする	加固　正子
5	患者・家族、参加、ベッドサイドノート、患者会	・チーム医療の中の患者・家族 ・患者のチーム医療への参加 （予習）p.172～198を熟読する （復習）【事後課題４】チーム医療における患者・家族の参画について実例を読んだ感想をレポートする	加固　正子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	チーム医療論	授業科目番号	2311090
担当者氏名	加固　正子、小山　歌子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	臨床におけるチーム医療例１（栄養サポートチーム、栄養士、管理栄養士）	栄養サポートチームにおけるチーム医療 ・栄養士と看護職のかかわり方の事例について （予習）栄養士、管理栄養士、調理師の役割について調べる （復習）【事後課題５】栄養士、管理栄養士、調理師の役割と機能について、学んだ内容をレポートする	加固　正子
7	臨床におけるチーム医療例３（感染対策チーム）	感染対策チームにおけるチーム医療の実践例について （予習）「感染対策チーム」について調べ学習を行う （復習）本日の講義の中でわからなかった点を受講カードに記載する	加固　正子
8	地域におけるチーム医療の現状と課題 （地域、チーム医療、現状と課題、在宅医療、多職種連携、協働、人材確保）	地域におけるチーム医療の現状と課題を理解する。在宅医療の推進、多職種連携、協働、人材の確保について学ぶ。 （予習）在宅療養者を支援する職種を調べる。 （復習）関連資料や講義資料を基に理解を深める。	小山　歌子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2311070
担当者氏名	大﨑　美奈子、倉島　幸子、大橋　洋子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

病院実習において、看護業務を見学し、患者ケアや多職種との連携から看護師の役割や責務について知り、これからの看護学学習への動機付けとなる入門実習となる。実習先の実習オリエンテーションでは、実習病院の運営方針と組織・機能、病棟の構造や設備、特徴、看護体制、安全対策、感染予防対策等から患者の療養環境及び生活の場を理解する。また、診療活動や看護活動、様ざまな保健医療従事者の活動の実際を知り、看護の役割について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．看護活動および医療従事者の活動の実際を知り、看護師の役割や責務について述べることができる。
2．患者と関わり療養環境および入院生活による生活行動の変化を述べることができる。
3．実習病院の運営方針と組織・機能を述べることができる。
4．将来の看護師像を描き看護学を学ぶことへの意欲につなげることができる。

《評価の方法》

実習目標の到達度について、実習態度実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。

《テキスト》

『はじめての看護実習 基礎からステップアップ　看護コミュニケーション』（高橋清美編著　へるす出版　2014年）

《参考図書》

基礎看護学の授業で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。　実習要項を熟読して実習に臨むこと。
常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、個人情報の保護、安全への配慮等、倫理面の配慮を十分行い実習すること。
実習共通要項に従った身だしなみ、準備・態度を実習参加の条件とする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：1週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	大﨑美奈子 倉島　幸子 大橋　洋子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2311070
担当者氏名	大﨑　美奈子、倉島　幸子、大橋　洋子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域包括ケア論			授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤　則子、髙島　葉子、加固　正子、金子　史代、袖山　悦子、田邊　要補			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

臨床から地域まで、生活に視点をおいて対象を支援することの意義や地域包括ケアの概念について学ぶ。また日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて、臨床から地域までつなぐ移行期ケアや看看連携の意義を考える。そして地域共生社会の実現に向け、母子から高齢者を対象とした包括的支援についてその役割を理解し、今後の課題について考察する。

＜詳細については別紙参照＞

《授業の到達目標》

1．地域包括ケアの概念について理解できる。　2．日本の在宅ケア・医療政策の動向から移行期ケアについて理解できる。
3．様々なライフサイクル、健康レベルにある人々への地域包括ケアについて理解できる。　4．地域包括ケアにおける多様な専門職及び地域の人々と連携協働し活動する看護の役割を考えることができる。

《評価の方法》

定期試験40%　課題レポート60%（教員1人×10点）　定期試験と課題レポートにより目標達成度を最終的に評価する。試験は講義に基づく内容から出題する。課題レポートについては講義の中で詳細を説明する。

《テキスト》

適宜、資料を配布する。

《参考図書》

1.『社会保障再考〈地域〉で支える』岩波書店　2.『よくわかる地域包括ケア』ミネルヴァ書房　3.『きみのまちに未来はあるか？　「根っこ」から地域をつくる』岩波書店

《履修上の留意点》

この科目では複数回の課題レポートの提出が求められます。事前および事後の学習を行い、計画的に課題に取組みましょう。
地域で暮らす人々は、様々な健康レベルにありますが主体的に生活を営んでいます。人々の健康と生活を守り生活の質を追求する上で、地域包括ケアは重要です。楽しく学びましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	地域包括ケアとは （健康、地域看護、包括的支援、多職種連携）	地域包括ケアの概念について学ぶ。　地域包括ケアを展開していくうえで基盤となる健康の概念について学ぶ。　地域で暮らす人々の生活と看護の必要性について学ぶ。 (事前学習）「健康とは？」「地域で暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。 (復習）配布資料を読み、地域包括ケアの概念を確認する。	平澤　則子
2	地域包括ケアとは （在宅ケア、医療政策、移行期ケア、看看連携）	日本の在宅ケア・医療政策の動向を学ぶ。 病院・施設・在宅をつなぐ移行期ケアについて学ぶ。 継続看護と看看連携について学ぶ。 (予習）日本人の平均寿命、健康寿命、高齢化率について調べる。 (復習）配布資料を読み、地域包括ケアシステムとその背景を確認する	平澤　則子
3	母子（子育て世代）地域包括支援とは	母子（子育て世代）地域包括支援（センター）の概要を学ぶ。子育て世代地域包括支援がうまれた背景、すこやか親子21⇒切れ目ない支援の必要性を学ぶ。長岡の子育て世代包括支援や長岡崇徳大学の子育て支援事業の取り組みから地域共生社会の実現に向けた包括支援について学ぶ。 (予習)日本における出生率の推移、すこやか親子21について調べてくる。　(復習)配布資料を読み母子・家族と共にあゆむために「私からの提案」	髙島　葉子
4	医療的ケアが必要な小児におけるニーズと現状 （医療的ケア、在宅支援、保育サービス、就学支援）	子どもとその家族を対象とし、特に医療的ケアの支援が必要な家族への支援ニーズについて学ぶ （予習）参考図書①のp.93～95、111～112の子どもの社会福祉課題について （復習）現在ある子どもと家族への支援と、今後に期待される包括的支援についてまとめる	加固　正子
5	脳卒中、難病、がんの人のニーズと地域包括ケア （退院支援、リハビリテーション、多職種連携）	脳卒中、難病、がんの人のニーズ、急性期から慢性期へ、病院から在宅への地域包括ケアとシステムを退院支援、リハビリテーションの継続、多職種連携から学び課題について考える。 （予習）脳卒中、難病、がんの患者数の推移、医療の現状を調べる。 （復習）脳卒中、難病、がんの人への地域包括ケアとシステムをまとめる。	金子　史代

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域包括ケア論	授業科目番号	2313010
担当者氏名	平澤　則子、髙島　葉子、加固　正子、金子　史代、袖山　悦子、田邊　要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	高齢者のニーズに応える地域共生社会とは	高齢者を取り巻く環境から地域共生社会の実現に向けた包括的支援について学び、今後の課題について考察する。高齢者を取り巻く社会・人的環境の変化、高齢者の特性を背景に高齢者が慣れ親しんだ地域での暮らしを支えるための包括的支援について学ぶ。　（予習）高齢者を取り巻く環境の変化を調べる。　（復習）高齢者が住み慣れた場所で暮らすため地域共生社会のあり方に対する自己の考えを表現する。	袖山　悦子
7	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム （地域生活、課題）	日本の精神科医療の現状について学ぶ。 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現状と課題について学ぶ。 （予習）精神疾患を有する患者数の推移、精神科医療の現状。 （復習）精神に障がいのある人が地域で暮らすための方策を考える。	田邊　要補
8	これからの地域包括ケア （臨床・地域、課題）	課題レポートをもとにグループワークを行い、臨床から地域までつながるケアの現状および地域包括ケアの課題について考える。 (予習)事前課題レポートを作成し、持参する。授業後に提出する。 テーマ「臨床から地域までつながるケアの現状と課題」1200字程度 (復習)地域包括ケアにおける看護の役割（自分ができること）を確認する。	平澤　則子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報活用法			授業科目番号	1101020
担当者氏名	張　坤			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎3-1 地域のネットワークを共有する力， ○4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

情報社会の倫理と法を学習し、インターネットを活用した情報メディアの特性と検索法、効率的な使い方について理解する。さらに、情報の価値とモラルや情報の収集、加工、廃棄などの情報のセキュリティ管理とリテラシーについて理解する。また、ソーシャルネットワークサービスの特徴や機能と活用の現状やリテラシーを学ぶとともに、ブログの作成のポイントと管理のポイント、ホームページの作成のポイントと管理の実際について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．情報社会の倫理や情報セキュリティ基礎を学ぶ;正しく安全に情報を運用する力を育成する。
2．情報を使いやすく整理、管理し、必要に応じて適切に活用できる力を育成する。
3．ソーシャルネットワークの仕組みなどの基礎知識を習得する。
4．学生の情報収集・データ加工・適切な分析等の検証力をアップする。

《評価の方法》

学習態度10%；小テスト20%（1回）；グループ実習30%（2，3回程度）;パワーポイントによるグループ発表40%

《テキスト》

『考える 伝える 分かちあう 情報活用力』（noa出版著　noa出版　2017年）

《参考図書》

特に指定しない

《履修上の留意点》

演習科目であるため、講義への出席率を確保しよう。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション （情報活用力と情報検索）	授業の進め方、学習の目標と概要の紹介。情報を検索・選択のポイントを把握する。インターネットを用いた情報検索の実習を行う。 （予習）教科書第2章	張　坤
2	情報運用 （情報セキュリティの基礎）	情報セキュリティとは。情報セキュリティの重要性を理解させる。情報セキュリティの対策を学ぶ。 （復習）教科書第1、2章 （予習）教科書第3章	張　坤
3	数値分析Ⅰ （数値分析の基本とデータ加工）	データ数値化についての説明。質的データと量的データの集計・加工など、数値分析の基礎演習を行う。 （復習）教科書第3章 （予習）教科書第4章	張　坤
4	数値分析Ⅱ （データ分析の演習）	目的に沿った、数値データの加工やグラフ化など、数値分析の基本的な手順の実践演習を行う。 （復習）教科書第4章 （予習）教科書第5章	張　坤
5	データベース （データベースの作成）	データベースについての説明。データの整理・蓄積、抽出を効率よく行うために、データベース作成の演習を行う。 （復習）教科書第1－5章	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	情報活用法	授業科目番号	1101020
担当者氏名	張　坤		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	復習と小テスト	第3、4、5章の総合復習と小テストを行う。 （予習）教科書第6章	張　坤
7	ファイル・データ管理 （ファイルの性質と保全）	パソコンで情報を集めや管理などのためには、作成されたファイルの整理・管理方法についての演習を行う。 （復習）教科書第6章 （予習）教科書第7章	張　坤
8	インターネットコミュニケーションⅠ （情報モラルと個人責任）	情報社会の問題点の認識と社会に及ぼす影響を理解させる。インターネットコミュニケーションの基本ルールと原則を学ぶ。 （復習）教科書第7章 （予習）教科書第8章	張　坤
9	インターネットコミュニケーションⅡ （ソーシャルメディアと情報発信）	インストールの仕組みと検索サービスの仕組みを学ぶ。インターネットの利点と活用の際の注意点を理解させる。ソーシャルメディアの仕組みと情報発信のルールを学ぶ。 （復習）教科書第8章 （予習）教科書第9章	張　坤
10	文書表現 （文章作成と体裁）	レポートやビジネス文書の様々な文章作成のポイントを学ぶ。ブログやホームページの作成のポイントと管理のポイントを学ぶ。わかりやすい文書の作成を練習する。 （復習）教科書第9章 （予習）教科書第10章	張　坤
11	ビジュアル表現 （ビジュアル表現の基本）	ビジュアル表現の基本ルールと種類を学ぶ。課題によるビジュアル表現の実習を行う。 （復習）教科書第10章 （予習）教科書第11章	張　坤
12	プレゼンテーションⅠ （基本と表現手段）	プレゼンテーションの目的を理解させる。集めた情報を整理して「分かりやすく」伝えることの基本を学ぶ。 （復習）教科書第11章 （予習）教科書第12,13章	張　坤
13	プレゼンテーションⅡ、Ⅲ （資料作成の手順と発表）	プレゼンテーションの作成手順を学ぶ。プレゼンテーションの効果を高めるポイントを学ぶ。発表のポイントを学ぶ。グループ分け、演習課題の選択と議論を行う。 （復習）教科書第12,13章	張　坤
14	総合演習 （グループ演習）	レセプト情報に関連する情報サイトを用いて、演習課題を選択し、グループ議論の上で、アウトラインを作成する。パワーポイントを用いて、分かりやすく説明資料を作成する。	張　坤
15	グループ発表・まとめ	総合演習の流れと結果を分かりやすくまとめた内容を発表する。最後、これまでの学習状況などをまとめる。	張　坤

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	問題解決法			授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部　洋一郎			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

問題解決法は大学生活における学習場面でも、看護の実践の場面でも、社会生活にとっても必要な科学的技法である。その、科学的技法としての問題解決能力を養う。問題とは何かを考えること、問題を発見すること、解決するための手順、解決するために必要な情報を的確に収集すること、情報を整理すること、情報を分析することなどを学ぶとともに、問題解決に必要な様々なクリエイティブな思考法と発想法を学び、活用方法を修得する。

《授業の到達目標》

論理的に考え、課題を解決するとはどのような行為をさすのか。また、その解法に一定の規則はあるのか。本科目はこうした問いに答えることを授業の目標としている。そのため、論理的な思考に関する複数の初歩的な理論を学び、それを授業の中で実地に応用することで、その効果を確認することを目指す。

《評価の方法》

定期試験50%、授業時間内に実施する小課題40%、グループワーク参加態度10%

《テキスト》

毎回、使用プリントを適宜配布します。

《参考図書》

参考にすべき図書も授業時間内に提示しますが、特に購入の必要はありません。

《履修上の留意点》

小課題を実施する場合は、グループを形成し協働でそれにあたります。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	論理的思考とクリティカルシンキング （導入）	論理的な思考に関する文献を読み、導入としてその思考法の一端に触れます。また、クリティカルシンキングのやり方を実地に体験してみましょう。	渡部洋一郎
2	批判的思考の実際 （データの読み解き方）	図表やグラフに表された数値の読み解きを行い、妥当なデータの解釈とは、どのような行為をさすのかを理解します。	渡部洋一郎
3	OECDによるPISA調査 （非連続型テキスト）	2000年より、経済協力開発機構によって3年ごとに実施されている世界的規模の学力調査を対象に、その特徴を探ります。特に、日本の高校一年生が世界の学習者と比較したときに、どのような特徴を持っているのかを検討しましょう。	渡部洋一郎
4	母集団における平均値の意味 （平均が良い方が上？）	前回の学習を踏まえ、アメリカやイギリス、ドイツ、フランスなどの国の学習者の平均値と日本の高校一年生の平均値とを比較します。結果は日本の方が圧倒的に上なのですが、そこにはどんな意味が隠されているのでしょう。	渡部洋一郎
5	必要条件と十分条件 （判別の実際）	必要条件と十分条件について、簡単な識別法を使い例文を判別しましょう。簡単なコツを覚えれば、誰でも活用できます。	渡部洋一郎

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	問題解決法	授業科目番号	1101040
担当者氏名	渡部　洋一郎		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	演繹的思考と帰納的思考（長所と短所）	防御に優れた論法と攻撃に利のある論法、それぞれどのような利点と欠点があるのでしょうか。ここでは、その特徴について学びます。	渡部洋一郎
7	文章題における理解と表現（確率の文章題検討）	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
8	根拠と理由の違い（両者の差異）	自分が理解していることをどのように表現すれば正確に相手に伝わるのでしょうか。また、ある表現は読み手にどのような理解をもたらすのでしょうか。実際の新聞コラムの内容を用いて検討してみましょう。	渡部洋一郎
9	限定と反証（概念の理解）	限定と反証という耳慣れない言葉の意味について理解を深めます。この２つを理解することで、説得性のある主張を展開することができます。	渡部洋一郎
10	トゥルミン・モデル（英国論理学の実際）	トゥルミン・モデルとは、S.E.Toulminによって考案された議論の論証モデルのことを言います。根拠から主張に至るまで６つの要素を配列するところにその特徴がありますが、まずは同モデルについて理解しましょう。	渡部洋一郎
11	日常議論への実際の応用（限定的な主張）	この回は、一般性及び汎用性のある主張ではなく、限定的でありながら説得性を持つ主張のあり方について、トゥルミン・モデルを使った演習を通して実地に確かめてみます。	渡部洋一郎
12	日常議論への実際の応用（反証を意識した反論）	最後に、反証を意識した反論について学びます。反証がある場合の反論とはどのようなものにならざるを得ないのか、検討してみましょう。	渡部洋一郎
13	命題の逆・裏・対偶	命題には、逆、裏、対偶というものが存在します。それぞれの特性と、そこに関わる「真」と「偽」の関係性について学びます。	渡部洋一郎
14	全体と部分との関係を理解する（含むものと含まれるもの）	あるグループ同士の関係性を考察することを通して、含むものと含まれるものとの関係を理解し、集合に関わる規則を学びます。	渡部洋一郎
15	総合的なまとめ	「問題解決法」で学んだ論理的思考や日常議論の方法、また、効果的な表現を意識した理解のあり方などについて、授業全体を振り返り、内容をまとめます。	渡部洋一郎

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語表現Ⅱ			授業科目番号	1102140
担当者氏名	渡邉　有紀恵			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

日本語表現Ⅰで獲得した能力を基盤とし、論理的な思考に基づいた意見・主張を記述により表現する能力を習得する。
様々な作品・社会問題に関する論説などを読み、文章の構成、展開、要旨を的確にとらえる力を養う。また、論理的に要約し評価することを通し、自分の考えを深め意見を構築するとともに、自分の意見に対する論拠を示し、説得力のある論述ができることを目指す。

《授業の到達目標》

1．社会問題に関する文章を正確に読み、的確に要約できるようになる。
2．自身が関心を持つ社会問題に関する文章を要約したうえで、意見を論理的に書くことができる。
3．毎回の小課題を通して、日本語の語彙力と表現力を高める。

《評価の方法》

授業態度10%　課題（小テストを含む）40%　定期試験50%

《テキスト》

《参考図書》

『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』（鎌田美千子 他著　スリーエーネットワーク　2014年）
『日本語検定公式過去問題集 令和3年度版』（日本語検定委員会編　東京書籍　2021年）　等

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス パラフレーズ練習①	・ガイダンス ・小課題① ・パラフレーズ練習①：単語を言い換える練習をする。話しことばから書きことばへの言い換え、和語と漢語、名詞化、ジャンルによる使い分けなどについて実践問題を通しながら学ぶ （復習）授業で使用した資料を再度確認する。	渡邉有紀恵
2	パラフレーズ練習①	・小課題②　　・復習テスト①（第１回内容） ・パラフレーズ練習②：意味を読みとって言い換える広範囲のパラフレーズ練習を行う。長い文や複数の文を短くする、上位概念の語彙に言い換える、簡潔な表現に言い換える、含意を言語化する、解釈を添える等の練習を行う。（予習）身の回りにある語の言い換えの例を調べてくる （復習）授業資料の復習をする。	渡邉有紀恵
3	要約練習①	・小課題③ ・復習テスト②（第２回内容） ・文章を読み、何の話か、何が問題になっているかを把握したうえで200字に要約する。（文章のテーマ：経営者、国民審査） （予習）経営者のルーティーン、国民審査とは何かについてそれぞれ調べてくる。	渡邉有紀恵
4	要約練習②	・小課題④ ・文章を読み、筆者の言いたいことは何かをつかみ要約する。また、歴史を扱った文章を読み、要約をする。（文章のテーマ：ことばの性差、バブル経済、高度成長期） （予習）男らしいことば、女らしいことばについて調べてくる	渡邉有紀恵
5	要約練習③	・小課題⑤ ・二項対立の文章を読み、賛成反対の立場を混乱しないように読み、要約する。（テーマ：外国人の参政権）また、社会問題を論ずる文章から筆者の立場を読み解き、正確に要約する。（テーマ：夫婦別姓制度）（予習）外国人の参政権、夫婦別姓制度について調べてくる	渡邉有紀恵

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語表現Ⅱ	授業科目番号	1102140
担当者氏名	渡邉　有紀恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	論述練習①	・小課題⑥ ・新聞の社説から１つ関心のあるものを選び、要約する。さらに、自身の意見を加えた文章を作成する。 （予習）2021年前半のニュースについて調べてくる	渡邉有紀恵
7	論述練習②	・小課題⑦ ・新聞の社説から１つ関心のあるものを選び、要約する。さらに、自身の意見を加えた文章を作成する。 （予習）2021年後半のニュースについて調べてくる	渡邉有紀恵
8	総まとめ	・小課題復習テスト ・授業全体について振り返り、内容をまとめる （予習）第１回～第７回までの授業資料を読み返す	渡邉有紀恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	コミュニケーション論			授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐　紀子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

自身を知ることと他者を知ることは表裏一体であり、人間尊重の精神が必要である。この科目では、人間を尊重し、他者を受容し、共感する、他者とともに生きることの意義を考える。そのためには、自己理解の方法を知り自己を客観的に見つめる機会を持つ。また、他者との適切な人間関係を形成し、信頼関係を確立するためには自己理解と他者理解が両輪となることを理解する。また、自己の良心と社会の規範やルールに従って自らを律して行動することができる態度を養成する。

《授業の到達目標》

1．コミュニケーションの理論を理解する　　2．身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる　　3．ステレオタイプとは何かを理解し、例を挙げて説明できる　　4．自分の中にあるステレオタイプへの気づきを得る　　5．看護実践において、コミュニケーション上重要となる視点を意識することができる

《評価の方法》

授業の振り返りコメント60%、レポート40%
※レポートは授業内で示すテキスト項目の中から選択したものについて考えを述べるもの

《テキスト》

『よくわかるヘルスコミュニケーション』（池田理知子・五十嵐紀子編　ミネルヴァ書房　2016年）

《参考図書》

授業で適宜紹介します

《履修上の留意点》

ペアワーク、及びグループワークを通して学びを深めていきます。皆さんからの素朴な疑問、深い考察などをその都度適する方法にて、全体で共有したいと思います。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	コミュニケーション学とは （コミュニケーションの定義、ヘルスコミュニケーション）	・オリエンテーション：授業計画と評価に関する説明 ・一般的なコミュニケーションの捉え方との差異 ・ヘルスコミュニケーションを学ぶ意義について （予習）特になし （復習）テキストⅠ－１、４、５を読む	五十嵐紀子
2	コミュニケーション能力とは何か （コミュニケーション能力）	・「コミュニケーション能力」重視の問題について ・「当たり前を疑う」視点の大切さ （予習）どんな時に「コミュニケーション能力」を意識するか具体的に考える （復習）「円滑なコミュニケーション」の問題としての具体例を考える	五十嵐紀子
3	言語メッセージ	・言語と社会的規範の関係について （予習）テキストⅠ－７を読む （復習）テキストⅠ－７に関連した身近な例を探す	五十嵐紀子
4	医療におけることば （臨床で交わされる言葉）	・「病」と自分との距離感について ・臨床における「ふさわしさ」について （予習）「病」のマインドマップを描いてくる （復習）テキストⅡ－２を読む	五十嵐紀子
5	医療におけることば （「病」の定義）	・「病」という言葉の捉え方について ・認知症、薬物依存症、水俣病を例に考える （予習）認知症、薬物依存症について調べる （復習）水俣病についてさらに調べる	五十嵐紀子

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	コミュニケーション論	授業科目番号	1103020
担当者氏名	五十嵐　紀子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	非言語 （時間・空間）	・時間・空間の認識が他者理解になぜ役立つのかを考える ・時間・空間の認識のコミュニケーションに与える影響 （予習）テキストＶ－１③、④を読む （復習）授業でやった内容を想起させる「境界線」の例を探す	五十嵐紀子
7	非言語 （時間・空間）	・恣意的な境界線の身近な例について考察する （予習）身近にある「境界線」の例について写真などを用意する （復習）視覚障害者の空間の捉え方について調べる（テキストＶ－１③の側注参照）	五十嵐紀子
8	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・ステレオタイプとは何か ・身近なステレオタイプについて （予習）テキストⅥ－４を読む （復習）啓発や健康増進などのパンフレットやポスターに注目する	五十嵐紀子
9	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・グループワークで啓発や健康増進活動に用いられる表象分析を行う ・発表または共有 （予習）啓発や健康増進などのパンフレットやポスターを用意する （復習）日常に溢れるステレオタイプ化された表象について注目する	五十嵐紀子
10	表象とステレオタイプ （表象、ステレオタイプ）	・各自が作ったステレオタイプ化されたパンフレットを共有し、自己ステレオタイプ化への気づきを確認する （予習）あえてステレオタイプ化されたパンフレットを作成してくる （復習）自己ステレオタイプにどうしたら気づくことができるか考える	五十嵐紀子
11	自己理解と他者理解 （自己理解、他者理解、自己ステレオタイプ、傾聴、共感）	・傾聴と共感のあり方について ・いくつかの事例について、自己ステレオタイプ化という視点で考察する （予習）テキストＶ－７、Ⅶ－２を読む （復習）テキストⅨ－７を読む	五十嵐紀子
12	異文化コミュニケーションと対人援助 （異文化、ジェンダー、多様性）	・ジェンダーマイノリティの問題 （予習）テキストⅣ－１、３を読む。LGBTについて調べる （復習）日常の中にあるジェンダーマイノリティの生きづらさに注目する	五十嵐紀子
13	異文化コミュニケーションと対人援助 （異文化、対人援助、マイノリティ）	・当事者研究の取り組み （予習）統合失調症について調べる （復習）関連するWebサイトや動画を閲覧する	五十嵐紀子
14	レポート作成に向けての学習	・選んだテーマごとにグループを作り、考察する （予習）レポートでテーマとするテキスト項目を選ぶ （復習）関連事項を発展的に調べたり、他者の意見を聞いたりする	五十嵐紀子
15	レポート作成に向けての学習	・マインドマップを用い、レポートで取り上げたい視点を整理する ・グループごとに共有する ・まとめ （予習）レポートで取り上げる事例について考える （復習）レポートの構想を確認し、レポートを執筆する	五十嵐紀子

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅡ			授業科目番号	1105040
担当者氏名	塩野谷　明			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

室内で行うスポーツを実践し、スポーツが身体的、心理的、社会的側面に及ぼす影響について体験し考察する。具体的には、エアロビクスによる有酸素運動の体験をする。また、バレーボール競技を通して、スポーツにおけるチームワークの在り方から、スポーツの社会性について体験し考察する。さらに、筋肉トレーニングを体験する。また、有酸素運動と筋肉トレーニングの特徴を理解したうえで、グループワークとして、子どものトレーニングと高齢者のトレーニングの特徴について考え、具体的な運動メニューを提案する。

《授業の到達目標》

スポーツの身体、精神、社会的影響について、生理学、生化学、バイオメカニクスや運動に関する生理学、心理学、社会学を基盤に、多様な人間の健康について理解する。具体的には、健常者、障がい者、そして高齢者や有病者の運動実践ができるようにする。また障がい者スポーツを体験し、ハンディキャップがどのような福祉工学的サポートから克服されているかを理解する。なお，スポーツ実践は健康スポーツⅠ同様の運用とする。

《評価の方法》

定期試験80%、学習態度20%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

与えられた課題作成を念頭にして、講義内容を入れながら運動実践を行っていくため、理由のない欠席は避ける。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	運動とエネルギー代謝①	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するATP-CP系、解糖系について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷　明
2	障がい者スポーツ実践①	車いすテニス、車いすバトミントン、車いすバスケット①	塩野谷　明
3	運動とエネルギー代謝②	運動のエネルギー源となるATPの再合成のメカニズムに関係するクレブス回路、電子伝達系、ATP合成酵素について学ぶとともに、スポーツとの関連性について理解させる。	塩野谷　明
4	障がい者スポーツ実践②	車いすテニス、車いすバトミントン、車いすバスケット②	塩野谷　明
5	VO2maxとAnaerobic Threshold①	運動機能の評価指標となるVO2maxおよびAnaerobic Thresholdについてその算出方法までを理解し、エネルギー代謝をとおして生体が有するメカニズムの面白さについて理解させる。	塩野谷　明

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	健康スポーツⅡ	授業科目番号	1105040
担当者氏名	塩野谷　明		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	高齢者・有病者スポーツ実践①	心拍数，血圧に基づくスポーツ実践	塩野谷　明
7	VO2maxとAnaerobic Threshold②	運動機能の評価指標となるVO2maxおよびAnaerobic Thresholdについてその算出方法までを理解し、エネルギー代謝をとおして生体が有するメカニズムの面白さについて理解させる。	塩野谷　明
8	障がい者スポーツ実践②	Anaerobic Thresholdに基づくスポーツ実践	塩野谷　明
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	生命倫理学			授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀　ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

社会人として、看護職として生命の尊厳を守ることは重要なことである。生命倫理学では、そもそも倫理とは何かを学ぶ。そのうえで、生命倫理学の基礎的概念を学ぶ。具体的には、パターナリズムと人権、自己決定権、遺伝子治療、出生前診断と母体保護法、不妊治療と代理母、安楽死、脳死と臓器移植、宗教上の治療拒否などのテーマについて調べ学習を行い、グループで討議し、発表する。現代の医療の倫理的課題について、広い視野で問題を考察できるようになるための基礎的科目である。

《授業の到達目標》

この授業では、生命、公平や自由などの基本概念を押さえ、生命倫理学の扱う自己決定権やQOLとSOL等について議論を展開していく。同時に、看護現場で実際に起きた事例を通して倫理的課題について検討し、その文化的（例：日本人の死生観）・社会的背景について論じる。学習者が看護現場の抱える倫理の諸問題の内容を理解し、倫理的原則を踏まえてこの諸問題を解決する判断力を育むと同時に、現代医療の倫理的な問題に気づく感性を養うことを到達目標とする。

《評価の方法》

定期試験を60%、数回の授業内発言及びプレゼンテーション、そしてリアクションペーパー（10行程度の小レポート）を40%とする。

《テキスト》

購入テキストはなし。

《参考図書》

『看護学生のための医療倫理』（盛永審一郎、長島隆編　丸善出版　2012年）等の参考図書を随時紹介し必要な資料をこちらで準備し配布する。

《履修上の留意点》

学習者の主体的な学びを高めるために、ディスカッションを通してその理解を深めたいと考えるが、コロナ感染予防策を講じながら、オンラインツールを活用してアクティブラーニングを促す。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション	生命倫理とは何か。 バイオエシックス、医の倫理、生命倫理の整理。	郷堀ヨゼフ
2	健康問題とは何か	基礎的概念を問う。健康と病気とは何か。疾病と病との違い。健康問題に取り組む医療と看護の特徴を踏まえて、現代医療の倫理的問題を整理する。	郷堀ヨゼフ
3	生命倫理の歴史	ナチス犯罪やタスキーギ事件等を取り上げながら臨床の倫理確立のプロセスを追う。ニュールンベルク綱領（1947）、ヘルシンキ宣言（1964）、インフォームド・コンセント(IC)などにフォーカスする。	郷堀ヨゼフ
4	看護倫理の基盤 （看護倫理綱領）	看護現場を意識しながら基本概念を押さえる。	郷堀ヨゼフ
5	治療選択権	患者の権利に焦点を当て、パターナリズムやインフォームドコンセントやアドバンスケアプランニング（ACP）等の概念について論じる。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	生命倫理学	授業科目番号	1105020
担当者氏名	郷堀　ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	治療拒否権	同じく、患者の権利に焦点を当てながら、特に終末期医療・緩和ケアの事例を中心に延命措置の問題について考える。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅：誕生（1）	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に生殖医療（技術）と遺伝子技術について論じ、優生思想について議論する。	郷堀ヨゼフ
8	人生の旅：誕生（2）	生の始まりにまつわる生命倫理的な問題に焦点を当て、特に人工妊娠中絶について考える。その社会的・文化的背景も考慮しながら、歴史的な展開と現状の両方について論じる。　※リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
9	人生の旅：誕生（3）	生の始まりに関する倫理的な問題を取り上げ、リアクションペーパーとそれに対するフィードバックを踏まえて、全体でディスカッションを行う。	郷堀ヨゼフ
10	人生の旅：死（1）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、脳死や移植医療の事例を挙げながら死の概念等を押さえる。さらに、脳死判定、死の三徴候、臓器移植について検討しながら、遷延性意識障害と脳死と臓器提供について議論する。	郷堀ヨゼフ
11	人生の旅：死（2）	生の終わりにまつわる倫理問題に着眼し、がん治療、ターミナルケア、ビハーラ、スピリチュアルケア、ホスピスケアについて議論する。国内外の事例を挙げながら、延命治療等の倫理的諸問題について考える。	郷堀ヨゼフ
12	人生の旅：死（3）	安楽死にフォーカスしながら、諸概念を整理した上で国内外の現状について紹介する。その中で、死ぬ権利、自殺幇助等を取り上げる。	郷堀ヨゼフ
13	人生の旅：死（4）	安楽死にフォーカスしながら、安楽死と尊厳死の違いを取り上げ、特にその法的枠組みに重点を置いて検討する。　※リアクションペーパー提出。	郷堀ヨゼフ
14	プレゼンテーション	生の終わりに関する倫理的な問題を取り上げリ、アクションペーパーとそれに対するフィードバックを踏まえて、全体でディスカッションを行う。	郷堀ヨゼフ
15	まとめ、振り返り	全体の内容を振り返って専門職倫理規範（看護倫理）の土台を成す生命倫理の重要課題を整理する。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	自然環境論			授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日　良樹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

自然と共生するための、自然環境の保全、人間社会の在り方について地球環境問題に興味を持ち学ぶ。具体的には、食生活と増え続けるごみや廃棄物、食料自給率と環境、途上国と日本の水環境、地球温暖化、公害、エネルギー資源、大気汚染などの問題を理解し、人間は自然とどのように共生していくのか、世界レベルで考えることから始まり、地域のレベルまで具体的に掘り下げて考える。この講義を通して、卒業してからも環境問題に興味を持ち続けて、環境保全に積極的に関与できる人材を育成する。

《授業の到達目標》

地球環境と生命の多様性や進化、身近な自然で起こっている生態系の変化、環境問題と人間の生活について学んだり仲間と話し合ったりりすることを通して、自然環境の保全や持続可能な社会の在り方について、自分なりの主張の形成を図る。

《評価の方法》

①定期試験60%　②レポート30%　③討議や学び合いへの参加態度10%

《テキスト》

講義資料を作成し（40P程度）受講者に事前に配布する。必要に応じて、講義時に補充資料を配布する。

《参考図書》

指定図書はないが、高校生物の教科書や参考書、又は自然環境に関する書籍を１冊用意する。近隣の新潟県立歴史博物館、長岡市立科学博物館、馬高縄文資料館、柏崎刈羽原発サービスホール等を見学し事前学習を進めておくことを奨励する。

《履修上の留意点》

校庭や近隣の草原や林などのフィールドで、生の自然を観察する機会を1回程度設定する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	生命の星地球	地球の形成と生命の誕生について理解する。 ・カンブリア爆発と生物種の多様性 ・多様な生物種の生存を可能とした地球環境の形成 ・生物の進化と絶滅 ＜高校で使用していた地学や生物の教科書、参考書などがあると良い＞	春日　良樹
2	人類の誕生と自然環境 ・人類の進化と拡散	アフリカから世界へ分布を広げた人類の進化の道筋について理解する。 ・人類の進化を支えたもの・こと（他の霊長類と比較しながら） ・農耕の開始や家畜の飼育と文明の発達	春日　良樹
3	・縄文人の生活 ・1万年以上続いた縄文時代	日本の自然環境と縄文人の生活について理解する。 ・土器の発明と生活の変化 ・縄文人の生活と森林の変化 ＜新潟県立歴史博物館、馬高縄文館、長岡市立科学博物館、十日町市立博物館等に出かけ、土器の変遷や昔の人々の生活について事前学習を進めておくとよい＞	春日　良樹
4	弥生から近世までの自然の変化 ・稲作の広がりと国の形成	人々の生活の拡充と森林環境の変遷について理解する。 ・稲作をはじめとした大陸文化の流入 ・中央集権国家の形成、繰り返される遷都 ・製鉄と森林（もののけ姫の世界）…草原が広がる国土 ・江戸時代の人々の生活と自然環境（江戸のエコ生活）	春日　良樹
5	戦後の日本の自然環境の変化 ・森林の変化 ・河川の変化	・戦後の復興と自然環境の変化について理解する。 ・林野行政の失敗 ・エネルギー革命と里山の荒廃 ・日本の近代化と河川環境の変遷 ・欧米と日本の自然景観の違いと理由	春日　良樹

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	自然環境論	授業科目番号	1106010
担当者氏名	春日　良樹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	身近な自然環境（校庭の植物） ・簡単な植生調査の体験	校庭の植物群落を調べ、植物の特徴や生育の仕方、外来種の侵入等について自分の考えをまとめレポートにまとめる。 ・植物群落など生態的な見方・考え方 ＜天候により次の8回目と入れ替える場合がある＞	春日　良樹
7	植生調査の結果の考察 ・植物同士の関わり合い ・外来植物の繁茂	はびこる外来植物、生育地を追われる在来種の実際について理解する。 ・外来種（特定外来生物）の問題 ＜仲間と学び合いながらレポートを完成させる＞ ＜天候により次の9回目と入れ替える場合がある＞	春日　良樹
8	・外来種駆除の実際	外来種の駆除オオハンゴンソウ駆除の実際や駆除の難しさについて理解し、外来種が蔓延る理由や解決策について考えを記述する。 ・駆除の目的（外来種駆除テレビ番組の流行） ・環境ボランティアの活躍	春日　良樹
9	日本の近代化と河川環境の変貌	半世紀（40～50年）前の人々の暮らしと川の関係や近代化と川の変化について理解する。 ・生活や工業の廃棄物処理の場としての河川（隅田川や多摩川の例） ・近年における新たな問題…人々の生活と水辺環境の乖離 ・深刻化するゴミ問題（近隣諸国を巻き込んだ）	春日　良樹
10	日本の経済発展と公害	日本の公害の原点（足尾銅山鉱毒事件）について調べ、田中正造の生き方や環境問題の現実について理解する。 ・カネミ油症訴訟 ・大気汚染問題	春日　良樹
11	新潟県の水質汚染問題	水俣病と第2水俣病（新潟水俣病）の原因や現在も続く訴訟について理解する。 ＜新潟立環境と人間のふれあい館「新潟水俣病資料館」などを訪れたり関係する書籍を読んだりしておくと良い＞	春日　良樹
12	人類の未来を左右する世界的な環境問題	豊かな生活の享受と地球温暖化などの環境問題について理解する。 ・牧畜とメタン、二酸化炭素の排出 ・温暖化の進行で何が変わるのか ・オゾン層の破壊 ・クリーンエネルギー（原子力発電の限界）	春日　良樹
13	自然の生態系 ・生態系とは	生態系について環境と生物、生物同士の関係性といった観点から理解を深める。 ・森林、河川、湖沼、海洋 ・食物連鎖 ・生物ピラミッド ・世界の食料と環境問題	春日　良樹
14	・森林の働きとその価値	森林の持つ機能について理解する。 ・緑のダム（水源涵養林） ・魚つき林 ・土砂流出防止林 ・二酸化炭素の固定 ・森林セラピー等（健康増進のための森林）	春日　良樹
15	持続可能な社会の確立のために	将来に向けて持続可能な社会の構築にむけて、自分ができることをレポートにまとめる。 ・無知からの脱却～予知科学の発展～ ・循環型社会への移行 ・SDGsは地球を救えるか	春日　良樹

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	日本国憲法			授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦　三厳			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下の平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける。

《授業の到達目標》

1．日本国憲法の成立経緯や構造等の基本的内容を説明できる。
2．自らのもつ権利と義務について考えることができる。

《評価の方法》

定期試験（100%）により評価する。

《テキスト》

『目で見る憲法（第5版）』（初宿正典、大沢秀介他編著　有斐閣　2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

本講義は日本国憲法の初学者を対象にしている。

《備考》

養護教諭二種教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	法律とは何か。	法律について概要・具体例などを説明する。	三浦　三厳
2	法律は誰が作るのか。その根拠は何か(1)	法律の制定について,憲法上の規定はどうなっているか,国会はどのようなものか,民主主義や選挙などについて説明する。	三浦　三厳
3	法律は誰が作るのか。その根拠は何か(2)	同上	三浦　三厳
4	行政(内閣)とは何をするのか。国会との関係(1)	行政は何をするのか,国会との関係はどうなっているのかなどを説明する。	三浦　三厳
5	行政(内閣)とは何をするのか。国会との関係(2)	同上	三浦　三厳

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	日本国憲法	授業科目番号	1106020
担当者氏名	三浦　三厳		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	日本国憲法の成立過程・改正	日本国憲法の成立過程・改正規定について説明する。	三浦　三厳
7	人権とは何か。	人権とは何か,その概要や具体例について説明する。	三浦　三厳
8	裁判所(1)	裁判所はどのようなものか,人権との関係・違憲審査などについて,判例をふまえて説明する。	三浦　三厳
9	裁判所(2)	同上	三浦　三厳
10	人権各論(1)	人権につき,平等・表現の自由など個別の人権・規定ごとに,判例をふまえて説明する。	三浦　三厳
11	人権各論(2)	同上	三浦　三厳
12	人権各論(3)	同上	三浦　三厳
13	地方自治・財政・天皇など(1)	地方自治・財政・天皇などに関する規定につき説明する。	三浦　三厳
14	地方自治・財政・天皇など(2)	同上	三浦　三厳
15	復習	これまで学んだことを復習する。憲法の全体像を確認する。	三浦　三厳

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	福祉と保障			授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤　和也			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力，◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

社会福祉とは何か、どうあるべきかを理解する。歴史的背景を踏まえた社会福祉の概念や対象・理念を学び、現代の社会福祉の現状と多様性を学ぶ。また、社会福祉と社会保障の概念を明らかにし、現代の社会保障の各種政策・制度を学習する。具体的には、少子高齢化に対する社会保障制度、社会的不平等に対する保証制度などである。また、それを踏まえ、現在のメインストリームである地域ケアにおけるこれからの自立生活支援の考え方を養う。

《授業の到達目標》

1．私たちの生活がどのような仕組みで支えられているのかを理解する。
2．卒業直後から授業の成果を活かせるよう、制度の理解だけでなく現代社会の動向と関連付けて理解する。
3．医療と介護の連携の基礎的な知識を学び、連携の必要性を理解する。

《評価の方法》

・レポート　　20%
・定期試験　　80%

《テキスト》

『系統看護学講座　社会保障・社会福祉』（福田素生 他著　医学書院　2022年）

《参考図書》

都度紹介

《履修上の留意点》

筆記試験は、国家資格試験の問題様式にほぼ準じる。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 社会保障と社会保険	社会保障を学ぶ意義 予習：自分が90歳になった時の暮らしを想像する 復習：社会保障と社会保険の違いを確認する	佐藤　和也
2	社会保障制度の目的と機能	（第1章）社会保障制度と社会福祉 予習：日本の人口の変化を確認する 復習：社会保障の全体像を確認する	佐藤　和也
3	社会福祉の法制度	（第1章）社会保障制度と社会福祉 予習：住んでいる地区の民生委員を確認する 復習：社会福祉六法を確認する	佐藤　和也
4	現代社会の変化	（第2章）現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 予習：親戚の家族構成を確認する 復習：日本の2025年問題、2040年問題を確認する	佐藤　和也
5	医療保障制度Ⅰ	（第3章）医療保障 予習：自分の医療保険被扶養者証を確認する 復習：医療保障制度の種類と概要を確認する	佐藤　和也

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	福祉と保障	授業科目番号	1106030
担当者氏名	佐藤　和也		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	医療保障制度 II	（第3章）医療保障 予習：住んでいる地域の医療機関を確認する 復習：保険診療の仕組みを確認する	佐藤　和也
7	介護保障制度 I	（第4章）介護保障 予習：（可能なら）65歳以上の身内の人の介護保険証を見せてもらう 復習：介護保険制度の概要を確認する	佐藤　和也
8	介護保障制度 II	（第4章）介護保障 予習：住んでいる地域の介護保険施設・事業所を確認する 復習：介護保険のサービスを確認する	佐藤　和也
9	年金保険 社会手当 労働保険	（第5章）所得保障 予習：（可能なら）身内の人の「年金」の種類を教えてもらう 復習：所得補償制度の概要を確認する	佐藤　和也
10	生活保護 低所得者対策	（第6章）公的扶助 予習：「朝日訴訟」を調べる 復習：生活保護を取り巻く最近の動向を確認する	佐藤　和也
11	高齢者福祉 障害者福祉	（第7章）社会福祉の分野とサービス 予習：「ノーマライゼーション」を確認する 復習：高齢者施策を確認する	佐藤　和也
12	障害者福祉 児童家庭福祉	（第7章）社会福祉の分野とサービス 予習：虐待（高齢・障害・児童）事件を調べる 復習：障害者へのサービス内容を確認する	佐藤　和也
13	社会福祉実践	（第8章）社会福祉実践と医療・看護　　演習 予習：社会福祉援助技術を知る 復習：自己覚知を深める	佐藤　和也
14	社会福祉実践 医療・看護・福祉の連携	（第8章）社会福祉実践と医療・看護 予習：地域包括ケアシステムを理解する 復習：連携を支える仕組みがイメージできる	佐藤　和也
15	社会福祉の歴史	（第9章）社会福祉の歴史 予習：テキストを読む 復習：「生存権」を考察する	佐藤　和也

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能III			授業科目番号	2208030
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

「人体の構造と機能Ⅱ」に引き続き、内分泌系、免疫系、生殖器系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。ここでは、解剖見学実習を行い、実習後、「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟市内にある大学の医学部または歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。

《授業の到達目標》

解剖学の基礎知識に基づき、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働きについて必要であれば図示し、説明できる。また実際の人体解剖を見学し、各臓器の配置について位置関係を説明できる。

《評価の方法》

成績評価は定期試験100％の割合で行う。

《テキスト》

『系統看護学講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2022年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参する。
８回の講義とは別に解剖見学実習を行う。

《備考》

私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	身体の支持と運動：骨の形態と筋肉	人体の骨格とそれを構成する骨および筋肉について総合的に学習する。学生は人体の全体図を見て、各部位の骨と筋肉についてイメージできるように予習する。復習は授業で示した主な骨、筋肉とそれらを結びつける靭帯について説明できることを目標として行う。	浅見　直
2	身体の支持と運動：上下肢の骨格と筋	上肢と下肢の長管骨を中心として学習する。また筋肉の進展や屈曲の意味についても学習する。学生は上下肢の骨と関節の名称について予習する。復習はこれら総合的に結び付け、伸展と屈曲に際して働く関節と筋肉について説明できることを目標として行う。	浅見　直
3	情報の受容と処理：神経系の構造と機能	ヒトの中枢神経の構造と、中枢から末梢までの神経伝達について学習する。学生は大脳、脊髄の構造を理解できるように予習しておく。復習は大脳、脊髄、末梢神経の興奮伝達について図をまじえて説明できることを目標として行う。	浅見　直
4	情報の受容と処理：脊髄の構造と機能	脊髄の全体構造と断面より、神経伝道路について学習する。学生は脊髄の全体図と断面図をみて、各部の名称を予習する。復習は学生は大脳運動量から発せられた興奮が末梢の筋肉までどのようにして伝わっていくのか図示できることを目標として行う。	浅見　直
5	身体機能の防御と適応：皮膚の構造と機能、代謝と運動	防御機構としての皮膚とその構造、機能などについて学習する。学生は皮膚の表面図と断面図を理解し、各部の名称を予習する。復習は皮膚のどの髄がどのようにして生体防御するのか、図も交えて説明できることを目標として行う。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	人体の構造と機能III	授業科目番号	2208030
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感覚器（眼、耳、内耳など）	眼、耳、内耳などの構造、機能などについて学習する。学生はこれらの解剖図を理解し、各部の名称を予習する。	浅見　直
7	生殖と発生のメカニズム：男性と女性の生殖器(１)、月経周期	男性と女性の生殖器の構造について学習する。学生は男性と女性生殖器の外観と内部構造、さらに精巣と卵巣を予習しておく。復習は精子と卵子がどのようにして成熟していくのか、説明できることを目標として行う。	浅見　直
8	生殖と発生のメカニズム：男性と女性の生殖器(２)、内胚葉、中胚葉、外肺葉および振り返り。	男性と女性の生殖器について機能について学習する。学生は男性と女性生殖器の機能と発生における胚葉を予習しておく。復習はヒトの妊娠、着床、発生などを説明できることを目標として行う。	浅見　直
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	栄養学			授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊　令子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，〇2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，〇2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

栄養素とその働き、食物の摂取と消化吸収を学び、生命現象の意義について生化学的側面からとらえ、生体内のエネルギー獲得の仕組みと生体の恒常性の維持に関連して、糖質・たんぱく質・脂質などの代謝を学ぶ。また、栄養評価や、栄養指導、保健指導などの方法を学ぶ。さらに、ライフステージ別の栄養摂取課題、健康づくりについて学ぶ。看護職として臨床や地域の現場で栄養管理や栄養指導ができるための基礎的知識を得るための科目である。

《授業の到達目標》

1．生体と食べ物との関係を専門用語を用いて説明できる。
2．エネルギー産生栄養素と微量栄養素の栄養学的機能について説明できる。
3．健康の保持・増進や疾病・障害の予防に対する栄養の関わりについて説明できる。
4．ライフステージ別ならびに主な疾病に対する栄養管理の基本について理解する。

《評価の方法》

学習態度（意欲、積極性）：10%、小テスト：20%、定期試験：70%

《テキスト》

『系統看護学講座　人体の構造と機能[3]　栄養学 』（小野章史 他著　医学書院　2020年）

《参考図書》

『栄養科学イラストレイテッド　基礎栄養学（第4版）』（田地陽一編　羊土社　2020年）
『健康・栄養科学シリーズ　応用栄養学（改訂第7版）』（渡邊令子 他編　南江堂　2020年）

《履修上の留意点》

・配布プリントはファイルに綴じて、授業時に持参すること。
・毎回の講義終了後、講義内容について必ず復習を行うこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	栄養学とは （栄養、栄養素、食べ物、食品、食事）	ガイダンス（復習や小テスト等について） 栄養の概念について理解を深めたうえで、保健医療や看護からみた食事や栄養補給の意義について学習する。 （予習）テキストp2～8を読む。 （復習）テキスト第1章を参照して、配布プリントを読み返す。	渡邊　令子
2	栄養管理（ケア・マネジメント）とは （栄養アセスメント、栄養診断、栄養ケアプラン、モニタリング）	健康・栄養状態の評価（栄養アセスメント）・判定の方法、それに基づいた栄養ケア計画、実施、モニタリングと評価という栄養管理の基本について学習する。 （復習）テキスト第6・7章の関連頁を参照し、配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
3	食べ物と摂食行動 （食品群と栄養素、生体リズムと食物の摂食調節）	食品には各種栄養素や水分の他に多種多様な成分が含まれ、調理加工したものを食事として経口摂取している。「なぜ、規則正しい食事が健康増進や肥満および生活習慣病予防に重要なのか」について理解する。 （復習）食品群と栄養素については、テキストp98～110を読む。	渡邊　令子
4	食べ物（栄養素）の消化・吸収 （消化酵素、管腔内消化と膜消化、栄養素の吸収機構、腸内細菌叢）	管腔内消化と膜消化・吸収の2つのステージからなる消化・吸収過程の概要、さらに栄養素別の消化・吸収過程について学習する。 （復習）テキストp46～58を参照し、配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
5	エネルギー産生栄養素の体内代謝（Ⅰ） 炭水化物（糖質と食物繊維）	糖質と食物繊維の栄養生理機能について学習し、特にグルコースからのエネルギー産生機構と血糖調節の重要性を理解する。今回以降の講義では、必要に応じて日本人の食事摂取基準（2020年版）についても学習する。 （復習）配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	栄養学	授業科目番号	2208040
担当者氏名	渡邊　令子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	エネルギー産生栄養素の体内代謝（Ⅱ） 脂質・脂肪酸、リポたんぱく質	水に不溶性の栄養素である脂質と脂肪酸の種類について学習し、脂質の臓器間輸送の役割を担っているリポたんぱく質や、エネルギー源としての脂肪酸の代謝について理解する。 （復習）配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
7	エネルギー産生栄養素の体内代謝（Ⅲ） たんぱく質・アミノ酸	たんぱく質は生命現象の中心となる役割を担っている栄養素であることを理解し、構成アミノ酸の特徴やたんぱく質・アミノ酸の体内代謝（臓器差、食後と食間の相違）の概要、摂取たんぱく質の栄養価等について学習する。 （復習）配布プリントを読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
8	ビタミン・ミネラルの生理機能と代謝 （欠乏症、過剰症）	体内代謝や生理機能の調節物質としての微量栄養素に関して、ビタミン（13種類）とミネラル（13種類）の各栄養素の生理機能と欠乏症や過剰症について、学習する。 （復習）配布プリントとテキストp27～40を読み返して要点をまとめる。	渡邊　令子
9	エネルギー代謝 （エネルギー産生栄養素の生理的燃焼値、基礎代謝、安静時代謝、活動代謝）	エネルギーと水の供給は第一に優先される。エネルギー摂取量とエネルギー消費量の収支が釣り合えば体重変動はみられない。エネルギー代謝の重要性について学習する。 （復習）テキストｐ82～89を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
10	ライフステージと栄養（Ⅰ） 妊娠期・授乳期、乳児期	母性栄養は胎児栄養を含むという特殊性、乳児期は乳汁栄養から離乳食移行への必要性があることを理解し、各時期の栄養ケアの重要性について学習する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp168～p172、p152～156を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
11	ライフステージと栄養（Ⅱ） 幼児期、学童期、思春期	幼児期及び学童期の生理的特徴と栄養ケアのあり方を学習する。また、学童期の後半から始まる第2発育急進期の特徴と栄養学的課題について学習する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp157～164を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
12	ライフステージと栄養（Ⅲ） 成人期、高齢期	成人期、高齢期とも非常に年齢幅が広いので、疾病や健康障害における栄養学的課題も栄養ケアのあり方も多種多様であることを理解する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp165～168、p173～186を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
13	疾病と栄養（Ⅰ） 栄養補給法、病院食	傷病者の病態や栄養状態は、当然のことながら一人ひとり異なる。医療現場では、看護師も臨床栄養の基本を理解しておくことが必要である。栄養補給法、病院食など基本について学習する。 （復習）配布プリントを読み返し、テキストp188～199を読んで要点をまとめる。	渡邊　令子
14	疾病と栄養（Ⅱ） 代表的な疾患別食事療法	肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病の食事療法の基本、および消化器疾患の栄養療法の基本について学習する。 （復習）テキスト第9章の講義内容に関連した頁を読む。	渡邊　令子
15	疾病と栄養（Ⅲ） 代表的な疾患別食事療法、低栄養や咀嚼・嚥下障害への対応	腎臓病、肝疾患の栄養療法の基本、低栄養や咀嚼・嚥下障害への対応などについて、学習する。 （復習）テキスト第9章の講義内容に関連した頁を読む。	渡邊　令子

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	病理病態学			授業科目番号	2209070
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰など及び疾病の起こるメカニズムについて学ぶ。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍、過形成、先天異常、代謝などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。解剖学、組織学、生化学、生理学、免疫学など他の学問領域と関連させながら学ぶ。

《授業の到達目標》

様々な病変の原因、成り立ち、経過、転帰などについて臓器組織の差を超えて共通にみられる現象をとらえ、総合的な視点から説明できる。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍・過形成、先天異常、代謝異常などについて、これらの病変が身体所見としてどのように発現するか具体的に説明でき、かつその疾病の診断、治療に必要な事項を説明できる。

《評価の方法》

８回の授業終了した後の定期試験成績100%により、評価する。

《テキスト》

『系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[2] 病態生理学』（田中越郎著　医学書院　2016年）

《参考図書》

『看護につなげる病態生理』（齋藤宣彦著　照林社　2016年）

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参すること。私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	先天異常、代謝障害、炎症、循環、腫瘍	病気の原因は先天性と後天性の二つに分けられる。先ず先天異常として染色体異常、遺伝子異常とこれによって起る代謝障害について学習する。また後天性に起る病気として感染症、癌、白血病、炎症性変化など具体的疾患について学習する。またこれらの症状や治療法などを学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
2	発熱、免疫反応、自己寛容	発熱経過による分類を学習し、炎症の経過の違いを学習する。また免疫反応の基になる免疫グロブリンの種類と働き、および免疫担当細胞の種類と働きを学習する。またこれらの過剰反応によるアレルギーや自己免疫疾患などの症状や治療法などを学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
3	体液組成、脱水、電解質の種類、電解質異常	生物の体を形作る最も基本的な体液について、その種類と組成を学ぶ。さらにその異常としての脱水、水分過剰、浮腫などの発生メカニズムを学習する。また体液のｐＨについて正常値とその変動によるアシドーシスとアルカローシスについて学習し、それらの異常における症状、徴候、及び治療法を学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
4	造血、貧血、エリスロポエチン、白血球、出血傾向	造血組織である骨髄の構造と血球分化の仕組みを学び、これらの異常によって起こる貧血や出血傾向などの症状と対処方法を学習する。またこれらの細胞が自律的増殖をする白血病などを学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
5	循環異常、虚血性心疾患、不整脈	冠状動脈の虚血によって起こる狭心症や心筋梗塞について、その発症メカニズムと症状や検査所見及び治療方法などを学習する。また刺激伝道系の乱れによって起こる不整脈とその種類症状、対処方法などを学習し、心臓機能の低下した心不全について左心不全、右心不全の特徴などを学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	病理病態学	授業科目番号	2209070
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	肺機能、呼吸困難、拘束性肺疾患、COPD、閉塞性肺疾患、肺炎、気管支炎	肺の基本的な機能について復習し、その異常について学習する。また感染症が重症化しやすい呼吸器疾患と原因、症状、治療法を学習する。さらに肺機能拘束的に障害するCOPDや、閉塞的に障害する肺線維症などを学習し、最も一般的な疾患である気管支炎や肺炎などについてその病原体や治療方法を学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
7	消化器、潰瘍、ダンピング症候群	消化器疾患について消化管、肝臓、膵臓、小腸、大腸などの部位ごとに学習する。また近年問題となっている誤嚥とこれによって起こる肺炎などのメカニズムについて、その予防方法などを含めて学ぶ。また最も多い症状である腹痛とそれを起こす疾患について付随症状と診断法について学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
8	腎臓、糸球体、尿細管、ホルモン、レニンアンギオテンシンアルドステロン系	人体の体液調節で最も重要な腎臓について復習し、さらに様々なホルモンとの関係について学習する。これらが破綻した場合の腎不全や酸塩基平衡障害について学習する。また炎症性疾患としての様々な糸球体腎炎についてその発症メカニズムと治療を学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護援助論			授業科目番号	2311020
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護独自の援助を行うために、看護理論を活用し、看護を科学的に進める思考過程である看護過程を学ぶ。看護過程は看護を効果的に実践する方法論の一つであり、対象者のニードを満たす援助を行うための考える力と基本姿勢を養う。
（倉島幸子/8回）　1．看護理論と看護過程の関係を理解する　2．看護過程の構成要素を理解する　3．情報収集の枠組みとその実際　4．全体像の描き方とアセスメント　5．看護上の問題と援助を実践するための看護計画
（大橋洋子、大﨑美奈子/7回）事例を用いた看護過程の演習　・事例提示・グループワークのオリエンテーション　・看護過程の演習をグループワークで行う　・各グループで立案した看護計画を発表し質疑応答を行う

《授業の到達目標》

1．看護過程の意義・目的、看護理論との関係を説明できる。 2．看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程・クリティカルシンキング)を説明できる。 3．看護過程の構成要素を挙げることができる。 4．情報収集の枠組みを用いた全体像の描き方を記述できる。 5．情報の整理と分析によってアセスメントすることが判断できる。 6．看護上の問題と看護診断の意義・目的を理解できる。 7．事例に対する看護計画を立案できる。 8．グループで立案した看護計画を発表し共有できる。

《評価の方法》

定期試験50%、看護過程演習50%（事前学習準備、グループワークの取り組み、看護過程記録物）

《テキスト》

『看護学矛盾論（第2版）』（三瓶眞貴子著　金芳堂　2012年）
『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学(2)　基礎看護技術Ⅰ』（松尾 ミヨ子 他編　メディカ出版　2022年）

《参考図書》

『実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド』（任和子編著　照林社　2015年）
『看護診断ハンドブック（第11版）』（リンダJ.カルペニート著／黒江ゆり子監訳　医学書院　2018年）

《履修上の留意点》

各回は看護過程の構成要素順に進めていきます。事例への看護過程展開は記録により確認します。演習の時間内で記録が整理できない場合は自己学習しグループワークが効果的に進むよう準備してください。

《備考》

グループワークに主体的に参加しながら進める。またお互いを尊重してチームで協働する意義を学ぶ機会となることを望む。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護を実践するための思考プロセス 看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係 （看護実践、看護過程、看護理論）	ガイダンス 看護過程とは何か 看護の定義を復習し看護を実践するための思考を導くプロセスであることを理解する。 看護過程の意義・目的、看護理論との関係について理解する。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
2	問題解決過程思考 クリティカルシンキング （問題解決思考、批判的思考）	看護過程の基盤となる考え方を理解する。　1）問題解決過程とは何か。身近な例を用い日常的に行われていることを理解する。　2）クリティカルシンキングとは何か。 論理的な探求や推論に関する知識が必要であり、因果関係を考える熟慮思考であることを理解する。　（予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
3	看護過程の構成要素 （アセスメント、看護上の問題、看護計画、看護の実施、看護の評価）	看護過程の構成要素 １．アセスメント　２．看護診断（看護上の問題）　３．看護計画　４．実施　５．評価 （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
4	全体像の描き方 アセスメント （全体像、情報収集と分析、主観的データ・客観的データ）	アセスメントと全体像の描き方 枠組みを用いた情報収集、データ収集の手段 データの種類（主観的データ・客観的データ） データ分析の方法 （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
5	看護問題の明確化 （看護診断） 共同問題 （看護上の問題、看護診断の定義、診断指標、関連因子、看護の方向性）	看護上の問題（看護診断）とは 看護師が責任をもって対処できる健康上の問題 看護上の問題は対象の健康上の問題、問題を解決するための援助の方向 共同問題とは （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護援助論	授業科目番号	2311020
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護計画 （期待される成果、看護計画の立案、実施、評価）	計画とは、目標を挙げて解決策（具体的な援助方法）を立案すること 看護問題の優先順位を決定 看護目標（期待される結果）を示す。達成可能であること。 援助内容の決定（OP：観察計画　CP:看護ケア　EP:指導計画） （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
7	実施 （看護援助）	計画を実際の行動に移すこと （予習）事前に提示された課題に取り組む。 （復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
8	評価 看護過程の各段階へのフィードバック （援助の評価）	評価とは実施の結果をアセスメントすることで看護目標の達成度をみること。　必要時各構成要素の段階にフィードバックを行う。 看護過程を使う意義・目的は、質の高い看護の提供ができ個別性のあるケアの提供が可能となる。 （予習）事前に提示された課題に取り組む　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	倉島　幸子
9	看護過程演習①	看護過程演習のガイダンス 事例展開に必要な基礎知識、グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
10	看護過程演習②	事例を用いた看護過程の実際について学習（情報の整理） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
11	看護過程演習③	事例を用いた看護過程の実際について学習（アセスメント） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
12	看護過程演習④	事例を用いた看護過程の実際について学習（アセスメント・全体像） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
13	看護過程演習⑤	事例を用いた看護過程の実際について学習〈看護問題の明確化（看護診断）〉 グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
14	看護過程演習⑥	事例を用いた看護過程の実際について学習（看護計画）（実施）（評価） グループワーク （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）何が分かったか自分の頭の中を整理しておこう。	大橋　洋子 大﨑美奈子
15	グループ発表	各グループの学習した内容の発表、まとめ （予習）事前に提示された課題に取り組む。　（復習）事例を用いた看護過程について記録にまとめる。	大橋　洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅱ			授業科目番号	2311040
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

ヘルスアセスメントの意義を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術を学ぶ。シミュレーターを活用し臨床判断能力と自ら学ぶ力が育つように進め、さらに看護技術について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。また、健康障害があり自然な排泄・栄養摂取ができない場合や医療的処置を必要とする看護技術として、導尿・浣腸・ストーマ、経管栄養法・経静脈栄養について基礎看護技術演習Ⅰの内容と関連させながら進める。

《授業の到達目標》

1．看護技術を身に着けるために必要な態度、学習方法を自ら考えて行動できる　2．ヘルスアセスメントの目的、看護の役割を説明できる。　３．系統的なフィジカルアセスメントの基本的技術を理解し、正確かつ安全・安楽に実施できる。4．健康障害にある人に対する排泄の援助技術（導尿、浣腸）、栄養摂取への援助（経管栄養法、高カロリー、輸液など）について理解する。

《評価の方法》

定期試験60%、技術確認20%、提出記録物20%

《テキスト》

1．『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学(2)　基礎看護技術Ⅰ』（松尾 ミヨ子 他編　メディカ出版　2022年）
2．『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学(3)　基礎看護技術Ⅱ』（松尾ミヨ子 他編　メディカ出版　2022年）
3．『写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント　アドバンス』（守田美奈子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

1．『看護がみえるvol.1 基礎看護技術』（Medic Media）
2．『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ』（医学書院）　3．『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅱ』（医学書院）

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確に理解できるようにする。復習としてテキスト、講義資料、参考書を用い学習内容を整理し確実な知識にする。
・実践可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス ヘルスアセスメント	・科目ガイダンス（授業計画と評価） ヘルスアセスメントに必要な技術 ヘルスアセスメントとは何か、バイタルサインとは（講義）	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
2	ヘルスアセスメント （バイタルサイン）	バイタルサインとは（演習） ＜予習＞ヘルスアセスメント ＜復習＞バイタルサイン	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
3	フィジカルアセスメント （バイタルサイン測定）	バイタルサイン測定の方法と実際（演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
4	フィジカルアセスメント （呼吸器系）	呼吸器系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
5	フィジカルアセスメント （心臓・血管系）	心臓・血管系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅱ	授業科目番号	2311040
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	フィジカルアセスメント （腹部　消化器系）	腹部のアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
7	フィジカルアセスメント （筋・骨格系および神経系）	筋・骨格系および神経系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
8	フィジカルアセスメント （頭頸部・感覚器系）	頭頸部・感覚器・リンパ系のフィジカルアセスメント（講義・演習） ＜予習＞事前に提示された課題 ＜復習＞演習の振り返りと技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
9	感染を予防する技術	感染を予防する技術 感染予防の基礎知識　　感染経路別予防策、洗浄・消毒・滅菌、感染性廃棄物の取り扱い　（講義） 滅菌手袋装着、ガウン着脱、滅菌物の取り扱い（演習） ＜予習・復習＞事前に提示された課題に取り組む　技術セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
10	排泄障害のある人への援助 （導尿）	排泄障害のある人への援助　（導尿・浣腸）（講義・演習） ＜予習・復習＞事前に提示された課題に取り組む　　セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
11	排泄障害のある人への援助 （導尿・浣腸）	排泄障害のある人への援助　（導尿・浣腸）（演習） ＜予習・復習＞事前に提示さえた課題に取り組む　セルフトレーニング	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
12	排泄障害のある人への援助 （浣腸） 健康障害のある人への栄養摂取への援助	排泄障害のある人への援助　（浣腸）（演習） 健康障害のある人への栄養摂取への援助（経管栄養法、高カロリー輸液） ＜予習・復習＞事前に提示さえた課題に取り組む	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
13	まとめ	アクティブラーニング ＜予習・復習＞事前に提示された課題に取り組む	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
14	技術確認	基礎看護技術演習Ⅱで実施した中から選び、習得できた技術を確認する。	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子
15	技術確認	基礎看護技術演習Ⅱで実施した中から選び、習得できた技術を確認する。	大橋　洋子 倉島　幸子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護学概論			授業科目番号	2313060
担当者氏名	平澤　則子、飯吉　令枝、小山　歌子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	1年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○3-2 多職種と連携・協働する力，◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。
（飯吉令枝/5回）導入の講義を行う。
（小山歌子/5回）公的ヘルスケアサービスに関する講義を行う。
（平澤則子/5回）具体的な公衆衛生看護活動についての講義を行う。

《授業の到達目標》

1．公衆衛生看護の理念と基盤となる概念を説明できる。
2．公衆衛生看護の対象・場と健康課題について説明できる。
3．公衆衛生看護活動について地域診断のプロセスについて説明できる。
4．公衆衛生看護がヘルスサービスの中でどのように機能するのかを考察できる。

《評価の方法》

定期試験80%(期末試験として、目標到達度を最終的に評価する)、課題10%、学習態度10%（毎回のコメントシート、グループワークの参加状況をもとに評価する）

《テキスト》

『標準保健師講座[1] 公衆衛生看護学概論』（標美奈子 他著　医学書院　2022年）

《参考図書》

『最新　公衆衛生看護学　第3版　総論』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2021年）
その他適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

自分の日常生活を通して、地域にどんな人々が暮らしているのか、どんな健康問題があるのか、それらの健康問題がどのように解決されているのかについて関心を持ちながら主体的に参加されることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　　保健師だけでなく、看護師を目指す学生も選択を推奨します。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	地域看護と公衆衛生看護の理念 （地域看護、公衆衛生看護の定義・活動目標）	ガイダンス 地域看護と公衆衛生看護の理念を学ぶ。 （予習）地域包括ケア論で学習した内容を復習しておく。 （復習）公衆衛生看護の定義・活動目標を整理する。 （課題）公衆衛生看護の基盤となる概念（1つ）について調べる。	飯吉　令枝
2	公衆衛生看護の歴史的背景 （保健師活動、歴史）	公衆衛生看護の歴史と保健福祉制度における保健師の位置づけを学ぶ。 公衆衛生看護の基盤となる概念について学ぶ。 （予習）保健医療福祉行政論のテキストで、日本の保健医療福祉施策の変遷について調べる。 （復習）保健師活動と社会の要請や住民の生活実態の変化と結びつけて整理する。自分が調べた概念以外について、資料をもとに理解を深める。	飯吉　令枝
3	公衆衛生看護の基盤となる概念（ﾌﾟﾗｲﾏﾘｰﾍﾙｽｹｱ・ﾍﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝなど） 公衆衛生看護の対象①（ライフステージ・個人・家族・集団・組織）	ライフステージ、健康レベル、地域特性に応じた公衆衛生看護活動について学ぶ。 （予習）自分の住んでいる市町村の保健センター、保健所がどこにあるか、市町村の広報の保健に関する情報にはどのようなものがあるか調べる。 （復習）公衆衛生看護のさまざまな対象とその特徴について整理する。	飯吉　令枝
4	公衆衛生看護の対象② （個人・家族・集団・組織） 地域のアセスメント (地域特性、健康上の課題)	公衆衛生看護活動における個人、家族、集団、組織の特性を学ぶ。 人々が暮らす「地域の特性」と地域で暮らす人々の「健康課題」のアセスメントについて学ぶ。 （復習）テキストp110～116を読む。 （課題）自分の住んでいる地域の特性と健康上の課題について調べ、まとめる。	飯吉　令枝
5	公衆衛生看護活動の場 （看護職の就業場所・保健福祉行政機関で活動する看護職）	公衆衛生看護活動の場とそれぞれの場で活動する保健師の実際活動について、各自が課題を持ちよりグループ討議・発表を行う。 （事前学習）公衆衛生看護活動の場を1つ選び、実際活動について調べる。 （事後学習）自分が調べた公衆衛生看護活動の場や実際活動以外について、理解を深める。	小山　歌子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護学概論	授業科目番号	2313060
担当者氏名	平澤　則子、飯吉　令枝、小山　歌子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	公衆衛生看護活動の場 （保健福祉行政機関で活動する看護職）	行政の場で活動する保健師の活動の特徴を理解する。 （事前学習）教科書の該当ページを読む。 （事後学習）自分の住んでいる市町村の健康増進計画にどのようなことが書かれているか調べる。	小山　歌子
7	公衆衛生看護活動の場 （事業所、学校で活動する看護職）	事業所、学校で活動する保健師の活動の特徴を理解する。 （事前学習）教科書の該当ページを読む。 （事後学習）講義資料やDVD視聴の内容を整理し理解を深める。	小山　歌子
8	公衆衛生看護活動の場 （訪問看護ステーション、在宅介護支援センターや地域包括支援センター）	訪問看護ステーション、在宅介護支援センターおよび地域包括支援センターで活動する看護職の活動の特徴を理解する。 （事前学習）教科書の該当ページを読む。 （事後学習）講義資料やDVD視聴の内容を整理し理解を深める。	小山　歌子
9	ヘルスケアシステムが円滑に機能するための看護職の役割	ヘルスケアシステムが円滑に機能するための看護職の役割を理解する。 （事前学習）健康危機管理の対象分野と保健師の役割の各々1つについて、各自が課題を持ちよりグループ討議・発表を行う。 （事後学習）自分が調べた健康危機管理の対象分野と保健師の役割以外について、理解を深める。	小山　歌子
10	地域のアセスメント (地域の特性、健康上の課題)	グループワーク：各自が住んでいる地域について、調べた地域の特性と 健康上の課題について発表を行う。 (予習）4回目で出された課題をまとめ、持参する。 (復習）公衆衛生看護の対象と活動の特徴について整理する。	飯吉　令枝
11	保健指導に関する理論 （セルフケア不足理論　ヘルスリティラシー理論）	公衆衛生看護活動の基盤となる保健指導の考え方を理解する。 （予習）テキストp24-30、p102～103を読み、公衆衛生看護の対象と保健指導について確認する。 （復習）保健指導の考え方を理解する。 （課題）理論を活用して、自分の食生活の問題を解決する方法を考える。	平澤　則子
12	公衆衛生看護の活動方法 （家庭訪問　健康相談　地区組織活動）	公衆衛生看護の方法としての家庭訪問、健康相談、健康教育、地区組織活動を理解する。 （予習）自分の住んでいる市町村の保健センター、保健所が行っている家庭訪問や健康相談などの活動を調べる。 （復習）テキストp100～107を読む。保健指導としての家庭訪問と健康相談の違いを整理する。	平澤　則子
13	公衆衛生看護の展開方法 （地区診断　地区活動計画）	公衆衛生看護の展開方法としての地区診断と地区活動計画を理解する。 （予習）自分の住んでいる市町村における食育に関する施策を調べる。 （復習）テキストp110～107を読む。配布資料により健康課題と問題解決方法を考える。	平澤　則子
14	公衆衛生看護の活動方法 （地域ケアシステム　健康な地域づくり　施策化）	食育に関する地域診断を行い、地区活動計画を立案する。地域ケアシステムづくり、健康な地域づくりと施策化について理解する。 （予習）テキストp128～144を読み、食育に関する地区活動計画を考える。 （復習）テキストp146～r164を読み、保健医療福祉における事業化と施策化について考え方を整理する。	平澤　則子
15	公衆衛生看護の倫理 （看護者の倫理綱領　公衆衛生の倫理　法と制度　公衆衛生看護の実践における課題4ステップモデル）	公衆衛生看護活動の基盤となる倫理と倫理的実践における原則を理解する。 （予習）テキストp18～22を読み、公衆衛生看護における倫理について考える。 （復習）配布資料の事例2について、4ステップモデルを活用して倫理的課題の解決策を考える。	平澤　則子

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅡ			授業科目番号	1104020
担当者氏名	田邊　要補			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働き甲斐、生き甲斐を自ら見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴を理解する。それぞれの場で活躍している看護職を講師として、シリーズで講義を行う。具体的には、臨床の場、在宅の場、地域の場、福祉の場、行政の場、教育の場、その他出版社などの場で活躍する看護職から、それぞれの仕事の特徴、やり甲斐などの具体的なことの講義を受ける。さらに、講義を通して、職業人として必要なマナーに関する基礎的な知識も習得する。

《授業の到達目標》

1．その人の歩んできた道について思いをはせ、表現することができる。
2．様々な看護の場やそれぞれの特徴を説明することができる。
3．専門職業人として必要な要素を説明することができる。
4．看護の道を歩んでいく上での、いろいろな可能性について具体的に述べることができる。

《評価の方法》

課題（第1回）　15%、レポート 40%、毎回のコメントシート 35%（第2回~ 第8回）、授業参加度 10%

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《履修上の留意点》

キャリアデザインⅡは、1年次のキャリアデザインⅠから4年次のキャリアデザインⅢへと続く中間にあたる科目である。看護職としてのキャリア形成のためにも、連続して受講することが望ましい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護職を通しての様々な道 （多様な場）	様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴を理解する。 （予習）自分のなりたい看護職について調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
2	長岡西病院看護部長 （臨床）	臨床の場である、病院および病院の看護部長としての役割りを理解する。 看護部長として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）病院および看護部長の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
3	長岡保健所保健師 （行政）	行政の場である、保健所および保健所の保健師としての役割りを理解する。 保健師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）保健所および保健師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
4	開業助産師 （助産師）	助産師、開業助産師および開業助産師としての役割りを理解する。 開業助産師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）助産師、開業助産師および開業助産師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
5	柏崎市教育委員会学校教育課 （養護教諭）	教育の場である、養護教諭および養護教諭としての役割りを理解する。 養護教諭として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）養護教諭および養護教諭の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインⅡ	授業科目番号	1104020
担当者氏名	田邊　要補		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	こぶし訪問看護ステーション看護師 （在宅）	在宅の場である、訪問看護ステーションおよび訪問看護ステーションの管理者としての役割りを理解する。 訪問看護師として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）訪問看護ステーションおよび訪問看護師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
7	長岡療育園看護師 （施設）	施設の場のひとつである、重症心身障害児施設および重症心身障害児施設の看護係長としての役割りを理解する。 看護係長として、仕事上心がけていることを理解する。 （予習）重症心身障害児施設および重症心身障害児施設の看護師の役割りについて各自で調べてくる。 （復習）授業中に学んだ内容を整理する。	田邊　要補
8	大学教員 専門職業人としての必要な要素 （教育、心構え）	教育の場である、大学教員および大学教員としての役割りを理解する。 専門職業人として、どういうことを身に付けておかなければならないのかについて理解する。 （予習）第1回から第7回までの講義内容を振り返る。 （復習）話し合った内容を振り返り、自分なりに専門職業人として必要な要素をまとめる。	田邊　要補
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	感染免疫学			授業科目番号	2209010
担当者氏名	笠井　大輔			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

微生物が引き起こす感染症発症のメカニズム、症状、伝播、生体防御機構について理解する。また、人間の防御機能の障害が起こす現象や、感染症と人間社会の関係、感染予防対策などを理解する。各論においては、細菌、真菌、原虫・寄生虫学、ウイルス等の形態、病原性、疫学、臨床症状、治療及び予防対策について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．微生物の種類と性質について説明できる。　2．感染に対する生態の防御機構、予防について説明できる。　3．感染症の検査、診断、治療について説明できる。　4．感染症の現状と対策について説明できる。　5．主な病原微生物とその感染症について説明できる。

《評価の方法》

授業態度10%　授業中の発言、態度をもとに評価する。
定期試験90%

《テキスト》

『感染制御の基本がわかる　微生物学・免疫学』（増澤俊幸著　羊土社　2020年）

《参考図書》

『系統看護学講座　疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学』（南嶋洋一他著　医学書院　2022年）
『練成ゼミ　7．微生物学』（看護師国試対策委員会監修　メディカルレビュー社　2005年）

《履修上の留意点》

感染症に対する正しい対応を理解するために、微生物の種類や特性、生理学的性質に関する知識を習得する。さらに感染に対する生態の防御機構や治療に関する理解を深めることを希望する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	微生物学の基礎 微生物の種類と特徴	テキスト第１章と第２章を中心に、微生物の種類や特徴、近代微生物学に関する理解を深める。 （予習）テキスト第１章と第２章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
2	微生物学の基礎 微生物の種類と特徴	テキスト第１章と第２章を中心に、微生物の種類や特徴、近代微生物学に関する理解を深める。 （予習）テキスト第１章と第２章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
3	感染と感染症、感染の機構	テキスト第３章を中心に、感染源や感染の成立過程、感染経路を含む感染機構についての理解を深める。 （予習）テキスト第３章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
4	感染に対する生態防御機構 自然免疫と獲得免疫のしくみ	テキスト第４章を中心に、感染に対する生態防御機構、特に自然免疫と獲得免疫のしくみについて理解を深める。 （予習）テキスト第４章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
5	感染に対する生態防御機構 粘膜免疫のしくみと感染の徴候と症状	テキスト第４章を中心に、感染に対する生態防御機構、特に抗原特異的免疫、粘膜免疫のしくみについて理解を深める。 （予習）テキスト第４章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔

《専門教育科目　専門基礎科目　人体の構造と機能》

科目名	感染免疫学	授業科目番号	2209010
担当者氏名	笠井　大輔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感染症の制御 各種法令とワクチン	テキスト第５章を中心に、感染症に対する各種法令と感染症予防に必要なワクチン接種に関する知識を深める。 （予習）テキスト第５章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
7	感染症の制御 滅菌と消毒	テキスト第５章を中心に、感染症予防のための滅菌や消毒に関する理解を深める。 （予習）テキスト第５章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
8	化学療法と耐性菌 抗菌薬、抗ウイルス薬による感染症の治療	テキスト第６章を中心に、感染症の治療に用いられる代表的な抗菌薬、抗ウイルス薬等を含む化学療法に関する理解を深める。 （予習）テキスト第６章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
9	化学療法と耐性菌 薬剤耐性菌とその対策	テキスト第６章を中心に、代表的薬剤耐性菌の性質や特徴について理解を深める。 （予習）テキスト第６章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
10	感染症の検査・診断・治療	テキストの第10章を中心に病原体の検出や生体反応からの診断に関する各種手法についての理解を深める。 （予習）テキストP156～P169を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
11	感染症の治療、感染症の現状と対策	テキストの第11章と第12章を中心に感染症の治療、感染症の現状と対策に関する理解を深める。 （予習）テキストP170～P217を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
12	細菌学各論	テキスト第７章を中心に細菌感染症に関する主要な点を各論を通して学び、それらの特徴を理解する。 （予習）テキスト第７章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
13	ウイルス学各論	テキスト第８章を中心にウイルス感染症に関する主要な点を各論を通して学び、それらの特徴を理解する。 （予習）テキスト第８章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
14	真菌学・原虫学各論	テキスト第９章と第10章を中心に真菌感染症ならびに原虫感染症に関する主要な点をそれらの各論を通して学び、特徴を理解する。 （予習）テキスト第９章と第10章を読む。 （復習）テキスト並びに授業配布資料を読み返す。	笠井　大輔
15	まとめ	授業全体について振り返り、内容をまとめる。	笠井　大輔

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	薬理学			授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合　絵里			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。

《授業の到達目標》

薬物の体内動態を知り、主な疾患の代表的な薬剤の作用、副作用を理解する。薬剤の有害事象と適正使用が分かる。

《評価の方法》

定期試験90%　学習態度10%

《テキスト》

『はじめの一歩の薬理学（第2版）』（石井邦雄、坂本謙司著　羊土社　2020年）
『今日の治療薬　2022　解説と便覧』（島田和幸 他編　編集　南江堂　2022年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

解剖生理学・生化学が基礎となります。これらの授業、教科書等を参考にしてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	薬理学総論(薬が効くしくみ)	テキスト第1章　薬理学の基本・薬はどのように作用するのか・薬の作用の解析	佐合　絵里
2	循環器系に作用する薬（循環器の疾患・治療薬の種類）	テキスト第5章　心臓の構造と機能・血管系の構造と機能・循環系の疾患と治療薬	佐合　絵里
3	消化器系・呼吸器系に作用する薬物（機能と疾患・治療薬の種類）	テキスト第6章　消化器系の機能・疾患と治療薬　第7章　呼吸器系の機能・疾患と治療薬	佐合　絵里
4	腎臓・血液に作用する薬物（腎臓の機能と疾患・治療薬の種類、血液への作用のしくみ）	テキスト第8章　利尿薬と泌尿器・生殖器に作用する薬　第9章　血液に作用する薬	佐合　絵里
5	代謝性疾患治療薬・抗炎症薬・抗アレルギー薬（糖尿病、脂質異常症のしくみと治療薬・炎症のしくみと治療薬）	テキスト第10章　代謝性疾患とその治療薬　第11章　抗炎症薬・抗リウマチ薬・抗アレルギー薬	佐合　絵里

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	薬理学	授業科目番号	2209080
担当者氏名	佐合　絵里		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感染症治療薬・抗癌薬（菌を殺す薬のしくみ・適正使用、抗癌剤のメカニズム）	テキスト第13章　感染症治療薬　第14章抗癌薬	佐合　絵里
7	中枢神経系に作用する薬物（中枢神経系疾患・薬が効くしくみ）	テキスト4章　中枢神経系に作用する薬	佐合　絵里
8	まとめ(患者と薬の関わり・高齢者の薬の効き方)	資料プリントを使用　多職種チームによる服薬指導の重要性・高齢者とポリファーマシーの関係	佐合　絵里
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)			授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤　正洋			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。
ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。

《授業の到達目標》

循環器疾患に関する病態、検査、診断、治療法を正しく理解し、述べることができる。
循環器疾患に関する正しい情報を、医療関係者ではない人が理解できるように説明することができる。
将来医療関係者となる時のために、疾患に関する疑問点を自ら調べる方法、考える習慣を身につけ、実践することができる。

《評価の方法》

定期試験90%、学習態度10%で評価する。

《テキスト》

スライド等を使用する。

《参考図書》

『病気がみえる vol.2 循環器』（鶴田ひかる 他監修　Medic Media　2021年）

《履修上の留意点》

予習、復習を行い、疑問点、問題点を早期に解決しながら受講していくことが望ましい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	循環器総論、検査総論（心臓、大血管、心電図、胸部X線、心エコー、心不全）	ガイダンス。循環器の解剖、生理、主要症候を理解する。心不全について理解する。循環器の基本的検査を理解する。 （予習）循環器系（心臓、大血管）の構造と機能に関して、1年時学習内容の確認を行う。	伊藤　正洋
2	虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症、急性冠症候群）	心筋梗塞、狭心症など虚血性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）虚血性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
3	不整脈（徐脈性不整脈、頻脈性不整脈）	基本的な不整脈の病態、診断法、治療法を理解する。 基本的な不整脈のモニター心電図が理解できる。 （予習）心電図の基本と不整脈について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
4	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、感染性心内膜炎、心臓粘液腫）	心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心臓腫瘍について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
5	心筋疾患、心膜疾患（拡張型心筋症、肥大型心筋症、心外膜炎、心タンポナーデ）	心筋症、心膜疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）心筋症、心膜疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅰ(循環器)	授業科目番号	2209020
担当者氏名	伊藤　正洋		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患（大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症）	大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
7	血圧異常、身体診察法（本態性高血圧、二次性血圧、血圧測定、聴診法）	高血圧の病態、診断法、治療法を理解する。 循環器疾患を意識した身体診察を理解する。 （予習）高血圧、身体診察法について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
8	先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜症欠損症、動脈管開存症）	先天性心疾患の病態、診断法、治療法を理解する。 （予習）先天性心疾患について参考図書等を読んでおく。 （復習）講義内容の理解を深める。	伊藤　正洋
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)			授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤　和弘、髙村　昌昭			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（佐藤和弘/4回）呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。
（髙村昌昭/4回）消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。

《授業の到達目標》

〔呼吸器〕呼吸器の解剖（胸郭、気道、胸腔、肺実質）の理解及び呼吸器疾患の病態生理が理解できる。結核を含む代表的な呼吸器感染症、びまん性肺疾患、喘息やCOPDとった気道疾患、肺がん、肺血栓塞栓症、肺血管異常、気胸を含めた胸膜疾患を習得する。呼吸器疾患の自覚症状と診察の方法及び診断治療手技について習得する。　〔消化器〕消化器系臓器の解剖・生理・病理などの基礎知識を理解し、消化器疾患の原因・症状・検査・治療についての知識を深める。

《評価の方法》

〔呼吸器〕授業時の課題（20%）、定期試験(80%)
〔消化器〕授業時間内に実施する小テスト20%、定期試験80%

《テキスト》

〔呼吸器〕『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』（浅野浩一郎 他著　医学書院　2019年）
〔消化器〕『系統看護学講座　成人看護学[5] 消化器』（南川雅子 他著　医学書院　2019年）

《参考図書》

〔消化器〕『内科学書　改訂第9版　第4巻　消化管・腹膜疾患、肝・胆道・膵疾患』（南学正臣　総編集　中山書店　2019年）

《履修上の留意点》

〔呼吸器〕講義中にメモをとらなくても済むように事前に配布資料をお渡しします。
〔消化器〕テキストの予習をして下さい。資料は授業時に配布します。授業の理解を深めるために小テストを行います。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	呼吸器の解剖と機能（肺循環気管気管支肺胞）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。	佐藤　和弘
2	呼吸器疾患をもつ患者さんの診察、検査、治療手技（症状、身体所見、鑑別疾患、検査適応）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。	佐藤　和弘
3	呼吸器感染症、びまん性肺疾患、気道疾患　（肺炎、間質性肺炎、喘息、COPD）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。	佐藤　和弘
4	肺血栓塞栓症、胸膜疾患、肺腫瘍、（肺癌、胸膜炎気胸、肺血栓塞栓症の予防と診断）	事前に配布資料をお渡しします。講義後テキストと共に復習をお願いします。	佐藤　和弘
5	消化器の基礎知識	①消化管の解剖について、②消化・吸収・栄養についての基礎知識、③内視鏡検査	髙村　昌昭

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	授業科目番号	2209030
担当者氏名	佐藤　和弘、髙村　昌昭		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	消化管疾患-1	①消化性潰瘍、②食道疾患（食道がん・逆流性食道炎）、③胃がん	髙村　昌昭
7	消化管疾患-2	①大腸・直腸がん、②炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、③その他の大腸疾患	髙村　昌昭
8	肝・胆・膵疾患	①肝炎・肝硬変・肝炎ウイルス、②肝がん、③胆石、④胆管がん・膵がん	髙村　昌昭
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅲ(内分泌・腎・代謝・婦人科)			授業科目番号	2209040
担当者氏名	福居　和人、鈴木　優也、須藤　寛人			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

代謝、内分泌疾患、腎疾患、および産婦人科疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（福居和人/4回）間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などである。
（鈴木優也/2回）主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学ぶ。
（須藤寛人/2回）生殖器・婦人科疾患および泌尿器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、子宮がんを含む女性生殖器疾患、不妊症、性感染症、性分化疾患などである。なお、周産期疾患を含め女性特有の疾患について学ぶ。

《授業の到達目標》

別紙参照

《評価の方法》

〔内分泌・代謝〕定期試験（選択問題）100%　　〔腎〕定期試験100%
〔婦人科〕定期試験100%　試験様式は看護国家試験に準じる

《テキスト》

〔内分泌・代謝〕『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』（医療情報科学研究所編　Medic Media　2019年）
〔腎〕授業で使用したスライドを印刷して配ります。
〔婦人科〕『ナーシング・グラフィカEX　疾患と看護(9)女性生殖器』（苛原稔、渡邊浩子編　メディカ出版　2020年）

《参考図書》

別紙参照

《履修上の留意点》

別紙参照

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	内分泌疾患の理解 内分泌とは 内分泌臓器について	内分泌と外分泌の違い、体内で相互に機能を調節するための「ホルモン」の働きについて学習する。下垂体・甲状腺・副腎など内分泌臓器の位置・形態について学び、異常を来す疾患の特徴について理解する。	福居　和人
2	内分泌疾患各論 甲状腺疾患の診断治療 副腎疾患の診断治療	甲状腺機能異常および副腎皮質機能異常について、機能低下した場合、機能亢進した場合の具体的な症状と検査、治療方針について学習する。	福居　和人
3	代謝性疾患の理解 糖尿病とは 糖尿病の診断 脂質異常症の診断 高尿酸血症の診断	糖代謝、脂質代謝、尿酸代謝の仕組みを理解する。それぞれ、糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症と診断する基準、治療方針がわかる。長期的に発生する合併症を理解できる。	福居　和人
4	代謝性疾患の療養指導 食事指導、 運動指導、 服薬指導、 生活指導の実際	食事療法の意義と目的を理解し、適切な指示カロリーを計算することができる。運動療法の意義を目的を理解し、運動してはいけない場合がわかる。適切な療養を守るために、看護師として必要な役割を理解することができる。	福居　和人
5	腎臓の構造と機能、腎機能検査、急性腎障害、慢性腎臓病、血液透析など	授業スライドの復習をしてください。	鈴木　優也

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅲ(内分泌・腎・代謝・婦人科)	授業科目番号	2209040
担当者氏名	福居　和人、鈴木　優也、須藤　寛人		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	糸球体腎炎、続発性腎疾患、腎泌尿器感染症など	授業スライドの復習をしてください。	鈴木　優也
7	女性生殖器の構造と機能、月経異常に関する疾患及び性感染症、不妊症、更年期症候群	1．生殖器の機能と構造を予習しておく p12-19。　2．性分化疾患、染色体異常、性周期の異常を学ぶ P241-251。　3．月経異常の各種類と月経随伴症状を学ぶ P126-143。　4．性感染症とその予防を学ぶ P150-159。5．不妊症・不育症について学ぶ P262-284。　6．更年期症候群を学ぶ P285-290。　7．周産期医療と関連する出生前診断を履修する。	須藤　寛人
8	婦人科良性腫瘍(子宮筋腫・子宮腺筋症)と子宮内膜症、婦人科悪性腫瘍（子宮頸がん・子宮体癌・卵巣/卵管がん）、乳がん	1．罹病率の高い子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症について学ぶ P170-178、P163-169。　2．子宮頸がんの原因、進行、治療を学び、がん検診の重要性と子宮頸がんワクチンの有用性を正しく理解する P179-200。　3．致死率の高い卵巣/卵管がんや高罹病率の乳がんについて履修し、新分野のゲノム解析によって診断される[遺伝性乳がん卵巣がん]（HBOC）について学ぶ P210-223。	須藤　寛人
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	公衆衛生学			授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木　翼			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とかかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．公衆衛生の概念と、疾病リスクと疾病予防の考え方、健康管理の活動、健康増進に関連するライフスタイルを説明できる。
2．主な疾病の予防対策（生活習慣病・がん等）について説明できる。
3．環境保健、学校保健、産業保健、国際保健医療、災害保健の現状について概要を説明できる。

《評価の方法》

定期試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1~ 2枚程度

《テキスト》

『シンプル衛生公衆衛生学2022』（小山洋監修　南江堂　2022年）
『国民衛生の動向　2021/2022』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）

《参考図書》

『FACTFULNESS（ファクトフルネス）』（ハンス・ロスリング 他著　日経BP社　2019年）
『命の格差は止められるか』（イチロー・カワチ著　小学館　2013年）　その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

各論のうち、母子保健、小児保健、高齢者保健、精神保健に関しては各専門科目での知識と統合すること。
テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、またニュースやネット等でも公衆衛生に関連する記事に積極的に触れ関心を持つことを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	衛生学・公衆衛生学序論（健康の定義、公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、地域保健とコミュニティ、健康格差、社会的処方）	衛生学、公衆衛生学とはどのような学問かについて理解する。公衆衛生の歴史、公衆衛生活動、生命倫理について講義形式で学ぶ。私たちの生活と健康を取り巻く環境のうち、人々の関係やコミュニティに着目して、健康的な地域のあり方について理解する。 （予習）テキスト第1章を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
2	保健統計学・疫学概論（健康指標、人口統計、疫学調査の手順と方法、因果関係、バイアスと交絡）	保健統計学と疫学を学ぶ意義について理解する。健康水準を表す基本的な指標、人口統計、疫学調査の手順や方法について習得する。 （予習）テキスト第2~ 3章を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	疾病予防と健康管理①（疾病の自然史と疾病予防、リスク因子、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ、健康管理、検診と健診）	疾病のリスク要因、疾病予防の段階と段階に応じた予防手段、健康管理活動、健康増進に関連するライフスタイルについて理解する。 （予習）テキスト第4章(4-1~ 4-2)を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
4	疾病予防と健康管理②（ライフスタイルと健康、健康の社会的決定要因、健康日本21）	疾病のリスク要因、疾病予防の段階と段階に応じた予防手段、健康管理活動、健康増進に関連するライフスタイルについて理解する。 （予習）テキスト第4章(4-3)を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
5	感染症の予防対策（感染症の成立条件、感染症予防の原則、主要な感染症、ワクチン）	感染症の成り立ちを概観し、予防対策について理解する。さらに、感染症が原因で起こりうる公衆衛生的な諸問題（格差やスティグマ）、また予防接種を取り巻く現状について理解する。 （予習）テキスト第5章(5-1)、第6章(6-5)を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、感染免疫学の知識と統合すること。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	公衆衛生学	授業科目番号	2210030
担当者氏名	鈴木　翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	生活習慣病・がん・その他疾病の予防対策 （高血圧、心血管疾患、糖尿病の原因と合併症対策、がん、腎疾患、アレルギーの原因と対策、自殺対策）	生活習慣病（高血圧性疾患、心疾患、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム）、がん、腎疾患、アレルギーの疫学、予防対策を理解する。また自殺対策の現状と予防対策について理解する。 （予習）テキスト第5章(5-2~ 5-7)を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、疾病治療論の知識と統合すること。	鈴木　翼
7	環境保健① （生態系・環境の評価、生体と環境の関係、環境汚染・地球環境問題、物理的環境要因）	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、地球の環境・生態系、環境汚染・地球環境問題、生体と環境の関係、環境の把握方法と評価方法、物理的環境要因（気温、騒音、放射線、気圧）について理解する。 （予習）テキスト第6章(6-1~ 6-3)を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
8	環境保健② （化学的環境要因、水の衛生、新潟水俣病）	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に、化学的環境要因（化学物質、空気）、水の衛生について理解する。また水の衛生が問題となった事例として、新潟水俣病について公衆衛生学の観点から理解を深め、自身なりに意見できるようになる。 （予習）テキスト第6章(6-4、6-6~ 6-7)を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
9	環境保健③ （廃棄物、衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理）	私達の生活や健康に影響を与え、疾病の原因ともなりうる環境要因について、特に廃棄物、衣食住の衛生、公害問題、最近の環境問題と国際的な取り組み、環境管理・リスク管理について理解する。 （予習）テキスト第6章(6-8~ 6-11)を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
10	学校保健 （子どもの健康状況・学校保健管理・歯科保健・環境管理・保健教育）	学校の保健対策、子どもの健康状況を知り、学校保健の意義から内容までを理解する。 （予習）テキスト第9章を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
11	産業保健① （働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進）	産業現場の保健対策について、特に働く人々の健康、労働災害、職業病について理解する。また、産業保健を理解する上で重要となる労働法制（働き方のルール）について概観する。 （予習）テキスト第10章を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
12	産業保健② （働く人々の健康、労働法制と働き方改革、労働災害・職業病、メンタルヘルス対策、健康診断と健康増進）	産業現場の保健対策について、健康診断と健康増進、また近年注目されている働き方改革、長時間労働者対策、メンタルヘルス対策、健康経営などについて理解する。 （予習）テキスト第10章を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
13	国際保健医療・災害保健 （人種・民族・国・開発途上国・国際協力、災害対策と疾病予防）	国際保健の現状、発展途上国の健康問題と対策、日本の国際協力について理解する。また世界で相次ぐ自然災害・NBC災害・テロの現状と、災害やテロが原因で起こりうる疾病・健康障害の予防について理解する。 （予習）テキスト第13章を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
14	グループ課題発表会①	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習）1~ 13回までの資料を読み返す。	鈴木　翼
15	グループ課題発表会②	小グループに分かれ、あらかじめ提示した課題に沿って、情報収集と公衆衛生学的考察を行ってまとめ、学生間相互で発表する。ディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習）1~ 13回までの資料を読み返す。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学概論			授業科目番号	2312010
担当者氏名	金子　史代			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力， ○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

成人期にある人々の特性を理解し、援助を展開するために必要な概念や理論について学ぶ。具体的には、成人期の発達課題と特性、セルフケアの主要概念とセルフケア理論、セルフヘルプ、成人学習の特徴、危機理論、ストレスコーピング、エンパワメント、パートナーシップなどについて学ぶ。

《授業の到達目標》

1．成人期の対象者の心理的・身体的・社会的特徴を理解できる。
2．成人期の対象者の保健と健康問題を説明できる。
3．成人期の対象者への看護を説明できる。

《評価の方法》

・定期試験60%　・レポート20%；課題は講義の中で提示する　・グループワーク参加態度20%；グループワークの発言、態度で評価する

《テキスト》

『成人看護学　成人看護学概論』（林直子他編　南江堂　2022年）

《参考図書》

『看護援助の現象学』（高崎絹子著　医学書院　1993年）　『心筋梗塞の前後』（水上勉著　文藝春秋　1997年）　『人間　この未知なるもの』（アレキシス・カレル著、渡部昇一訳　三笠書房　1981年）

《履修上の留意点》

・配布した資料を読んで自分の意見をまとめておく。
・指定したテキストや文献を読んで自分の意見をまとめておく。

《備考》

この科目では事例を通して成人期の対象者の看護の学びを深めます。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	成人期の対象者の特徴（自立、セルフケア、多様な価値観、役割）	ガイダンス 成人期の対象者の特徴を自立、セルフケア、多様な価値観、役割から理解する。 (予習）テキスト；第Ⅰ章　成人とは　を読んでくる。	金子　史代
2	成人期の対象者の発達（ライフサイクルと成人期、発達課題）	成人期の対象者の発達をライフサイクルと成人期、発達課題(エリクソン）から考える。 (予習）ライフサイクルと成人期、発達課題について調べる。 (復習）レポート作成と事例検討のための事例を提示する。テキスト；第Ⅰ章 成人とは をもう一度読んで、事例の理解を深める。	金子　史代
3	成人期の対象者の健康とセルフケア（成人、健康、セルフケア不足理論）	成人期の対象者の健康の特徴、看護の役割をオレムのセルフケア不足理論から理解する。成人とその家族の健康の保持増進におけるセルフケア支援を考える。；レポート作成の説明 (予習）提示した2事例の資料を読んで、成人の健康と健康をめぐる諸活動の特徴を考えてみる。	金子　史代
4	成人期の対象者の生活と健康問題（成人人口、死亡と死因、疾病構造、生活習慣、労働環境）	成人期の対象者の生活と健康問題を成人人口、死亡と死因、疾病構造、生活習慣、労働環境等を通して理解する。 (予習）テキスト；第Ⅲ章　成人期にある人の健康　を読んでくる。 (復習）資料とテキストから成人期の対象者の健康問題をまとめる。	金子　史代
5	成人期の対象者の看護に用いられる概念と理論（ケアリング、ストレス・コーピング、危機理論、自己効力感、成人の学習理論）	成人期の対象者の看護に用いられる概念と理論をケアリング、ストレス・コーピング、危機理論、自己効力感、成人の学習理論から理解する。 (予習）テキスト；第Ⅳ章　成人期にある人を看護するための基本的な考え方　を読んでくる。 (復習）資料とテキストから成人期の対象者の看護に用いる概念と理論をまとめる。	金子　史代

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学概論	授業科目番号	2312010
担当者氏名	金子　史代		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	成人期の対象者へのセルフケア支援（事例を通して考える）;グループワーク	成人とその家族の健康の保持・増進におけるセルフケア支援をグループに分かれて検討する；事例検討①。 (予習）自分のレポートを読み返し意見をまとめてくる。 (復習）グループワークの結果からグループの発表資料を作成する。	金子　史代
7	成人期の対象者への健康状態に応じた看護（健康の保持・増進、疾病予防、急性期看護、リハビリテーション看護、慢性的な経過をたどる人への看護）	成人期の対象者の健康状態に応じた看護を健康の保持・増進、疾病予防、急性の状態にある人、回復期にある人、慢性的な経過をたどる人への看護から理解する。 (予習）テキスト；第Ｖ章　健康状態に応じた看護を読んでくる。 (復習）資料とテキストから成人期の対象者の健康増進についてまとめる。	金子　史代
8	成人期の対象者へのセルフケア支援;グループワークの発表	成人とその家族の健康の保持・増進におけるセルフケア支援を各グループの発表を聞いて討議する；事例検討②。 (予習）各グループは発表資料を作成し全員に配布する。各グループの発表資料を読んでくる。	金子　史代
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井　貴子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1．急性期看護の概念を理解し、病態と治療などの基礎的知識を応用して、成人期の対象特性を統合させて療養生活を支える援助方法を理解できる。
2．周手術期にある人及び家族に応じた援助方法を理解できる。
3．救急救命処置の基本的技術を実践できる。

《評価の方法》

定期試験60%、小テスト20%、レポート10%、演習参加態度10%

《テキスト》

1.『成人看護学 急性期看護Ⅰ（改訂第3版）』（林直子、佐藤まゆみ編　南江堂　2019年）
2.『成人看護学 急性期看護Ⅱ（改訂第3版）』（佐藤まゆみ、林直子編　南江堂　2019年）

《参考図書》

『ナーシンググラフィカ成人看護学②』（吉田澄江 他編　メディカ出版　2022年）　『講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護1－3』（竹内登美子編　医歯薬出版　2019年）　※他参考書については、講義の過程で随時紹介する。

《履修上の留意点》

授業中に小テストを行いますので、解剖・生理学、各疾病論の予習復習をしてください。内容は事前に伝えます。
演習を行います。主体的に参加し、チームのメンバーとして協力しておこなってください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	急性期・急性期看護の概念と特徴 （急性期看護の概念と特徴）	ガイダンス 急性期・急性期看護の概念と特徴について 急性期にある対象と家族の特徴について 急性期にある対象を理解するための理論・概念 （予習）テキスト1 p2~ 5を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
2	外科的侵襲、および麻酔による身体侵襲と生体反応について （周手術期看護）	周手術期看護にある患者の特徴について 手術前期の看護について 外科的侵襲、および麻酔による身体侵襲と生体反応 （予習）テキスト1を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
3	手術を受ける人の意思決定を支える看護について （周手術期看護）	事例を通して患者やその家族について理解する （予習）事例について、その状況を理解しておくこと （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
4	手術・麻酔による生体反応・合併症 （周手術期看護・手術期）	手術・麻酔による生体反応・合併症の発症と予防について 集学的治療について 手術中の看護について （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
5	手術後合併症 （周手術期看護・手術後期）	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312020
担当者氏名	広井　貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	手術後合併症 （周手術期看護・手術後期）	手術後合併症について 手術後合併症の予防と援助 早期離床への援助 （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
7	集中治療下での看護 （クリティカルケア）	クリティカルケアを受ける人の治療環境と治療の特徴について 手術後の創傷管理、疼痛管理、カテーテル・ドレーン管理、モニタリング、観察とアセスメント、ボディイメージの変化について （予習）テキスト2 第2章、第3章を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
8	ＴＢＬによる学習：チーム検討 各手術の看護 （手術を受ける患者の看護）	手術を受ける患者の看護について （上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など） （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
9	ＴＢＬによる学習：チーム検討 各手術の看護 （手術を受ける患者の看護）	手術を受ける患者の看護について （上部消化管手術、下部消化管手術、循環器系手術、呼吸器系手術、内視鏡下手術、脳神経系手術、生殖器系手術など） （予習）テキストを読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
10	救急医療における看護 （プレホスピタルケア）	プレホスピタルケアおよび救急看護 救急患者の特徴とアセスメントについて 救急救命処置の基本的技術を学ぶ （予習）テキスト2 第1章を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井　貴子
11	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキスト2 第5章を読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
12	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキスト2 第5章を読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
13	【演習】一次救命処置 （心肺蘇生）	一次救命処置（気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED） 救急救命処置の基本的技術をモデル人形を用いて実践する （予習）テキスト2 第5章を読む （復習）演習を振り返り、自己の課題を明確にする	広井　貴子
14	急性期看護における倫理的課題 チーム医療と看護師の役割 まとめ	事例を通し急性期看護における倫理的課題 急性期におけるチーム医療と看護師の役割について （予習）テキスト2 p88~ 95を読む	広井　貴子
15	急性期看護における倫理的課題 チーム医療と看護師の役割 まとめ	事例を通し急性期看護における倫理的課題 急性期におけるチーム医療と看護師の役割について （復習）急性期看護について、考えをまとめておく	広井　貴子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒　優子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第２次・３次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。

《授業の到達目標》

1．慢性疾患の特徴および診断・治療の特徴について説明できる。
2．慢性疾患を有する人の身体的、心理・社会的特徴について説明できる。
3．慢性疾患の治療を受ける患者の具体的な援助について説明できる。

《評価の方法》

定期試験：70%、演習：10%、事前・事後レポート：20%

《テキスト》

『成人看護学　慢性期看護　病気とともに生活する人を支える』（鈴木久美 他編　南江堂　2019年）

《参考図書》

『系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器』医学書院　『系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器』医学書院　『系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝』医学書院

《履修上の留意点》

事前学習：各臓器（肺・腎臓・大腸・膵臓）の働きについて指定の書式でまとめ、授業開始時に提出する。
事後学習：各単元で学んだことを自分の言葉で説明できるように思考を整理する。
演習の際には、主体的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	慢性疾患の特徴（慢性疾患）	慢性疾患の特徴、慢性疾患における治療の特徴および療養環境の特徴について学ぶ。 （予習）テキスト１~ 26 （復習）慢性疾患の特徴についてまとめる。慢性疾患における施策についてまとめる。地域包括ケアシステムについて、自分の言葉で説明する。	目黒　優子
2	慢性期看護とチーム医療、慢性疾患を有する人の理解（慢性期看護）	慢性疾患を有する人に対する看護の役割およびチーム医療について学ぶ。慢性疾患を有する人の身体的特徴、心理的特徴、生活および社会的特徴について学ぶ。 （予習）テキスト30~ 37、42~ 65 （復習）慢性疾患を有する人に、なぜセルフマネジメントの支援が必要なのか、その理由についてまとめる。	目黒　優子
3	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念（セルフマネジメント、トランスセオレティカルモデル、アドヒアランス、病みの軌跡モデル）	治療・療養行動にかかわる主な理論・概念について学ぶ。 （予習）テキスト76~ 81、83~ 93 （復習）各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒　優子
4	治療・療養を促進する支援（セルフモニタリング、症状マネジメント、アンドラゴジー）	治療・療養を促進する支援について学ぶ。 （予習）テキスト96~ 110 （復習）各理論・概念について、自分の言葉で説明できるように整理する。	目黒　優子
5	ＴＢＬ（Team-based-learning:チーム基盤型学習)による演習の進め方、ＳＢＡＲを活用した報告	ＴＢＬ、ＳＢＡＲについて学ぶ。 【講義/演習】チームアクティビティ、ＳＢＡＲを活用した報告 （予習）わかりやすい報告とはどのようなことか自分の言葉でまとめておく。 （復習）ＳＢＡＲの構成要素について整理する。	目黒　優子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312030
担当者氏名	目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助（慢性閉塞性肺疾患）	慢性閉塞性肺疾患 （予習）テキスト218~ 227、「肺の機能」についてまとめておく。 （復習）慢性閉塞性肺疾患の呼吸法について整理する。	目黒　優子
7	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術	呼吸器系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術について学ぶ。 【講義/演習】呼吸法、吸入療法、ピークフローモニタリング （予習）口すぼめ呼吸 （復習）実施後の学びを整理する。	目黒　優子
8	腎機能系の障害を有する人とその家族への援助（慢性腎臓病、人工透析）	慢性腎臓病、人工透析が必要な患者 （予習）テキスト357~ 360、「腎臓の機能」についてまとめておく。 （復習）人工透析の適応となる状態を整理する。	目黒　優子
9	腎機能系の障害を有する人へのフィジカルイグザミネーション（内シャント造設、浮腫）	【講義/演習】シャントの管理、両下肢に浮腫のある人へのフィジカルイグザミネーション （予習）「浮腫」の評価の仕方についてまとめておく。 （復習）フィジカルイグザミネーション実施後の学びを整理する。	目黒　優子
10	消化器系の障害を有する人とその家族への援助（潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法）	潰瘍性大腸炎、クローン病 （予習）テキスト315~ 321　「大腸の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の作用についてまとめておく。 （復習）生活上の留意点について整理する。	目黒　優子
11	消化器系の障害を有する人とその家族への援助（潰瘍性大腸炎、クローン病、ステロイド療法）	潰瘍性大腸炎、クローン病 （予習）テキスト315~ 322　「大腸の機能」についてまとめておく。「ステロイド療法」の作用についてまとめておく。 （復習）生活上の留意点について整理する。	目黒　優子
12	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（甲状腺機能障害）	甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 （予習）テキスト350~ 355、「甲状腺の機能」についてまとめておく。 （復習）生活上の留意点について整理する。	目黒　優子
13	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定）	2型糖尿病患者の食事療法・運動療法 （予習）テキスト328~ 332、「膵臓の機能」についてまとめておく。 （復習）2型糖尿病患者の食事・運動療法のポイントを整理する。	目黒　優子
14	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助（糖尿病、インスリン療法、自己血糖測定）	2型糖尿病患者の薬物療法 （予習）テキスト328~ 332 （復習）2型糖尿病患者の薬物療法のポイントを整理する。	目黒　優子
15	代謝・内分泌系の障害を有する人へ患者教育が必要なセルフケア技術：自己血糖測定、自己注射（インスリン療法）	【講義/演習】自己血糖測定、インスリン療法、フットケア （予習）テキスト130~ 134 （復習）自己血糖測定、インスリン療法、フットケアのポイントを整理する。	目黒　優子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学概論			授業科目番号	2312080
担当者氏名	袖山　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の生き方に寄り添う高齢者看護を理解する。また、高齢者及び高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の成立背景を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性について理解する。

《授業の到達目標》

1．加齢変化を身体的・心理的側面から述べることができる。　2．老年期の発達課題を述べることができる。　3．高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の成立背景が述べられる。　4．高齢者支援における多職種連携の必要性が述べられる。
5．老いを生きる高齢者の看護の役割が述べられる。

《評価の方法》

授業内で実施する小テスト10%、レポート10%、定期試験80%

《テキスト》

1.『系統看護学講座　老年看護学』（北川公子 他著　医学書院　2018年）
2.『系統看護学講座　老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著　医学書院　2018年）

《参考図書》

『国民衛生の動向』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）
授業で配布するプリント及び授業で紹介する。

《履修上の留意点》

・シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をして臨み、配布された資料及び授業で紹介された参考文献等を参照しながら、事後学習をする。レポートや小テストについては事前に説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス （老年看護学の概要） （老年期の定義、加齢と老化）	・老年看護学講義ガイダンス ・老年看護学の成立背景 ・高齢者、高齢社会の定義 ・加齢と老化の概念 【事前学習：テキストの第1章を読んで授業に臨む】 【事後学習：授業で学んだ内容の整理】	袖山　悦子
2	加齢に伴う身体的変化 （身体の老化） （老年期の疾患の特徴） （老年症候群）	・加齢に伴うの心身の変化 ・高齢者の疾患の特徴 ・老年症候群とは ・加齢に伴う心理的・社会的側面の変化 【事前学習：テキストを読む】 【事後学習：授業で学んだ内容の整理】	袖山　悦子
3	老年期の発達 （発達と成熟）	・発達とは、高齢者の発達と発達課題 ・スピリチュアリティと高齢者 ・健康と成熟 【事前学習：75歳になった時を想像して自分への手紙を書いて授業に臨む】 【事後学習：高齢者の発達の復習】　（レポート　配点 5点）	袖山　悦子
4	高齢社会の統計的輪郭 （人口動態） （家族形態） （健康指標） （暮らし）	小テスト（老年期の発達　5点） ・老年人口の動態 ・家族形態の変化と高齢者の暮らし ・健康指標からみた高齢者 【事前学習：統計的データを基に理解が得られるように事前学習して臨む】　【事後学習：復習】	袖山　悦子
5	高齢者を取り巻く社会制度 （保健制度） （医療制度） （福祉制度）	・高齢者を取り巻く保健医療福祉制度の成立背景 ・高齢者を取り巻く保健制度と福祉制度 ・高齢者を取り巻く医療制度 【事前学習：高齢者の社会制度をテキストを中心に学習する】 【事後学習：事前学習と授業から高齢社会の課題に視点を置き復習する】	袖山　悦子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学概論	授業科目番号	2312080
担当者氏名	袖山　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	高齢者を取り巻く社会制度 （介護保険制度）	・介護保険制度の成立背景 ・介護保険制度の目的と理念 ・介護保険制度の仕組み ・介護保険サービス、介護予防 【事前学習：介護保険制度についてテキストを読んで臨む】 【事後学習：復習をする】	袖山　悦子
7	高齢者を取り巻く社会環境と今日的課題 （高齢者の権利擁護）	小テスト（介護保険制度　5点） ・成年後見制度、日常生活自立支援事業、地域包括支援センター ・高齢者虐待と身体拘束 【事前学習：高齢者虐待法や権利擁護の制度の背景を学習する】 【事後学習：最近の高齢者虐待の事例を検索して意見を述べる】 （レポート提出　5点）	袖山　悦子
8	老年看護 （老年看護の理念・目的） （老年看護活動の多様化） （高齢者を支える多職種連携）	・老年看護の理念、目的　　・看護活動の多様化　　・高齢者支援と多職種連携 【事前学習：老年看護の役割が質・量とともに拡大していることから、多職種連携の中での看護職の果たす役割を明確に述べられるようにこれまでの資料やテキストを整理し、授業に臨む】 【事後学習：授業の目標に沿って整理し不足を補う】	袖山　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学概論			授業科目番号	2312130
担当者氏名	加固　正子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

子どもとその家族に対する看護援助について健康―健康障害にかかわらず、共通する基本的な考え方やアプローチについて学習する。具体的には小児看護の特徴や理念、子どもの成長・発達の基本的概念、小児期の健康問題や予防接種、子どもと家族を取り巻く社会、保健・医療・福祉・教育の果たす役割などについて学ぶ。さらに、子どもの基本的人権、子ども虐待の背景や実態について学び、医療関係者としての役割について基本的知識を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．小児看護の対象と目的および小児看護の役割について述べることができる。
2．子どもの権利を擁護する視点から、小児の健やかな成長･発達を支援する看護について述べることができる。
3．小児期の成長と発達にそった支援について説明することができる。

《評価の方法》

事前・事後学習課題の提出 5回（50%）、定期試験（50%）を総合して評価する。

《テキスト》

『新体系 看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論／小児保健』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

《参考図書》

発達心理学（選択）のテキスト
『史上最強図解　よくわかる発達心理学』（林洋一監修　ナツメ社　2010年）

《履修上の留意点》

小児看護学概論は、小児期の成長発達の理解を基礎にその健康問題についての知識を幅広く学ぶことが求められます。発達心理学（選択科目）の知識を復習し、子どもへの興味と関心をもって学ぶことが大切です。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	小児看護の対象と目的・役割 （子ども中心のケア） 小児看護の場と特徴 （域包括医療、小児看護）	・小児看護の変遷、小児のとらえかた ・小児看護の目標ー子ども中心のケア ・小児看護の場の広がりについて （予習）第１編 第1・2章を熟読し、子ども中心のケアの要点をまとめる （復習）小児看護の専門性の発達について考察する	加固　正子
2	小児看護・医療における諸統計とその変遷・展望 （小児専門病院、小児医療福祉関連法律、子どもの権利）	・小児看護・医療における歴史と諸統計 ・小児看護・医療関係の法と倫理 ・医療における子どもの権利と倫理的配慮 （予習）第3章を熟読し、日本の小児保健の特徴について簡潔にまとめる （復習）本日学習した内容や疑問点を受講カードに列挙する	加固　正子
3	小児保健 （小児期の保健統計、予防接種法、子育て支援政策）	・小児保健関連法律（第４章 p.58~ 78） ・子育てを支援する法律・制度 （予習）自分自身の予防接種の記録や感染症罹患の記録について、母子手帳や家族からの聞き取りを行い、レポートする。【課題１】 （復習）本日学習した内容や疑問点を受講カードに列挙する	加固　正子
4	小児の特徴と成長・発達 （成長・発達の定義、評価法）	・成長・発達の概念、定義および評価 （予習）テキストを参考に自分の就学前までの成長と発達について（母子手帳などから）調べて、自分の成長と発達の評価を行う （復習）成長と発達に関連する国家試験問題に取り組む【課題２】	加固　正子
5	胎児期、新生児期、乳児期における成長・発達への看護 （乳児期の養育、生理的社会的発達、発達理論）	・新生児から1歳（乳児期）までの成長・発達の特徴 ・乳児期の看養育方法と看護 （予習）乳児期の成長・発達について、第２編第３章を熟読する （復習）乳児期の成長・発達と看護の練習問題に取り組む【課題３】	加固　正子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学概論	授業科目番号	2312130
担当者氏名	加固　正子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	幼児期における成長・発達に応じた看護 (幼児期の生活習慣、セルフケア、幼児と家庭、幼児期の集団生活)	・幼児期成長・発達の特徴と看護 ・幼児期の養育方法と看護　　・集団への適応と準備 （予習）幼児期におけるセルフケアについてp.187~ 188を熟読する （復習）幼児期の成長・発達とあそびについて疑問点を中心にレポートする【課題４】	加固　正子
7	学童期における成長・発達に応じた看護 （学童期のセルフケア、ヘルスプロモーション）	・学童期の成長・発達の特徴 ・学童期のセルフケア ・学童期のヘルスプロモーション （予習）学童期のセルフケアや健康維持についてP.201~ 208を熟読する （復習）学童期のヘルスプロモーション課題について具体例を挙げる【課題５】	加固　正子
8	思春期・青年期における成長・発達に応じた看護 （思春期、心理社会的成長・発達）	・思春期・青年期の特成長発達の特徴 ・思春期・青年期の保健医療と看護の役割 ・健康障害と心のケア （予習）学童期や青年期の闘病記を１冊選んで読む （復習）思春期の患児のセルフケア促進や自己同一性の確立について、自己の考えを受講カードにまとめる	加固　正子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学概論			授業科目番号	2312170
担当者氏名	柳原　眞知子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の地域包括の意義などを学修し、女性へのサポートができるための知識を修得する。

《授業の到達目標》

1．リプロダクティブヘルスの概念や関連した用語が理解し説明できる
2．女性のライフステージ各期の心身の健康の特徴と健康課題を説明できる
3．母子保健の統計や法律から地域包括の意義や役割を説明できる
4．リプロダクティブヘルス/ライツに関連した倫理を説明できる

《評価の方法》

定期試験60%、事前事後学習・授業でのプレゼン25%、ミニテスト15%

《テキスト》

1.『ナーシング・グラフィカ 母性看護学(1)：概論・リプロダクティブヘルスと看護』（中込さと子他編　メディカ出版　2022年）
2.『病気がみえる vol.10 産科』（井上裕美 他監修　Medic Media　2018年）

《参考図書》

『系統看護学講座　解剖生理学』（坂井建雄、岡田隆夫著　医学書院　2018年）
『妊産辱婦メンタルケアガイドブック』（日本臨床救急医学会監修　へるす出版　2021年）

《履修上の留意点》

・事前学習の課題を行ってから授業に参加する。事前学習は、授業で課題発表し共有する。授業の展開は、授業開始時に提示する。復習としてのミニテスト3回で60点以上取らなければ再試する。
・授業のリフレクション（振り返り）により、不明確なところを復習する。　・教科書をしっかり読み理解できる。

《備考》

事前学習を済ませていなければ、授業の参加は難しい。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ウィメンズヘルスを考える	授業ガイダンス、学習内容：リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を理解し、関連する用語の定義が正しく捉えられ、グローバルな女性の健康課題を考えられる。男女の可生殖器の解剖図の名称、性の分化を説明できる。 授業方法：事前学習のプレゼン、講義 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子
2	ウィメンズヘルス１：思春期の心身の特徴、初経から月経のメカニズム、月経の異常	学習内容：思春期男女の身体の変化を理解し、初経の発来、月経のメカニズム、月経の異常を説明できる。 学習方法：事前学習の学生プレゼン・講義 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子
3	ウィメンズヘルス２：思春期の健康課題	学習内容：性感染症、子宮頸がんとワクチン、若年妊娠と人工妊娠中絶、摂食障害について理解し医療従事者の役割を説明できる。 学習方法：事前学習の学生プレゼン・講義・ミニテスト 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子
4	ウィメンズヘルス３：成熟期の心身及び社会的特徴	学習内容：結婚・離婚・有職女性の動向、性反応、家族計画（避妊）、子育て親性の形成、愛着形成 学習方法：事前学習の学生プレゼン・講義 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子
5	ウィメンズヘルス４：成熟期の健康課題	学習内容：出生前診断、不妊、DV、性暴力、児童虐待での医療従事者の役割を説明できる。 学習方法：事前学習の学生プレゼン・講義 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学概論	授業科目番号	2312170
担当者氏名	柳原　眞知子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	ウィメンズヘルス５：更年期 女性の心身の特徴と健康課題	学習内容：更年期に現れる症状のメカニズムや健康課題をを説明でき、医療従事者の役割を説明できる。 学習方法：事前学習の学生プレゼン・講義・ミニテスト 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子
7	周産期医療システムと母子保健施策１	学習内容：母子の周産期医療システムを理解できる。事例から法規の適応を考えることができる。母子の防災・減災を理解できる。 学習方法：事前学習の学生プレゼン・講義 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子
8	周産期医療システムと母子保健施策２	学習内容：母子保健統計を理解できる。 倫理について事例から考えることができる。 学習方法：事前学習の学生プレゼン・講義・ミニテスト 予習・復習及び使用テキストのページは春課題ワークブックを参照	柳原眞知子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学概論			授業科目番号	2312210
担当者氏名	斎藤　まさ子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉に関する法律や制度、精神保健福祉の動向について学び、今後の課題と精神看護の役割について考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、精神を病むことを学ぶ。また、精神医療の歴史、精神医療における倫理や法制度について学び、看護の役割を理解する。

《授業の到達目標》

1．現代社会と精神看護の役割について説明できる。
2．心のしくみと人格の発達、ストレスと適応について説明できる。
3．精神医療の歴史や看護の倫理について説明できる。
4．地域における精神保健と看護、リエゾン精神看護について説明できる。

《評価の方法》

定期試験50%、学習態度20%（授業中の発言や参加度をもとに評価する）、提出物30%（事前配布の課題20%・各回配布の課題10%）

《テキスト》

1.『系統看護学講座　精神看護学①　精神看護の基礎』（武井麻子 他著　医学書院　2021年）
2.『系統看護学講座　精神看護学②　精神看護の展開』（武井麻子 他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

『看護のための精神医学』（中井久夫、山口直彦著　医学書院　2004年）
『精神看護学ノート』（武井麻子著　　医学書院　2005年）

《履修上の留意点》

①提示した事前学習に関する知識があるものとして授業を進めます。
②一方通行ではなく、参加型の授業を基本とします。
③精神医療や心の健康に注目して新聞やニュース等をみましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	精神看護学の役割（精神看護学とは、障がいと生きにくさ、精神医療の現状と課題）	精神医療の現状と課題、精神障がい者の生きにくさを知り、看護の役割について考える。 （予習）精神看護学①p2-22を読み、概要をノートにまとめる。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
2	精神の健康とストレスの影響（精神の健康と障がい、ストレスの影響）	精神の健康とはどういう者かを知る。さらに、ストレス反応や危機、対応する個人の力について知る。 （予習）精神看護学①p24-38を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
3	心的外傷と回復、精神障害の捉え方（トラウマ、レジリエンス、ICF）	ストレスと健康の危機、心的外傷が精神の健康に及ぼす影響や回復を支える力について考える。 （予習）精神看護学①p38-53を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
4	心のしくみと人格の形成(1)（心の諸活動：意識と認知、感情、学習、心の理論等）	看護にとって重要な人間の様々な心のはたらきについて学習する。 （予習）精神看護学①p56-79を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
5	心のしくみと人格の形成(2)（気質、意識と無意識、対象関係論、ライフサイクル等）	フロイト、エリクソンなどが提唱した諸理論を理解し、心のしくみと人格の発達について学習する。 （予習）精神看護学①p79-113を読み、提示する事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学概論	授業科目番号	2312210
担当者氏名	斎藤　まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	関係の中の人間、家族システム、集団（コミュニケーションのゆがみ、IP,グループ）	家族システムの考え方、家族の精神の健康と諸問題について学び理解を深める。 （予習）精神看護学①p116-142を読み事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
7	精神医療の歴史（わが国と欧米諸国、人権、看護の倫理綱領）	わが国、欧米諸国の精神医療の歴史の変遷を学び、精神医療の現状、人権、倫理、これからの課題を考え発表する。 （予習）精神看護学①p298-322を読み事前課題を提出する。 （復習）授業で学習した範囲を読み返す。	斎藤まさ子
8	①地域における精神保健（学校、職場のメンタルヘルス） ②リエゾン精神看護	学校や職場における精神保健と看護を学び、事例をとおして深く理解する。また、リエゾン精神看護の概要を学ぶ。 （予習）精神看護学②p323-351を読み事前課題を提出する。 （復習）授業中に提示する課題を提出する。	斎藤まさ子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学概論			授業科目番号	2313020
担当者氏名	飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力，○3-2 多職種と連携・協働する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

《授業の到達目標》

1．在宅看護の歴史と社会的背景をふまえ、在宅看護の概念と対象、活動の場、看護活動の特徴について説明できる
2．在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について説明できる
3．在宅ケアシステムと在宅看護の役割を考え述べることができる

《評価の方法》

定期試験90%(期末試験として、目標到達度を最終的に評価する)、学習態度10%（毎回のコメントシート、授業中の発言、授業への参加態度をもとに評価する）

《テキスト》

『ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア』（臺有桂 他編　メディカ出版　2022年）

《参考図書》

『系統看護学講座　地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤』（河原加代子 他著　医学書院　2022年）　　他、適宜紹介する

《履修上の留意点》

地域包括ケア論で学んだ内容と関連するので、復習して授業に臨んでください。
2年から3年にかけて、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護を学んでいきます。その対象は「在宅」へ戻っていく方々です。他の領域との関連を意識するようこころがけてください。

《備考》

授業は学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な授業への参加を期待します。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	在宅看護の背景 在宅看護の目的・特徴 （地域、社会的背景、QOL、権利擁護）	ガイダンス 在宅看護の歴史と社会的背景を学び、在宅看護の意義を考える。 在宅看護の目的と特徴を学ぶ。 (予習）1年次で学んだ地域包括ケア論の資料を読んでくる。 (復習）1年次で学んだ地域包括ケア論の資料と合わせて、在宅看護の意義を整理する。	飯吉　令枝
2	在宅看護の対象と看護支援１ （小児、在宅療養、家族、養育医療）	小児の在宅療養を支える法・制度と、小児への在宅看護の特徴を学ぶ。 在宅看護における家族への支援について、小児の事例を通して学ぶ。 (予習）「在宅療養」「小児」について調べる。 (復習）テキストp180~ 182を読む。	飯吉　令枝
3	在宅看護の対象と看護支援２ （難病患者、障害者、精神障害者、倫理、障害者総合支援法、難病法）	難病患者、障害者、精神障害者の在宅療養を支える法・制度と、難病患者、障害者、精神障害者への在宅看護の特徴について学ぶ。 在宅看護における倫理的対応について学ぶ。 (予習）難病について調べる。 (復習）テキストp164~ 180を読む。在宅療養をしている対象者に必要な倫理的配慮についてまとめる。	飯吉　令枝
4	在宅看護の対象と看護支援３ （高齢者、脳血管障害、移行支援、退院支援、継続看護、多職種連携）	高齢者、脳血管障害者の在宅療養を支える法・制度と、高齢者、脳血管障害者への在宅看護の特徴について学ぶ。高齢者の事例を通して、病院から在宅への継続した看護と多職種連携について考える。 (予習）テキストp149~ 162(介護保険制度）を読む。 (復習）移行期支援、多職種連携の意義について整理する。	飯吉　令枝
5	在宅看護の対象と看護支援４ （認知症、権利擁護、在宅ケアシステム）	認知症高齢者への在宅看護の特徴について学ぶ。また、在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源、在宅ケアシステムについて学ぶ。 (予習）「認知症」について、症状とケアについて調べる。 (復習）テキストp183~ 192を読む。	飯吉　令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学概論	授業科目番号	2313020
担当者氏名	飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	在宅看護の対象と看護支援５（終末期、看取り、グリーフケア、意思決定支援　看護倫理）	終末期の療養者を支える法・制度と、終末期の療養者への在宅看護の特徴について学ぶ。 (復習）講義、映像を通して、終末期の在宅看護の課題を考える。 (課題）自分が住んでいる地域にある訪問看護ステーションをHPで調べて次回提出する。	飯吉　令枝
7	在宅看護の概要 （訪問看護ステーション、介護保険制度、医療保険制度）	訪問看護の制度や訪問看護ステーションの概要について学ぶ。 (予習）6回目に出した課題について調べる。 (復習）訪問看護と、介護保険制度・医療保険制度について整理する。	飯吉　令枝
8	在宅における看護過程の展開と特徴 （看護過程、生活環境、家族、社会資源）	在宅看護における看護過程の特徴を学ぶ。 (予習）1回目から7回目の講義資料に目を通し、在宅看護の特徴を整理する。 (復習）講義を振り返り、在宅看護の意義と課題を整理する。	飯吉　令枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、平澤　則子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。

（飯吉令枝/3回）導入の講義を行う。

（駒形三和子/6回）（平澤則子/6回）対象別の具体的展開方法について講義を行う。

《授業の到達目標》

1．母子、成人・高齢者および障害児・者、難病患者に対する公衆衛生看護活動の基盤となる施策・制度が説明できる。
2．母子、成人・高齢者の健康課題に応じた公衆衛生看護活動の展開方法が理解でき、保健師の役割を考察できる。
3．障がい（身体・知的・精神）児・者および家族を取り巻く社会情勢が理解でき、支援方法と保健師の役割が理解できる。
4．難病対策の歴史的変遷を理解し、健康・生活上の課題に応じた支援方法と地域支援体制づくりの必要性を説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験　　90%　（期末試験として、目標到達度を最終的に評価する。）

《テキスト》

(1)『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（松田正己 他著　医学書院　2018年）
(2)『国民衛生の動向　2021-2022』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）

《参考図書》

『最新公衆衛生看護学 第3版 各論1』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2021年）
その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

虐待や生活習慣病予防、健康寿命の延伸、障がい者を含めた共生社会等、現代の重要な健康課題について学習していきます。
自身や家族の生活習慣や関連する最近のニュース等、様々なことに関心を持って、主体的に学習することを望みます。

《備考》

保健師教育課程必修科目　地域における保健対策がどのように行われているのか、看護師にとっても有益な内容である。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	母子保健活動① （母子保健法、児童福祉法、健やか親子21、保健指導）	ガイダンス 社会情勢や健康課題をふまえ、母子保健活動の基盤となる施策、制度について学ぶとともに、母子保健における保健師の役割と活動について学ぶ。 （予習）国民衛生の動向で出生数、妊産婦死亡、周産期死亡、乳児死亡の動向について調べる。 （復習）テキスト(1)p2~ 13を読む。	飯吉　令枝
2	母子保健活動② （乳幼児の成長・発達、乳幼児健康診査）	乳幼児健診における保健師の役割と活動の展開について、講義と映像資料をとおして学ぶ。 （予習）乳幼児の成長・発達（4か月児、1歳6か月児、3歳児）について調べてくる。 （復習）テキスト(1)p28-36を読む。乳幼児の成長・発達と合わせて、乳幼児健診のポイントを整理する。	飯吉　令枝
3	母子保健活動③ （未熟児、多胎児、養育医療、育成医療、子どもの虐待）	支援ニーズが高い親子の健康課題と支援について学ぶ。 （予習）子ども虐待のニュース等について、どのような背景があり、何が課題かを調べてくる。 （復習）テキスト(1)p42~ 55を読む。	飯吉　令枝
4	成人・高齢者の健康づくり （健康日本21、健康増進法、高齢者医療確保法、歯科口腔保健法）	成人・高齢者の特徴と社会情勢や健康課題を踏まえ、健康づくりの基盤となる施策・制度・事業と保健師の役割について学ぶ。 （予習）①自分の出身市町村の健康づくりのための保健事業について調べる。 ②レヴェルとクラークの予防の三段階を確認する。 （復習）テキスト(2)p97~ 106（健康増進対策）を読む。	駒形三和子
5	生活習慣病予防の保健活動 （メタボリックシンドローム、特定健康診査・特定保健指導、がん対策基本法、がん検診、健診(検診)精度管理）	近年の死因の傾向と疾病構造の変化から生活習慣病予防の必要性を再認識し、生活習慣病を予防するための施策・制度・事業と保健師の活動を学ぶ。 （予習）テキスト(2)p64~ 72（死因の概要）を読み、p406~ 408（死因順位：年次別、性・年齢階級別）を見る。 （復習）テキスト(2)p92~ 95（生活習慣病）を読む。	駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313070
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、平澤　則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法 （特定保健指導対象者の選定と階層化、変容ステージ、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ）	生活習慣病予防のための保健指導の展開方法と変容ステージに応じた指導のポイントおよび評価について、映像資料や事例を通して学ぶ。 （予習）公衆衛生看護学概論の保健指導に関する理論の資料を確認。 （復習）テキスト(1)p78~ 81を読む。	駒形三和子
7	生活習慣病予防のための保健指導の演習 （生活習慣病予防における保健指導の展開(情報収集,アセスメント,生活指導,事後評価)）	事例をもとに特定保健指導の初回面接を学生同士で演習し、生活習慣病予防における保健師の役割について考察する。 （予習）特定保健指導初回面接の事例を読み、保健師役の時と対象者役の時の具体的なイメージづくりをする。 （課題）演習ワークシートを提出（次回授業開始時に回収）	駒形三和子
8	高齢者の介護予防① （介護保険制度、地域支援事業、認知症予防、介護予防事業の企画・実施・評価）	要介護認定率、介護が必要となった原因の推移をとおして、介護予防の施策・制度・事業と保健師の活動の展開について学ぶ。 （予習）自分の出身市町村のホームページの最新の介護保険事業計画から要介護認定率、介護が必要となった原因を調べる。 （復習）テキスト(1)p88~ 91を読む。	駒形三和子
9	高齢者の介護予防② （介護予防事業の実際、認知症の1次予防・2次予防・3次予防）	地域で実際に行われている介護予防事業について、映像や実技をとおして介護予防事業の効果と課題について学び、保健師の役割を考える。 （予習）自分の出身市町村で行われている介護予防事業（認知症予防を含む）についてホームページや家族・知人から情報を得て調べる。 （復習）テキスト(1)p99~ 112を読む。	駒形三和子
10	障害児者保健福祉活動① （障害児者，ノーマライゼーション，行政施策）	講義で提示する事例をもとに、ノーマライゼーションの視点から、障害を持つ人の健康・生活上の課題を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p 147、テキスト(2)ｐ119を読み、障害の分類、障害児者の定義と障害者数を確認する。 （復習）テキスト(1)p160を読み、障害児者への支援における地域体制づくりを確認する。	平澤　則子
11	障害児者保健福祉活動② （地域支援体制）	講義で提示する事例をもとに、障害児者への支援における地域体制づくりを理解する。 （予習）テキスト(1)p154~ 156を読み、障害者を支援する際のポイントを確認する。 （復習）テキスト(1)ｐ159の事例を読み、障害児者への支援における地域体制づくりを確認する。	平澤　則子
12	精神保健福祉活動① （精神障害者，地域支援体制，行政施策）	講義で提示する事例をもとに、精神障害者への支援における地域体制づくりを学ぶ。 （予習）テキスト(1)p114~ 118を読み、我が国の精神保健福祉の経緯を確認する。 （復習）障害者総合支援法による「住まい」「日中の居場所」「就労」「医療費」への支援を確認する。	平澤　則子
13	精神保健福祉活動② （心の健康づくり，自殺予防）	テキスト、映像資料をもとに、心の健康づくり対策及び関連する施策、心の健康づくりにおける保健師の役割と活動の展開を学ぶ。 （予習）我が国の自殺者数・自殺率の動向を調べ、背景要因と公衆衛生看護の課題を考える。 （復習）テキスト(1)p128~ 138を読み、社会病理を背景とする精神的問題を確認する。	平澤　則子
14	難病保健福祉活動① （難病，QOL，行政施策）	QOLの視点から、難病患者・家族における健康・生活上の課題、患者・家族を支える保健師の役割と活動の展開を学ぶ。難病に関連する施策・制度・事業を学ぶ。 （予習）難病療養者のドラマや漫画を題材に、患者の生活課題を考える。 （復習）テキスト(1)p162~ 174を読み、難病の定義、難病対策を確認する。	平澤　則子
15	難病保健福祉活動② （難病法，地域支援体制）	2015年から始まった新たな難病対策について理解し、地域支援体制づくりにおける課題を理解する。映像資料もとに難病患者の最善のQOLについて考える。 (予習)事前配布資料（「難病ケア」にみる保健師活動の源泉）をよく読み、公衆衛生看護の基本的展開について確認する。 (復習)出身地域で暮らす難病患者と家族の地域支援体制づくりを考える。	平澤　則子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護論			授業科目番号	2313140
担当者氏名	山﨑　達枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．災害発生後の看護職の役割が理解でき、述べることができる。
2．災害発生後の心身に受ける影響について具体的な配慮について理解し述べることができる。
3．多職種との連携の必要性が理解でき、述べることができる。

《評価の方法》

定期試験100%

《テキスト》

『災害現場でのトリアージと応急処置（第2報）』（山﨑達枝著　日本看護協会出版会　2016年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

・新潟県内・県外に発生した主な自然災害について、自分の生まれ育った地域にどのような災害が発生したのか調べておくこと　　・授業開始前までに「災害現場でのトリアージと応急処置」を読み込み、さらに付録のDVDも学習し理解して授業に望むこと　　・災害が発生した時、関心をもち情報収集すること

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	日本災害史・自然災害 （新潟県　災害史）	（講義）過去の災害について災害多発国日本の歴史を知る。 （予習）特に中越地方で発生した自然災害について調べレポートする。500字以内、講義開始時間に収集 （復習）予習で不足した部分、授業で学んだ部分を追記する。リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確し、質問や自己学習とする。	山﨑　達枝
2	自然災害の種類 （発生するメカニズムの違い、特徴的疾患、災害医療、災害サイクル）	（講義）災害の種類と特徴的な疾患について学ぶ。自然災害・人的災害・特殊災害の特徴と疾患について理解する。救急医療と災害医療の相違点、災害サイクルについて理解する。 （予習）テキストから災害時に多い疾患を知る。 （復習）講義配布資料、テキスト内容を整理し理解する。リフレクションシートで理解したことや不明な点を明確にし、質問や自己学習する。	山﨑　達枝
3	災害看護 ①（災害サイクル　急性期）	（講義）災害看護とは　　災害看護の定義と特殊性病院での備えと役割 マニュアル・アクションカードとは　　急性期の看護職の役割 （予習）配布資料の内容に目を通す。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にし、質問や自己学習する。	山﨑　達枝
4	災害看護 ②（避難所・福祉避難所、被災者の健康問題）	（講義）避難所・福祉避難所、被災者に対する安全な環境とは 災害関連死について （予習）配布資料の内容に目を通す。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にし、質問や自己学習する。	山﨑　達枝
5	災害看護 ③DVD鑑賞（要配慮者）	（講義）要配慮者について理解する （DVD鑑賞）いのちのことづけ （予習）要配慮者とはどのような人を言うのか調べてくる （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にし・質問や自己学習する。 DVD鑑賞後の感想をレポートする。500字前後　次の授業に提出	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護論	授業科目番号	2313140
担当者氏名	山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	講義　精神衛生 ①（心的外傷後ストレス障害、心のケア）	（講義）被災者・救援者・遺族へのこころのケア　心身の健康　PTSD・惨事ストレスなど災害後に発生しやすい精神的　疾患について （予習）配布資料の内容に目を通す。 （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にし、質問や自己学習する。	山﨑　達枝
7	講義　精神衛生 ②（惨事ストレス、地域外から の支援活動）	（講義）被災者・救援者・遺族へのこころのケア　心身の健康　PTSD・惨事ストレスなど災害後に発生しやすい精神的　疾患について （講義）多職種・支援グループの紹介 （予習）コロナの期間に大切な人を亡くした方へ　配布資料を読む （復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にし、質問や自己学習する。	山﨑　達枝
8	まとめ （被災者のいのちと暮らしを守る）	（グループ討議）災害看護を学ぶことから「生活と生命、看護の本質」に繋げる。平時にできる減災、地域市民に伝えられるよう企画ができる。　（予習）グループ討議に積極的に参加できるよう、これ迄に学んだことを基本に、看護学生として出来ることを考えをまとめる。　（復習）リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にし、質問や自己学習する。	山﨑　達枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	歴史と文化			授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井　勝利、田邊　幹			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

日本人の伝統文化や生活様式に関する知識を知ることから日本の伝統的な地域文化に関する知識を深める。さらに、長岡の歴史から地域文化を考える。長岡地域を対象として、その歴史的な成り立ちを学び地域文化の理解を深め、さらに他の地域と比較することによって視野を広げる。また、地域社会を歴史的に理解するうえで、文化財の果たす役割にも着目する。近隣に位置する新潟県立歴史博物館において、新潟県の歴史と成果を実際に学ぶ。

《授業の到達目標》

1．新潟（長岡）の歴史について説明できる
2．新潟（長岡）の歴史をもとに新潟（長岡）の文化を考察できる
3．様々な地域の文化を理解できる

《評価の方法》

レポート90%、授業態度10%

《テキスト》

授業ごとに必要に応じてプリントなどを配布する

《参考図書》

授業中に適宜紹介する。

《履修上の留意点》

授業中に紹介する文献（史料）を精読すること。
課題の提出を怠らないこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	郷土史概説① （史料の解読と分析）	先史時代の新潟の様子を知る。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	浅井　勝利
2	郷土史概説② （史料の解読と分析）	県内の古墳について調べる。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	浅井　勝利
3	郷土史概説③ （史料の解読と分析）	奈良平安時代の新潟について知る。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	浅井　勝利
4	郷土史概説④ （史料の解読と分析）	古地図から過去の様子を探る （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	浅井　勝利
5	郷土史概説⑤ （史料の解読と分析）	郷土の温泉文化について知る。 （予習）インターネット等を利用し県内の温泉地について調べる。 （復習）ノート整理を行う。	浅井　勝利

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	歴史と文化	授業科目番号	1105050
担当者氏名	浅井　勝利、田邊　幹		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	郷土史概説⑥ （史料の解読と分析）	新潟県の古社寺について調べる （予習）インターネット等を利用して県内の社寺ついて調べる。 （復習）ノート整理を行う。	浅井　勝利
7	郷土史概説⑦ （史料の解読と分析）	幕藩制社会のしくみについて考える。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	田邊　幹
8	郷土史概説⑧ （史料の解読と分析）	戊辰戦争の歴史的位置について世界史的な視点から考える。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	田邊　幹
9	郷土史概説⑨ （史料の解読と分析）	幕末から明治期における感染症とその対策について考える。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	田邊　幹
10	郷土史概説⑩ （史料の解読と分析）	大正時代の社会と文化について知る。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	田邊　幹
11	郷土史概説⑪ （史料の解読と分析）	太平洋戦争と庶民との関わりについて考える。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	田邊　幹
12	郷土史概説⑫ （史料の解読と分析）	昭和36年・38年豪雪から自然災害について歴史的視点から考える。 （予習）中学・高校で日本史を履修した者は、教科書・副読本等を再読する。 （復習）ノート整理を行う。	田邊　幹
13	新潟県立歴史博物館見学 （文化財から学ぶ）	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る。 （予習）博物館のホームページで概要を確認する。 （復習）レポートを作成する。	浅井　勝利
14	新潟県立歴史博物館見学 （文化財から学ぶ）	郷土の博物館を見学し、先人のあゆみを知る。 （予習）博物館のホームページで概要を確認する。 （復習）レポートを作成する。	浅井　勝利
15	まとめ （史料の解読と分析）	あらためて新潟の歴史的位置づけを考える。 （予習）これまでの授業内容を振り返る。 （復習）ノート整理を行う。	浅井　勝利

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)			授業科目番号	2209050
担当者氏名	岸　賢治、星野　正			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》
運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（岸賢治/4回）白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。
（星野正/4回）骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。

《授業の到達目標》
別紙参照

《評価の方法》
〔造血器〕定期試験100%
〔運動器〕定期試験100%

《テキスト》
〔造血器〕『系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器』(飯野京子 他著 医学書院 2019年)
〔運動器〕『系統看護学講座　成人看護学[10] 運動器』（田中栄 他著　医学書院　2019年）
『系統看護学講座別巻　臨床外科看護総論』（矢永勝彦、高橋則子編　医学書院　2017年）

《参考図書》
〔造血器〕『病気がみえる vol.5: 血液』（医療情報科学研究所編　Medic Media　2017年）

《履修上の留意点》
〔造血器〕血液疾患の治療、特に造血器腫瘍の治療では、身体所見や検査所見でダイナミックな変化を来すことを知る必要がある。それらの変化を予測し、適切な対処が出来る知識を確保したい。　〔運動器〕本講義にあたり「人体の構造と機能」を理解しておく必要がある。講義で取り上げられない疾患、病態については各自の自習を推奨する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	造血のしくみ 血液の成分と形態・機能 血液疾患の症状と検査 貧血の分類・赤血球指数 貧血の鑑別診断	骨髄と造血幹細胞、血球の増殖と分化 末梢血液検査と正常値、血球の増多と減少、汎血球減少症 血漿と血清 輸血、血液型、血液製剤 鉄欠乏性貧血の診断と治療 再生不良性貧血 巨赤芽球性貧血 溶血性貧血	岸　賢治
2	造血器腫瘍 抗がん剤(化学療法)と副作用 造血幹細胞移植(骨髄移植) 支持療法(無菌室)	造血器腫瘍の分類と診断・治療、治療理念と治療計画 急性白血病:骨髄性とリンパ性、分類 骨髄異形成症候群	岸　賢治
3	造血器腫瘍 造血器腫瘍の診断と治療 分化誘導療法と分子標的療法	慢性白血病骨髄性 骨髄増殖性腫瘍:多血症 血小板血症 骨髄線維症 悪性リンパ腫・慢性リンパ性白血病の分類と診断治療 多発性骨髄腫	岸　賢治
4	出血性素因 止血機構 血管性出血性疾患 血小板減少症 血液凝固異常症 血管内凝固症候群(DIC)	止血・血栓形成の機序 出血性素因の検査 血小板減少と機能異常、特発性血小板減少性紫斑病(ITP) 先天性凝固異常症、血友病AとB、フォン-ヴィルブランド病 血管内凝固症候群(DIC)の基礎疾患、診断、治療	岸　賢治
5	運動器の構成 （運動器の異常、ロコモーティブシンドローム）	運動器を構成する器官の病態生理について講義形式で学習する。 （予習）運動器の構造と機能、病態生理についてテキストを読み、十分に理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)	授業科目番号	2209050
担当者氏名	岸　賢治、星野　正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	運動器の診断、検査、治療 （画像診断、保存的治療、手術療法）	運動器疾患の診断、検査、治療法について講義形式で学習する。 （予習）運動器疾患の診断、検査、治療法についてテキストを読み理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
7	骨粗鬆症と関連疾患 （診断、骨脆弱性骨折診断、治療）	骨粗鬆症の概要、関連骨折の診断、治療、現状について講義形式で学習する。 （予習）骨粗鬆症とその関連骨折についてテキストを読み理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
8	麻酔法 （麻酔の目的、麻酔法の種類骨折と治療法）	整形外科領域の麻酔と骨折について講義形式で学習する。 （予習）麻酔法、骨折についてテキストを読み、理解しておく。 （復習）講義内容をノートにまとめる。	星野　正
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)			授業科目番号	2209060
担当者氏名	三木　健司、渡部　和成			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。

（三木健司/4回）様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。
（渡部和成/4回）精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

《授業の到達目標》

〔脳神経〕将来チーム医療の一員として、診断／治療方針について討論が出来る。そのためには、医学における共通言語の認知と理解が必須である。暗記を要することが多くなると思われる。しかし、英単語を知らずして英語で討論出来ないのと同様に、最低限の医学知識なしに討論は不可能である。奮闘を期待します。
〔精神〕精神疾患に関する知識を身に付け実際の精神医療で必要な看護実践力の基礎作りができることを目標に講義をする。

《評価の方法》

〔脳神経〕定期試験（看護国家試験形式に準拠した客観テストによる評価）　100%
〔精神〕定期試験100%

《テキスト》

〔脳神経〕『系統看護学講座　成人看護学[7] 脳・神経』（井手隆文 他著　医学書院　2019年）
〔精神〕『系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎』（武井麻子 他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

〔脳神経〕指定しない
〔精神〕『わかった！統合失調症のベスト治療』（渡部和成著　星和書店　2018年）

《履修上の留意点》

〔脳神経〕網羅される領域に対しての講義時間が圧倒的に不足しており、予習として「講義テキスト」において次回授業の該当項目を一読し、内容を把握しておく事。講義はパワーポイントを用いた授業形式で行われる。
〔精神〕科学的な眼と人間的な眼でもって講義を聴いて欲しい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	１．脳／神経の構造と機能 ２．症状と病態生理	１．神経系の解剖（中枢神経／末梢神経／自律神経）を理解し、その構造と役割を理解する。２．神経系が傷害された場合、障害部位に対応する症状の種類や特徴を理解する。また、症状の病態生理を理解してより適切な看護の実践につなげる。	三木　健司
2	３．検査／診断と治療／処置	３．神経疾患患者の診察に置いて、問診／病歴の聴取、神経診察の目的を学ぶ。画像検査、電気生理学的検査、脳脊髄液検査、生検など検査概要や目的、適応、禁忌を理解する。　神経疾患の治療法を内科的治療法／外科的治療法について理解する。	三木　健司
3	４．疾患の理解１（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。　ついで血管障害、自己免疫、感染、変性など原因による疾患の分類と病態を学ぶ。　（脳疾患／脊髄疾患／末梢神経障害／筋疾患）	三木　健司
4	５．疾患の理解２（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	障害部位による疾患の分類を学ぶ。　ついで血管障害、自己免疫、感染、変性などによる疾患の分類と病態を学ぶ。　（神経接合部疾患／脱髄性疾患／感染症／中毒／てんかん／認知症）	三木　健司
5	精神医療・精神看護心得（精神医療総論）	①精神の病と社会、②精神医学の歴史、③精神医療とは、の３テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	授業科目番号	2209060
担当者氏名	三木　健司、渡部　和成		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	統合失調症及び近縁疾患（知覚と思考の病気）	①統合失調症とは、②近縁疾患について、の２テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。参考図書を読み最先端の臨床に触れることもして欲しい。	渡部　和成
7	気分障害及び神経症性障害（気分と不安の病気）	①うつ病、②双極性障害、③神経症、の３テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成
8	パーソナリティ障害、発達障害、摂食障害、依存症、認知症BPSD（注意すべき病気）	①パーソナリティ障害の種類、②BPD、③発達障害、④摂食障害、⑤依存症、⑥認知症の種類とBPSD、の６テーマに分けてテキストを参照しながら講義する。テキストの第４，５，６，８章を中心に予習・復習するとよい。	渡部　和成
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	保健統計学			授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木　翼			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○4-1 看護学を探究する意欲，○4-2 看護を追究する基礎的研究能力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際を学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う。

《授業の到達目標》

1．保健医療の現場での問題解決力を養うために、基幹統計や各種統計資料の収集方法、データの読み取り・加工・解釈の仕方を習得する。
2．保健医療情報を収集・取り扱うにあたって必要となる法令・指針、またプライバシーや個人情報等の倫理的事項について説明できる。

《評価の方法》

定期試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1~ 2枚程度

《テキスト》

『標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学』（牧本清子 他著　医学書院　2015年）
『国民衛生の動向　2021/2022』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）

《参考図書》

『統計学が最強の学問である』（西内啓著　ダイヤモンド社　2013年）
その他講義内で紹介する。

《履修上の留意点》

テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際にデータを触って知識を定着させること、またニュースやネット等でも統計に関する記事に積極的に触れ関心を持つことを望みます。数字を扱うことが多いため、電卓の持参を推奨します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健統計学概論 （医療情報の利活用、健康情報の見極め方）	統計学を学ぶ意義について理解する。統計調査の基本的な方法論、信頼できる健康情報の見極め方を習得する。 （予習）テキストpp107-108を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また講義内で紹介する参考図書を読む。	鈴木　翼
2	基本的な統計データの読み方 （尺度、基本統計量、相関と回帰、母集団、疫学的因果関係）	統計データの種類や性質を表す基本的な用語を理解する。また、統計データを正しく表現・解釈するための技法を習得する。 （予習）テキストpp109-123、138-141を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	人口統計① （人口ピラミッド、将来推計人口、国勢調査）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口静態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp144-153、国民衛生の動向pp47-84を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
4	人口統計② （出生率、死亡率、死因統計、生命表、平均寿命、健康寿命）	保健統計の最も基本となる人口統計のうち、人口動態統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp144-153、国民衛生の動向pp47-84を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
5	保健医療に関わる基幹統計① （国民生活基礎調査、社会生活基本調査）	保健医療に関わる基幹統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp156-159、国民衛生の動向pp85-91を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	保健統計学	授業科目番号	2210010
担当者氏名	鈴木　翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	保健医療に関わる基幹統計② （患者調査、医療施設調査、学校保健統計調査）	保健医療に関わる基幹統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp156-159、国民衛生の動向pp205-209、219-225、380-381を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
7	厚生労働統計 （国民健康・栄養調査、地域保健・健康増進事業報告、全国在宅障害児・者等実態調査、介護保険事業状況報告）	保健医療に関わる基礎的な統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp160-163を読む。事前に指示するウェブサイトを見る。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
8	疾病・障害の定義と分類／医療経済統計 （国際疾病分類、国際生活機能分類、国民医療費）	疾病・障害を定義・分類する方法について理解する。医療経済に関わる統計について、その調査法と特徴、データの読み取り方を習得する。 （予習）テキストpp164-168を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また、e-statにアクセスし、調査の実データに触れてみる。	鈴木　翼
9	医療情報に関する法令・指針・原則／活用可能なデータベースの基本 （個人情報保護、研究倫理、セキュリティ、データヘルス計画）	保健医療情報を扱う上で必要となる、個人情報保護、情報公開とセキュリティ、研究倫理等を習得する。 （予習）テキストpp170-182を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読、また講義で紹介するウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。	鈴木　翼
10	保健医療分野での地理情報システム(GIS)の活用 （地理情報システム(GIS)、空間的思考）	保健医療はじめ各分野で急速に利活用が進む地理情報システムについて、その概要や利点を学び、データを空間的に捉える考え方を理解する。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・資料を再読、また講義で紹介するウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。	鈴木　翼
11	保健統計各論① （地域保健と統計、災害・救急医療と統計）	地域保健（生活習慣病、高齢者保健、介護保険等）や、災害・救急医療に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
12	保健統計各論② （がんと統計、感染症と統計、学校保健と統計）	がん、感染症、学校保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
13	保健統計各論③ （精神保健と統計、母子保健と統計、産業保健と統計）	精神保健、母子保健、産業保健に関連する各種統計を提示し、データの読み取り方や解釈を通して理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・ウェブサイトを閲覧して知識を定着させる。データに触れ、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
14	グループワーク （医療情報の利活用）	小グループに分かれ、提示する課題に沿って、適切な統計調査の検索、データの加工と解釈を行い、学生間のディスカッションを通じて課題解決能力を養う。 (予習）1~ 13回までの資料を読み返す。	鈴木　翼
15	発表会・まとめ （医療情報の利活用）	グループワークの結果を全員の前で発表し、その内容をもとに全体でのディスカッションを行う。 一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に統計をどのように活用するか考えを深める。 (予習）保健医療現場での統計の活用について考えをまとめておく。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	疫学			授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木　翼			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学の概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的研究方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。

《授業の到達目標》

1．根拠に基づく保健看護活動を実践するために、疫学の概念と考え方を習得する。
2．疾病頻度の指標、曝露の指標、因果関係、交絡など、集団の健康状態を表す指標について説明できる。
3．各領域で用いられる疫学の実例を学び、関心を深める。

《評価の方法》

定期試験（70%）、レポート（20%）、授業貢献度（10%）
レポート課題は講義内で提示する。A4 1~ 2枚程度

《テキスト》

『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第3版』（日本疫学会監修　南江堂　2018年）

《参考図書》

『基礎から学ぶ楽しい疫学』（中村好一著　医学書院　2020年）
『疫学 医学的研究と実践のサイエンス』（木原正博ら訳　メディカルサイエンスインターナショナル　2010年）

《履修上の留意点》

集団の健康を扱う疫学の基本的な考え方を習得するために、テキストや講義で知識を学ぶことに加えて、実際に手を動かして計算を行うなど関心を持って講義に臨むことを期待します。講義内で計算演習があるため、電卓の持参を推奨します。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	疫学概論 （疫学の3要素、疫学の歴史、曝露と危険因子、因果関係）	授業ガイダンス 疫学の歴史や基本的事項を通じて、疫学を学ぶ意義と考え方について理解する。 （予習）テキストpp1-12を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。また講義内で紹介する参考図書を読む。	鈴木　翼
2	疾病と曝露の指標① （割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比）	疫学で頻用する用語（割合・比・率、罹患率と有病率、年齢調整死亡率、標準化死亡比等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキストpp13-22を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
3	疾病と曝露の指標③ （相対危険と寄与危険、オッズ比）	疫学で頻用する用語（相対危険と寄与危険、オッズ比、集団の設定等）について、計算方法とその意義を理解する。 （予習）テキストpp23-38を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
4	疫学調査法① （集団の設定、記述疫学、生態学的研究）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp39-53を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
5	疫学調査法② （症例対照研究、コホート研究）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp54-66を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	疫学	授業科目番号	2210050
担当者氏名	鈴木　翼		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	疫学調査法③ （介入研究、システマティックレビュー）	疫学調査の種類やその意義・利点と限界について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp67-82を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
7	疫学調査法④ （バイアス、交絡因子）	疫学調査に影響を及ぼすバイアスと交絡因子について、研究の実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp83-94を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
8	スクリーニング （感度、特異度、検査の信頼性）	スクリーニング調査の意義やその実例、スクリーニングで用いられる用語について実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp95-100を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
9	疫学調査の実際 （調査法の種類、質問紙の作成）	疫学調査を実際に行う際に考慮しておきたい事項について、実例提示を交えて理解を深める。 （予習）テキストpp101-105を読む。 （復習）講義スライド・テキストを再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
10	各論① （生活習慣病の疫学、難病の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
11	各論② （がんの疫学、母子保健の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
12	各論③ （感染症疫学、栄養疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
13	各論④ （社会疫学・政策疫学、臨床疫学、災害の疫学）	各分野で行われている疫学研究の実例を提示し、研究結果の読み取り方や解釈を通して関心と理解を深める。 （予習）事前に配布する資料を読む。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。講義で紹介した研究結果について、自分なりにまとめて考えを深める。	鈴木　翼
14	計算問題演習	第1~ 13回までに扱った各種疫学指標について、計算問題演習を通じて理解を深める。 （予習）第1~ 13回の講義資料等を振り返って置く。 （復習）講義スライド・参考図書を再読し知識を定着させる。	鈴木　翼
15	まとめ	一連の講義を総括して知識を整理し、今後の保健医療活動に疫学の知識をどのように活用するか考えを深める。 (予習）保健医療現場での疫学の活用について考えをまとめておく。	鈴木　翼

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習Ⅲ			授業科目番号	2311050
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、罨法、創傷管理、危篤・死亡時の看護について学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

《授業の到達目標》

1．対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、安全に実施するために必要な基本的知識を述べることができる。
2．診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、診療を補助する上で必要な基本的技術を実施できる。

《評価の方法》

定期試験60%、技術確認20%、提出記録物20%

《テキスト》

1.『ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術』（志自岐康子編　メディカ出版　2017年）
2.『写真でわかる臨床看護技術①　アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修　インターメディカ　2020年）
3.『写真でわかる臨床看護技術②　アドバンス』（本庄恵子、吉田みつ子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

・予習として授業計画に対応するテキストのページを熟読し理解しておくこと。理解できない箇所は授業中に確認し明確にしておくこと。復習としてテキスト、講義資料、参考書等を用い学習内容を整理し確実な知識にする。
・実施可能な技術を修得するために時間外に技術の自主練習を計画的に行う。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	診療に伴う看護技術（検査、治療・処置） 症状・生体機能管理技術（検体検査、生体情報、モニタリング）	・科目ガイダンス、診療を補助する看護者の役割 ・検査の種類・検査時の援助 ・検体検査、静脈血採血 ・生体情報のモニタリング ・採血用ホルダー・真空管採血針のセット・ME機器の取り扱い （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
2	検体の採取（静脈血採血） 与薬の技術（薬物療法、薬物動態、薬剤の種類、注射法、皮下注射）	【演習】静脈血採血　尿試験紙検査　動脈血酸素飽和度（SpO_2）モニターによる測定 （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・与薬のための基礎知識 ・注射の技術：注射の準備、皮下注射	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
3	与薬の技術（筋肉注射、静脈注射）	・注射の技術：筋肉注射、静脈注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
4	注射の実際（皮下注射）	【演習】注射の準備、皮下注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
5	注射の実際（筋肉注射、点滴静脈注射）	【演習】筋肉注射、点滴静脈注射 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護技術演習III	授業科目番号	2311050
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	輸液ポンプ・シリンジポンプによる輸液管理（輸液管理、輸液ポンプ、シリンジポンプ） 安全を守る技術（医療安全、安全管理対策）	・輸液ポンプ、シリンジポンプによる輸液管理　　・輸血 （予習）事前に提示された課題に取り組む 【演習】輸液ポンプ、シリンジポンプ （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・医療安全の概念、安全を脅かす要因、安全管理対策 ・主な医療事故と予防対策	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
7	安全を守る技術（医療事故、事故対策）	【演習】 ・医療事故、対策の調べ学習 ・転倒、転落、誤嚥、誤薬、チューブ類抜去の事故対策 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
8	呼吸を整える援助技術（呼吸の生理的メカニズム、呼吸のニーズ）	・呼吸を整える援助の基礎知識、効果的な呼吸方法 【演習】酸素吸入療法一時的吸引、吸入 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
9	呼吸を整える技術（酸素吸入療法、一時的吸引、吸入） 皮膚・創傷を管理する技術（皮膚の構造と機能、創傷の分類）	【演習】酸素吸入療法、一時的吸引、吸入 （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・皮膚・創傷を管理するための基礎知識、褥瘡の管理 （予習）事前に提示された課題に取り組む	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
10	皮膚・創傷を管理する技術（創傷処置） 体温を調節する技術（体温調節の生理的メカニズム、罨法）	【演習】創傷処置、包帯法 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング ・体温調節の生理的メカニズム・罨法の種類と適応	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
11	体温を調節する技術（温罨法、冷罨法）	【演習】温罨法、冷罨法 （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
12	安楽を確保する技術（安楽の意義、指圧、マッサージ）	・安楽の意義、指圧、マッサージ 【演習】指圧、マッサージ （予習）事前に提示された課題に取り組む （復習）演習の振り返りとセルフトレーニング	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
13	死の看取りの看護（危篤・終末期の定義、死の受容プロセス） 看護過程状況設定演習	・死にゆく人と周囲の人々へのケア ・死亡の動向と場所 ・危篤、終末時の生理的変化とケア、死後の処置 ・事例に対する看護過程の展開を行う	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
14	看護過程状況設定演習	事例に対する看護過程の展開を行う	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子
15	技術確認	演習で行った看護技術の中から選び技術習得度を評価する	倉島幸子 大橋洋子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2311080
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

疾病や障害を持ち、生きることとはどういうことかといった問いを対象者の立場になって学ぶ実習である。療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助的人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学び、共感や寄り添った看護を科学的根拠を持って実践することで看護を実感し、看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を習得する。

《授業の到達目標》

1．受け持ち患者と援助的人間関係を築くことができる。　2．健康上の問題が日常生活行動に与える影響を述べることができる。　3．日常生活行動に関するニーズに沿った援助が計画できる。　4．計画に基づき、安全・安楽・自立性に配慮した援助を実施することができる。　5．実施した看護援助を評価し、看護計画の追加・修正の必要性を考えることができる。　6．実習を通して責任ある行動・態度を修得できる。

《評価の方法》

実習目標の到達度について、実習態度、実習内容および実習記録、課題レポートを実習評価表で評価する。

《テキスト》

《参考図書》

看護援助論および基礎看護学で使用した教科書、資料を積極的に活用すること。

《履修上の留意点》

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを原則とする。　実習要項を熟読して実習に臨むこと。　常に相手の立場を考え、人間尊重、人権擁護、秘密の保持、安全への配慮、倫理面への配慮を十分に行い実習すること。　実習共通要項に従った見だしなみ、準備、態度を実習参加の条件とする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：２週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	倉島　幸子 大橋　洋子 大﨑美奈子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2311080
担当者氏名	倉島　幸子、大橋　洋子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論Ⅲ			授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井　貴子、目黒　優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。
成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。

《授業の到達目標》

1．看護過程の基礎的知識、看護理論と看護過程の関係性について理解する。
2．事例をとおして機能障害における看護実践を学ぶ。

《評価の方法》

定期試験60%、レポート20%、演習参加態度20%

《テキスト》

1.『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編　ヌーヴェルヒロカワ　2011年）
2.『ＮＡＮＤＡ-I看護診断 定義と分類 2021-2023』（Ｔ．ヘザー・ハードマン、上鶴重美著　医学書院　2021年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

演習では、各チームで話し合い、それを基にして実施します。チーム内で各人が役割を果たすためには、個人の事前学習が大切になります。チーム内で協力して演習を行いましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 機能的健康パターンの枠組み （看護過程）	ゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメントガイドの構成 （予習）看護過程の意義・目的 看護過程と看護理論の関係 （復習）パターンの枠組みの内容について	広井　貴子 目黒　優子
2	看護診断の特徴と看護過程 （看護診断）	看護診断の特徴と看護過程 （予習）看護過程の構成要素についてまとめておく （復習）看護診断の特徴について整理する	目黒　優子 広井　貴子
3	ＮＡＮＤＡ－I看護診断 （ＮＡＮＤＡ－I看護診断,共同問題）	ＮＡＮＤＡ－I看護診断、共同問題 （復習）ＮＡＮＤＡ－Ｉの領域（ドメイン）と類（クラス）について整理する	目黒　優子 広井　貴子
4	ＮＡＮＤＡ－I看護診断 （ＮＡＮＤＡ－I看護診断）	ＮＡＮＤＡ－I看護診断 （復習）ＮＡＮＤＡ－Ｉの領域（ドメイン）と類（クラス）について整理する	目黒　優子 広井　貴子
5	ＴＢＬ【Team-Bssed-learning:チーム基盤型学習】：個人事前テスト・チーム事前テスト、チーム検討 （糖尿病）	【個人・チーム事前テストを行う】：糖尿病に関する基礎的知識 【チーム検討を行う】：フィジカルイグザミネーションの実施計画を立てる （予習）フィジカルイグザミネーションについてまとめておく （復習）個人・チーム事前テストで間違えた個所を調べておく	目黒　優子 広井　貴子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護援助論III	授業科目番号	2312040
担当者氏名	広井　貴子、目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	ＴＢＬによる学習：チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション）	【チーム検討を行う】：フィジカルイグザミネーション実施計画、糖尿病急性合併症 （予習）糖尿病急性合併症についてまとめておく （復習）立案した実施計画を整理する	目黒　優子 広井　貴子
7	ＴＢＬによる学習：チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション）	【チーム検討を行う】：フィジカルイグザミネーション実施計画、糖尿病急性合併症 （予習）糖尿病急性合併症についてまとめておく （復習）立案した実施計画を整理する	目黒　優子 広井　貴子
8	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション、ＳＢＡＲを用いて報告）	【演習】①フィジカルイグザミネーションを実施する、ＳＢＡＲを用いて報告をする　②チーム検討を行う：シックデイ、実施で得られた結果から患者の状態をアセスメントする （予習）シックデイの対処方法についてまとめておく （復習）ＳＢＡＲの報告のポイントを整理する	目黒　優子 広井　貴子
9	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （糖尿病をもつ患者へのフィジカルイグザミネーション、ＳＢＡＲを用いて報告）	【演習】①フィジカルイグザミネーションを実施する、ＳＢＡＲを用いて報告をする　②チーム検討を行う：シックデイ、実施で得られた結果から患者の状態をアセスメントする （予習）シックデイの対処方法についてまとめておく （復習）ＳＢＡＲの報告のポイントを整理する	目黒　優子 広井　貴子
10	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 （復習）事例の個別性について	広井　貴子 目黒　優子
11	ＴＢＬによる学習：実施・チーム検討 （周手術期の看護援助技術）	チーム検討を行う：看護介入する必要があることがらについて 事例について術後の自立にむけた看護援助 （復習）事例の個別性について	広井　貴子 目黒　優子
12	【演習】創傷処置 （手術からの回復期の看護）	手術後の創傷の処置を実践し、回復過程にある人の看護について学ぶ （予習）スタンダードプリコーション、創傷処置	広井　貴子 目黒　優子
13	【演習】創傷処置 （手術からの回復期の看護）	手術後の創傷の処置を実践し、回復過程にある人の看護について学ぶ （予習）スタンダードプリコーション、創傷処置	広井　貴子 目黒　優子
14	【演習】発表 （自立にむけた看護援助）	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する	広井　貴子 目黒　優子
15	【演習】発表 （自立にむけた看護援助）	事例について術後の自立にむけた看護援助について各チームの学びを共有する	広井　貴子 目黒　優子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312090
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

老年期にある対象とその家族、およびそれを支える人びと、加齢に伴う心身機能の変化と老年期のアセスメントの特徴、加齢と健康障害に応じた看護に必要な知識・技術について学ぶ。高齢者に特徴的な健康問題の事例から高齢者の身体的・精神的・社会的特徴をふまえたアセスメントを行い、高齢者のＱＯＬ向上に向けた看護の方向性を考える力を養う。また、高齢者の家族や配偶者との関係や地域社会（社会資源）を活用した援助を学び、倫理的課題について考察する。

《授業の到達目標》

1．高齢者の生活機能・日常生活行動のアセスメント方法が述べられる。　2．高齢者に特徴的な疾患と看護が説明できる。
3．高齢者の倫理上の課題について討議し自己の考えが表現できる。　4．高齢者の治療上の特徴と看護が説明できる。　5．高齢者の日常生活を支える看護が説明できる。　6．治療・介護を必要とする高齢者の家族への看護の必要性が表現できる。

《評価の方法》

レポート、小テスト(30%)、定期試験（70%）

《テキスト》

1.『系統看護学講座　老年看護学』（北川公子 他著　医学書院　2018年）【2年次購入】
2.『系統看護学講座　老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著　医学書院　2018年）【2年次購入】

《参考図書》

『実践！ 高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著　メディカ出版　2017年）
ほか授業で資料配布、参考図書紹介

《履修上の留意点》

事前・事後学習を前提に、授業時間内に小テストを実施する。なお、レポートについては、形式・提出期限等、別途説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 老年看護の基本技術 （ヘルスアセスメント） （感覚器系の老化）	授業概要、評価方法 ・ヘルスアセスメントの枠組み ・感覚器系の加齢変化とアセスメント 【事前学習：高齢者のヘルスアセスメント、視覚・聴覚・皮膚の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	袖山悦子
2	老年者に特徴的な疾患と看護 （脳神経・循環器系）	・脳・神経系の老化、循環器系の老化 ・老年期の脳血管疾患（脳卒中）と看護 ・老年期の循環器系疾患（高血圧・心不全）と看護 【事前学習：脳神経・循環器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】 （小テスト　3点）	青柳直樹
3	老年者に特徴的な疾患と看護 （認知症、BPSD） （うつ、せん妄）	・認知症増加の背景 ・認知症の診断と治療 ・認知症の評価と看護 ・BPSD、うつ、せん妄 【事前学習：テキストを読む】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	袖山悦子
4	老年者に特徴的な疾患と看護 （呼吸器、腎泌尿器系）	・呼吸器系の老化、泌尿器系の老化 ・老年期に起こりやすい呼吸器疾患（肺炎・慢性閉塞性肺疾患）と看護 ・老年期に起こりやすい腎・泌尿器疾患（尿路感染症・前立腺疾患）と看護 【事前学習：呼吸器系・腎泌尿器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】　（小テスト　3点）	青柳直樹
5	老年者に特徴的な疾患と看護 （歯口腔器・消化器系）	・歯口腔器・消化器系の老化 ・老年期の歯口腔（う蝕・歯周病） ・消化器（逆流性食道炎・腸疾患）と看護 【事前学習：歯口腔系・消化器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	角山裕美子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312090
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	老年者に特徴的な疾患と看護 （運動器）	・運動器系の老化 ・高齢者に起こりやすい運動器疾患（骨粗しょう症・大腿骨頸部骨折・変形性膝関節症）と看護 【事前学習：運動器系の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】 （小テスト　3点）	角山裕美子
7	老年者に特徴的な疾患と看護 （皮膚疾患） （感染症）	・老年期に起こりやすい皮膚疾患（褥瘡・疥癬）と看護 ・老年期の感染症(MRSA・ノロウイルス・インフルエンザ）と看護 【事前学習：皮膚の解剖生理】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】	青柳直樹
8	老年者に特徴的な疾患と看護 （低栄養） 高齢者の倫理上の課題 （人工的水分・栄養）	・老化による栄養・食事の変化と栄養障害 ・低栄養(嚥下障害含む）、脱水、窒息 ・高齢者の人工的・水分栄養についての倫理的課題 【事前学習：栄養に関する倫理的課題について調べる】 【事後学習：栄養における倫理的問題についてレポート】 （配点　2点）	袖山悦子
9	高齢者の倫理上の課題 抑制における倫理的課題 （身体拘束体験）	・抑制体験について演習を実施する。方法については授業で提示する。 【事前学習:1年次の高齢者虐待と身体拘束の復習】 【事後学習：抑制体験をレポートする】 （配点　各3点）	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
10	高齢者の治療上の特徴と看護 （検査と看護） （入院と看護） （手術療法と看護） （薬物療法と看護）	・検査における留意点と看護 ・検査・手術時の看護 ・薬物療法と看護 ・高齢者の入院時の看護 【事前学習：テキストを読む】 【事後学習：本日の授業内容を整理する】　（小テスト　3点）	袖山悦子
11	日常生活を支える看護 （活動と休息）	・高齢者に特徴的な生活リズムの変化と看護 ・高齢者と生活リズム、睡眠と覚醒の変化、生活リズムのアセスメント、生活リズムを整える看護 【事前学習：自分の生活リズムと高齢者の生活リズム】 【事後学習：本日の復習】	袖山悦子
12	日常生活を支える看護 （起立・歩行） （老年症候群） （サルコペニア、フレイル）	・老年症候群と看護 ・事例の起立・歩行障害のアセスメントと看護 ・サルコペニア、フレイルの予防と看護 【事前学習：高齢者の起立・歩行障害について事前学習して臨む】 【事後学習：復習する】 （小テスト　3点）	青柳直樹
13	高齢者の家族看護 （家族形態と介護家族） （高齢者支援の多職種連携） 高齢者の生きてきた時代背景 （計画立案）	・家族とは ・高齢者と家族の関係の変化 ・高齢者・高齢者家族を取り巻く社会資源（多職種連携含む） ・高齢者の生きてきた時代背景についてグループワークの説明 【事前学習：家族とは何か、高齢者の世帯の家族構成、テキストを読む】　【事後学習：復習】	袖山悦子
14	高齢者の生きてきた時代背景 （老年人口の推移） （家族形態の推移） （社会情勢） （歴史上の出来事）等	1920年代（65歳~ 100歳）から現在までの高齢者が生きてきた時代について調べ学習をし、年表を作成する。グループ内で役割分担し、協力して完成させる。方法等の詳細については授業時に提示する。	袖山悦子
15	高齢者の生きてきた時代背景の発表 （まとめ）	・資料はA4用紙に、年代、社会情勢などを記載し、学生人数分作成する。 ・発表はパワーポイントを用いて行う。 （配点　10点） ※発表方法等については修正・変更する場合がある。	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312140
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

小児期に特徴的な疾患や障害に対する看護について学ぶ。特に、小児期の発病や障害の発症が小児の成長・発達や日常生活にどのような影響を及ぼすのかについて、具体的な事例を交えながら学ぶ。　(加固正子/3回)子どもの感染症にみられる主な症状と看護、救急救命処置が必要な重篤な疾患と看護について学ぶ。不適切な養育と子どもの健康障害の予防について学ぶ。(沼野博子/6回)消化器系の急性期症状と看護について学ぶ。周手術期、小児がんの子ども、先天的な健康問題、さらに出生時にハイリスクな状況にある子どもとその家族の看護について学ぶ。また、子どもの意思決定のための心理的支援について学ぶ。　(伊藤文子/6回)呼吸・循環器系の急性期症状と看護について学ぶ。家庭療養をしている慢性期疾患、そして心身障がいのある子どもとその家族の看護について学ぶ。さらに、外来における小児の看護について、近年の動向を踏まえて学ぶ。

《授業の到達目標》

1．子どもの健康問題の病態生理、症状、検査、治療を成長・発達的特徴と関連させ理解できる。
2．健康問題が子ども・家族の心身・社会・発達に及ぼす影響を理解できる。
3．目標1・2を踏まえ、子どもの人権を尊重した看護援助の必要性を述べることができる。

《評価の方法》

小テスト20%、事前・事後課題20%、定期試験60%

《テキスト》

『新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

《参考図書》

『系統看護学講座　小児看護学[2] 小児臨床看護各論』（奈良間美穂 他著　医学書院　2020年）
『ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護』（中野綾美編　メディカ出版　2019年）他適宜紹介する。

《履修上の留意点》

予習・復習に取り組み、講義に対応するテキストを熟読し理解しておく。課題内容、提出方法・期限については講義内で説明する。疑問点は講義中・後に確認し明確にする。講義内容の理解を確認するために小テストを実施する。出題範囲、実施時期・方法については講義内で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	子どもにみられる主な症状と看護 （発熱・不機嫌・啼泣・発疹・小児感染症）	子ども（乳幼児）に見られる主な症状と看護について理解する 感染隔離状況にある子どもとその家族の看護について理解する 【予習】小児感染症ごとに主な症状、病原体、伝播方法、潜伏期間、治療法や予防接種などについて、例にならって表を作成する	加固　正子
2	急性期の子どもと家族の看護 （チアノーゼ・ショック、川崎病、ファロー四徴症）	急性期にある子どもと家族の看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（ファロー四徴症、川崎病）	伊藤　文子
3	急性期の子どもと家族の看護 （嘔吐・下痢・脱水症状、ホームケア）	急性期にある子どもと家族の看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（腸重積、ヒルシュスプルング病、ウイルス性胃腸炎、幽門狭窄症）	沼野　博子
4	子どもの意思決定のための心理的支援 （プリパレーション、子どもの医療体験、子どもの権利擁護）	病気・治療・検査に関する子どもの理解や医療体験を踏まえ、プリパレーションの必要性・方法を理解する 【予習】配布された事前課題を行う（子どもの権利条約、インフォームドアセント）	沼野　博子
5	周術期における子どもと家族の看護 （苦痛緩和、術後合併症予防、セルフケア支援）	手術を受ける子どもと家族の術前・術後看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（口唇口蓋裂、鎖肛、食道閉鎖）	沼野　博子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312140
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	慢性疾患のある子どもと家族の看護（化学療法、症状マネジメント、セルフケア支援、復学支援）	小児がんの子どもと家族の看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（小児がん、小児白血病、骨髄穿刺、化学療法）	沼野　博子
7	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護 （ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、浮腫、セルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、慢性腎臓病）	伊藤　文子
8	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護 （糖尿病、低血糖,ケトーシス、セルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（1型・2型糖尿病）	伊藤　文子
9	家庭療養している慢性疾患のある子どもと家族の看護 （気管支喘息、食物アレルギー、呼吸困難、セルフケア支援、学校連携）	慢性期にある子どもと家族の看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（気管支喘息、食物アレルギー）	伊藤　文子
10	救急処置が必要な子どもと家族への看護 （けいれん、意識障害、ショック、頭部外傷、熱傷、髄膜炎）	救急処置を必要とする子どもトリアージについて理解する 救命や救急処置が必要な症状や疾患例をとおして、救急受診から治療中の看護までを理解する 【予習】配布された事前課題を行う	加固　正子
11	不適切な養育と子どもの健康障害 （児童虐待、リスク因子、一時保護）	不適切な養育と子どもの健康障害と看護について理解する 【予習】提示された専門用語についてまとめる	加固　正子
12	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護 （障がい受容、意思決定、発達支援）	先天的な健康問題のある子どもと家族の看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う(遺伝子異常、染色体異常、ダウン症候群)	沼野　博子
13	ハイリスク新生児と家族の看護（低出生体重児、NICU、ディベロップメンタルケア、退院支援、医療的ケア児)	低出生体重児の成長・発達を支える看護について理解する 【予習】配布された事前課題を行う(新生児・ハイリスク新生児の特徴と代表的な疾患、NICU、医療的ケア児)	沼野　博子
14	心身障がいのある子どもと家族の看護 （発達障がい、重症心身障がい児、医療的ケア、育児支援、家族支援）	心身障がいのある子どもと家族の看護とそれにかかわる多職種連携と看護職の役割について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（重症心身障害、発達障害）	伊藤　文子
15	小児外来における子どもと家族の看護 （外来トリアージ、感染症対策、初期対応、健診、育児相談）	外来受診する子どもと家族の援助と外来看護の果たす役割について理解する 【予習】配布された事前課題を行う（外来の特徴）	伊藤　文子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312180
担当者氏名	髙島　葉子、佐藤　初美			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。
（髙島葉子/12回）妊娠期、分娩期、産褥期の看護について学ぶ。
（佐藤初美/3回）新生児期の看護について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．周産期（妊娠期・分娩期・産褥期）にある女性、胎児および新生児の生理的変化を理解できる。
2．周産期にある女性と夫またはパートナー、家族の心理的・社会的特徴を理解できる。
3．周産期にある女性および新生児の生理的変化に対する看護援助の方法を述べることができる。
4．周産期各期および新生児の正常逸脱に対する看護援助の方法を述べることができる。

《評価の方法》

事前学習・事後学習などの提出物20%（提出50%、内容50%）、小テスト40%（妊娠期1回、分娩期1回）、定期試験40%（産褥・新生児期）の総合点で評価する。総合点が60点未満は再試験の対象とする。詳細は授業開始日に説明する。

《テキスト》

1.『系統看護学講座　母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著　医学書院　2021年）
2.『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修　インターメディカ　2020年）
3.『新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅱ』（前原澄子著　中央法規出版　2011年）

《参考図書》

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患』メディカ出版　　『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理』メディカ出版
『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』Medic Media　『新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅰ』中央法規出版

《履修上の留意点》

・事前か講義開始後、学習課題を提示するので、期日までに提出してください。教科書や講義資料をもとに学習に取り組んでください。Web情報を鵜呑みにしてはいけません。事前学習は、授業で課題発表等で共有する。
・前期で学んだ母性看護学概論の既習知識と関連づけながら積極的に学んでほしい。また、不明確なところは復習する。

《備考》

・疑問をそのままにせず、直接聞きにきて解決してください。時間の許す限りお答えします。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	妊娠期の看護① (妊娠の成立，胎児の発育)	授業ガイダンス 妊娠の定義，女性生殖器を踏まえた妊娠の成立過程，妊娠の診断検査，胎児の心身の発育と特徴 ＊課題学習やshort事例検討で（講義・GW等で）学ぶ	髙島　葉子
2	妊娠期の看護② (妊婦の身体的・心理的・社会的特性)	妊娠による母体の変化，妊婦・家族の心理社会的特徴，妊娠の経過に伴う胎児の変化，妊娠と薬と放射線と環境汚染物質 ＊課題学習やshort事例検討で（講義・GW等で）学ぶ 　最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
3	妊娠期の看護③ (妊婦・胎児，家族のアセスメントと看護)	妊婦と胎児のアセスメント，基礎的情報のアセスメント，妊婦の健康診査，母子健康手帳，日常生活に関するアセスメント，胎児の発育と健康状態の診断 ＊課題学習やshort事例検討で（講義・GW等で）学ぶ 　最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
4	妊娠期の看護④ (妊婦の異常と看護)	妊娠期の異常（ハイリスク妊娠，感染症，妊娠高血圧症候群，妊娠糖尿病等），ハイリスク妊娠（甲状腺機能亢進症，SLE，てんかんなど），妊娠期の感染症，高血圧症候群，糖尿病と妊娠糖尿病，切迫粒早産，常位胎盤早期剥離，前置胎盤，双胎，精神障害 ＊課題学習やshort事例検討で（講義・GW等で）学ぶ 　最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
5	小テスト（妊娠期） 分娩期の看護① (分娩の経過)	小テスト（妊娠期）30分 正常分娩の経過：分娩期の定義，分娩の経過 バースプランについて，実際にプランの作成。 ＊視聴覚教材によってイメージしながら学ぶ 　最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312180
担当者氏名	髙島　葉子、佐藤　初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	分娩期の看護② (産婦と胎児の健康状態)	分娩の３要素（娩出力：陣痛・腹圧，産道：軟産道・骨産道，娩出物：胎児・胎児付属物） 分娩経過（分娩第１期~ 第４期） ＊課題学習やshort事例展開で（講義・GW等）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
7	分娩期の看護③ (産婦・胎児，家族のアセスメントと看護)	分娩が母体・胎児に及ぼす影響，胎児モニタリング 産婦と家族の看護（産婦のニード，分娩第１期の看護の実際，分娩第２期の看護の実際，分娩第３期，４期の看護の実際），産痛の緩和に対応した看護，産婦と家族の心理への看護 ＊課題学習やshort事例展開で（講義・GW等）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
8	分娩期の看護④ (産婦の異常と看護)	分娩期のハイリスクおよび異常（狭骨盤，CPD，子宮破裂，微弱陣痛・過強陣痛，胎児の異常，前置胎盤，常位胎盤早期剥離，臍帯の異常，胎児機能不全，前期破水）の状態にある産婦の看護，産科処置・産科手術（帝王切開）と看護 ＊課題学習やshort事例展開で（講義・GW等）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
9	小テスト（分娩期） 産褥期の看護① (産褥期の身体的・心理的・社会的特性)	小テスト（分娩期）30分 産褥期の定義，産褥期の身体的変化（退行性変化：全身の変化，生殖器の変化，分娩による損傷，進行性変化：乳房の変化，褥婦と家族の心理・社会的変化），産褥期の身体的・心理社会的変化 ＊課題学習やshort事例展開で（講義・GW等）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
10	産褥期の看護② (褥婦のアセスメント)	産婦のアセスメント項目，退行性変化（生殖器の復古，全身状態の回復，退行性変化に影響する因子）のアセスメント，進行性変化と母乳育児に関するアセスメント，心理的変化と母親への適応過程のアセスメント，家族の適応過程のアセスメント，退位後の生活・社会環境のアセスメント ＊課題学習やshort事例展開で（講義・GW等）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
11	産褥期の看護③ (褥婦と家族の看護)	退行性変化を促すための看護(褥婦の日常生活とセルフケア，食生活の教育)，進行性変化と母乳育児への看護，母親になることへの看護(育児技術獲得への支援，母親役割獲得への支援，母乳育児支援，バースレビュー)，家族関係再構築への看護，母子の愛着形成の支援，家族の再調整 ＊課題学習やshort事例展開で（講義・GW等）学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	髙島　葉子
12	産褥期の看護④ (産褥の異常と看護)	退行性変化に関連する異常（子宮復古不全，産褥熱，尿路感染症），進行性変化に関連する異常（乳房・乳頭トラブル，乳腺炎等），妊娠・分娩に関連する異常（産褥血栓症，感染症褥婦），心理・社会的側面に関する異常（産後の精神障害：マタニティブルーズ，産後うつ病），帝王切開を受けた褥婦，特別な支援を要する褥婦の看護 ＊課題学習やshort事例展開で（講義・GW等）学ぶ	髙島　葉子
13	新生児期の看護① (新生児の生理)	新生児の定義，新生児の分類，新生児の適応生理（子宮外への適応，呼吸器系，循環器系，体温調節，ビリルビン代謝，糖代謝，消化器系，腎機能，免疫系，神経系，感覚器，皮膚） ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	佐藤　初美
14	新生児期の看護② (新生児のアセスメントと看護)	新生児の診断（ハイリスク児の要因，出生直後の評価，発育，黄疸，意識レベル，スクリーニング検査）の評価，健康状態（基礎的情報収集，子宮外生活への適応，生活）のアセスメント，出生直後から生後24時間以内（移行期）の看護~ 出生直後のケア，出生後24時間以内のケア，24時間以降から退院に向けたケア　　＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ　　最後にまとめ　リフレクション	佐藤　初美
15	新生児期の看護③ (新生児の異常と看護)	ハイリスク新生児の特徴，呼吸不全，循環不全，体温調節の異常，消化器の異常，代謝の適応不全，神経学的異常，分娩との関連，母体疾患と新生児の異常（糖尿病母体からの出生，GBS感染症），早産児・低出生体重児の特徴，先天異常がある新生児と看護 ＊事前課題学習やshort事例展開を織り交ぜながら講義等で学ぶ 最後にまとめ　リフレクション	佐藤　初美

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山　稔			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を教授し、精神的な健康の回復、保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種の役割と連携を教授し、看護の役割について学習する。

《授業の到達目標》

1．精神の健康障害に対するアセスメント方法と対人関係を基盤とした支援技法について理解できる。
2．代表的な精神疾患の病態とそれに応じた看護について理解できる。
3．精神医療福祉に関する法律の概要と看護者の倫理について理解できる。
4．精神医療福祉における関係職種の連携と看護の役割について理解できる。

《評価の方法》

授業内で実施する3回の小テストの合計（20%）、定期試験（70%）、授業中の発言や参加態度（10%）

《テキスト》

1.『系統看護学講座　精神看護学①　精神看護の基礎』（武井麻子　他著　医学書院　2021年）
2.『系統看護学講座　精神看護学②　精神看護の展開』（武井麻子　他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

『精神看護学　学生‐患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著　医歯薬出版　2015年）
その他、授業で配付するプリント

《履修上の留意点》

予習（事前学習）として、事前に配付される資料の内容と記載されているテキストの該当ページの内容を読んでおくこと。
復習（事後学習）として、授業中に配付するプリントの最後にある問題を必ず解くこと。間違った問題については、プリントやテキストを参考にして必ず確認しておくこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	精神障害者の理解 （精神症状、統合失調症、気分障害）	精神疾患に伴う代表的な精神症状を理解する。自分がもつ精神疾患や精神症状に対するイメージについて考えるとともに、精神症状がもつその人にとっての意味を理解する。 （予習）精神看護学概論で学習した内容について復習しておく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
2	精神看護におけるアセスメント方法 （セルフケア、ストレングス、エンパワメント、リカバリー）	セルフケア理論、対人関係理論を用いて精神疾患患者の健康障害をアセスメントする方法を学ぶ。対象者のストレングス（強み）に着目したアセスメント方法を理解する。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
3	精神看護における基本的技法 （コミュニケーション、アクティブリスニング、リスクマネジメント）	精神看護における特徴的な観察の方法と観察項目を理解する。症状の安定や回復を促進するコミュニケーションの基本的技法を学ぶとともに、精神科におけるリスクマネジメントの特徴を学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
4	精神看護における治療的人間関係 （ペプロウ、治療的人間関係、プロセスレコード、自己一致）	患者－看護師間の人間関係が生み出す治療的意味を理解する。対人関係の構築における自己活用の意味とそれを育むための自己理解、患者－看護師の治療的援助関係の発展過程、プロセスレコード等について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
5	病の体験を聴く （病の体験、リカバリー、エンパワメント、ストレングス）	社会福祉施設を利用しているゲストスピーカーから病気や生活の体験を聴く。精神疾患をもつことでの生きづらさとともに、生活における希望を理解し、看護の役割等を考える。 （予習）これまでの授業を踏まえ、ゲストスピーカーに質問したいことを考えておく （復習）体験を聴いて思ったこと、考えたことをまとめる	板山　稔

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2312220
担当者氏名	板山　稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	精神医療・保健福祉制度の法律 （精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法）	精神保健福祉法、医療観察法、障害者総合支援法等の内容を学び、精神医療・保健福祉制度における法律の体系と精神科看護における重要点を理解する。日本の精神科医療施策の問題点・課題について考える。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
7	地域精神保健福祉と看護 （ケアマネジメント、精神科訪問看護、精神科デイケア、障害者総合支援法、多職種協働、ピアサポート）	精神障害者の退院促進および地域生活定着に向けた支援のあり方について、訪問看護、デイケア、多職種協働の実践例、障害者総合支援法による支援の実際などを通して理解する （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
8	精神疾患の治療① （薬物療法、有害事象、電気けいれん療法）	精神疾患に対して、身体に働きかける治療（薬物療法、電気けいれん療法など）を理解し、必要とされる看護について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
9	精神疾患の治療② （精神療法、作業慮法、認知行動療法、社会生活技能訓練）	精神疾患に対して、精神や心理、活動に働きかける治療（精神療法、認知行動療法、作業療法など）を理解し、看護のあり方について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
10	統合失調症患者の看護① （幻覚妄想、思路障害、精神運動興奮、無為・自閉）	統合失調症の発症から寛解までの回復過程を理解し、事例を通して精神症状についてアセスメントする。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
11	統合失調症患者の看護② （薬物療法、服薬アドヒアランス、心理教育、セルフマネジメント）	統合失調症の急性期から慢性期における病態の特徴とその看護を理解し、社会参加や社会生活の定着に向けた看護支援のあり方について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
12	気分障害患者の看護 （うつ病、躁病、双極性障害、薬物療法、認知行動療法）	気分障害の病型と特徴的な病態を理解し、それらに対する看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
13	不安性障害、パーソナリティ障害、発達障害の患者の看護 （パニック障害、強迫性障害、境界性パーソナリティ障害、発達障害）	不安性障害（不安障害、パニック障害、強迫性障害）、パーソナリティ障害、発達障害（ADHD,自閉スペクトラム症、LD）の病態の特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔
14	依存症、アディクションの患者の看護 （アディクション、アルコール依存症、薬物依存症、摂食障害）	アルコール依存症、摂食障害を中心に、依存症・アディクションの特徴を理解し、看護支援について学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等を確認する	板山　稔
15	精神医療における倫理 （倫理原則、人権、倫理カンファレンス）	精神科医療における倫理的問題について理解し、倫理的問題に気づく視点を養うとともに、事例検討を通して倫理的問題に対する意思決定のプロセスを学ぶ。 （予習）事前に配付されている授業資料、資料に記載されているテキストのページを読んでおく （復習）配付資料の問題を解き、間違った問題はテキスト等で確認する	板山　稔

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅰ			授業科目番号	2313030
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について学ぶ。そして、訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族構成や地域の環境などを含め支援するケアについて学ぶ。

《授業の到達目標》

1．健康上の問題を抱えて在宅で生活する人々とその家族の特徴について説明できる。
2．在宅療養をする対象に応じた、生活の場で提供される看護援助の方法を説明できる。
3．在宅療養者に関わる医療、福祉の制度や社会資源に関して説明できる。
4．生活の場で提供される在宅看護の特徴、訪問看護の役割について考察することができる。

《評価の方法》

定期試験70%、グループワーク参加態度10%、技術演習20%

《テキスト》

『ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論(1)：地域療養を支えるケア』（臺有桂他編　メデイカ出版　2022年）
『ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論(2)：在宅療養を支える技術』（臺有桂他編　メデイカ出版　2022年）

《参考図書》

『退院支援ガイドブック』（宇都宮宏子監修、坂井志麻編　学研メディカル秀潤社　2015年）　　その他必要な資料を講義時に配布します。

《履修上の留意点》

各疾病治療論、各看護学概論、援助論等の既習内容と結び付けて学習を進めて下さい。
授業に関しては、訪問看護の実践者、ケアマネジャーによる講義もあります。学生の皆さんとディスカッションしながら進めていきます。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	在宅看護の目的、意義、対象者の特徴 （在宅看護、訪問看護、療養者、家族支援、日常生活自立度、介護度、介護力）	ガイダンス 在宅看護の目的、意義、対象について、在宅看護と病院の看護の違いについて概論を復習しながら学ぶ。 予習：暮らしの中での看護について概論の復讐をしておく 復習：在宅看護と病院の看護の違い、対象の特徴を表にしてみる。	古澤　弘美
2	訪問看護技術について （家庭訪問・初回訪問、在宅療養における看護過程の展開の特徴、移行期支援、多職種連携な）	療養の場の移行における支援と訪問看護における初回訪問の意義、目的、注意事項や在宅療養における看護過程の特徴について学ぶ 予習：テキスト18~ 31までを読んでくる。 復習：在宅療養における看護過程のポイントと情報収集の項目とアセスメントについてまとめる	古澤　弘美
3	在宅療養生活を支える基本的な技術について（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、在宅におけるアセスメント、在宅療養環境整備と社会資源の活用、感染予防、ターミナルケアについて）	在宅療養生活を支える基本的な看護技術について学ぶ 予習：テキスト34~67を読んでくる。 復習：住環境整備、福祉用具の活用についてその意義、種類を整理し、説明できる等にする。	古澤　弘美
4	日常生活を支える看護技術について （食生活、排泄、清潔、肢位保持と移動、呼吸、、睡眠に関する支援、家族支援）	在宅における基本的な日常生活支援技術の特徴と援助方法につて、家族支援も併せて学ぶ。 予習：テキストP70~ 104を読む。 復習：在宅療養における食生活、排泄、清潔、移動に関する社会資源についてまとめる。	古澤　弘美
5	在宅療養を支える医療ケア① （在宅医療ケアの特徴、服薬管理、疼痛ケア、自己注射、家族支援）	在宅療養における医療ケアに関する特徴を理解し、具体的な支援方法について学ぶ。 予習：テキストP106~ 180を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅰ	授業科目番号	2313030
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	在宅療養を支える医療ケア②排泄管理（排泄管理、ストーマ、膀胱留置カテーテル、家族支援、）	在宅療養における排泄の管理について、情報収集、観察、アセスメント、支援内容、医療的管理内容、自立支援について学ぶ。 予習：テキストP137~ 142を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美
7	在宅療養を支える医療ケア③呼吸管理（呼吸管理、在宅酸素療法、在宅人工呼吸器療法、吸引、家族支援）	在宅療養における呼吸管理について、情報収集、観察、アセスメント、支援内容、医療的管理内容、家族支援について学ぶ。 予習：テキストP117~ 137を読んでくる。 復習：学びをまとめる。	古澤　弘美
8	在宅療養を支える健康危機・災害対応について （健康危機、災害サイクル別に見た在宅療養者支援）	在宅療養における健康危機・災害対策の重要性について学ぶ。 予習：テキストP188~ 198を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
9	様々な状態の対象者とその在宅看護の特徴 （自己決定支援、自立支援、尊厳保持、権利擁護、医療管理）	認知症、難病、脳血管障害後遺症がある在宅療養者に対して在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP210~ 215、220~ 223を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
10	様々な状態の対象者とその在宅看護の特徴 （自己決定支援、自立支援、尊厳保持、権利擁護、医療管理、重症心身障害児、精神障害者）	地域で生活する重症心身障害児、精神障害者の在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP232~ 236、228~ 231を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
11	在宅における終末期患者とその家族への支援（緩和ケア、看取り、グリーフケア、疼痛コントロール、危機的状況、ACP、自己決定支援）	終末期のがん療養者の在宅療養を支える看護支援について事例をもとに学ぶ。 予習：テキストP216~ 219、239~ 241を読んでくる。 復習：学びから課題についてまとめる。	古澤　弘美
12	訪問看護とケアマネジメントの実際 (訪問の準備、ケアマネジメント、ケア会議、他職種との連携、心がけていること）	訪問看護ステーションの看護師とケアマネジャーより実際の在宅支援の活動について学ぶ。 予習：在宅看護に関する今までの学習内容を復習する。 復習：実際の活動報告から感じたこと、考えたことをまとめる	古澤　弘美
13	在宅療養者の生活を支える基本的看護技術（演習）① （訪問時のマナー、訪問計画、訪問時の必要物品、情報収集）	対象者・家族との信頼関係の構築目指した初回訪問時の対応をロールプレイで学ぶ 予習：事例を読み込んでくる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
14	在宅療養者の生活を支える基本的看護技術（演習）② （訪問時のマナー、訪問計画、訪問時の必要物品、情報収集）	演習続き 課題：ワークシートに基づきロールプレイの観察内容、訪問看護師としての対応を記入し、提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
15	まとめ	在宅看護の対象となる人々、在宅看護の特徴と看護の役割等についての学びをグループワーク・発表をとおして明確にする。 予習：前回までの授業内容と在宅看護学概論を復習 復習：学びを振り返り自己の課題を明確にする。	古澤　弘美

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313080
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。また、感染症対策における保健師の役割と保健指導を学ぶ。そして、地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。
（飯吉令枝/3回）導入の講義を行う。
（駒形三和子/12回）具体的な行政看護職の機能、役割等の講義を行う。

《授業の到達目標》

1．学校保健および産業保健における対象の健康課題と健康課題に応じた支援方法を説明できる。
2．学校保健および産業保健における関係職種を理解し、多職種連携における看護職の役割を考察できる。
3．感染症の予防の原則を理解し、感染症の特徴に応じた個人・集団、自治体・国レベルの予防対策を説明できる。
4．行政分野における保健師の看護管理の目的と機能を理解し、保健師に求められる役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
定期試験　　90%

《テキスト》

(1)『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』（松田正己 他著　医学書院　2018年）
(2)『最新公衆衛生看護学　各論2』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2022年）
(3)『国民衛生の動向　2021-2022』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）

《参考図書》

『最新公衆衛生看護学 第3版 各論2』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
その他適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

様々な活動分野における看護職の役割について考えながら授業を進めていきます。小児看護学・成人看護学、公衆衛生看護学、感染免疫学等の既習の知識を踏まえ積極的にディスカッションしながら授業に参加することを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　健康危機管理、感染症対策等看護師にも重要な講義内容です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	健康危機管理 （健康危機管理、災害、感染症）	ガイダンス 健康危機管理の理念と目的を理解し、健康危機管理における保健師の活動と役割について学ぶ。 （予習）災害、感染への備えとして自分自身が行っていることと、その理由が述べられるように準備する。 （復習）テキスト(2)p229~ 301を読む。	飯吉　令枝
2	公衆衛生看護管理① （事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理）	公衆衛生看護管理の目的を理解し、保健師活動にみられる管理機能について学ぶ。 （予習）テキスト(2)p194~ 198を読む。 （復習）公衆衛生看護管理（事例管理、地区管理、事業業務管理、組織運営管理、予算管理、人材育成・人事管理、情報管理）について整理する。	飯吉　令枝
3	公衆衛生看護管理② （行政分野、看護管理、キャリアラダー、公衆衛生看護倫理）	保健師に求められる能力と管理機能について事例をを通して学び、これからの保健師に求められる看護管理機能について考える。 （予習）先回の講義内容を確認する。 （復習）テキスト(2)p207~ 227を読む。	飯吉　令枝
4	感染症予防の原則 （感染症成立の３要因、感染症予防の３原則、感染症法、新興感染症、再興感染症、感染症類型）	感染症保健① 感染症成立の要因と予防の原則を理解し、感染症保健活動の基盤となる根拠法の制定の背景と予防対策のポイントを学ぶ。 （予習）テキスト(3)p135~ 136を読む。 （復習）テキスト(2)p195~ 196、p188~ 192を読む。	駒形三和子
5	感染症の特徴に応じた予防対策 （感染症の性格、全数把握、定点把握、HIV/AIDS、新型インフルエンザ、結核）	感染症保健② 感染症をその感染力や重篤性から分類した感染症類型の特徴を理解し、最近の流行状況を踏まえながら代表的な疾患とその予防対策を学ぶ。 （予習）テキスト(3)p136~ 142を読む。 （復習）テキスト(2)p203~ 217を読む。	駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313080
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感染症拡大防止対策と予防接種 （感染症届出基準、感染症発生動向調査、検疫、予防接種）	感染症保健③ 感染症の蔓延を防ぐための国・自治体レベルの予防対策と予防接種法に基づく予防接種について学ぶ。 （予習）テキスト(3)p155~ 158を読む。 （復習）テキスト(3)p158~ 165を読む。	駒形三和子
7	感染症集団発生の演習 （感染症集団発生の定義、アウトブレイク、パンデミック、食中毒と感染症）	感染症保健④ 感染症集団発生を引き起こしやすい疾患、原因、予防対策についてグループ演習を通して学ぶ。 （予習）演習ワークシート（事前学習）を各自学習し演習に臨む。 （復習）演習ワークシート記入。次回講義開始時に提出。	駒形三和子
8	産業保健の目的と労働衛生管理体制 （産業保健の目的(ILO)、労働基準法、労働安全衛生法、産業医、総括衛生管理者、衛生管理者）	産業保健① 事例を通して、産業保健の目的、産業保健の基盤となる根拠法令と労働衛生管理体制について学ぶ。 （予習）会社等に勤務している家族・知人に、健康管理がどのように実施されているか聞いてくる。 （復習）テキスト(2)p264~ 266、p273~ 281を読む。	駒形三和子
9	産業保健師の活動 （産業保健師の歴史、産業保健の５管理、衛生委員会、職場巡視、OSHMS）	産業保健② 産業保健師の職務を通して、産業保健活動の展開と求められる役割を学ぶ。 （予習）テキスト(2)p266~ 272を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p281~ 282を読む。	駒形三和子
10	職業性疾病と特殊健康診断 （職業性疾病と業務上疾病、じん肺、有機溶剤中毒、電離放射線、腰痛、VDT作業等）	産業保健③ 職業性疾病とその対応および、様々な特殊健康診断について学ぶ。 （予習）テキスト(2)p283~ 286を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p286~ 290を読む。	駒形三和子
11	メンタルヘルスと長時間労働 （ラインによるケア、ストレスチェック制度、産業医面接、中小企業、地域産業保健センター）	産業保健④ 産業保健の大きな課題であるメンタルヘルス対策と、心身ともに影響の大きい長時間労働対策および、労働安全衛生法の縛りのない中小企業のサポートシステムを学ぶ。 （予習）テキスト(2)p291~ 293を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p300~ 302を読む。	駒形三和子
12	産業保健の実際 （事業所の特性と健康課題、勤務形態、労働衛生管理の実際、産業保健師のやりがい、心がけていること）	産業保健⑤ 事業所の健康管理を実際に行っている産業保健師を招き、産業保健の実際について学ぶ。 （予習）テキスト(2)p296~ 299を読んでくる。 （復習）テキスト(3)p323~ 330に目を通し、講義内容と合わせて学びを整理する。	駒形三和子
13	学校保健の対象と関係職員の役割 （学校保健安全法、学校教育法、学校給食法、養護教諭、保健主事、学校三師）	学校保健① 学校保健活動の対象を理解し、対象の特性に応じた学校保健活動を展開するための根拠法令と学校保健関係職員の活動内容を学ぶ。 （予習）自分が今まで出会った養護教諭との印象的なエピソードを200文字程度でまとめる。 （復習）テキスト(3)p370~ 373（学校保健行政の動向）を読む。	駒形三和子
14	養護教諭の活動内容 （養護教諭の歴史、職務内容(学校保健計画、保健教育、保健管理、保健室経営)）	学校保健② 学校保健活動の中心的役割を担う養護教諭の活動を通して、学校保健活動の展開方法と求められる役割を学ぶ。 （予習）テキスト(2)p232~ 237を読んでくる。 （復習）テキスト(2)p252~ 261を読む。	駒形三和子
15	学齢期の健康課題に応じた支援内容 （いじめ、不登校、慢性疾患をもつ児童・生徒、医療的処置の必要な児童・生徒、発達障害、LGBT）	学校保健③ 学齢期の子どもの健康課題とその支援活動を学び、養護教諭の役割を考える。 保健師国試の過去問から学校保健活動のポイントを整理する。 （予習）テキスト(2)p243~ 252を読んでくる。 （復習）授業で使用した過去問の振り返り	駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護支援技術			授業科目番号	2313090
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、古澤　弘美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	2年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、援助提供の場に応じた保健師の役割、機能を考える。保健指導、家庭訪問の方法と技術、対象の主体的学習を支援する健康学習・健康教育の方法と技術、地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。

《授業の到達目標》

1．個人・家族の健康課題に応じた個別保健指導（家庭訪問・健康相談）の目的と展開方法を説明できる。
2．集団を対象とした健康教育のねらいを理解し、企画・実施・評価をする際の留意点を説明できる。
3．家庭訪問・健康教育の演習を通して、保健指導における保健師の役割を考察できる。
4．地域におけるグループ支援および地域ケアシステム構築の目的と保健師の役割を考察できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
技術演習　40%、定期試験　40%、レポート　10%

《テキスト》

(1)『標準保健師講座2 公衆衛生看護技術』（中村由美子 他著　医学書院　2020年）
(2)『国民衛生の動向　2021-2022』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）

《参考図書》

『最新　公衆衛生看護学　第3版　2020年版　総論』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
適宜、資料を配布する。適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

家庭訪問・健康教育の演習は楽しい演習になると思いますが、準備がとても重要です。授業時間外の時間を有効に活用して担当教員との意見交換を密にして授業に臨んでください。学生同士のグループワークでは、お互いを尊重しグループダイナミクスを最大限に発揮できる様、協力して課題に向かうことを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　地域での保健師の支援方法を学ぶことは、看護師としての視野を広げることにもつながります。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	保健指導 （保健師、保健指導）	ガイダンス 保健師が行う保健指導の特徴と保健指導の技術について学ぶ。 （予習）1年次の概論で学んだ保健師助産師看護師法における保健指導について確認する。 （復習）保健指導で活用できる理論について整理する。	飯吉　令枝
2	健康相談・家庭訪問 （個人、家族、保健指導）	健康相談の目的、方法を理解し、健康相談の展開過程の実際を学ぶ。 家庭訪問の目的・対象、援助方法を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p10~ 21（個人の理解と支援、家族の理解と支援）を読む。 （復習）健康相談・家庭訪問の対象と支援の特徴についてポイントを整理する。	飯吉　令枝
3	家庭訪問 （家庭訪問計画、記録）	家庭訪問の展開方法を学ぶ。 （予習）テキスト(1)p134~ 142を読む。 （復習）テキスト(1)p143~ 165を読む。	飯吉　令枝
4	家庭訪問演習①	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画~ 訪問~ 訪問記録のプロセスを体験する。 （事前課題）次回の演習までに「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を読んで訪問計画を立てる。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
5	家庭訪問演習②	「こんにちは赤ちゃん訪問」の事例を用いて、訪問計画~ 訪問~ 訪問記録のプロセスを体験する。 （課題）訪問記録の提出。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護支援技術	授業科目番号	2313090
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝、古澤　弘美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	健康教育① （健康教育と健康学習、KAPモデル、保健信念モデル、プリシード・プロシードモデル、ニーズ把握、目標設定）	保健師の行う健康教育のねらいを理解し、健康教育を企画するための理論およびモデルを踏まえた健康教育の展開方法について学ぶ。 （予習）テキスト(1)p168~ 172を読む （復習）テキスト(1)p173~ 180を読む （課題）生活習慣アンケートを記入し提出。	駒形三和子
7	健康教育② （テーマ、対象把握、学習内容、教材案、評価計画、演習準備）	健康教育を企画・実施・評価するための具体的な方法を事例を通して学ぶ。 また、対象者の理解を深めるためのシナリオ・媒体を作成する際の留意点についてディスカッションしながら学ぶ。 （予習）テキスト(1)p181~ 193および配布された事例を読む。 （復習）健康教育を企画・実施・評価する際のポイントを整理する。	駒形三和子
8	健康教育③ （ニーズの把握、絞り込み、企画書の作成）	健康教育演習① 成人期の生活習慣病予防（食事・運動・睡眠　等）に関する健康教育の企画 （予習）各自のグループが実施するテーマに関する事前学習 （復習）企画書を担当教員に確認してもらい、修正。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
9	健康教育④ （指導案・シナリオ・媒体の作成、デモンストレーション）	健康教育演習② 成人期の生活習慣病予防（食事・運動・睡眠　等）に関する健康教育のシナリオ、媒体作成 （予習）企画書を元に指導案を作成。 （復習）シナリオ、媒体を担当教員に確認してもらい修正。実施に向けたデモンストレーション（１回は担当教員に入ってもらう）	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
10	健康教育⑤ （健康教育の実施①）	健康教育演習③ 成人期の生活習慣病予防（食事・運動・睡眠　等）に関する健康教育の実施 （予習）各グループ代表で相談し、実施の順番を決める。各グループ内の役割（進行・タイムキーパー、記録係等）を決め、必要物品を準備。	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
11	健康教育⑥ （健康教育の実施②）	健康教育演習④ 成人期の生活習慣病予防（食事・運動・睡眠　等）に関する健康教育の実施・評価 （課題）評価表と実施後の振り返りシート提出	飯吉　令枝 古澤　弘美 駒形三和子
12	グループ支援、地区組織活動① （グループの定義、グループの発展過程、グループダイナミクス）	保健師が関わるグループの種類と特性を理解し、グループの発展過程における支援者の役割および、地区活動への発展について事例を通して学ぶ。 （予習）グループワーク等、グループで話し合ったり活動した場合のメリットを5つ考えてくる。 （復習）配布資料およびテキスト(1)p210~ 227を読み、学びを整理する。	駒形三和子
13	グループ支援、地区組織活動② （セルフヘルプグループ、住民組織・地区組織、グループ支援における保健師の役割）	セルフヘルプグループおよび地区組織の特徴を踏まえ、グループおよび地区組織の支援のあり方について映像資料や保健師国試過去問を活用しながら学ぶ。 （予習）テキスト(1)p228~ 233を読んでくる。 （課題）グループ支援における保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。	駒形三和子
14	地域ケアシステム① （チームづくり、ネットワーク化、コーディネート、地域ケアシステムの発展過程）	地域ケアシステムの概念、理念・目的、地域ケアシステムづくり、地域ケアシステムの発展過程、について事例を通して学ぶ。 （予習）今までの学習の中で、健康上の問題で地域を巻き込んで解決したほうが良いと思われる課題を1つ以上挙げる。 （復習）テキスト(1)p238~ 243を読み、講義内容と合わせ学びをまとめる。	古澤　弘美
15	地域ケアシステム② （ノーマライゼーション、地域づくり・まちづくり、共生社会）	地域ケアシステム構築において、課題になること、保健師活動として目指すもの、活動の評価について事例を展開しながら学ぶ。 （予習）テキスト(1)p244、249~ 259を読んでくる。 （課題）地域ケアシステムにおける保健師の役割について800字程度にまとめ提出する。	古澤　弘美

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	統計分析法			授業科目番号	1101030
担当者氏名	福本　塁			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

統計に必要な数字やデータ間の関係性を明らかにする方法だけでなく、実践的な例題を通じてデータが持つ「意味」を考える機会とします。講義では、「データから読み取れる特徴、集計、整理する方法」「一部のデータから全体を推計する方法」「データ間の関係性を分析する方法」を学び、受講者の興味関心に基づき、医療分野のみならず、趣味や日常生活に統計学が役立つイメージの理解」に結びつけることを目標にします。

《授業の到達目標》

Excelの操作、アンケートの設計・実施・集計が行えること
データの特徴、集計、整理する方法を理解していること
データ間の関係性を分析する方法を理解していること
社会調査の基本的な流れを理解していること

《評価の方法》

学習内容を定着させる簡単な課題：30%
積極的な姿勢：20%　定期試験：50%

《テキスト》

テキストは使用せず、授業の内容によって講師が独自に資料を作成・準備し、適宜配付します。授業後の学習内容を定着させる教材として講師が独自に用意したシステムを利用します。

《参考図書》

やさしい内容の統計学を扱った書籍、実践的な内容を扱った書籍等について、学習進度に応じて紹介します。本講義を受けて統計学に興味を持ったら読み進めてみてください。『データ解析のための統計モデリング入門』（久保拓弥著　岩波書店）

《履修上の留意点》

数学が苦手な受講者にもできるだけわかりやすく解説し、教科書の例題だけを解くような授業ではなく、生活に関わる実データを扱う講義内容です。積極的な姿勢で受講ください。

《備考》

インターネットにアクセス可能かつExcelがインストールされたPCを準備してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス	授業の進め方および統計学がどのように社会やみなさんの日常生活に役立つのかについて解説します。初回は「じゃんけんに勝つ方法」など「みなさんの知りたいこと」をベースにその場で調査し、取得データを分析し、生活に役立てるための検討を実施します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
2	データの要約と視覚化	データの要約と視覚化について学習し、関連する例題についてExcelの操作手順を学習します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
3	変数の相関	変数の相関（データとデータの関係性）について学習し、関連する例題についてExcelの操作手順を学習します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
4	正規分布	正規分布について学習し、関連する例題についてExcelの操作手順を学習します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
5	母集団と標本の関係	母集団と標本の関係について学習し、関連する例題についてExcelの操作手順を学習します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁

《基礎教育科目　基礎教育科目　思考力養成》

科目名	統計分析法	授業科目番号	1101030
担当者氏名	福本　塁		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	標本統計	標本統計について学習し、関連する例題についてExcelの操作手順を学習します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
7	推定	調査対象の一部のデータから全体の特徴を推定する方法を解説し、推定の手順を学習します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
8	社会調査設計基礎	みなさんの「知りたいこと」について社会調査を実施するためのアンケート設計をします。/知りたいことに関するテーマや具体的な質問項目を考えておき授業当日に回答できるように準備すること・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
9	社会調査回答①	みなさんの「知りたいこと」に関する全質問項目に回答します。回答者の視点で質問項目を精査します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
10	社会調査回答②	みなさんの「知りたいこと」に関する全質問項目に回答します。回答者の視点で質問項目を精査し、「知りたいこと」と「回答のしやすさ」について検討します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
11	社会調査設計実践	みなさん自身でアンケートフォームを作成し、データの収集、整理・分析の手順を学習します。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
12	社会調査データの分析①	自身で取得した調査データを用いて分析および可視化について実践的に学びます。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
13	社会調査データの分析②	自身で取得した調査データを用いて分析および可視化について実践的に学びます。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
14	統計データの活用	世の中には様々な統計データが存在します。どのようなデータがあるのかを概観し、分析および可視化する手順について実践的に学びます。/予習不要・授業で学習したこと・印象に残ったことを100字以上で記録すること。	福本　塁
15	まとめ	これまでの学習内容を範囲としたまとめについて解説します。/ 予習不要・第15回のまとめ資料をよく読み込み期末試験に向けて復習しておくこと、15回の授業を振り返るアンケートに回答すること。	福本　塁

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護倫理			授業科目番号	2311060
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

看護倫理の歴史的変遷から倫理的課題と概念を理解し、倫理の原則、倫理規定から看護職者に求められる倫理観について学習する。また、医療・看護の場で直面する倫理的問題やジレンマについて理解を深め、その問題解決のために活用できる法的仕組みや意思決定理論を学習する。また、事例を用いて倫理的な問題・葛藤についてグループワークで検討し、その患者にとって最も適切であると判断・行動できるための理論的根拠を考察し、看護職者として責務が果たせる基礎的能力を身につける。

《授業の到達目標》

1．「倫理とは」について理解し、看護倫理を学ぶ意義について述べることができる。
2．徳の倫理、原則の倫理、ケアの倫理について説明できる。
3．看護場面における倫理的問題を明らかにし、問題解決のための意思決定について、その根拠を述べることができる。

《評価の方法》

学習参加度 5%：発問に対する態度で評価する。　　グループワーク参加度 5%：グループ発表のまとめの内容、態度で評価する。　　レポート課題 90%：課題は講義の最終日に提示する。A4用紙2000字以内。

《テキスト》

『看護倫理』（小西恵美子編　南江堂　2021年）

《参考図書》

1.『看護倫理』（宮坂道夫 他著　医学書院　2018年）
2.『看護実践のための倫理と責任』（宮脇美保子著　中央法規出版　2014年）

《履修上の留意点》

思考を深める授業である。他者との討議に主体的に参加してください。自分の意見を述べることが大事です。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （倫理、倫理学）	本授業の学習内容、学び方について概説する。倫理とは何か、倫理学とは何か、について学ぶ。 （予習）テキストp2～9を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
2	倫理的探究の基礎（１） （倫理理論、倫理の歴史、徳の倫理）	倫理学の学問的位置づけ、倫理理論について学ぶ。倫理の歴史的推移を振り返り、「徳の倫理」について学ぶ。 （予習）テキストp16～21、p26～31を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
3	倫理的探究の基礎（２） （原則の倫理、ケアの倫理、倫理的課題のアプローチの特徴）	「原則の倫理」「ケアの倫理」について学ぶ。倫理の歴史的推移の中で生まれた、それぞれの倫理的課題へのアプローチの方法について、その特徴と問題点を学ぶ。 （予習）テキストp36～44、p62～66を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
4	看護職の専門性と倫理（１） （看護倫理の位置づけ、看護職の基本的責任、倫理的責任、法的責任）	専門職がもつ責任の意味を理解し、看護倫理の基礎となる位置づけと看護職のもつ倫理的責任、法的責任について学ぶ。 （予習）テキストp10～15、p67～70、p99～104を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
5	看護職の専門性と倫理（２） （実践上の倫理的概念、倫理綱領）	看護職の実践上の倫理的概念について学ぶ。日本看護協会の「看護者の倫理綱領」の前文、条文について倫理原則とてらしながら理解を深める。 （予習）テキストp210～215を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子

《専門教育科目　専門科目　看護の基本》

科目名	看護倫理	授業科目番号	2311060
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	倫理的意思決定 （倫理的意思決定方法論）	倫理的問題を解決する様々な意思決定方法論について学ぶ。 （予習）テキストp125 ～134を読む。 （復習)配布資料に目を通す。	中村　悦子
7	事例検討 （倫理的意思決定方法論）	意思決定方法論をとおして、問題の明確化・分析・行動の選択についてグループで討議し発表する。 （予習）6回目の配布資料に目を通しておく。	中村　悦子
8	まとめ （看護倫理を学ぶ意義）	事例検討の発表。看護倫理を学ぶ意義について、講義内容を振り返りまとめる。 （復習）発表内容から自分で理解したことをまとめる。	中村　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312100
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

高齢者の健康問題発生のプロセスとその変化を理解するためのヘルスケア・アセスメント技法を習得する。事例を用いて、加齢に伴う諸機能の低下、様ざまな疾患や薬剤による影響、環境から起こる変化が日常生活に及ぼす影響を考え、老年者の看護に必要な移動、排泄、食事援助、介護予防や老化防止につながる健康教育、コミュニケーション技法について体験型の演習で学ぶ。

《授業の到達目標》

1．体験型演習を通して、高齢者の心身機能の変化を捉え、必要な看護ケアを述べることができる。　2．高齢者を生活機能の観点からアセスメントし、看護過程を展開できる。　3．高齢者の状態を把握し、生活機能を整える看護を計画・実施できる。　4．高齢者の多様な生活・療養の場における看護を述べることができる。　5．高齢者のリスクマネジメントについて述べることができる。　6．エンドオブライフケアで求められる老年看護の役割を述べることができる。

《評価の方法》

課題レポート(50%)、定期試験(50%)

《テキスト》

1.『系統看護学講座　老年看護学』（北川公子 他著　医学書院　2018年）【2年次購入済】
2.『系統看護学講座　老年看護 病態・疾患論』（鳥羽研二 他著　医学書院　2018年）【2年次購入済】

《参考図書》

その他：授業で配布するプリント、授業中に紹介する。

《履修上の留意点》

シラバスに基づきテキストを中心に事前学習をして臨み、配布されたプリント及び授業時に提示された参考文献等を参照しながら提示された事前・事後学習をもとに学習すること。なお、課題レポート（①～⑦）の提出期限や提出場所については、授業で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス （高齢者のヘルスアセスメント） （高齢者総合機能評価）	授業ガイダンス ・ヘルスアセスメントの枠組み　・高齢者総合機能評価　・演習事例の看護過程の展開方法 【事前学習：高齢者のヘルスアセスメント、看護過程の展開】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
2	高齢者疑似体験 （高齢者疑似体験）	≪高齢者疑似体験≫　演習① ・高齢者体験グッズを装着した高齢者疑似体験 【事前学習：既習の知識の復習】 【事後学習：演習後、課題レポート①（5点）にまとめる】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
3	看護過程の展開 （事例展開）	≪事例展開≫　演習② ・片麻痺のある老年者の事例展開についての説明 ・片麻痺のある老年者の事例展開（アセスメント） 【事前学習：事例展開の準備する】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
4	看護過程の展開 （事例展開）	≪事例展開≫　演習③ ・片麻痺のある老年者の事例展開（アセスメント） ・シミュレーション演習に関する説明 【事前学習：事例展開の準備する】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
5	看護過程の展開 （事例展開）	≪事例展開≫　演習④ ・片麻痺のある老年者の事例展開（アセスメント、関連図） ・シミュレーション演習に関する事前準備 【事前学習：事例展開の準備する】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312100
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護過程の展開 （事例展開） （シミュレーション演習）	≪事例展開≫　演習⑤ ・片麻痺のある老年者の事例展開（看護計画） ・シミュレーション演習の実際 【事前学習：事例展開の準備する】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
7	看護過程の展開 （事例展開） （シミュレーション演習）	≪事例展開≫　演習⑥ ・片麻痺のある老年者の事例展開（看護計画、手順書）　（課題②　15点） ・シミュレーション演習の実際　（課題③　10点） 【事前学習：事例展開の準備する】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
8	高齢者の清潔の援助 （口腔ケア）	≪事例展開≫　演習⑦ ・片麻痺のある老年者の事例の看護計画の実施　（課題④　5点） （口腔ケア） 【事前学習：看護技術実施にむけた準備をする】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
9	高齢者の清潔の援助 （陰部洗浄） （おむつ交換）	≪事例展開≫　演習⑧ ・片麻痺のある老年者の事例の看護計画の実施　（課題⑤　5点） （陰部洗浄、おむつ交換） 【事前学習：看護技術実施にむけた準備をする】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
10	高齢者の食事の援助 （食事介助） （ポジショニング）	≪事例展開≫　演習⑨ ・片麻痺のある老年者の事例の看護計画の実施　（課題⑥　5点） （食事介助、ポジショニング） 【事前学習：看護技術実施にむけた準備をする】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
11	高齢者の移乗・移動の援助 （移乗） （移動）	≪事例展開≫　演習⑩ ・片麻痺のある老年者の事例の看護計画の実施　（課題⑦　5点） （移乗、移動） 【事前学習：看護技術実施にむけた準備をする】 【事後学習：実施した看護援助の評価をする】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
12	多様な生活・療養の場での老年看護 （介護老人保健施設） （特別養護老人ホーム） （地域密着型サービス） （介護予防）	・保健医療福祉施設での老年看護 ・居住施設での老年看護 ・高齢者とヘルスプロモーション ・地域に暮らす高齢者の介護予防	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
13	人生100年時代に求められる老年看護 （最新の老年看護）	老人看護専門看護師（GCNS)による講義 ・老年看護エキスパートによる実践事例の紹介 ・老年看護の最新技術 ・次世代に求められる老年看護の役割 【事前学習:疑問点等を質問ができるように学習する】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
14	高齢者のリスクマネジメント （医療安全） （救命救急） （災害）	・高齢者と医療安全 ・高齢者と救命救急 ・高齢者と災害 【事前学習：テキスト1.ｐ388～406を読む】 【事後学習：本日の授業内容の整理】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
15	エンドオブライフケア （意思決定支援） （終末期医療） （多職種連携）	・高齢者にとっての死、高齢者の意思決定支援 、高齢者の終末期医療 ・多職種連携による生を支える援助 【事前学習：テキスト1.ｐ348～358を読む】 【事前学習：今までの学習から老年看護の役割をまとめる】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312150
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

基礎看護学で学んだ技術を基盤として、乳幼児を想定した子どものフィジカルアセスメントや小児看護技術項目について小グループに分かれて演習室にて技術演習を行う。特に、検査・処置を受ける子どもに対する説明と不安軽減、個別性を考えながら適確な技術を提供するためのポイントについてＤＶＤやデモンストレーションを参考に実践的に学ぶ。

《授業の到達目標》

1．小児の特徴をとらえ、病態・治療、成長・発達、生活、家族のアセスメントから患児・家族の看護を導き出すことができる
2．グループ活動を通して、主体的に学習に取り組み、互いに協力し合いながら、積極的に課題を達成することができる
3．小児看護に必要な看護援助技術を根拠に基づき実践できる

《評価の方法》

提出物（事前・事後学習課題、演習記録）（60%）
グループワークの参加度、役割達成度（40%）

《テキスト》

1.『写真でわかる小児看護技術 アドバンス』（山元恵子監修　インターメディカ　2020年）
2.『新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護』（小林京子、高橋孝雄編　メヂカルフレンド社　2019年）

《参考図書》

『発達段階からみた小児看護過程』（浅野みどり 他編　医学書院　2021年）
『ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント』（渡邊トシ子編　ヌーヴェルヒロカワ　2011年）

《履修上の留意点》

小児看護学概論・小児看護援助論Ⅰの教科書・講義資料を精読し、事前学習課題に取り組んだ上で受講すること。課題は「ワークブック」として提示する。疑問点は演習中に質問し、理解を深めること。小児看護技術や看護過程の演習を含む授業であり、実際に参加することが重要である。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	小児看護学援助論Ⅱのオリエンテーション 看護過程・演習の概要と進め方（講義）	○オリエンテーション 看護過程演習の進め方 各記録用紙の記載方法、事例の提示、演習グループの発表 看護技術演習の目的・目標・事前課題・進め方 【事後学習課題】事例の情報を読み、担当するアセスメント項目に関連する情報をアセスメント用紙に書き出す、わからない用語等を調べる	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
2	看護技術演習① バイタルサイン測定 末梢静脈内点滴、経口与薬	Ａグループ　バイタルサイン測定 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　末梢静脈内点滴 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
3	看護技術演習② バイタルサイン測定 末梢静脈内点滴、経口与薬	Ａグループ　バイタルサイン測定 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　経口与薬 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
4	看護技術演習③ バイタルサイン測定 末梢静脈内点滴、経口与薬	Ａグループ　末梢静脈内点滴 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　バイタルサイン測定 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
5	看護技術演習④ バイタルサイン測定 末梢静脈内点滴、経口与薬	Ａグループ　経口与薬 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　バイタルサイン測定 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312150
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護技術演習⑤ 身体計測、採尿、吸入 プリパレーション	Ａグループ　身体計測、採尿 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　プリパレーション 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
7	看護技術演習⑥ 身体計測、採尿、吸入 プリパレーション	Ａグループ　吸入、症状アセスメント 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　プリパレーション 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
8	看護技術演習⑦ 身体計測、採尿、吸入 プリパレーション	Ａグループ　プリパレーション 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　身体計測、採尿 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
9	看護技術演習⑧ 身体計測、採尿、吸入 プリパレーション	Ａグループ　プリパレーション 【事前・事後学習課題】ワークブック Ｂグループ　吸入、症状アセスメント 【事前・事後学習課題】ワークブック	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
10	事例に基づく看護過程演習① 情報分析、アセスメント	情報分析、アセスメント 【事前学習課題】担当するアセスメント項目の情報を追加修正してグループワークに活用できるようにする	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
11	事例に基づく看護過程演習② 情報分析、アセスメント	情報分析、アセスメント ＜提出物＞アセスメント用紙	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
12	事例に基づく看護過程演習③ 関連図、看護計画立案	関連図、看護計画立案 【事前学習課題】関連図・看護問題の明確化を書き出す	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
13	事例に基づく看護過程演習④ 関連図、看護計画立案	関連図、看護計画立案	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
14	事例に基づく看護過程演習⑤ 看護計画発表準備	看護計画発表準備 ＜提出物＞関連図・看護計画用紙	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
15	事例に基づく看護過程演習⑥ 看護計画発表	看護計画発表	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312190
担当者氏名	柳原　眞知子、髙島　葉子、佐藤　初美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

妊娠・出産・育児期の健康問題や家族支援にかかわる看護援助の方法論をもとに、母子の事例を用いた看護過程の学習と看護技術を学ぶ。褥婦の全身、生殖器の復古と回復を助ける看護援助、母親・家族の役割適応を支援する看護援助、出生直後から移行期、退院までの新生児のウェルビーイングを助長する看護援助、退院後の生活指導に関する看護援助について学ぶ。

《授業の到達目標》

母性看護実習に向けて、
1．看護過程（臨床推論）を修得し、臨地実習で看護判断でき、必要なケア目標やケア計画を立てることができる。
2．臨地実習で求められるケア技術を演習により習得できる。

《評価の方法》

看護過程（臨床推論）50%：5回の看護過程の事例記録10%、展開レポート40%
技術演習50%：事前・事後レポート10%、授業態度15%、技術試験25%

《テキスト》

1.『新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅱ』（前原澄子著　中央法規出版　2011年）　2.『系統看護学講座　母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著　医学書院　2021年）　3.『新訂版　写真でわかる母性看護技術アドバンス』(平澤美恵子 他著　インターメディカ　2020年）　※臨床推論は、資料を配布する。

《参考図書》

1.『パーフェクト臨床実習ガイド　母性看護』（堀内成子編　照林社　2017年）　2.『看護の臨床推論』（石松伸一監修　学研メディカル秀潤社　2014年）　3.『アセスメントに自信がつく臨床推論入門』（小澤知子編著　メディカ出版　2019年）

《履修上の留意点》

・援助論Ⅱで母性看護学の知識を理解し習得し臨地実習に臨める
・提示された事前学習をした上で授業に参加すること
・記録の提出は期日を厳守すること

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護過程（臨床推論）１	母性看護学実習に必要な看護診断力を育成するため、〝臨床推論〞の理解を図る。最初に臨床推論とは何かを学習し、実習でのアセスメントに活用できるようになる。春課題の発表により褥婦・新生児の分析・解釈力を養う。 技術演習のオリエンテーション	柳原眞知子 髙島　葉子 佐藤　初美
2	看護過程（臨床推論）２	産後の母体の全身状態・母体疲労・心理の看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。看護過程２～６回まで、事例をまず一人で行い、グループ内で発表することとする。看護過程を展開した用紙は、修正して次の日の昼休みに５FのBOXに投函する。13時までに連絡なく未提出の場合、評価対象とされない。	柳原眞知子 髙島　葉子 佐藤　初美
3	看護過程（臨床推論）３	生殖器の復古の看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
4	技術演習１（妊娠期および分娩期）	①妊婦期の支援：レオポルド触診・子宮底長測定・浮腫・胎児心拍数に関する技術をDVD視聴・デモ、実施で学ぶ。 ②分娩期の支援：分娩監視装置の装着と読み取り、産痛緩和、呼吸法に関する技術をDVD視聴・デモ、実施で学ぶ。	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
5	看護過程（臨床推論）４	母乳育児支援のための看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。	柳原眞知子 髙島　葉子 佐藤　初美

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312190
担当者氏名	柳原　眞知子、髙島　葉子、佐藤　初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護過程（臨床推論）５	新生児の成長・発達の看護診断を事例を用いて行い、分析・解釈の書き方ができる。	柳原眞知子 髙島　葉子 佐藤　初美
7	技術演習２（産褥期退行性変化・進行性変化１－１）	子宮復古への支援（子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなど）の実際を学ぶ。 母乳育児支援（乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメント）の実際を学ぶ。	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
8	技術演習３（産褥期退行性変化・進行性変化１－２）	子宮復古への支援（子宮底・硬度・悪露の観察とアセスメントなど）の実際を学ぶ。 母乳育児支援（乳房の観察、ポジショニング・ラッチオンの観察とアセスメント）の実際を学ぶ。	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
9	技術演習４（新生児１－１）	新生児の観察（バイタル・黄疸・体重測定）の実際を学び、沐浴の可否を考えることができる。 　※タスクトレーニング 新生児のケア技術（抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法など） 　※タスクトレーニング	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
10	技術演習５（新生児１－２）	新生児の観察（バイタル・黄疸・体重測定）の実際を学び、沐浴の可否を考えることができる。 　※タスクトレーニング 新生児のケア技術（抱き方、着替え、おむつ交換、排気の方法など） 　※タスクトレーニング	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
11	技術演習６（新生児３－１）	新生児の清潔への支援（沐浴）の実施 　※タスクトレーニング 新生児の観察・ケア技術の復習	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
12	技術演習７（新生児３－２）	新生児の清潔への支援（沐浴）の実施 　※タスクトレーニング 新生児の観察・ケア技術の復習	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
13	看護過程（臨床推論）６	女性・パートナーの親性の形成、子育て支援の体制について事例を用いて行いて看護診断を行い分析・解釈の書き方ができる。	柳原眞知子 髙島　葉子 佐藤　初美
14	看護過程（臨床推論）７	事前に渡されていた「統合の看護過程」（A3）の用紙に、これまで学習してきた看護過程を統合的に分析・解釈し、看護診断・看護目標を記載した内容を各グループごとに発表・意見交換を行う。なお「統合の看護過程」用紙は事前に提出し、当日返却する。	柳原眞知子 髙島　葉子 佐藤　初美
15	看護過程（臨床推論）８	これまで行ってきた臨床推論の看護過程の発表を行う。	柳原眞知子 髙島　葉子 佐藤　初美

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2312230
担当者氏名	田邊　要補、板山　稔、藤田　勇			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

精神に健康問題を持つ人とその家族についての事例を通して、入院から社会生活までの看護を理解するとともに、精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対しての具体的な看護援助方法を学習する。さらに地域で暮らす精神に障がいをもつ人の看護についても理解する。

《授業の到達目標》

1．精神に特徴的な疾患や症状に応じた看護方法を理解できる。
2．精神看護学で看護過程を展開する方法を理解できる。
3．精神に障がいのある方の理解を深める。

《評価の方法》

定期試験50%、事例展開（個人）30%、事例展開（グループ）20%で算出し、60点以上を合格とする。

《テキスト》

1.『系統看護学講座　精神看護学①　精神看護の基礎』（武井麻子　他著　医学書院　2021年）
2.『系統看護学講座　精神看護学②　精神看護の展開』（武井麻子　他著　医学書院　2021年）

《参考図書》

参考書：『精神科リハビリテーション看護（精神看護エクスペール）』（坂田三允　総編集　中山書店　2009年）　『これからの精神看護学』（森千鶴著　ピラールプレス　2016年）　配布資料：授業に関連したDVD

《履修上の留意点》

シラバスをふまえ、授業で取り上げるテーマについて、テキストを中心に予習して授業に臨むこと。
配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	統合失調症患者の症状アセスメント うつ病患者の症状アセスメント （統合失調症、うつ病、アセスメント）	DVDの視聴内容をもとに症状をアセスメントする。 （予習）統合失調症、うつ病およびアセスメントの視点について予習してくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
2	双極性障害の患者の症状アセスメント アルコール依存症患者の症状アセスメント （双極性障害、アルコール依存症、アセスメント）	DVDの視聴内容をもとに症状をアセスメントする。 （予習）双極性障害、アルコール依存症およびアセスメントの視点について予習してくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	藤田　勇
3	事例を用いた看護過程の展開① 個人作業による情報の整理 （統合失調症、うつ病、情報の整理）	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、看護過程の展開において必要となる対象者の情報を整理する。 実習で用いる記録用紙を使用し、説明（講義）と個人作業による演習を交互に行う。 （予習）事例を読み、分からない用語等を調べておく （復習）記録用紙に沿って、情報の整理を完成させる	板山　稔
4	事例を用いた看護過程の展開② 個人作業によるアセスメント （アセスメント、セルフケアモデル）	統合失調症、うつ病の患者の事例を通して、得られた情報をもとに、個人でアセスメント記録用紙にそって分析・解釈を行う。 （予習）精神看護援助論Ⅰの第2回「精神看護におけるアセスメント方法」の資料を読んでおく （復習）記録用紙にそって記入を進め、期限までに提出する（提出内容と方法については講義内で別途指示する）	板山　稔
5	精神科臨床に用いられる尺度など （GAF、PANNSS、ハミルトンうつ病評価尺度、CP換算値など）	精神科臨床で用いられる代表的な尺度について理解する。また、CP換算値についても理解する。 （予習）精神科臨床で用いられる代表的な尺度について各自で調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2312230
担当者氏名	田邊　要補、板山　稔、藤田　勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	プロセスレコードを用いたカンファレンスの体験 （プロセスレコード、カンファレンス、グループリフレクション）	各自が記載したプロセスレコードを用いてグループメンバーと振り返り、自己の感情・思考と言動との不一致に気づき、対象との対人関係で生じている事象や自己の対人関係の特徴などについて理解を深める。 （予習）プロセスレコードを作成し、事前に提出しておく（提出方法については別途指示する） （復習）プロセスレコードの振り返りシートを記入する	板山　稔
7	精神科における治療的技法の体験① 元気回復行動プラン （自分自身の取り扱い説明書）	各自のストレス解消法を基に元気回復行動プランを理解する。 （予習）自分自身のストレス解消法をまとめてくる。 （復習）自分自身の元気回復行動プランを作成する。	田邊　要補
8	事例を用いた看護過程の展開③ グループワークによるアセスメント （アセスメント、セルフケアモデル）	統合失調症、うつ病の患者の事例について、個人作業でアセスメントしたそれぞれの結果をもとにグループワーク行う。より多面的にアセスメントし、看護上の課題を検討する。 （予習）精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく （復習）グループワークの結果を記録用紙にそってまとめる	板山　稔
9	事例を用いた看護過程の展開④ グループワークによる看護ケアの立案 （ケアプラン）	統合失調症、うつ病の患者の事例について、グループワークを通して看護ケアプランを作成する。 （予習）精神看護援助論Ⅰの第10・11回「統合失調患者の看護」、第12回「気分障害患者の看護」の資料を読んでおく （復習）グループワークの結果を記録用紙にそってまとめ、期限までに提出する（提出方法については講義内で別途指示する）	板山　稔
10	事例を用いた看護過程の展開⑤ グループワークによる看護過程の発表・統合失調症事例 （統合失調症、アセスメント、ケアプラン）	統合失調症事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、統合失調症患者の看護について理解を深める。　（予習）発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく。　（復習）他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する。	板山　稔
11	事例を用いた看護過程の展開⑥ グループワークによる看護過程の発表・うつ病事例 （うつ病、アセスメント、ケアプラン）	うつ病事例を担当したグループが看護過程の結果を発表する。発表以外のグループを含めて全体での質疑応答や意見交換を行い、うつ病患者の看護について理解を深める。　（予習）発表グループは発表の役割分担を決め、準備を整えておく。それ以外のグループは、発表に対して質問や意見を述べられるように事例を読んでおく。　（復習）他のグループの発表内容を参考にし、各自の内容を加筆する。	板山　稔
12	精神科における治療的技法の体験② 認知行動療法 （柔軟な思考、問題解決能力）	認知行動療法について理解する。 （予習）自分なりに認知行動療法を調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	田邊　要補
13	精神科における治療的技法の体験③ SST （社会生活技能訓練）	SSTの目的、方法、看護師の役割を理解する。 （予習）援助論Ⅰで学修したＳＳＴについて調べてくる。 （復習）学んだ内容を授業資料を活用しまとめること。	藤田　勇
14	精神症状の観察と援助　シミュレーション演習① （事前テスト、オリエンテーション）	幻聴のある統合失調症患者のアセスメントをし、援助方法を提案する。 （予習）入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境。 （復習）事前テストの内容について間違った問題は教科書等で確認する。	藤田　勇
15	精神症状の観察と援助　シミュレーション演習② （ブリーフィング、シミュレーション、デブリーフィング）	幻聴のある統合失調症患者のアセスメントをし援助方法を提案する。 （予習）入院形態、統合失調症の症状、治療内容、治療環境。 （復習）授業中に提示する課題を提出する。	藤田　勇

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅱ			授業科目番号	2313040
担当者氏名	古澤　弘美、駒形　三和子、飯吉　令枝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

対象別の在宅看護の実際に基づき、在宅看護に必要な知識・技術について講義・演習を通して学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について修得する。そして、在宅看護における紙上事例を展開し、在宅療養者とその家族に対する看護につなげる思考過程と必要な援助方法を学習する。

《授業の到達目標》

1．在宅療養者と家族の生活の質を高めるための看護援助を考え、述べることができる。
2．在宅療養者とその家族の紙上事例に対する看護過程を展開することができる。
3．在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術を実施することができる。
4．在宅療養者と家族の生活の質を高めるための社会資源の活用を対象者の状況にあわせて考え、述べることができる。

《評価の方法》

演習評価60%（紙上事例１：40%、足浴：20%）、事例の看護計画内容20%、グループワーク等授業への取り組み状況20%

《テキスト》

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

『ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論(1)(2)』（臺有桂他編　メディカ出版　2022年）
『在宅看護過程演習』（上田泉著　クオリティケア　2015年）

《履修上の留意点》

・事前に提示する課題に真摯に取り組むこと。
・講義で使用した資料および教科書の復習をする。
・講義内容と関連する科目の復習をする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 在宅看護過程 （情報収集、看護アセスメント、看護計画）	在宅看護過程の展開について学び、事例の看護過程を考える。 (予習）成人看護援助論Ⅲで学んだゴードンの機能的健康パターンについて確認する。 (復習）紙上事例（看護過程展開の事例）について、疾患、治療、看護援助について調べる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
2	在宅療養者と家族への看護援助①（情報収集、バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、在宅看護過程）	[演習①]紙上事例１への訪問時の情報収集とバイタルサインの測定を実施する。（在宅酸素療法中の療養者） (予習）事例を訪問した際に在宅療養者と家族から聞き取る内容と観察事項についてまとめておく。 (復習）紙上事例１から訪問時に収集した情報を整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
3	在宅療養者と家族への看護援助①（情報収集、バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、在宅看護過程）	[演習①]紙上事例１の情報の整理と病態関連図の作成を行う。 (予習）事例を訪問した際に在宅療養者と家族から聞き取る内容と観察事項についてまとめておく。 (復習）紙上事例１から訪問時に収集した情報を整理し、看護上の問題点を考える。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
4	在宅療養者と家族への看護援助②（HOTの管理、療養者、家族への指導、在宅看護過程）	[グループワーク]紙上事例１の看護計画を立案する。 (予習）在宅讒訴療法の管理について、観察ポイントを調べてくる。 (復習）在宅での酸素療法の管理について、観察ポイントと指導内容を整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
5	在宅療養者と家族への看護援助②（HOTの管理、療養者、家族への指導、在宅看護過程）	［グループワーク］紙上事例1の看護計画を立案する。 (予習）在宅での胃ろう管理について、観察ポイントを調べてくる。 (復習）在宅での胃ろう管理について、観察ポイントと指導内容を整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護援助論Ⅱ	授業科目番号	2313040
担当者氏名	古澤　弘美、駒形　三和子、飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	紙上事例の看護計画 (在宅看護過程)	[全体討議]グループ作成した紙上事例１の看護計画について各グループで共有する。 在宅酸素療法に関する訪問看護についてDVDで確認する。 (予習）各自、情報収集から看護計画の立案まで作成し、発表できるようにする。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
7	紙上事例の看護計画に沿って演習 (在宅看護過程の展開)	[演習②]グループで作成した看護計画に沿って、在宅酸素療法の管理と家族への支援に関して演習を行う。 (復習）訪問記録を行い、訪問時の対応に関して振り返る。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
8	紙上事例の看護計画に沿って演習 (在宅看護過程の展開)	[演習②]グループで作成した看護計画に沿って、在宅酸素療法の管理と家族への支援に関して演習を行う。 (復習）訪問記録を行い、訪問時の対応に関して振り返る。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
9	在宅療養での医療機器 （HOT、CVポート,ストーマ、人工呼吸器、吸引、経管栄養、災害時対応等）	在宅で使用する医療機器について学ぶ。(医療機器メーカーからの協力） （予習）在宅での医療管理について在宅看護援助論Ⅰの資料とテキストを読んでくる。　（復習）在宅での医療管理について、観察ポイントと療養者と家族への指導内容について整理する。各見学ごとの学びを記録し、支援のポイントを調べ、提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
10	在宅療養での医療機器 （HOT、CVポート,ストーマ、人工呼吸器、吸引、経管栄養、災害時対応等）	在宅で使用する医療機器について学ぶ。(医療機器メーカーからの協力） （予習）在宅での医療管理について在宅看護援助論Ⅰの資料とテキストを読んでくる。　（復習）在宅での医療管理について、観察ポイントと療養者と家族への指導内容について整理する。各見学ごとの学びを記録し、支援のポイントを調べ、提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
11	在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術 （足浴、移動と肢位の保持、家庭用物品の活用）	[グループワーク]紙上事例１についてそれぞれ足浴を実施するための手順書を作成する。 (予習）基礎看護学背学んだ清潔の援助について復習する。在宅で行う日常生活援助についてテキスト等で確認してくる。 （復習）次回の実施に向け、作成した手引書で足浴の練習を行う。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
12	在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術	[技術演習]足浴の実施 (予習）作成した手順書で足浴の練習を行う。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
13	在宅療養者とその家族の状況に応じた看護技術	[技術演習]足浴の実施 (復習）実施してみての反省をふまえ、手順書を修正して提出する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
14	在宅看護の対象に応じた社会資源の活用 （制度、社会資源）	[グループワーク]　在宅療養を支える法・制度と利用可能な社会資源について紙上事例を通して学ぶ。 (予習）在宅療養を支える制度や社会資源について調べる。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝
15	在宅看護の対象に応じた社会資源の活用 （制度、社会資源）	14回目の続き　[全体討議]　在宅療養を支える法・制度と利用可能な社会資源について各事例を通して学ぶ。 (復習）生活の質を高めるための社会資源の活用について事例ごとに整理する。	古澤　弘美 駒形三和子 飯吉　令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域診断論			授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康で暮らしやすい地域づくりをめざした地域看護活動の目的と方法について学習する。地域を看護の対象として認識し、社会との関連で健康課題を理解し、地域で生活する人々の健康と生活のニーズを、多角的にアセスメントする具体的方法を学ぶ。また、人々のニーズをいかした地域看護活動計画について考える。

《授業の到達目標》

1．地域における地域診断の意義と技法を理解し活用することができる。
2．地域診断に必要な情報（データ）の種類を知り、データ分析してアセスメントできる。
3．地域の健康課題の抽出及び健康課題の優先順位の決定方法を説明できる。
4．地域の健康課題・健康問題に添った活動計画を立案する際のポイントを説明できる。

《評価の方法》

授業貢献度　10%　（授業中の発言、態度をもとに評価する。）
技術演習　40%、定期試験　40%、レポート　10%

《テキスト》

『地域看護診断 第2版』（金川克子・田高悦子編　東京大学出版会　2011年）
『国民衛生の動向　2020-2021』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2020年）

《参考図書》

『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著　医歯薬出版　2018年）
『コミュニティ アズ パートナー 地域看護学の理論と実際 第2版』（ｴﾘｻﾞﾍﾞｽ T．ｱﾝﾀﾞｰｿﾝ他編　医学書院　2007年）

《履修上の留意点》

2年次までの公衆衛生看護学概論および援助論ⅠⅡ、公衆衛生学、保健統計学、疫学の学びを統合して理解を深めるとともに、既習の学びを活用してデータ分析・アセスメントすることを心がけてください。技術演習は個人ワークとグループワークを織り交ぜて展開する予定です。担当教員との積極的な意見交換で、有意義な講義・演習となることを期待します。

《備考》

保健師教育課程必修科目　病院での看護診断と保健師の行う地域看護診断との共通点と相違点を学ぶことができる科目です。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	地域診断の意義 （地域診断の目的、地域特性、鳥の目、虫の目、コミュニティ・アズ・パートナーモデル、プリシード・プロシードモデル、エスノグラフィ）	ガイダンス　　保健師の行う地域診断の目的と特徴および地域診断の技法について、活用できる理論やモデルと関連させながら学ぶ （予習）自分の出身地（または居住地）の市町村のホームページを閲覧し、①地域の特徴②強み③改善した方が良いところについて200文字程度でまとめる （復習）テキスト(1) p 9～ p 19を読む	駒形三和子
2	地域診断の展開過程① （地区視診、地区踏査、既存資料、マッピング、資料の読み取り、分類、比較、分析）	地域診断に必要な情報（データ：地域の特性、環境、地域で活用できる資源等）の種類とその入手方法、地域特性を掴むためのデータ分析・アセスメントの技法を事例をもとにしたミニ演習をとおして理解する （予習）テキスト(1) p 21～ p 36を読む （復習）テキスト(1) p 101～ p 120（高齢者）、p 120～ p 136（母子）、p 136～ p 153（成人）のいずれか1つを選択し読む	駒形三和子
3	地域診断の展開過程② （データの記述、推論、要約、看護問題、健康課題、要因、背景、優先順位、地域ケア実践の方向性）	アセスメントした資料の取捨選択・整理・統合、健康課題の抽出、優先順位付けの考え方と資料化のポイントを学ぶ （予習）前回のミニ演習の事例の分析から考えられる健康課題を1つあげる （復習）講義で解いた保健師国家試験問題の振り返り 【次回ノートPC持参】	駒形三和子
4	地域診断演習①【個人】 （地域特性の把握）	演習ガイダンス 対象地域の情報収集と分析 （予習）前回までの講義資料の振り返り （復習）収集したデータの読み取りと整理	駒形三和子 飯吉令枝
5	地域診断演習②【個人】 （データ分析・アセスメント）	データの比較・分析・推論 （予習）整理したデータの分類、比較データの収集、不明な点を担当教員に確認 （復習）分析したデータの整理	駒形三和子 飯吉令枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	地域診断論	授業科目番号	2313100
担当者氏名	駒形　三和子、飯吉　令枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	地域診断演習③【個人】 （健康課題の抽出）	分析・推論したデータの取捨選択と加工、健康課題の抽出 （予習）分析したデータを担当教員に提出し、意見交換 （復習）資料の整理、抽出した健康課題の要因・背景を考え記述	駒形三和子 飯吉令枝
7	地域診断演習④【グループ】 （健康課題の優先順位、地域ケアの方向性）	グループ内発表 グループ毎に各自が捉えた地域特性と健康課題の発表を行い、それぞれの共通点、相違点を話し合う。グループとしての地域特性と健康課題をまとめ、健康課題の優先順位、地域ケアの方向性を検討 （予習）グループ内発表準備（発表資料の印刷、プレゼン準備） （復習）グループで話し合った内容を整理	駒形三和子 飯吉令枝
8	地域診断から地域看護活動へ （地域看護活動計画、目標設定、事業評価）	全体発表、質疑 地域診断にもとづいた地域看護活動計画の立案、評価 （予習）全体発表準備（パワーポイント資料、プレゼン準備） （復習）課題レポート「保健師活動における地域診断の意義について考えたこと」演習自己評価表と共に提出期限までに提出	駒形三和子 飯吉令枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	健康教育論			授業科目番号	2313110
担当者氏名	丸山　敬子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◯2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◯2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

人々が地域において健康な生活を送るうえで、個人・家族・集団に対して、看護専門職が教育的役割を果たすことが求められていることから、教育指導力の基礎となる知識や方法を習得することを目的とする。クライアントが主体的にできる望ましい行動変容を目指すためや、自己管理力を高めるための健康教育の根拠となる理論やモデルを学ぶとともに、健康教育の対象、場、方法を理解し、また、活用される方法と媒体についてその特性を学習する。

《授業の到達目標》

1．公衆衛生看護における健康教育の位置づけについて述べることができる。
2．健康教育に関連する理論やモデルについて述べることができる。
3．健康教育の技術について述べることができる。
4．健康教育の展開過程について述べることができる。

《評価の方法》

定期試験80%
学習態度（授業中の発言・態度）20%

《テキスト》

『標準保健師講座[2]公衆衛生看護技術』（中村裕美子 他著　医学書院　2020年）

《参考図書》

適宜、ハンドアウトを配布する。
適宜、参考文献を紹介する。

《履修上の留意点》

看護職にとって、健康教育の概念は重要である。保健師だけでなく、看護師を目指す学生も選択することを推奨する科目である。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス 公衆衛生看護における健康教育（健康教育・疾病モデル・ライフモデル・対象・目的・目標・場）	ガイダンス 健康教育の展開のパラダイムシフトを理解し、健康教育の定義を理解する。また、健康教育は対象と目的、目標、場を明確にすることにより展開されることを理解する。 （予習）テキスト6章 健康教育の展開　A地域における健康教育の位置づけを読む。	丸山　敬子
2	健康教育に関連する理論・モデル （健康教育の基礎となる理論・健康教育理論・健康教育モデル）	健康教育に関連する、場の理論・変化の3段階理論・KAPモデル・ヘルスビリーフモデル・プリシード・プロシードモデル・変化のステージ理論・社会学習理論ついて既習の内容を確認し、理解する。 (予習)テキスト3章 公衆衛生看護の基盤となる理論　A④⑤　C⑤を読む。 (復習)自己の理解が不十分だと思う理論やモデルについて確実に理解する。	丸山　敬子
3	健康教育の技術と教育媒体 （学習方法・個別健康教育・集団健康教育・教材）	ピアエデュケーションを含む学習方法のタイプや、個別・小集団・大集団・不特定多数などの対象への健康教育の方法を理解する。また、健康教育の媒体の種類と特徴、選定について理解する。 （予習）テキスト6章　BとCを読む。 （復習）実際に、どのような健康教育が行われているか。インターネットで調べる。	丸山　敬子
4	健康教育の展開過程① （地域のニーズ・指導案）	地域のニーズの把握とアセスメント、健康教育の企画の過程について理解する。 （予習）テキスト6章　D①健康教育の準備を読む。 （復習）企画の過程を確認する。	丸山　敬子
5	健康教育の展開過程② （指導案・プログラム）	健康教育の指導案作成の技術と実施の過程について理解する。 （予習）テキスト6章　D②健康教育の実施を読む。 （復習）指導案の作成技術を確認する。	丸山　敬子

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	健康教育論	授業科目番号	2313110
担当者氏名	丸山　敬子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	健康教育の展開過程③ （評価・フォロー・自立支援）	健康教育の評価、終了後のフォロー、自立支援・組織化の過程について理解する。 （予習）テキスト6章　D③④⑤健康教育の評価・フォロー・自立支援を読む。 （復習）健康教育の一連の展開過程について確認する。	丸山　敬子
7	健康教育の実際	健康教育の過程を具体的に理解する。 （予習）テキスト6章 E健康教育の実際を読む。 （復習）テキスト6章 Eの内容とDの内容を対応させて、統合して理解する。	丸山　敬子
8	まとめ	授業全体を振り返り、内容をまとめる。 （復習）健康教育に関連する過去の国家試験問題を調べて解いてみる。	丸山　敬子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅰ			授業科目番号	2313150
担当者氏名	山﨑　達枝			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

災害看護論を基盤に実際に県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震の被災地、および県外の被災地に出向き、被災地の復興の流れや、防災・減災対策などを実際に学ぶ。同時に、フィールドワークを通して、被災者の理解を深め、看護職および地域住民双方の視点から防災、被災に対する自己の考えを深める。事例によるロールプレイングを行い災害で親しい人を失った遺族への言葉かけ、コミュニケーションスキル（傾聴）を学ぶ。

《授業の到達目標》

1．看護の知識と技術を活用し、基本的な支援活動が理解でき述べることができる。
2．シミュレーション学習を通して、災害時の看護師の役割と被災者の気持ちに寄り添うことの重要性について述べることができる。
3．支援活動時に多職種と連携・協同の理解ができ,活動計画が立案でき述べることができる。

《評価の方法》

1．実技確認：30%　期限内にレポート提出30%
2．授業態度：グループワーク参加態度：40%

《テキスト》

1.『災害現場でのトリアージと応急処置（第2報）』（山﨑達枝著　日本看護協会出版会　2016年）
2.『シミュレーションで学ぶ避難所の立ち上げから管理運営』（山﨑達枝監修　荘道社　2016年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

演習が多いです、そこで様々な疾患について病態生理をしっかりと勉強して授業に出席してください。例えばトリアージ実施する際、なぜそのような判断をしたのか？生理学的・解剖学的に説明を求めます。質問に答えられると授業は面白くなると思いますが、答えられないと辛い時間になるかと思います。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	災害時のトリアージについて（多数傷病者、トリアージ）	（講義）トリアージについて （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）テキストを読み、DVDを再視聴し再学習する。	山﨑　達枝
2	机上・映像シミュレーション（トリアージ、シミュレーション）	（演習）トリアージタグの書き方 （傷病者映像）傷病者の1次・2次トリアージの実践 （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）演習で間違えた部分をテキストで再学習する。	山﨑　達枝
3	演習（A・Bチーム）（トリアージ、外傷メイク）	（演習）外傷メイク（ムラージュ）後、模擬患者によるトリアージの実践 （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）演習で間違えた部分をテキストで再学習する。	山﨑　達枝
4	演習（A・Bチーム）（トリアージ、外傷メイク）	（演習）外傷メイク（ムラージュ）後、模擬患者によるトリアージの実践 （予習）テキスト1を読むこと、DVDを視聴する。 （復習）演習で間違えた部分をテキストで再学習する	山﨑　達枝
5	演習：A・Bチーム　応急処置（三角巾、本結び、被覆）	（演習）三角巾を使用した被覆応急処置 （予習）正しい本結びの結び方を覚える。 （復習）三角巾を使い、何度も繰り返し練習する。	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅰ	授業科目番号	2313150
担当者氏名	山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	演習：グループディスカッション （要配慮者トリアージ）	（講義）災害時の要配慮者とは （演習）机上シミュレーション：災害時、要配慮者のトリアージ （予習）テキスト2の55頁～68頁まで読む。 （復習）グループ内での要配慮者トリアージでの意見をまとめる。	山﨑　達枝
7	模擬体験（A・Bチーム） 中間実技確認（三角巾）	（演習）模擬体験：避難所 （実技確認）三角巾を利用した被覆応急処置 （予習）三角巾を使い、何度も繰り返し練習する。 （復習）三角巾を使い、正しい方法で何度も繰り返し練習する。	山﨑　達枝
8	演習 （エマルゴトレーニングシステム）	（演習）現場救護所から医療施設での受け入れと入院治療まで （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）実際に行ってできなかったことなどグループ内で振り返り、次の授業に繋げられるようにする。	山﨑　達枝
9	演習(A・B)チーム （エマルゴトレーニングシステム）	（演習）現場救護所から医療施設での受け入れと入院治療まで （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）実際に行ってできなかったことなどグループ内で振り返り、傷病者が入院治療できるようにする。	山﨑　達枝
10	講演（体験報告・復興とは）	（講演）中越地震被災体験から復興とは 現在までの活動体験を語る	山﨑　達枝
11	講義　災害と法律	（講義）災害に関する法律について （予習）災害に関する法律を調べる。 （復習）予習で不足した部分を授業や情報収集・検索を行い補う。	山﨑　達枝
12	DVD鑑賞 （遺族ケア、グリーフ）	（DVD鑑賞）「遺体」 （予習）配布資料「コロナの期間に大切な人を亡くした方へ」を読む。 （復習）感想レポート提出　字数は定めない	山﨑　達枝
13	DVD鑑賞後 グループ内意見交換	(GW)看護職ができる遺体・遺族への支援とは （グループ発表） （予習）遺族支援に関連した論文等を読みGWに参加する。 （復習）感想レポート提出　字数は定めない	山﨑　達枝
14	演習：避難所運営（HUG） Hinanzyo　Unei　Game （避難所運営）	（演習）避難所の管理運営（災害医療体系に基づいたシミュレーション） 事例から学ぶ、被災者・救援者への関わり （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）グループ内で振り返り、検討・軌道修正し次の授業に備える。	山﨑　達枝
15	演習：避難所運営（HUG） Hinanzyo　Unei　Game （避難所運営）	（演習）避難所の管理運営（災害医療体系に基づいたシミュレーション）、実施後は振り返りを行い、看護職の役割を再確認する。 （予習）テキスト2の4頁～27頁を読む。 （復習）学んだことについてレポート提出　字数は定めない。	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護学研究法			授業科目番号	2314070
担当者氏名	金子　史代、柳原　眞知子、板山　稔			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

看護研究における研究意識の涵養と基本的な調査方法や分析手法、文献購読や資料分析など、課題解決のための基礎的な研究能力を養成する。具体的には、研究とは何か、研究者とは、研究対象者とは、研究協力者とはなど、研究に関わる人について倫理的配慮も含めて学ぶ。今までの講義・演習・実習で生じた疑問や事故の課題について、研究計画書を作成することを体験する。

（柳原眞知子/2回）研究とは何か、研究の倫理的配慮について。　（金子史代/2回）研究のプロセスについて。　（板山稔/2回）研究報告書の書き方、論文の構成と書き方、報告・公表の方法について。

（共同/9回）研究疑問に対する文献収集、文献クリティーク、研究計画書作成を3名の教員が分担して指導する。

《授業の到達目標》

1．看護における研究の意義や役割について理解できる。　2．研究における一連のプロセス（文献検討、研究課題の明確化、研究デザインの検討、研究方法の具体化、データ収集と分析、結果と考察のまとめ）が理解できる。　3．研究における倫理的問題と具体的配慮について理解できる。　4．研究論文のクリティーク方法を理解し、関心のある課題に関連する論文のクリティークを行うことができる。　5．研究計画書の様式にそって、関心のある研究課題について計画書作成を体験できる。

《評価の方法》

研究計画書70%、クリティーク作成資料20%、授業参加態度10%

《テキスト》

『楽しくなる看護研究』（上野栄一 他著　メヂカルフレンド社　2012年）

《参考図書》

『看護研究サクセスマニュアル』（岡本恵里 他著　インプレス　2013年）

『看護研究 第2版―原理と方法』（D．F．ポーリット他著　医学書院　2010年）　他の参考図書等は授業内で適宜紹介する

《履修上の留意点》

各回に示された予習・復習を確実に行い、授業に臨むようにしてください。

4年次の卒業研究につながる科目であり、各回の配付資料も多いです。専用のファイルを必ず準備しておいてください。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護研究とは （看護研究、研究疑問、研究プロセス、研究計画書）	研究の意義・目的、看護研究と看護実践との関連等について理解し、研究のプロセスと研究計画書の内容について学ぶ。 予習：テキスト2～25ページを読む 復習：講義内容を振り返り、研究疑問をリストアップしてみる	板山　稔 金子　史代 柳原眞知子
2	文献検索の方法 （文献検索、文献レビュー、データベース）	文献検索の方法を理解し、実際にデータベースを活用して興味のあるテーマに関連する文献を検索する。 予習：テキスト44～51ページを読む 復習：文献検索を継続し、関心があるテーマに関連した文献を読み込む	板山　稔
3	研究デザインと文献クリティーク （研究デザイン、クリティーク）	研究デザインの種類を理解し、研究課題を明確にするために重要となる文献クリティークの方法を学ぶ。 予習：テキスト51～66ページを読む 復習：担当の論文を読み、文献クリティーク用紙を用いてクリティークを行う	板山　稔
4	文献クリティークの実際 （文献クリティーク）	授業では、事前学習として文献クリティーク用紙で学習を行い文献クリティーク用紙を基にグループ内で発表し、内容の意見交換を行う。よくできた発表者を選び、全体発表会で発表する。 予習：テキスト52～59ページを読む 復習：文献クリティーク用紙を見直し修正して提出する	柳原眞知子 金子　史代 板山　稔
5	量的研究とは （量的研究、量的研究の構成とプロセス）	1．量的研究とは、2．量的研究の構成とプロセス、3．質的研究の種類：実態調査研究、相関関係実証型研究、実験研究、4．概念枠組みとは、変数とは（独立変数、従属変数） 予習：テキスト67～71ページ及び事前配布資料を熟読し疑問点を事前にQカードに記入し提出する　復習：リフレクションシートで、理解したことわからないことを明確にする	柳原眞知子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護学研究法	授業科目番号	2314070
担当者氏名	金子　史代、柳原　眞知子、板山　稔		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	量的研究に必要な方法 （データ収集、データ分析）	1．量的研究のデータの収集：データ収集（配布・回収）、データの集計、2．量的研究のデータの分析；データ分析とは、3．データのまとめ方 予習：テキスト112～128ページ及び事前配布資料を熟読し疑問点を事前にＱカードに記入し提出する 復習：リフレクションシートで、理解したことわからないことを明確にする	柳原眞知子
7	量的研究としての調査研究の具体的展開 （調査研究、調査書の作成、依頼文）	実態調査研究の実際：1．調査の設計、2．仮説を立てる、3．調査対象者の選定、4．研究依頼の進め方、5．調査票の作成と妥当性・信頼性、6．ＰＣでのデータ入力方法　　予習：5コマ目の授業で配布された資料を熟読し調査研究について解らないことを明確にし、事前に提出する。テキスト72～78を読む。　　復習：テーマに基づき調査研究の一連の作業を行い、行われた作業をレポートとして提出する	柳原眞知子 金子　史代 板山　稔
8	質的研究とは （質的研究の特徴，研究参加者の条件、研究参加者の数）	質的研究の種類と共通する特徴を理解し、質的研究における研究参加者の条件、選び方、数について学ぶ。 予習：テキスト84～90ページを読む 復習：テキスト及び配布資料の内容を整理する	金子　史代
9	質的研究の進め方 （インタヴュー法：面接法の種類、インタヴューガイド、インタヴューの留意点、カテゴリーの生成と成果）	質的研究におけるデータ収集法のインタヴュー法：面接法の種類とインタヴューガイド、インタヴューの留意点を理解し、質的研究におけるデータの分析、成果を発表されている質的研究から学ぶ。 予習：テキスト90～109ページを読む 復習：テキスト及び配布資料から関心のある質的研究法を整理してみる	金子　史代
10	文献研究 (文献研究の目的、方法、得られる成果、文献研究のまとめ方）	文献研究の目的・方法・成果を理解し、文献研究のまとめ方、文献研究の研究論文としての構成について学ぶ。 予習：文献クリティーク用紙を見直し、テキスト44～59ページを読む 復習：配布資料及びテキストの内容を整理する	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔
11	研究倫理 （生命倫理，倫理的対応と記述，研究対象者の特徴と権利、倫理的対応、倫理審査委員会）	生命倫理と看護研究、看護と看護研究について理解する。看護研究における研究対象者の特徴と権利、看護研究における倫理的対応と記述を学ぶ。 予習：テキスト31～36ページを読む 復習：テキスト及び配布資料から倫理的配慮の記述を整理してみる	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔
12	研究論文の書き方・発表の仕方 （論文構成、抄録、口演発表、示説発表）	論文の構成と内容、書き方の基本事項を理解する。発表形式の相違と特徴を理解し、効果的なプレゼンテーションの方法を理解する。 予習：テキスト130～155ページを読む 復習：テキスト及び配布資料の内容を整理する	板山　稔 金子　史代 柳原眞知子
13	研究計画書の書き方 （研究テーマ、研究背景、研究目的）	研究計画書の意義、形式（記載項目）と内容、作成上の注意点について理解する。自己の研究テーマに合わせて、配付する用紙にそって研究計画のアウトラインを検討する。 予習：テキスト12～36ページを読む、自己の研究テーマ・研究目的を明確にしておく 復習：研究計画書の項目にそってアウトラインを検討する	板山　稔 金子　史代 柳原眞知子
14	研究計画書の作成① （研究背景、研究目的、概念枠組み、研究デザイン）	疑問点に関して教員の指導や助言をもらいながら、これまでの学習内容をもとに研究計画書の作成を進める。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔
15	研究計画書の作成② （研究対象、データ収集方法、データ分析方法、倫理的配慮）	疑問点に関して教員の指導や助言をもらいながら、これまでの学習内容をもとに研究計画書の作成を進める。 予習：研究計画書の項目にそって記載を進め、疑問点を明確にする 復習：研究計画書の項目にそって記載を進め研究計画書を完成させる	金子　史代 柳原眞知子 板山　稔

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	家族看護論			授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤　まさ子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	3年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-2 多職種と連携・協働する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

家族をシステムとしてとらえ看護する家族看護学の理論を学ぶ。具体的には家族の発達周期、システムとしての家族の理解、アセスメントモデルなどである。また看護過程を学び、臨床から在宅まで、それぞれの場で暮らす家族を地域の中で看護する方法について事例を通して学ぶ。

《授業の到達目標》

1．家族の概念や形態、機能について説明できる
2．家族看護過程の概要を説明できる
3．家族看護における看護者の役割・機能について説明できる
4．状況に応じた家族援助について説明できる

《評価の方法》

レポート課題 50%、学習態度（授業中の発言や参加度をもとに評価する）50%

《テキスト》

使用するテキストはありません。資料を事前に配布します。

《参考図書》

『あなたの知らない「家族」』（柳原清子著　医学書院　2001年）
『系統看護学講座　家族看護学』（上別府圭子 他著　医学書院　2018年）

《履修上の留意点》

講義、演習形式で、ある事例をもとに皆さんとともに考えながら授業を進めます。予習や復習をきちんとしてきてください。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	家族看護学とは(家族看護の変遷、定義、特徴)	家族看護の専門性、変遷、特徴、ねらい、「家族」について学習する。 （予習）学習範囲をノートにまとめる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
2	看護における家族の捉え方(家族の概念、家族の健康、家族構造、ジェノグラム)	家族の健康、家族の構造について学習し、事例を用いてジェノグラムを実際に書いてみる。 （予習）配布資料をノートにまとめること。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
3	家族の機能と現代家族の課題(育児機能、セルフケア機能、現代家族の様相と課題)	家族の育児やセルフケア、現代家族の様相と課題について学習する。 （予習）配布資料をノートにまとめること。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
4	看護と家族の接点(危機理論、家族システム理論、家族の看護ニーズなど)	看護対象として家族を知る、さらに看護介入の基礎を理解する。 （予習）自分の家族を援助対象として捉えると仮定して、どう説明するか。実際に書いてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
5	家族看護過程(1)(家族アセスメント、家族の適応状況、家族の対応能力、発達課題)	事例をとおして家族看護過程の構造を学ぶ。 （予習）提示された課題をノートにまとめる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	家族看護論	授業科目番号	2315010
担当者氏名	斎藤　まさ子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	家族看護過程(2)(事例展開)	ある家族像の把握、アセスメント演習を行う。 （予習）事例についてアセスメントする。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
7	家族援助のスタンスと方法(看護者の役割、援助姿勢、エンパワメント)	ある家族のアセスメントの続きをする。 （予習）これまでの学びを整理してくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
8	病気や障害のある子どもと暮らす家族への援助(1)(社会的・文化的背景、身体的・心理的背景)	小児患者の家族について学習し、事例を読む。 （予習）提示する課題をノートにまとめてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
9	病気や障害のある子どもと暮らす家族への援助(2)(事例展開)	ある家族のアセスメントと、援助の方向について演習。 （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子
10	救急医療のにおける家族への援助(1)(家族の発達課題、家族背景、危機モデル)	救急医療の場における家族について学習し、事例を読む。 （予習）提示する課題をノートにまとめてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
11	救急医療の場における家族への援助(2)(事例展開)	事例のアセスメントと、援助の方向について演習。 （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子
12	高齢者介護を行う家族への援助(1)(介護負担、介護における幸福感、高齢者虐待)	高齢者介護を行う家族について学習し、事例を読む。 （予習）提示する課題をノートにまとめてくる。 （復習）事例アセスメントの見直し	斎藤まさ子
13	高齢者介護を行う家族への援助(2)(事例展開)	事例のアセスメントと、援助の方向について演習 （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子
14	精神障害者と暮らす家族への援助(1)(社会的・文化的背景、身体的・心理的背景)	精神障害者と暮らす家族について学習し、事例を読みアセスメントする。 （予習）提示する課題をノートにまとめてくる。 （復習）授業で学習したことを読み返す。	斎藤まさ子
15	精神障害者と暮らす家族への援助(2)(事例展開、まとめ)	事例のアセスメントと、援助の方向について演習 / まとめ （予習）事例についてアセスメントしてくる。 （復習）学びを整理する。	斎藤まさ子

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312050
担当者氏名	金子　史代、広井　貴子、目黒　優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

急性期・周手術期にある成人を受け持ち、患者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、集中管理・治療・ケアなどの生命の危機状態にある患者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開していく過程で、患者とその家族の個別性を捉え、変化に応じた看護援助のあり方を考え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。

《授業の到達目標》

実習要項参照

《評価の方法》

実習における看護援助（実習態度,意欲を含む）カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。

《テキスト》

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

履修要件：基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲを修得していること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：2週間 2．実習場所：病院 3．実習内容：実習要項参照	金子　史代 広井　貴子 目黒　優子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312050
担当者氏名	金子　史代、広井　貴子、目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312060
担当者氏名	中村　悦子、目黒　優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

慢性期にある成人を受け持ち、患者の特徴と看護上の問題を理解し、慢性期における機能障害が生活に及ぼす影響、機能障害に応じた援助の方法、症状や検査・治療に応じた看護、多職種との連携による継続看護の方法を学ぶ。また、慢性期から死の転帰をとる成人期の患者とその家族の気持ちに寄り添い、患者や家族のＱＯＬ向上のための看護援助の実際を学ぶ。また、緩和ケアにおけるチーム医療を考えるとともに、在宅緩和ケアの意義や課題について考察する。

《授業の到達目標》

成人看護学実習Ⅱ　実習要項　Ⅱ．実習目標1）～10）参照

《評価の方法》

成人看護学実習Ⅱ　実習要項　9．評価1）～3）参照

《テキスト》

適宜提示します。

《参考図書》

成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲで引用したテキストおよび配布資料

《履修上の留意点》

実習オリエンテーションで提示された事前学習に取り組んで実習に臨むこと。各自で健康管理に留意し体調を整えて実習に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		成人看護学実習Ⅱ　実習要項　参照 【実習施設】長岡西病院、小千谷さくら病院	中村　悦子 目黒　優子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312060
担当者氏名	中村　悦子、目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅰ			授業科目番号	2312110
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

中間施設である介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。看護過程の展開にあたり援助関係を築き、高齢者の発達課題、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、健康の維持・増進を考え、高齢者の背景からＱＯＬの向上を考えた看護実践する。退院においては、高齢者の生活を支える看護職や多職種と連携の実際を知り、看護師の役割を考察する。また、入院する前の元気な高齢者の生活を知るために、地域の高齢者と交流する。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を参照

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料、テキスト

《参考図書》

『生活機能からみた 老年看護過程』（山田律子、内ヶ島伸也編　医学書院　2020年）
『実践！ 高齢者のフィジカルアセスメント』（角濱春美著　メディカ出版　2017年）

《履修上の留意点》

事前学習：老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料とテキストをもう一度復習しておくこと。
さらに、看護技術が実践できるように、各自復習を行っておくこと。
事後学習：実習の一連の過程を経て、自己の老年看護観の変化をレポートとしてまとめること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：2週間 2．実習場所：介護老人保健施設 3．実習内容：実習要項参照	袖山　悦子 青柳　直樹 角山裕美子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅰ	授業科目番号	2312110
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅱ			授業科目番号	2312120
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-1 地域のネットワークを共有する力，◎3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

地域で生活する高齢者の健康保持・増進・疾病予防・介護予防や日々の暮らしを様ざまな側面からサポートする仕組み、保健医療福祉・介護の連携・協働、地域住民の生活を守る包括的・継続的支援について学ぶ。
サポートセンターでは、地域密着型サービス内容から地域の特性を理解する。病院から退院に向けた多職種連携の実際を学び、高齢者のくらし、生活、介護、福祉、医療を対象に合わせて支える仕組みを体験する。また、個人・地域特性に応じ健康環境づくりや健康増進に関連する地域の組織的な取り組みや社会資源の開発を学ぶ。

《授業の到達目標》

実習要項の実習目標を参照

《評価の方法》

実習要項の実習評価を参照

《テキスト》

老年看護学概論、老年看護援助論ⅠおよびⅡの講義資料、テキスト

《参考図書》

《履修上の留意点》

事前学習：実習要項の事前学習を参照

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：2週間 2．実習場所：地域包括支援センター（長岡市、見附市）、高齢者総合ケアセンターこぶし園（各サポートセンター） 3．実習内容：実習要項参照	袖山　悦子 青柳　直樹 角山裕美子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	老年看護学実習Ⅱ	授業科目番号	2312120
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習			授業科目番号	2312160
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

子どもの健康問題、生活上および発達上の問題に注目し、子どもの特性やアプローチの基本、看護専門職として必要な知識・技術・態度を学ぶ。また、子どもと家族の健康増進などの看護を体験する。一般小児病棟や障がい児施設において一人または複数の小児を受け持ち、その児の健康問題、生活上の問題や発達上の問題にフォーカスし、小児の特性やアプローチの基本、看護専門職として必要な知識・技術・態度を学ぶ。また、保育園での小児実習、小児の健診の場面も活用し、小児と家族の健康増進などの看護を体験する。

《授業の到達目標》

実習要項を参照

《評価の方法》

実習目標の到達度について、実習記録、実習態度、実習レポートを総合して評価表で評価する

《テキスト》

《参考図書》

小児看護学概論、小児看護援助論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト、参考図書、授業資料を積極的に活用する

《履修上の留意点》

実習前オリエンテーションには必ず出席する。実習要項を熟読し、事前学習に取り組み実習に臨むこと。必要な講義資料及び演習で学習した資料をファイリングし実習期間中は必ず持参すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：2週間 2．実習場所：病院・保育園 3．実習内容：実習要項参照	加固　正子 沼野　博子 伊藤　文子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	小児看護学実習	授業科目番号	2312160
担当者氏名	加固　正子、伊藤　文子、沼野　博子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学実習			授業科目番号	2312200
担当者氏名	髙島　葉子、柳原　眞知子、佐藤　初美			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，◎2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦・新生児、胎児を含む）とその家族に対して、既習の知識・技術・対度を統合し、ウェルネス看護の視点で個別性のある看護過程を展開する。産婦人科病棟、外来（助産師外来、母乳外来）などで学ぶ。また、女性と家族が次世代を産み育てるために、家庭や地域における継続的な母子支援も体験する。具体的には、地域で活動する助産師の沐浴や新生児訪問への同行、母親学級を見学するなど、多様な場で学ぶ。

《授業の到達目標》

1．産褥期にある母性の特性と健康問題の理解を深め、看護過程を展開できる。　2．母子・父子を取り巻く家族関係を把握し家族再構築のための看護実践について説明できる。　3．母子支援は妊娠期から子産み子育て期まで継続して実践されていることを説明できる。　4．妊娠分娩産褥期および早期新生児期にある母性の特性と健康問題に応じた看護実践ができる。　5．生命の尊厳の認識を深めると共に自らの母性・父性・親子・家族について考えケア提供者としての成長を図ることができる。

《評価の方法》

到達目標に則った行動目標10項目に対し、実習記録、学習態度、自己学習状況、カンファレンスへの参加状況に基いて、評価基準1～5点を配し、評価する。60点以上を合格とする。

《テキスト》

『系統看護学講座　母性看護学[2] 母性看護学各論』（森恵美 他著　医学書院　2021年）
『写真でわかる母性看護技術アドバンス』（平澤美恵子、村上睦子監修　インターメディカ　2020年）

《参考図書》

『イラストで学ぶ新生児の生理と代表的疾患（改訂2版）』メディカ出版　　『イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理（改訂2版）』メディカ出版　　『病気が見えるvol.10 産科（第4版）』メディックメディア

《履修上の留意点》

実習前には、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱで学んだ知識を整理し、実習事前ノートを作成して臨むこと。母性看護学実習対象者の特性を考慮して、対象者の安全・安楽、羞恥心やプライバシーに配慮し、人権尊重の理念と個人情報保護を徹底する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	実習	１．実習場所： 病院：長岡中央綜合病院、柏崎総合医療センター、小千谷総合病院 済生会三条病院、長岡赤十字病院（2022年度より） 助産所：無床助産所（7か所） 子育て施設・産後ケア施設：長岡市（ママリラ西・三和、子育ての駅てくてく・ちびっこひろば）	髙島　葉子 柳原眞知子 佐藤　初美
2		２．実習期間：2週間 １）病院の病棟実習1週間 ２）病院産婦人科外来・子育て施設・産後ケア施設・助産所の実習を数日ずつ 1週間 ３．実習内容：実習要項参照	
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	母性看護学実習	授業科目番号	2312200
担当者氏名	髙島　葉子、柳原　眞知子、佐藤　初美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学実習			授業科目番号	2312240
担当者氏名	田邊　要補、斎藤　まさ子、板山　稔、藤田　勇			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎2-4 自己の看護実践を振り返る力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

精神看護学実習では、患者－看護師関係を築きながら、精神に障がいをもつ個人を生物的・心理的・社会的に捉え、強みを活かした健康回復への支援を実施する。関係構築の過程を通して対象者の体験を把握する能力と自己洞察の能力を養う。さらに、精神保健福祉における多職種チームの中での看護師の役割について理解し、看護者として対象者が地域で生活を営む上での必要な援助について理解する。病棟実習、社会復帰施設での実習を行う。

《授業の到達目標》

1．対象者との相互関係の中で精神に障がいを持つ人を多面的な視点でとらえ、説明することができる　2．コミュニケーション技術を用いて、対象者との関係を発展させることができる　3．対象者を一人の生活者としてとらえ、セルフケア能力を高めるための個別的援助をすることができる　4．対象者が地域で生活するために、多職種と連携し、社会資源を活用した援助方法を考えることができる　5．地域で行われている精神保健・医療・福祉活動を知り、看護の役割を述べることができる。

《評価の方法》

実習中は適宜面接を行い、最終的には実習目的・実習目標の達成度について、評価表を用いて評価する。

《テキスト》

学科作成の実習要項。精神看護学実習に関連する授業のテキストおよび資料。

《参考図書》

『精神看護学 学生‐患者のストーリーで綴る実習展開』（田中美恵子編著　医歯薬出版　2015年）
『パーフェクト臨床実習ガイド　精神看護』（萱間真美編　照林社　2015年）

《履修上の留意点》

実習に関連した既習学習をしっかりと復習して臨むこと。
体調を整え、積極的に実習に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：２週間 2．実習場所：田宮病院、デイケア、社会福祉施設 3．実習内容：実習要項参照	田邊　要補 斎藤まさ子 板山　稔 藤田　勇
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	精神看護学実習	授業科目番号	2312240
担当者氏名	田邊　要補、斎藤　まさ子、板山　稔、藤田　勇		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学実習			授業科目番号	2313050
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子、山﨑　達枝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	3年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎2-4 自己の看護実践を振り返る力， ○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

訪問看護ステーションでは、対象者を受け持ち、在宅訪問に同行し、対象の環境を理解して訪問看護過程を展開する。訪問看護過程の展開にあたっては人と家族がどのように暮らしたいかを把握し、その人らしさや家族の思いを活かす。また、地域の中で生活するために現存の社会資源について調べ、対象者や在宅療養のために必要な課題が表現できる。病院から地域への看護の継続と多職種との連携について理解を深め、地域で生活する様ざまな健康レベルにある人びとへの看護活動を理解し、看護実践能力の基盤を修得する。

《授業の到達目標》

1．訪問看護を通して、在宅療養者とその家族の特徴を理解し述べることができる。　2．在宅療養において、援助課題を評価し、本人と家族の特徴に応じた訪問看護計画を立案することができる。　3．訪問看護の実習を通して在宅で行う看護技術の特徴とその方法を説明することができる。　4．在宅療養を支援する社会資源と多職種連携について述べることができる。　5．在宅ケアシステムにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護の役割について述べることができる。

《評価の方法》

実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録、レポートによって総合的に評価する。

《テキスト》

『系統看護学講座　在宅看護論』（秋山正子 他著　医学書院　2017年）

《参考図書》

『在宅看護過程演習』（上田泉著　クオリティケア　2015年）　『訪問看護アセスメント・プロトコル』（山内豊明監修、岡本茂雄編　中央法規出版　2015年）　『在宅看護実習ガイド』（山田雅子編　照林社　2011年）

《履修上の留意点》

1．実習要綱を熟読して実習に臨む。　2．実習共通要項、在宅看護学実習要項に従った身だしなみ、服装、態度を実習参加の条件とする。　3．常に療養者と家族の立場を考え、尊厳、人権擁護、守秘義務、安全・倫理面への配慮に留意して実習する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習時間：2週間（2単位90時間） 2．実習場所：訪問看護ステーション 3．実習内容（実習要項参照）	古澤　弘美 飯吉　令枝 駒形三和子 山﨑　達枝
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	在宅看護学実習	授業科目番号	2313050
担当者氏名	古澤　弘美、飯吉　令枝、駒形　三和子、山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語Ⅳ			授業科目番号	1102060
担当者氏名	渡邉　有紀恵			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲで養った内容を基盤とする科目である。これまでに学んだ日本語の特徴を基盤に、質の良いデジタルプレゼンテーションの方法を学び、体験する。プレゼンテーションには、言語情報・聴覚情報・視覚情報があることを踏まえ、よいプレゼンテーションは言語情報を論理的に伝えることとともに非言語情報を意識することも重要であることを理解する。実際にテーマに沿ってプレゼンテーションファイルを作成し、発表を体験する。

《授業の到達目標》

1. MicroSoftPowerPointソフトを使用して資料を作成し、操作しながら、プレゼンテーションをすることができる。
2. 効果的なプレゼンテーションに必要な言語表現や図表の使用について理解し、使うことができる。
3. 発表内容をより効果的に伝えるための発表態度について理解し、実際に行うことができる。

《評価の方法》

学習態度　10%　　毎回の課題　40%　　期末プレゼンテーション50%

《テキスト》

《参考図書》

『プレゼンテーション・パターン　創造を誘発する表現のヒント』（井庭崇著　慶應義塾大学出版会　2013年）

《履修上の留意点》

授業を履修する学生は、１回目の授業までに自己紹介をするためのパワーポイント資料を作成すること。グループワークや最終発表時には、積極的に意見を述べることを期待する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス プレゼンテーションをしてみよう① 「自己紹介」	授業ガイダンス パワーポイント資料による自己紹介 （予習）自己紹介をするためのパワーポイント資料を作成する。 （復習）自分のプレゼンを振り返り、気づいたことをレポートにまとめる。	渡邉有紀恵
2	プレゼンテーションの準備 プレゼンテーションの目的 スライドのプランを立てる	・最終プレゼンテーションの準備として、プレゼンする相手、テーマ、プレゼンの目的、構成を考える。なんのために話すのか、細かい論点についても考えていく。 （予習）プレゼンテーションのテーマを考えてくる。 （復習）相手・目的・メッセージに関する理解を深める課題を行う。	渡邉有紀恵
3	全体の構成を考える ストーリーを考える	第２回で考えたテーマと構成に合わせたスライドを実際に作成する。自分の目的のために、どのような構成でスライドを作成するか考え、実際に作成していく。 （予習）第２回で決定したテーマと構成に合わせた資料作成 （復習）資料の初稿を完成させる。	渡邉有紀恵
4	論理展開を考える 内容・表現に関するパタンを理解する	・資料全体を通した論理性についてグループで検討する。 ・短く簡潔に自分の伝えたいことを伝えるための言語表現について理解し、自身の資料に反映させる。 （予習）論理展開に関する資料を読んでくる。 （復習）学んだことを踏まえ、資料を改訂する。	渡邉有紀恵
5	魅せ方に関するパタンを理解する	・スライドのデザインによる伝わり方について理解する。タイトル、見出し、説明、図表、写真等、自分が伝えたい内容が伝わる工夫をする。必要に応じて音声挿入の方法を理解し実践する。 ・アニメーション機能の効果的な使い方について学び、実践する。 （予習）魅せ方に関する予習課題を行う。 （復習）学んだことを踏まえ、自身の資料を改訂する。	渡邉有紀恵

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	日本語Ⅳ	授業科目番号	1102060
担当者氏名	渡邉　有紀恵		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	ふるまいに関するパタンと質疑応答のポイントを理解する	・効果的な動きや話し方、目線、声の大きさ等プレゼンテーション時のふるまいについて学ぶ。 ・自身のプレゼンテーションにおいて出される質問を想定し、その応答について考え、回答を準備する。 （予習）ふるまいに関する動画資料を見てくる。 （復習）	渡邉有紀恵
7	総まとめ プレゼン準備	・これまで学んだことを踏まえ、最終プレゼンテーションの資料を完成させる。グループにおいて模擬発表を行い、質疑応答、相互評価を経て、最終資料を完成させる。 （予習）第２回～第６回に使用した資料を復習する。 （復習）自身の模擬発表を撮影したものを見ながら、ふるまいについて改善させる。最終資料を完成させる。	渡邉有紀恵
8	プレゼンしてみよう② 相互評価	・クラス全体を前に、最終プレゼンテーション、質疑応答を行う。 ・相互評価を実施し、よりよいプレゼンテーションのためのヒントを得る。 （予習）プレゼンテーションの準備を行う。	渡邉有紀恵
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	韓国語			授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄　仁祚			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である韓国の文化の理解と教養を養う。具体的には、韓国語の学び方の特徴、韓国語がどのような言語であるかをまず学ぶ。そのうえで、ハングル文字と発音にフォーカスして文字と発音が一致することを修得する。また、簡単なあいさつなどの日常会話を学ぶ。韓国文化を理解するために、韓国の歴史、文化などを講義の中で多数紹介していく。韓国語の基本を学ぶとともに、韓国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

1．韓国語の文字の読み、書きができる。
2．韓国語で挨拶と簡単な日常会話ができる。
3．韓国のくらしと文化が理解できる。

《評価の方法》

学習態度 20% 授業中の発言、態度をもとに評価する。
レポート課題 20% 課題については講義の中で提示する。A4用紙、2000字程度。　定期試験 60%

《テキスト》

『最新チャレンジ！韓国語』（金順玉、阪堂千津子著　白水社　2014年）

《参考図書》

『楽しく学べる韓国語』（李 美賢、李 貞旼 著　白水社　2016年）

《履修上の留意点》

ペアー活動が多いため、積極的に授業に参加することを希望する。また、はじめて学ぶ言語なのでCDを活用しながら習った単語や文章を朗読することも必要である。

《備考》

授業の理解度を問う小テストを2回程度実施する。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	韓国語とハングル （韓国語の特徴とハングルの仕組み）	ガイダンス 韓国語の特徴とハングルの仕組みを学び、理解する。また、韓国語で自己紹介をする。 予習：ｐｐ．6～7　CDを聞いて読んでくる。 復習：ハングルの仕組みをノートに整理する。	黄　仁祚
2	1課　基本母音と合成母音① （基本母音、合成母音）	基本母音10個と合成母音11個の中、４個を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．8～10　CDを聞いて読んでくる。 復習：ｐｐ．9～11　表と問題を完成する。　ｐ9　単語をすべて覚える。	黄　仁祚
3	2課　基本子音① （基本子音）	基本子音14個の中、４個を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．12～13　CDを聞いて読んでくる。 復習：ｐ13　基本母音と習った子音を組み合わせて書いて読む。学習した基本母音の単語をローマ字で書く。	黄　仁祚
4	2課　基本子音② （基本子音）	基本子音14個の中、5個を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．12～13　CDを聞いて激音を読んでくる。 復習：ｐ13　基本母音と習った子音を組み合わせて書いて読む。学習した基本母音の単語をローマ字で書く。	黄　仁祚
5	2課　基本子音③ （激音）	基本子音14個の中、激音４個を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．12～14　CDを聞いて読んでくる。 復習：ｐｐ．14～15　CDを聞いて問題を完成する。　ｐ14　単語をすべて覚える。	黄　仁祚

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	韓国語	授業科目番号	1102080
担当者氏名	黄　仁祚		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	2課　ほかの子音 （濃音）	他の子音である濃音5個を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．16～17　CDを聞いて読んでくる。 復習：ｐｐ．16～17　CDを聞いて問題を解く。ｐ18　単語をすべて覚える。	黄　仁祚
7	3課　合成母音② （合成母音）	合成母音11個の中、７個を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐ18　CDを聞いて読んでくる。 復習：ｐ19　表と問題を完成する。　ｐ19　単語をすべて覚える。	黄　仁祚
8	4課　パッチム① （パッチム）	パッチム「ｎｇ」、「ｎ」、「m」、「ｌ」を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．22～23　CDを聞いて読んでくる。 復習：パッチㅁ　「ｎｇ」「ｎ」「m」「ｌ」の配った資料をノートにまとめること。　ｐ22　単語をすべて覚える。	黄　仁祚
9	4課　パッチム② （パッチム）	パッチム「ｋ」、「ｔ」、「ｐ」を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．23～25　CDを聞いて読んでくる。 復習：パッチㅁ　「ｋ」「ｔ」「ｐ」の配った資料をノートにまとめること。　ｐ24　問題を完成する。	黄　仁祚
10	4課　発音上手になるためのコツ （連音化）	発音が上手になるため連音化を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．26～27　読んでくる。 復習：授業中で解いた問題をまとめる。	黄　仁祚
11	日本語のハングル表記 （日本語のハングル表記のルール）	日本語のハングル表記のルールを学び、理解した上で、日本の都市名や自分の名前をハングルで書くトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．20～21　CDを聞いて読んでくる。 復習：授業中で解いた問題をまとめ、読む。	黄　仁祚
12	2つの子音のバッチム （2つの子音のバッチムの読み方）	2つの子音のバッチム11個とその読み方を学び、理解した上で、短文読みトレニンーグをする。 予習：ｐ28　CDを聞いて読んでくる。 復習：授業中で配ったプリントを読んでまとめておく。	黄　仁祚
13	5課　私は～です （～は～です（か）、～ではありません ）	名詞の肯定文「～は～です」とその否定文「～ではありません」を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．30～33　CDを聞いて読んでくる。 復習：ｐｐ．32～33　CDを聞いて問題を解く。ｐｐ．32～33　単語をすべて覚える。	黄　仁祚
14	5課　私は～です （かしこまった「です、ます」体）	動詞のかしこまった「です、ます」体を学び、理解した上で、読みトレニンーグをする。 予習：ｐｐ．34～36　CDを聞いて読んでくること。 復習：授業中に配ったプリントを読んで問題を解く。ｐ36　単語をすべて覚える。	黄　仁祚
15	復習　韓国語の表現について （構文）	授業全体について振り返り、内容をまとめる。 予習：既習内容の疑問点をまとめておく。 復習：既習内容のCDを聞きながら、発音練習をする。	黄　仁祚

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	中国語			授業科目番号	1102070
担当者氏名	白　雪晴			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◯1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

看護の国際化を鑑み、隣国である中国の文化の理解と教養を養う。具体的には、中国語がどのような言語であるのかをまず学ぶ。そのうえで、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。また、動詞、目的語や時を表す名詞の位置などの基本的な語順についても学ぶ。中国文化を理解するために、テーマを設定して調べ学習をする。言語の基本を学ぶこととともに、中国文化の理解に努める科目である。

《授業の到達目標》

中国語の基礎をしっかり身につけ、各自が自習できる程度に達するように。中国の文化及び現状に触れ、日中文化に対して考えるようになり、日本の社会に役立つ人間づくりに努める。自信がつくられ、より魅力的な人間を目指す。

《評価の方法》

定期試験60%　提出物20%　授業態度20%

《テキスト》

『ニーハオ！ニッポンーふりむけば、中国語。』（相原茂、朱怡穎 著　朝日出版社　2018年）
『中国語ミニ会話-３０-』（梅田純子著　㈱エコール国際ネットワーク　2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

テキスト購入を必須の要件とする。
授業後、教材についているCDを繰り返し聞くこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	中国と中国語について 発音１と自己紹介	中国について。中国語はどういう言語か 声調、単母音、子音を繰り返し発音し、一人ひとりに気を配り、自分の名前の読み方を覚え、自己紹介をできるように。練習問題も出す、提出が必要。	白　雪晴
2	中国の現状など 発音２とあいさつ	中国のコロナ事情や最新ニュース １回目の勉強内容を復習してから、母音の半分を進む。簡単な挨拶の勉強。練習問題を出して、ピンインや簡体字を書いてもらう。提出が必要。	白　雪晴
3	中国の旧暦の祝日 発音３	中国の旧暦は何か 1回目と2回目の内容を復習し、母音を全部マスターする。これで中国語のピンインが完了 練習問題を出して、授業中完成してもらう。	白　雪晴
4	中国の新暦の祝日 発音４　中国語発音のルール	婦女の日、教師の日など ピンインの復習 第三声の変調、「一」「不」の変調、軽声、ｒ化 ミニ会話 練習問題	白　雪晴
5	第5課　動詞述語文	ミニ会話 判断する動詞「～是～」 「の」に相当する「的」 人称代名詞 推測する「吧」 練習問題	白　雪晴

《基礎教育科目　基礎教育科目　表現力養成》

科目名	中国語	授業科目番号	1102070
担当者氏名	白　雪晴		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	第6課　助動詞の「想」	ミニ会話 動詞の「姓」「叫」、名前の言い方 指示代名詞 動詞の「在」 練習問題	白　雪晴
7	第7課　形容詞述語文	ミニ会話 疑問視の「多」 数の数え方 「動詞＋过」 練習問題	白　雪晴
8	第8課　連動文	ミニ会話 量詞 動詞の「有」 時間量の言い方 練習問題	白　雪晴
9	第9課　疑問詞	ミニ会話 疑問詞疑問文 中国のお金の単位 「二」「両」 練習問題	白　雪晴
10	第10課　「怎么」の2つの使い方	ミニ会話 年月日、曜日の言い方 年齢の言い方 練習問題	白　雪晴
11	第11課　副詞と前置詞	ミニ会話 「也」と「都」 実現した―「了」 2つの否定「不」と「没」 「在」の動詞、前置詞の違い 練習問題	白　雪晴
12	第12課　反復疑問文	ミニ会話 動詞文と助動詞入る文の反復疑問文 変化の「了」 動詞の重ね型 時刻の言い方	白　雪晴
13	第13課　進行形の３つの形	ミニ会話 選択疑問文の「～还是～」 「～が好きです」の「喜欢」 練習問題	白　雪晴
14	第14課　動詞の持続形	ミニ会話 「動詞＋着」の持続形 方位詞 ３つのできる。「会」「能」「可以」 練習問題	白　雪晴
15	第15課　動詞の補語	ミニ会話 結果補語と方向補語 しなければならないの「得」 練習問題	白　雪晴

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインIII			授業科目番号	1104030
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎4-1 看護学を探究する意欲，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

キャリアアンカーとは何かを理解し、その考え方に基づき、何を最も大切にして仕事に取り組むのかを考える。また、自己の傾向を知り、自己理解と他者理解にむけてグループディスカッションを行う。さらに、専門職とは何か、プロフェッショナルとして求められる倫理、役割、機能について考える。また、看護師・保健師・助産師に関する情報を収集し、3年間の学びを振りかえりとともに自己の看護専門職としての今後を考える。これらのグループワークで得たものを発表し、意見を得る。

《授業の到達目標》

1．自分の人生におけるキャリアについてまとめることができる。
2．キャリアアンカーについて理解し、自分の職業に対する価値観について述べることができる。
3．専門職者として働き、学び続ける意義について述べることができる。

《評価の方法》

毎日の振り返りシートの評価　50%　　自分史の作成及び発表（プレゼンテーション含む）　50%

《テキスト》

《参考図書》

1．『キャリアアンカー』（E.H.シャイン 著、金井壽宏 訳　白桃書房　2003年）
2．『看護師のためのキャリアデザインBOOK』（濱田安岐子監修　つちや書店　2018年）

《履修上の留意点》

キャリデザインⅠとⅡのまとめである。内容が重複することもある。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （キャリア、KJ法）	本授業の学習内容、方法について概説する。 （予習）キャリアデザインⅠ、Ⅱで学んだことを振り返ってくる。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
2	専門職として求められる看護師像 （専門職、看護師像）	グループワーク。KJ法を用い、“ 求められる看護師像 ”について大洋紙にまとめ発表する。 （予習）資料を基にKJ法について理解してくる。 （復習）“ 求められる看護師像 ”について振り返る。	中村　悦子
3	キャリアアンカーとは （キャリアーアンカー）	臨床で求められるキャリ形成について理解する。“ キャリアアンカーとは何か ”について理解し、自己の職業に対する価値について振り返る。 （予習）自己の職業観を振り返ってくる。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
4	自己理解、他者理解 （チーム、人間関係、自己理解）	グループワーク。チームの中での人間関係について学び、自己の傾向を知る。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
5	自分史作成Ⅰ （キャリアデザイン、自分史）	演習Ⅰ。画用紙、クレヨンを使い、ライフサイクルにおける自分のキャリアデザインを作成する。	中村　悦子

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会力養成》

科目名	キャリアデザインIII	授業科目番号	1104030
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	私が選んだ道 （専門看護師、学び続ける）	ゲストスピーカーを招き、生涯の仕事として、そして学び続けることの意義について学ぶ。 （復習）講演を聞き、感想をまとめる。	中村　悦子
7	自分史作成Ⅱ （キャリアデザイン、自分史）	演習Ⅱ。自分史を完成させ発表の準備をする。	中村　悦子
8	自分史の発表 （キャリアデザイン、自分史）	演習Ⅲ。自分史の発表をし、他者が作成したキャリアデザインを共有する。 （復習）感想をまとめる。	中村　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習III			授業科目番号	2312070
担当者氏名	金子　史代、中村　悦子、広井　貴子、目黒　優子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	1単位	時間	45時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○3-1 地域のネットワークを共有する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

成人期の健康についての地域特性や社会資源に関する資料・健康指標、健康に対する考え方を外来看護師への相談内容、外来通院の患者、健康増進活動をしている地域住民との交流を通して知り、個人及び地域の健康課題を見出す。次に、地域住民の生活習慣病に対する認識を高め、健康の維持・増進にむけた地域住民向けのイベントの企画・運営をしてヘルスプロモーション活動につなげる。また、成人期の発達課題である子育て、仕事や老親の扶養など健康との関連について考察する。

《授業の到達目標》

実習要項参照

《評価の方法》

実習における態度、意欲、カンファレンスの参加状況、実習記録、面談など実習評価表で評価する。

《テキスト》

《参考図書》

実習中に必要に応じて指定する。

《履修上の留意点》

履修要件：基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅱ、成人看護援助論Ⅲを修得していること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：1週間 2．実習場所：実習要項参照 3．実習内容：実習要項参照	金子　史代 中村　悦子 広井　貴子 目黒　優子
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　生涯発達と看護》

科目名	成人看護学実習III	授業科目番号	2312070
担当者氏名	金子　史代、中村　悦子、広井　貴子、目黒　優子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習			授業科目番号	2313120
担当者氏名	平澤　則子、飯吉　令枝、駒形　三和子、古澤　弘美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	3単位	時間	135時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力， ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

保健所および市町村の組織について担当者から説明を受け、保健所・市町村における保健事業・地域看護活動に参加し、公衆衛生看護の目的・目標について理解を深め、地域住民の健康を支援する保健師の役割を学ぶ。また、保健医療福祉チームにおける保健師の役割と連携・協働の重要性を学び、行政看護領域における看護管理の実際と行政保健師の役割を学ぶ。また、産業保健における看護活動の実際を理解し、健全な職業生活を支える労働衛生管理のあり方と看護職の役割について学ぶ。

《授業の到達目標》

1．実習地域の健康課題を把握し、実習施設（保健所、市町村）で取り組まれている保健事業や地域看護活動との関連について考察し、保健師の役割を理解する。
2．産業保健における看護活動の実際を理解し、健全な職業生活を支える看護職の役割について理解する。
※詳細については実習要項参照

《評価の方法》

評価表をもとに、実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録、レポートによって総合的に評価する。

《テキスト》

1）『最新公衆衛生看護学 第3版 各論1』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
2）『最新公衆衛生看護学 第3版 各論2』（宮﨑美砂子 他著　日本看護協会出版会　2020年）
3）『標準保健師講座2 公衆衛生看護技術』（中村由美子 他著　医学書院　2020年）

《参考図書》

『国民衛生の動向　2021-2022』（厚生労働統計協会編　厚生労働統計協会　2021年）

《履修上の留意点》

1．実習要項を熟読して実習に臨む。　2．実習共通要項、個人・家族・集団・組織の支援実習要項に従った身だしなみ、服装、態度を実習参加の条件とする。　3．常に対象者の視点に立ち、個人情報の保護に留意して実習する。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習時間：3週間（3単位135時間） 2．実習場所：長岡保健所・長岡市または柏崎保健所・柏崎市 長岡産業保健センター 3．実習内容（実習要項参照）	平澤　則子 飯吉　令枝 駒形三和子 古澤　弘美
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	公衆衛生看護活動展開論実習	授業科目番号	2313120
担当者氏名	平澤　則子、飯吉　令枝、駒形　三和子、古澤　弘美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習			授業科目番号	2313130
担当者氏名	平澤　則子、飯吉　令枝、駒形　三和子、古澤　弘美			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力， ◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

大学周辺の地区をフィールドとして実習を行う。担当した地区の地域診断を行い、明らかになった健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。
1週目は、地区踏査、高齢者世帯等への家庭訪問、地域組織の代表者（町内会長、民生委員、健康推進員、食生活改善推進員等）や関係機関（コミュニティセンター、地域包括支援センター等）への聞き取りを実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件との関連から検討し、健康課題解決に向けて公衆衛生看護活動計画を立案する。
2週目は、1週目の実習内容をふまえ、地区で生活する住民とともに地区の健康課題や解決策を考え、健康課題解決に向けて健康相談会や健康教育を実施する。

《授業の到達目標》

1．地域診断を実施して、地域で生活する人々の健康課題を健康、生活、社会的条件と関連させ、述べることができる。2．健康課題解決に向けて公衆衛生看護活動計画を立案することができる。3．個人、家族、集団、組織を対象とした支援の実施を通し、公衆衛生看護活動の方法と活動の展開に必要な基礎的技術を習得することができる。4．活動を通して地域で生活する人々とのパートナーシップと協働活動について考察することができる。

《評価の方法》

評価表をもとに、実習状況（実習内容、態度、目標の達成度）、実習記録、レポートによって総合的に評価する。

《テキスト》

1）『最新公衆衛生看護学　第3版　総論』日本看護協会出版会
2）『最新公衆衛生看護学 第3版 各論1』日本看護協会出版会
3）『地域看護診断 第2版』東京大学出版会　　4）『国民衛生の動向　2021-2022』厚生労働統計協会

《参考図書》

1）『地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版』（佐伯和子編著　医歯薬出版　2018年）
2）『コミュニティ アズ パートナー 地域看護学の理論と実際 第2版』（ｴﾘｻﾞﾍﾞｽ T．ｱﾝﾀﾞｰｿﾝ他編　医学書院　2007年）

《履修上の留意点》

1．実習要項を熟読して実習に臨む。　2．実習共通要項、個人・家族・集団・組織の支援実習要項に従った身だしなみ、服装、態度を実習参加の条件とする。　3．常に対象者の視点に立ち、個人情報の保護に留意して実習する。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習時間：2週間（2単位90時間） 2．実習場所：長岡市深才地域 3．実習内容（実習要項参照）	平澤　則子 飯吉　令枝 駒形三和子 古澤　弘美
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	個人・家族・集団・組織の支援実習	授業科目番号	2313130
担当者氏名	平澤　則子、飯吉　令枝、駒形　三和子、古澤　弘美		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護管理論			授業科目番号	2314010
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○3-2 多職種と連携・協働する力，◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

看護を提供するために必要な組織づくりや看護管理の考え方について学ぶ。「看護管理」のもつ印象は、看護管理者のための職務と捉えられやすい。今日、管理の概念や知識は看護職が専門職業人として当然にもつべき必要な概念として位置づけられる。看護管理の目的・機能について理解し、質の高い看護を提供するためのシステムの基礎を学ぶ。組織、医療制度と法律、人的資源管理、看護の提供システム、看護の質保証、継続教育などについて学習し、組織の一員として、また保健医療チームの一員としての役割と責任について理解する。

《授業の到達目標》

1．ケアのマネジメント、看護サービスマネジメントについて説明できる。　2．看護を取り巻く諸制度について説明できる。　3．看護提供システムについて説明できる。　4．人的資源管理について説明できる。　5．リスクマネジメントについて説明できる。　6．質評価の枠組みについて説明できる。

《評価の方法》

1．ミニテスト　50%（学習態度を含む）
2．レポート課題　50%　課題については講義の中で提示する。A4用紙、2000字程度。

《テキスト》

『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理』（上泉和子 他著　医学書院　2018年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

・入職のための心構え、オリエンテーションとしても役立つ
・管理者になるための講義ではない。組織の一員として「看護管理の機能」について考える機会とする。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （マネジメント）	本授業の学習内容、方法、評価について概説する。 マネジメントの基本的な考え方を学ぶ。 （予習）テキストp8～9を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
2	看護管理概説 （看護管理、組織構造）	看護管理とは、組織マネジメントについて学ぶ。 （予習）テキストp76、p184～189,p198～200を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
3	ケアを取り巻く諸制度 （保健師助産師看護師法、医療法、医療制度）	保健師助産師看護師法や医療法、医療制度について学ぶ。 （予習）テキストp152～179を読む。 （復習）配布資料に目を通す　患者の権利を尊重し、安全を確保するためのマネジメントを学ぶ。	中村　悦子
4	ケアのマネジメント （PDCA、チーム医療、看護業務）	ケアの実践に必要なマネジメントについて学ぶ。 （予習）テキストp16～24、p50～73を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
5	看護サービスマネジメント （看護の組織化、サービス提供システム、施設管理、労働環境）	看護管理とは何か、サービスマネジメントの対象と範囲について学ぶ。 また、看護部組織の構造や看護サービス提供のしくみについて学ぶ。 （予習）テキストp76～96、p105～117を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護管理論	授業科目番号	2314010
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看護サービスマネジメント（人材フロー、キャリア、継続教育）	人材フローと人的資源管理について学ぶ。 （予習）テキストp97～103、p210～212を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
7	リスクマネジメントとサービスの質評価（リスクマネジメント、質評価）	安全な医療のためのマネジメントやより質の高い看護を提供するための質の評価の枠組みについて学ぶ。 （予習）テキストp136～148を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
8	まとめ（看護管理）	看護部長からのメッセージ。“ これから看護職として働く人のために ”	中村　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	国際看護論			授業科目番号	2314020
担当者氏名	山﨑　達枝、加固　正子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

グローバル化社会にともなう多様な文化や医療・看護に対する視野を広げ、国際保健医療（グローバルヘルス）や看護の在り方について学ぶ。具体的には、世界の宗教と文化や保健医療の実際について理解し、人々の生活に関連する異文化看護についての基本的な知識を習得する。さらに日本に求められる国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割、そして、医療や看護における諸外国との協力関係について具体例をとおして学ぶ。
（加固正子/3回）異文化看護について、国際保健医療の視点を交えて教授する。また、国内の在留外国人に対応するコミュニケーション方法や看護について具体的に説明する。　（山﨑達枝/5回）我が国の国際支援政策、国際協力活動における看護師の役割や諸外国との協力関係について、国連の政策をもとに教授する。

《授業の到達目標》

1．医療従事者として、国際理解に必要な知識を学ぶことにより、国際活動に必要な能力を高めることができ、述べることができる。
2．日本における多様文化共生と看護の役割について理解でき、述べることができる。

《評価の方法》

定期試験70%　課題レポート30%

《テキスト》

『看護学テキストNiCE　国際看護』（森淑江 他編　南江堂　2019年）
＊時に授業の進行に合わせて、ハンドアウトを配布する。

《参考図書》

《履修上の留意点》

講義中にパソコン・スマートフォン等の使用は禁

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	国際看護とは、 なぜ今国際看護学を学ぶのか （グローバル化、国際協力、先進国、途上国）	（講義）看護に国際看護の視点が必要か （予習）テキストの該当範囲を熟読する。 （復習）予習で学んだ部分や授業で学んだ部分を追記する。 リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑達枝
2	看護における文化 （異文化理解、多文化共生、カルチャーショック）	（講義）看護における文化 （予習）第Ⅱ章　看護における文化を熟読し、キーワードについてまとめる （復習）新たな疑問についてリフレクションシートで質問する、または調べて授業資料の余白に追記する	加固正子
3	在日外国人・在外日本人の健康課題 （異文化、在留外国人の健康、在外日本人の受療状況）	（講義）在日外国人・在外日本人の健康課題 （予習）第Ⅴ章第２～５節　日本の看護師からみた国際看護の実践の場を熟読し、キーワードについてまとめる （復習）新たな疑問についてリフレクションシートで質問する、または調べて授業資料の余白に追記する	加固正子
4	世界の健康課題 （健康格差、健康課題、感染症の脅威）	（講義）世界の健康課題 （予習）第Ⅲ章世界の健康課題、Ⅳ章世界の保健医療システムを熟読し、キーワードについてまとめる （復習）新たな疑問についてリフレクションシートで質問する、または調べて授業資料の余白に追記する	加固正子
5	国際看護活動を推進する諸機関	（講義）我が国の国際協力の諸機関とその役割 GO/NGO/NPO等役割について （予習）テキストの該当範囲を熟読する。 （復習）予習で学んだ部分や授業で学んだ部分を追記する。 リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑達枝

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	国際看護論	授業科目番号	2314020
担当者氏名	山﨑　達枝、加固　正子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	ミレニアム開発目標 （MDGｓ）	（講義）国際社会共通の目標8つの目標と最終評価 （予習）テキストの該当範囲を熟読する。 （復習）予習で学んだ部分や授業で学んだ部分を追記する。 リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑達枝
7	持続可能な開発目標 （SDGｓ）	（講義）ミレニアム開発目標の残された課題と持続可能な17の目標 （予習）テキストの該当範囲を熟読する。 （復習）予習で学んだ部分や授業で学んだ部分を追記する。 リフレクションシートで理解したことや疑問な点を明確にする。	山﨑達枝
8	まとめ グループワーク	（ディスカッション）課題：国際看護活動に必要な能力とは 発表	山﨑達枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	統合実践演習			授業科目番号	2314050
担当者氏名	広井　貴子、目黒　優子、大橋　洋子、角山　裕美子、沼野　博子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，◎2-4 自己の看護実践を振り返る力，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

各専門分野で学習した知識と技術について、基礎的な知識と技術の統合を図るとともに、自己の学習課題を明確にして統合実践実習に臨むためのレディネスも養う。統合実践演習の課題としては、個々の知識・技術の統合、病院内および地域医療を視野に入れたチーム医療や多職種との協働における看護師の役割、チーム医療における看護職としてのメンバーシップ及びリーダーシップのあり方などが挙げられる。演習方法として、課題にそった対象者別の事例検討、対象疾患・障がい別の退院支援と地域連携の在り方の検討などが挙げられる。

《授業の到達目標》

1．基礎看護学実習や領域実習で行った看護の経験を振り返り、チーム医療や多職種との協働における看護師の役割について述べることができる。
2．多重課題において、優先順位が判断できる基礎的な能力について述べることができる。
3．演習を通し、チームの一員としての役割について述べることができる。　　4．自己の課題を明確にすることができる。

《評価の方法》

レポート60%、演習参加態度40%

《テキスト》

《参考図書》

1．『系統看護学講座 看護の統合と実践[1] 看護管理、看護の統合と実践[2] 医療安全』医学書院
2．『ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践(1)：看護管理、看護の統合と実践(2)：医療安全』メディカ出版

《履修上の留意点》

各グループで話し合い、学びを深められりようにするためには、個人の事前学習が大切になります。チーム内で協力して演習を行いましょう。シミュレーションで経験したことを振り返り、自己の学習課題を明確にして統合実践実習につなげましょう。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	概要の説明 （多重課題、チーム医療、多職種連携・協働）	・概要 ・多重課題の演習について ・グループについて ・グループで実習で受け持った患者に関連したチーム医療や多職種との協働についてグループで意見交換を行う。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
2	グループワーク （チーム医療、多職種連携・協働）	・各グループでテーマを決める。 ・テーマの内容について、文献などを参考にしてまとめる。 （予習）「チーム医療」「多職種連携・協働」について調べる。 （復習）学んだことを整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
3	グループワーク （チーム医療、多職種連携・協働）	・テーマの内容について、文献などを参考にしてまとめる。 （予習）テーマについて自分の考えを整理する。 （復習）グループワークで学んだことを整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
4	グループワーク （チーム医療、多職種連携・協働）	・テーマの内容について、文献などを参考にしてまとめる。 （予習）テーマについて自分の考えをまとめる。 （復習）グループワークで学んだことを整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
5	グループワーク （チーム医療、多職種連携・協働）	・テーマの内容について、文献などを参考にしてまとめる。 （予習）グループワークの学びから、専門職の役割を整理する。 （復習）グループワークで学んだことを整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	統合実践演習	授業科目番号	2314050
担当者氏名	広井　貴子、目黒　優子、大橋　洋子、角山　裕美子、沼野　博子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	【演習】発表	チーム医療や多職種との協働における看護師の役割について、各グループでの学びを共有する。 （予習）整理した学びの内容をグループで共有できるように準備する。 （復習）発表内容について文献を用いて確認する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
7	【演習】発表	チーム医療や多職種との協働における看護師の役割について、各グループでの学びを共有する。 （予習）発表内容を整理する。 （復習）発表などからの学びを振り返り自己の課題を明確にする。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
8	オリエンテーション、【演習】①危険予知トレーニング（KYT）	8～15回目の進め方、演習①：予測できそうな危険要素について事前に分析することで危険を察知して適切な対処ができる能力を養う。正しいやり方と潜在する危険について確かな知識を習得する＜グループワーク＞ 事前学習：別紙提示 （予習）フィジカルアセスメント、KYTについて調べる （復習）フィジカルアセスアセスメント、KYTについて整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
9	【演習】①危険予知トレーニング（KYT）/②複数患者の検温	演習①：５～８G、演習②：１～４G　演習②：複数患者の情報を記録物と申し送りから要点を絞って把握する力、把握した情報から各患者の状態に合わせて五感を使って観察する力を養う。状態が安定している2人の患者の情報と個別性を考えた検温を学ぶ＜シミュレーション＞ （予習）看護技術の留意点について整理する。 （復習）演習で学んだこと整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
10	【演習】①危険予知トレーニング（KYT）/②複数患者の検温	演習①：５～８G、演習②：１～４G　演習②：複数患者の情報を記録物と申し送りから要点を絞って把握する力、把握した情報から各患者の状態に合わせて五感を使って観察する力を養う。状態が安定している2人の患者の情報と個別性を考えた検温を学ぶ＜シミュレーション＞ (予習）看護技術の留意点について整理する。 （復習）演習で学んだこと整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
11	【演習】①危険予知トレーニング（KYT）/②複数患者の検温	演習①：1～４G、演習②：５～８G　演習②：複数患者の情報を記録物と申し送りから要点を絞って把握する力、把握した情報から各患者の状態に合わせて五感を使って観察する力を養う。状態が安定している2人の患者の情報と個別性を考えた検温を学ぶ＜シミュレーション＞ （予習）看護技術の留意点について整理する。 （復習）演習で学んだこと整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
12	【演習】①危険予知トレーニング（KYT）/②複数患者の検温	演習①：１～４G、演習②：５～８G　演習②：複数患者の情報を記録物と申し送りから要点を絞って把握する力、把握した情報から各患者の状態に合わせて五感を使って観察する力を養う。状態が安定している2人の患者の情報と個別性を考えた検温を学ぶ＜シミュレーション＞ （予習）看護技術の留意点について整理する。 （復習）演習で学んだこと整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
13	【演習】発表資料作成	各グループで発表の資料を作成する。 （予習）グループでの学びを発表できるように文献・資料等を準備する。 （復習）わかりやすく発表できるように繰り返し練習を行う。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
14	【演習】発表	発表内容：演習①のKYT場面について、演習①・②で学んだこと （予習）グループでの学びを発表できるように準備する。 （復習）発表から学んだことを整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子
15	【演習】発表・まとめ	発表内容：演習①のKYT場面について、演習①・②で学んだこと （予習）グループでの学びを発表できるように準備する。 （復習）発表・まとめで学んだことを整理する。	広井　貴子 目黒　優子 大橋　洋子 角山裕美子 沼野　博子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	統合実践実習			授業科目番号	2314060
担当者氏名	袖山　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	実習	単位	2単位	時間	90時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力， ◎4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

これまでに学んだ知識・技術・態度を統合し、実習の目的・目標を達成するために学生が、教員指導のもとで実習計画を立案し、保健医療福祉チームの一員として医療施設から地域への切れ目のない支援では、地域包括ケア病棟・地域連携室での実習において多職種連携に参加し、看護の継続性の実際から、看護職としてのメンバーシップならびにリーダーシップを学ぶ。また、多面的な看護体験を通して看護管理者の役割と機能について学ぶ。複数患者を受け持ち、優先度を判断した看護実践を行う基礎的能力を習得するとともに、自らの看護実践能力の開発にむけて学び続ける姿勢や課題探究能力の基盤を養う。

《授業の到達目標》

1．自己の学習課題に沿って実習目標を明確化し実習計画を立案することができる　2．複数の患者を受け持ち優先順位を考えた個別性を重視した看護援助ができる　3．専門的知識と確かな技術に基づいた安全な看護の実践と、適正な評価ができる　4．チームアプローチを含む看護活動体験を通して、医療チームにかかわる人びとと協働することの意義を説明できる　5．これまでの学習体験を統合し、自らの学習課題に対する学びと今後の課題を表現できる

《評価の方法》

実習計画立案に至るプロセスと立案内容、実習中の適宜面接や実習目的・実習目標の達成状況について、評価表を用いて評価する。

《テキスト》

《参考図書》

《履修上の留意点》

事前学習：看護管理論、看護実践演習の講義資料及び演習を復習しておくこと。さらにこれまでの自己の実習での学習課題を明確にし、実習計画を担当教員に提出し、実習先の情報収集をして臨むこと。
事後学習：実習の一連の過程を経て今後の学習課題を明確にすること。

《備考》

実習場所に関しては、指定の実習先の受け入れ状況と学生の希望調査に基づき決定する。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		1．実習期間：2週間 2．実習場所：事前に提示された実習場所 3．実習内容：実習要項参照	各担当教員
2			
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	統合実践実習	授業科目番号	2314060
担当者氏名	袖山　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年　（前期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

研究課題別・指導教員別にグループに分かれ、１・２年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、３年次の「看護研究法」などで修得した知識を生かして、研究計画、研究発表会、実施報告書の完成までのプロセスを学ぶ。

研究課題は看護実践に関するものとし、各自の研究計画を設定する。グループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果に関する成果発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識や技術を自ら学び続ける素養を習得する。

《授業の到達目標》

1．看護学における関心や疑問に基づき研究テーマを探求し、文献検討を踏まえて研究目的を明確にできる　2．目的に沿った研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる　3．研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討できる　4．研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる　5．作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる

《評価の方法》

「看護研究課題　評価表」（資料5）を参考に、研究への取り組み、研究計画書、研究論文などを考慮して指導教員が総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定なし

《参考図書》

『楽しくなる看護研究』（上野栄一 他著　メヂカルフレンド社　2012年）

《履修上の留意点》

看護学研究法での学習内容を復習して参加する。研究は各指導教員の指示に従い、積極的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		ゼミナール形式で実施する。 ・研究テーマの決定 ・研究計画書の作成 ・倫理チェック ・研究の実施	各担当教員
2		・論文作成 ・研究の口頭発表 期間：4月～11月 内容：「看護課題研究」要項を参照	
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	リハビリテーション看護			授業科目番号	2315030
担当者氏名	金子　史代			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，◎3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》
リハビリテーションの概論、および機能障害の悪化を防ぎ、残存機能の維持や二次的合併症の予防など、リハビリテーション看護の概念、対象論、方法論を学ぶ。運動器障がい、脳血管障がい、心臓疾患などの具体的な援助事例を通して、看護過程の展開の要点を学ぶ。

《授業の到達目標》
1．リハビリテーション看護の専門的な役割と機能について説明することができる。
2．リハビリテーション看護におけるADL評価の実際について説明できる。
3．リハビリテーション看護を必要とする対象者とその家族へのADL自立に向けた援助を説明できる。
4．リハビリテーション看護における多職種チームの連携と協力を説明できる。

《評価の方法》
課題レポート60%と事例検討40%により評価します。レポートの課題と事例は授業の中で提示します。

《テキスト》
講義と演習の資料を配布します。

《参考図書》
『リハビリテーション看護論』ヌーヴェルヒロカワ　『ナーシング・グラフィカ 成人看護学(5)：リハビリテーション看護』メディカ出版　『姿勢と動作　ADLその基礎から応用』メヂカルフレンド社

《履修上の留意点》
1．各回の予習と復習を行い、授業に臨むようにしてください。
2．配布した資料をよく読んで自分の意見をまとめておいてください。

《備考》
この科目では事例を通してリハビリテーション看護の実践に必要な知識と技術を学びます。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	リハビリテーション（リハビリテーション、障がい、看護の役割と機能）	ガイダンス リハビリテーション看護の専門的な役割と機能をリハビリテーション、障がいの概念から学ぶ。 予習：参考図書からリハビリテーションと看護について考えてくる。 復習：配布資料、事例からリハビリテーションと看護に関連する概念の理解を深める。	金子　史代
2	リハビリテーション看護の対象者と看護の実際（セルフケア、心と体の準備、指導、調整、擁護）	リハビリテーション看護の対象者と看護の特徴を心と体の準備、セルフケア、指導の実際から学ぶ(事例)。 予習：リハビリテーションを受ける対象者の心と体の準備について調べる。 復習：配布資料を読みリハビリテーションと看護の理解を深める。	金子　史代
3	リハビリテーション看護：生活に活かすリハビリテーション：ADL（できるADL、しているADL、するADL）、ADL評価（Barthel Index、FIM：機能的自立度評価法）	対象者の生活に活かすリハビリテーション看護を対象者の生活のQOL向上をめざしたADLの拡大から学ぶ(事例)。 予習：リハビリテーションを受ける対象者のQOLとADLについて調べる。 復習：リハビリテーション看護と対象者のADLの拡大をまとめる。	金子　史代
4	リハビリテーション看護におけるADL評価の実際： ADL評価（Barthel Index、FIM：機能的自立度評価法）	リハビリテーション看護をリハビリテーション、看護の役割、ADLと評価から考えまとめる(事例)。 予習：リハビリテーション看護におけるADL評価の実際とその内容の理解を深めてくる。 復習：リハビリテーション看護におけるADL評価の課題を確認する。	金子　史代
5	リハビリテーション看護とチームアプローチ（チーム医療、多職種連携、退院支援）	リハビリテーション看護をチームアプローチ（チーム医療、多職種連携、退院支援）から学ぶ(事例)。 予習：チーム、医療チームについて調べる。 復習：リハビリテーション看護とチームアプローチの理解を深める。	金子　史代

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	リハビリテーション看護	授業科目番号	2315030
担当者氏名	金子　史代		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	リハビリテーション看護とチームアプローチの実際（1）（看護師と理学療法士との連携：立ち上がり、歩行、歩行補助具）	リハビリテーション看護におけるチームアプローチの実際を看護師と理学療法士との連携、立ち上がり、歩行支援から学ぶ。 予習：リハビリテーションを受ける対象者の立ち上がりと歩行を調べる。 復習：看護師と理学療法士とが連携する立ち上がりと歩行の支援、歩行補助具の使い方をまとめる。	金子　史代
7	リハビリテーション看護とチームアプローチの実際（2）（看護師と作業療法士との連携：食事、食具、排泄動作）	リハビリテーション看護におけるチームアプローチの実際を看護師と作業療法士との連携、食事と食具、排泄動作の支援から学ぶ。 予習：リハビリテーションを受ける対象者の食事と排泄の動作を調べる。 復習：看護師と作業療法士とが連携する食事と排泄の動作の支援をまとめる。	金子　史代
8	リハビリテーション看護のまとめ（チームアプローチ、多職種連携）	リハビリテーション看護をチームアプローチ、チーム医療、多職種連携から考えまとめる。 予習：リハビリテーション看護におけるのチームアプローチの理解を深めてくる。 復習：リハビリテーション看護における課題を確認する。	金子　史代
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	へき地看護論			授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤　則子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-2 多職種と連携・協働する力，◎5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

へき地の意味と地域特性、その生活と健康の関連を考え、へき地で求められる看護の役割を考える。そのうえで、新潟県について学習を進める。新潟県は山間部や離島があり、医療偏在という課題を抱えている。交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地や離島など、医療の確保が困難である地域における看護活動について、地域の基幹病院の果たす役割も含めて理解する。また、調べ学習をグループで行い、現状から課題を抽出し、看護に求められる役割について考察するとともに、自己の課題についても考察する。

《授業の到達目標》

1．へき地に住む人々の生活を理解し、人々の健康との関連を説明することができる。
2．へき地における看護活動の現状と地域の社会資源の整備状況を捉え、看護の機能・役割を述べることができる。
3．へき地医療、へき地看護活動の特徴と課題を考えることができる。

《評価の方法》

定期試験50%と課題レポート40%、授業参加態度10%により目標達成度を最終的に評価する。試験は講義に基づく内容から出題する。

《テキスト》

新潟県医療計画（新潟県ホームページから各自印刷する）

《参考図書》

『自分たちで生命を守った村』（菊地武雄著　岩波書店　1968年）

《履修上の留意点》

新潟県医療構想と新潟県第8次医療計画を読むための時間を確保して、授業が始まるまでに読み進めておくこと。
各回の授業で次回までの課題を提示するが、準備して臨むこと。

《備考》

保健師教育課程必修科目

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ルーラルな視点からみた「へき地看護」の基本を理解する。 実践者の体験発表をとおして「へき地看護」の魅力を実感する。	新潟県内のへき地に住む人々の、健康と生活の質が向上するための保健・医療・福祉及び関係機関や住民との連携・協働の実態を知る。 (事前学習）「へき地とは？」「へき地に暮らす人々の健康を支援する専門職」について調べる。 (復習）体験発表を参考に、他のへき地の生活環境及びへき地における看護実践について調べる。	平澤　則子
2	へき地の意味を理解し、地域特性と生活の関連について情報収集およびグループワークを通して探る。	調べ学習の発表と討議を通して、へき地の地域特性と生活の関連についての理解を深める。 (事前学習）へき地を1つ選び、その地域の歴史的・文化的・地理的・社会的特徴と、それらが人々の生活・健康に与える影響についてまとめる。 （復習）へき地に住む人々の生活を理解し、人々の健康との関連を考察する。	平澤　則子
3	国のへき地保健医療対策の経緯を理解する。	国のへき地保健医療対策の経緯を理解する。乳児と老人医療を無料にした岩手県沢内村の保健活動を理解する。 (事前学習）参考図書、インターネット等を参考に、沢内村の保健活動について調べる。 （復習）国のへき地医療保健対策と岩手県沢内村の取組を比較し、沢内村の取組の特徴を考える。	平澤　則子
4	新潟県第8次地域医療計画の取り組みを理解する。	新潟県医療計画の経緯を理解する。 新潟県第8次地域医療計画と取組を理解する。 （事前学習）国のへき地保健医療対策と比較しながら新潟県第8次医療計画を読み、県版計画の特徴を考える。 (復習）第2回で取上げたへき地を対象とする医療計画を入手して読み、医療計画の意義を考える。	平澤　則子
5	へき地看護に必要な概念を学ぶ①（プライマリ・ヘルスケア、協働連携） へき地看護に必要な概念を学ぶ②（セルフケア、慢性疾患ケアモデル）	プライマリ・ヘルスケア、セルフケア、慢性疾患ケアモデルの概念を理解する。関係機関や住民との協働連携の実態を理解する。 (事前学習）上記の概念について調べ、ワークシートに記載する。 (復習）講義資料を読み、へき地看護に必要な概念を確認する	平澤　則子

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	へき地看護論	授業科目番号	2315020
担当者氏名	平澤　則子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	県内外のへき地における看護の特徴や機能・役割、課題について情報収集し分析する。	第2回で取上げたへき地における看護実践を調べ、特徴や機能・役割、課題について情報収集し分析する。 （事前学習）配布資料を読み、必要な情報とデータの所在、分析方法を考える。 (復習）分析を深める。	平澤　則子
7	分析結果を発表する。	分析結果を発表し、各地におけるへき地看護の実際について共有する。 (事前学習）プレゼンテーションの準備をする。資料はパワーポイントで作成する。 (復習）へき地で生活する人々の健康問題を総合的にとらえて、人々の生活の質の向上を図る看護活動を展開するための看護職の専門性と能力について考察を深める。	平澤　則子
8	へき地で働く看護職に求められる専門性と能力について討議を通して考える。「へき地における看護とは」をレポートして、まとめる。	ディスカッションを通してへき地で働く看護職に求められる専門性と能力について考えるとともに、へき地看護のこれからの課題について考える。 (予習）事前課題レポートを作成し、持参する	平澤　則子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	リーダーシップ論			授業科目番号	1103030
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力，◎3-2 多職種と連携・協働する力，○5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

リーダーシップとは、対人関係に現れる影響関係をいう。グループが目標を達成する過程で、互いにどのような影響を受けるのか、リーダーシップとは何か、ラボラトリー方式の体験学習と集団決定法を組み合わせて学ぶ。グループの中で、自己のとる態度や行動の傾向を知り、自己のありようを検討する。体験を通して自己理解、他者理解を深め、互いの関係性の中から、リーダーシップの役割や責任について理解する。また、保健医療チームの一員として、看護者のリーダーシップのあり方について考える。

《授業の到達目標》

1．集団の中で人間関係の在り方について述べることができる。
2．リーダーシップの類型について学び、その特徴について述べることができる。
3．リーダーシップに必要なスキルについて述べることができる。

《評価の方法》

1．グループワーク参加度　10%　2．ミニレポート（随時指示する）　30%　3．レポート課題　60%（授業の中で提示する）

《テキスト》

《参考図書》

1．『最強のリーダーシップ理論』（小野善生著　日本実業出版社　2013年）
2．『リーダーシップ入門』（金井壽宏著　日本経済新聞出版　2005年）

《履修上の留意点》

体験学習を多く取り入れ、参加型の授業とする。理論と実践（演習）を通して、リーダーシップ像を自分の中で整理する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション (概説、リーダーシップ像)	学習内容及び方法、評価について概説する。KJ法を通して自身が考えるリーダーシップ像を明らかにする。 （予習）リーダーシップとは何かについて考えてくる。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
2	リーダーシップとは何か （リーダーシップ像）	KJ法により自分が考えるリーダーシップ像を明らかにする。 （予習）リーダーシップとは何かについて考えてくる。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
3	リーダーシップ論の変遷（1） （特性論）	これまでの歴史を振り返り、リーダーシップはどのように変遷してきたか、その特徴について学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
4	リーダーシップ論の変遷（2） （特性論）	これまでの歴史を振り返り、リーダーシップはどのように変遷してきたか、その特徴について学ぶ。また、その中でリーダーシップのあり方について考える。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
5	リーダーシップ（演習） （コンセンサス）	演習を通して、コンセンサスと人間関係づくりについて学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間力養成》

科目名	リーダーシップ論	授業科目番号	1103030
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	リーダーシップ（演習） （コンセンサス）	演習を通して、コンセンサスと人間関係づくりについて学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
7	リーダーシップスタイル （リーダーシップ類型）	リーダーシップの類型について、その特徴を学ぶ。 （予習）指定する。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
8	リーダーシップ（演習） （リーダーシップ類型）	演習を通して、リーダーシップの類型と成果について学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
9	リーダーシップ（演習） （チームワーク）	演習を通して、チームワークについて学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
10	リーダーシップ（演習） （チームワーク）	演習を通して、チームワークについて学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
11	リーダーシップ（演習） （ティーチング、コーチング ）	演習を通して、ティーチングとコーチングの技法について学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
12	リーダーシップ（演習） （ティーチング、コーチング ）	演習を通して、ティーチングとコーチングの技法について学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
13	自己理解 （ジョハリの窓）	「ジョハリの窓」を使い、自分自身のこれからの課題に気ずく。 （復習）本日の学びを振り返る。	中村　悦子
14	リーダー、リーダーシップ、マネジメント （リーダー、リーダーシップ 、マネジメント）	リーダー、リーダーシップ、マネジメントの違いについて学ぶ。 （復習）本日の学びを振り返る	中村　悦子
15	まとめ	看護職者としてのリーダーシップの在り方についてまとめる。 （予習）14回までの配布資料に目を通して来る。	中村　悦子

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	民族と宗教			授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀　ヨゼフ			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力				

《授業の概要》

世界の主要宗教と民族性についての基礎知識を学ぶ。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教を取り上げる。現代社会において、宗教や信仰の問題が持つ意味について民族性と関連させて考えを深める。後半では、日本の民族性と仏教を中心に学ぶ。正月やお盆の生活文化に意味を考えるとともに、本学と同母体である長岡西病院の仏教に基づくホスピスで法曹の講話を聞く機会を設け、現代における仏教の意義、ターミナルケアに対して果たしうる役割についても考察する。

《授業の到達目標》

世界の宗教と民族の多様性を理解し、自文化を捉え直すと共に、人間関係や医療等の文化的背景を考えることによって学習者自身の認識及び生活感覚への理解を深め、医療福祉の社会的／文化的基盤を成す宗教性や民族性への理解を到達目標とする。

《評価の方法》

終講レポート（50%）、小レポート（30%）、授業参画度（20%）をもって評価する。

《テキスト》

特に指定しないが、毎回レジュメや資料を配布し、テーマごとの参考文献や資料を提示する。

《参考図書》

『文化人類学［カレッジ版］』（波平恵美子編　医学書院　2021年）
『宗教ってなんだろう？』（島薗進著　平凡社　2017年）

《履修上の留意点》

必要な資料はその都度配布する。又、できるだけ視覚資料（PPT等）を使用する。
多様性を尊重し、他民族・他宗教・他者への差別的発言などに注意していただきたい。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス	本科目の内容、講義の概要及びレポート等について説明を行う。	郷堀ヨゼフ
2	民族とは何か、宗教とは何か、文化とは何か	宗教学及び民族学（文化人類学）の主要な概念とキーワードについて紹介する。民族性・宗教・信仰・スピリチュアリティなどを中心に考える。	郷堀ヨゼフ
3	人生の旅１：誕生	妊娠・出産・誕生にまつわる文化的現象を取り上げて、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。	郷堀ヨゼフ
4	人生の旅２：成長	子どもにまつわる文化や成熟の儀（成長の儀礼）にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。	郷堀ヨゼフ
5	人生の旅３：婚姻と家族	男女関係・婚礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目　基礎教育科目　人間の理解》

科目名	民族と宗教	授業科目番号	1105060
担当者氏名	郷堀　ヨゼフ		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	人生の旅４：死	看取り・死の概念・葬送儀礼の文化に注目しながら、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。看取りやターミナルケアにおける宗教、特に仏教の役割や意義について考える。	郷堀ヨゼフ
7	人生の旅５：死後の世界	先祖・異界・死後の世界にフォーカスし、日本と世界の宗教・民族の相違点と共通点について論じる。悲嘆（グリーフケア）における宗教、特に仏教の役割と意義について考える。	郷堀ヨゼフ
8	世界の宗教１：ユダヤ教	ユダヤ教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、タルムードなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、ユダヤ教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
9	世界の宗教２：仏教	仏教の教義と教理、そして歴史についてレビューし、仏典を紹介しながら、そのエッセンスについて考えると共に上座部仏教と大乗仏教に代表される各地の仏教のあり方をみていく。さらに、仏教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
10	世界の宗教３：キリスト教	キリスト教教の教義と教理、そして歴史と宗派についてレビューし、聖書などの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、各地のキリスト教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
11	世界の宗教４：イスラム教	イスラム教教の教義と教理、そして歴史や宗派についてレビューし、クルアーンなどの代表的な書物や教典を紹介しながら、そのエッセンスについて考える。さらに、イスラム教徒の生活について紹介する。	郷堀ヨゼフ
12	世界の宗教５	ヒンズー教など世界各地の宗教や土着信仰について紹介し、それぞれの特徴を取り上げながらそのエッセンスについて考える。	郷堀ヨゼフ
13	日本の民族性・日本の宗教性	日本の年中行事などを紹介しながら、これらの根底に流れている宗教・信仰の基盤について考える。日本人の死生観や異界観（他界観）について紹介し、現代人にとっての意義・意味について考える。	郷堀ヨゼフ
14	宗教と看護	長岡西病院のビハーラ病棟などの実践を紹介しながら、宗教と医療（看護）との接点や関係性について考える。	郷堀ヨゼフ
15	まとめ	全体の振り返りを行い、宗教・信仰の在り方や意味について考える。	郷堀ヨゼフ

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	経済と政策			授業科目番号	1106040
担当者氏名	鯉江　康正			実務経験のある教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○3-3 保健医療福祉制度と看護の役割				

《授業の概要》

政治と経済には密接なかかわりがあることを理解する。経済は「物の流れ、通貨の流れ、人の流れ、情報の流れ」として現れることを具体的な事例を基に理解する。一方、政治は経済の流れを調整する役割を持っていることを理解する。政治の動きで経済は重要な影響を受ける。それは、日本の政治だけでなく、世界の政治が影響することを事例で学習する。例えば、アメリカ大統領選挙や国防の問題などである。それらを踏まえて、日本における経済政策と労働・社会保障、医療等の社会政策についての基礎を学習する。

《授業の到達目標》

1．経済社会の仕組みを述べることができる。（例：なぜ、高所得者と低所得者がいるのか。生活水準の違いは何が原因しているのか。インフレ率が違うのはなぜか。就職氷河期はなぜ起こるのか。）　2．経済へのより機敏な参加者になる。（例：自分の所得のどれだけを消費し、どれだけを貯蓄し、その貯蓄をどのように運用するのか。）　3．経済政策の影響を判断できる。（例：増税による公共投資か減税か。健康投資と経済成長。市場システムと計画経済の評価。）

《評価の方法》

学習態度15%（ミニッツペーパーにおいて、講義内容を記入すること）、課題15%（講義中の練習問題と同様の形式）、定期試験70%（持ち込み不可、講義中の練習問題および課題と同様の形式）

《テキスト》

『マンキュー入門経済学（第３版）』（Ｎ．グレゴリー・マンキュー著　東洋経済新報社　2019年）

《参考図書》

《履修上の留意点》

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	経済学の十大原理 （希少性、効率性と公平性、トレードオフ、機会費用、限界原理、インセンティブ、交易）	ガイダンス／経済学を学ぶ上で基礎となる考え方を講義する。具体的には、人々は目標の間のトレードオフに直面していること、行動の費用は機会費用によって測られること、限界的便益や限界的費用をもとに行動すること、人々はさまざまなインセンティブに反応すること、交易は人を豊かにすることなどを学ぶ。　（予習）第１章のｐ．４～ｐ．１４を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと	鯉江　康正
2	経済学の十大原理 （市場経済、計画経済、市場の失敗、外部性、市場支配力、政府の役割、生産性、インフレーション、失業）	経済学を学ぶ上で基礎となる考え方を講義する。具体的には、通常の場合は市場が人々の効用を最大化すること、例外的に市場の失敗が存在する場合には政府の役割が重要であること、生産性が生活水準を決定すること、社会はインフレと失業の短期的なトレードオフに直面していることなどを学ぶ。　（予習）第１章のp.14～p.26を読んでおくこと （復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第１章の課題を出します。	鯉江　康正
3	需要と供給の作用 （市場、競争市場、需要曲線、正常財、劣等財、代替財、補完財、供給曲線）	活動主体である売り手と買い手の行動を表す需要と供給を講義する。需要量の決定要因には財の価格、所得、代替財および補完財の価格、嗜好、予想、買い手の数などがある。また、供給量の決定要因には生産する財の価格、投入価格、技術、予想、売り手の数などがある。これらの決定要因の変化の影響を学ぶ。　（予習）第４章のｐ．９９～ｐ．１１７を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと	鯉江　康正
4	需要と供給の作用 （市場均衡、均衡価格、均衡取引量、超過供給、超過需要、市場均衡の変化）	市場均衡を説明し、さまざまな要因が変化した時の市場均衡を講義する。需要と供給の理論を用いることによって、市場経済において需要と供給がどのように価格を決定するのか、またその価格が経済の希少な資源をどのように配分するのかなどを学ぶ。　（予習）第４章のｐ．１１７～ｐ．１２９を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第４章の課題を出します。	鯉江　康正
5	政府の政策 （価格の上限規制、家賃規制、価格の下限規制、最低賃金、価格規制の評価）	政府が家賃規制や最低賃金などの価格規制をかけた時の影響を講義する。具体的事例として、原油価格の引き上げによって生じたガソリン・スタンドの行列を引き起こしたのは誰か、家賃統制の短期と長期の影響、最低賃金は本当に若年労働者を救うのかどうかを学ぶ。　（予習）第５章のｐ．１３５～ｐ．１５０を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと	鯉江　康正

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	経済と政策	授業科目番号	1106040
担当者氏名	鯉江　康正		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	政府の政策 （税金、売り手への課税、買い手への課税、弾力性と税の帰着）	政府が売り手や買い手に課税した時の影響を講義する。税金を売り手から取る場合と買い手から取る場合の違いを考える。また、議会が給与税を企業側に負担させようと考えた時にそれが可能かどうかを学ぶ。さらに、負担割合が決まる仕組みを弾力性という概念を用いて学ぶ。　（予習）第５章のｐ．１５０～ｐ．１６２を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第５章の課題を出します。	鯉江　康正
7	市場の効率性 （厚生経済学、支払許容額、消費者余剰、費用、生産者余剰、総余剰、効率性、公平性、市場の失敗）	余剰の概念を用いて、通常市場が効率的であることを講義する。取引から生じる買い手の便益が消費者余剰で測られ、売り手の利得が生産者余剰で測られることを示す。その上で、競争市場における取引が社会全体の余剰を最大化することを学ぶ。例外として、市場の失敗があることを紹介する。　（予習）第６章のp.181～p.204を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第６章の課題を出します。	鯉江　康正
8	外部性 （正の外部性、負の外部性、外部性の内部化、外部性に対する公共政策、矯正税、コースの定理、取引費用）	外部性を説明し、外部性がある場合には市場が効率的でないことを講義する。外部性が存在する場合には、私的費用と社会的費用、私的価値と社会的価値が乖離するため、競争市場は社会全体の余剰を最大化できない。その場合にできる公共政策、当事者間による解決法を学ぶ。　（予習）第７章のｐ．２２７～ｐ．２５３を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第７章の課題を出します。	鯉江　康正
9	国民所得の測定 （ミクロ経済学、マクロ経済学、国内総生産ＧＤＰ、消費、投資、政府支出、純輸出、名目ＧＤＰ、実質ＧＤＰ、ＧＤＰデフレーター）	ＧＤＰとそれに関連する指標について講義する。ＧＤＰとそれに関連する指標の違いを説明する。また、ＧＤＰの構成要素をアメリカと日本の実際の値を用いて紹介する。さらに、名目ＧＤＰと実質ＧＤＰの違いを理解したうえで、ＧＤＰは経済厚生の良い尺度であるかどうかを考える。　（予習）第８章のｐ．２６１～ｐ．２８７を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第８章の課題を出します。	鯉江　康正
10	生計費の測定 （消費者物価指数、インフレ率、コアＣＰＩ、生産者物価指数、物価スライド制、名目利子率、実質利子率）	さまざまな物価指数の違いを説明し、生計費の実質と名目の違いを講義する。インフレーションはマクロ経済的成果に影響を与える一項目として多くの注目を集めている。ここではインフレ率をどのように測定するのか、異時点間の金額比較をどのようにするのかを学ぶ。　（予習）第９章のｐ．２９３～ｐ．３１７を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第９章の課題を出します。	鯉江　康正
11	生産と成長 （生産性、物的資本、人的資本、天然資源、技術知識、生産関数、限界生産力逓減、キャッチアップ効果）	一国経済の生活水準を決定する要因について講義する。世界の国々の経済成長を概観し、生活水準は生産性に依存していることを認識する。その上で、生産性を決定する要因を学び、生産性を向上させる公共政策を考える。　（予習）第１０章のｐ．３２３～ｐ．３５５を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第１０章の課題を出します。	鯉江　康正
12	貯蓄、投資と金融システム （金融システム、金融市場、債券、株式、金融仲介機関、投資信託、国民貯蓄、民間貯蓄、政府貯蓄、財政黒字、財政赤字、貸付資金市場）	金融システムを説明したうえで、様々な政策が利子率に及ぼす影響を講義する。具体的には、金融システムとマクロ経済変数、とりわけ貯蓄と投資の関係を検証する。その後、金融市場において、利子率が価格の役割を果たし、資金の需給をバランスさせるように調整されることを学ぶ。　（予習）第１１章のp.381～p.412を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。第１１章の課題を出します。	鯉江　康正
13	総需要と総供給 （景気後退、不況、総需要と総供給のモデル、総需要曲線）	景気変動を説明したうえで、それに影響を与える総需要曲線について講義する。物価水準と産出量の関係を示す総需要曲線が右下がりである理由を説明し、その後、どのような要因が総需要曲線をシフトさせるのかを学ぶ。 （予習）第１２章のｐ．４４１～ｐ．４５８を読んでおくこと （復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。	鯉江　康正
14	総需要と総供給 （総供給曲線）	景気変動に影響を与える総供給曲線について講義する。物価水準と産出量の関係を示す総供給曲線が右上がりである理由を説明し、その後、どのような要因が総供給曲線をシフトさせるのかを学ぶ。 （予習）第１２章のｐ．４５８～ｐ．４７１を読んでおくこと （復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。	鯉江　康正
15	総需要と総供給 （マクロ経済変動分析、長期均衡、均衡物価水準、自然産出量水準、総需要のシフトの影響、総供給のシフトの影響）	社会現象や政策によって、物価水準と産出量がどう変化するかを講義する。総需要曲線をシフトさせた出来事として、大恐慌と第２次世界大戦、２００８年～２００９年の大不況を紹介する。また、総供給曲線をシフトさせた出来事として、石油ショックを紹介する。最終講義のため、講義内で課題を実施する。　（予習）第１２章のｐ．４７１～ｐ．４８９を読んでおくこと　（復習）講義中に行う練習問題を復習しておくこと。	鯉江　康正

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	国際ボランティア論			授業科目番号	1106050
担当者氏名	山﨑　達枝			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

国際社会の平和と安定について、現在の世界の情勢を知り、平和とは何かについて自己の考えを明確にする。また、平和な社会の実現のためにどのような貢献ができるかについて、国際的視野で考える。また、一般的なボランティア活動としてNGO/NPOの活動、JICAの取り組みと青年海外協力隊の活動について知る。更に、身近な国際ボランティア活動として、新潟県中越地域での国際交流や除雪ボランティアなどの実際の活動の様子を把握し、体験する。

《授業の到達目標》

1．世界情勢に関心をもち、看護ボランティアとして何ができるかを考え述べることができる。
2．国際の場で活動する我が国のボランティア組織を理解することができる。

《評価の方法》

レポート70%
グループワーク参加度30%

《テキスト》

時には授業の進行に合わせてハンドアウトを配布する

《参考図書》

『国際看護学入門』（日本国際看護学会 編　医学書院　2020年）

《履修上の留意点》

授業中に携帯やスマートホンの使用を禁じる。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	国際ボランティアとは ボランティアが求められる理由 ODA：政府開発援助とは	（講義・GW）1.国際協力（国際ボランティア）とは　2.日本が行うODAについて、その仕組みと活動　　予習してきた内容を発表し受講生間で共有する。 （予習）1.国際協力（国際ボランティア）について調べる。　2.政府開発援助について調べる。　　（復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。	山﨑　達枝
2	先進国とは開発途上国とは	（講義・GW）先進国と開発途上国について、予習で調べてきたことなどGW （予習）世界の国々の中で先進国と呼ばれる国名と開発途上国名を調べ、その理由を調べる。 （復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。	山﨑　達枝
3	JICAの活動を知る GOとNGOとNPOについて	（講義・GW）1.国際援助隊の活動について　2.海外で活動するNGOとNPOの役割について　3.国内のNGOとNPOの紹介　　予習してきた内容を発表し受講生間で共有する。 （予習）外務省と国際緊急援助隊の活動について調べる。　NPO（非特定営利活動法人）の特徴について調べる。　　（復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。	山﨑　達枝
4	NPO活動紹介	（講義）NPOとして自然災害被災地での活動体験報告 （予習）中国四川大地震・ネパール地震、フィリッピン台風について調べる。 （復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。 （課題）活動報告を視聴し感想文の提出、文字数は1000字前後	山﨑　達枝
5	これまで学びから、国際ボランティアと国際情勢について学ぶ アフガニスタンイスラム共和国の現状を知る	(GW)国際ボランティア活動に関し、学びを共有する。　アフガニスタンの現状を知る。 （予習）GWに参加し発表できるように、これまでの学びをまとめる。 アフガニスタンについて調べる。 （復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。	山﨑　達枝

《基礎教育科目　基礎教育科目　社会の理解》

科目名	国際ボランティア論	授業科目番号	1106050
担当者氏名	山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	日本が海外から受けた支援について学ぶ（受援）	（講義・GW）日本国内で発生した自然災害で、諸外国からの受援について　　予習で調べてきたことを発表し受講者間で共有する。 （予習）日本国内で発生した自然災害で諸外国からの受援について調べる。 （復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。	山﨑　達枝
7	除雪ボランティアの活動を知る	（講義）雪害について知る。　　予習で調べてきたことを発表し受講者間で共有する。 （予習）雪害について、被害状況等調べる。 （復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。	山﨑　達枝
8	まとめ	（GW）国内・外を問わず、これまで学んだことから、ボランティア活動について意見交換。 （予習）まとめとして意見交換ができるように準備する。 （復習）リフレクションシートに理解したことを記録、新たな疑問については質問するか自ら調べる。	山﨑　達枝
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	病理病態学			授業科目番号	2209070
担当者氏名	浅見　直			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

臓器組織の差を超えて共通にみられる基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰などについて再度学習する。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍・過形成、先天異常、代謝異常などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。

《授業の到達目標》

今まで学んできた様々な病変の原因、成り立ち、経過、転帰などについて臓器組織の差を超えて共通にみられる現象をとらえ、総合的な視点から説明できる。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍・過形成、先天異常、代謝異常などについて、これらの病変が身体所見としてどのように発現するか具体的に説明でき、かつその疾病の診断、治療に必要な事項を説明できる。

《評価の方法》

８回の授業終了した後の定期試験成績100%により、評価する。

《テキスト》

『系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[2] 病態生理学』（田中越郎著　医学書院　2016年）

《参考図書》

『看護につなげる病態生理』（齋藤宣彦著　照林社　2016年）

《履修上の留意点》

教科書を必ず持参すること。私語、パソコン、スマホの操作、授業中の他科目の勉強は講義に集中できなくなるので絶対にやらないこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	先天異常、代謝障害、炎症、循環、腫瘍	病気の原因は先天性と後天性の二つに分けられる。先ず先天異常として染色体異常、遺伝子異常とこれによって起る代謝障害について学習する。また後天性に起る病気として感染症、癌、白血病、炎症性変化など具体的疾患について学習する。またこれらの症状や治療法などを学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
2	発熱、免疫反応、自己寛容	発熱経過による分類を学習し、炎症の経過の違いを学習する。また免疫反応の基になる免疫グロブリンの種類と働き、および免疫担当細胞の種類と働きを学習する。またこれらの過剰反応によるアレルギーや自己免疫疾患などの症状や治療法などを学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
3	体液組成、脱水、電解質の種類、電解質異常	生物の体を形作る最も基本的な体液について、その種類と組成を学ぶ。さらにその異常としての脱水、水分過剰、浮腫などの発生メカニズムを学習する。また体液のｐＨについて正常値とその変動によるアシドーシスとアルカローシスについて学習し、それらの異常における症状、徴候、及び治療法を学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
4	造血、貧血、エリスロポエチン、白血球、出血傾向	造血組織である骨髄の構造と血球分化の仕組みを学び、これらの異常によって起こる貧血や出血傾向などの症状と対処方法を学習する。またこれらの細胞が自律的増殖をする白血病などを学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
5	循環異常、虚血性心疾患、不整脈	冠状動脈の虚血によって起こる狭心症や心筋梗塞について、その発症メカニズムと症状や検査所見及び治療方法などを学習する。また刺激伝道系の乱れによって起こる不整脈とその種類症状、対処方法などを学習し、心臓機能の低下した心不全について左心不全、右心不全の特徴などを学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直

《専門教育科目　専門基礎科目　疾病の成り立ちと回復の促進》

科目名	病理病態学	授業科目番号	2209070
担当者氏名	浅見　直		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	肺機能、呼吸困難、拘束性肺疾患、COPD、閉塞性肺疾患、肺炎、気管支炎	肺の基本的な機能について復習し、その異常について学習する。また感染症が重症化しやすい呼吸器疾患と原因、症状、治療法を学習する。さらに肺機能拘束的に障害するCOPDや、閉塞的に障害する肺線維症などを学習し、最も一般的な疾患である気管支炎や肺炎などについてその病原体や治療方法を学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
7	消化器、潰瘍、ダンピング症候群	消化器疾患について消化管、肝臓、膵臓、小腸、大腸などの部位ごとに学習する。また近年問題となっている誤嚥とこれによって起こる肺炎などのメカニズムについて、その予防方法などを含めて学ぶ。また最も多い症状である腹痛とそれを起こす疾患について付随症状と診断法について学習する。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
8	腎臓、糸球体、尿細管、ホルモン、レニンアンギオテンシンアルドステロン系	人体の体液調節で最も重要な腎臓について復習し、さらに様々なホルモンとの関係について学習する。これらが破綻した場合の腎不全や酸塩基平衡障害について学習する。また炎症性疾患としての様々な糸球体腎炎についてその発症メカニズムと治療を学ぶ。学生は教科書の該当箇所を予習し、学習後に復習する。	浅見　直
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	看護関係法規			授業科目番号	2210040
担当者氏名	丸山　敬子			実務経験のある 教員等による授業科目	
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎3-3 保健医療福祉制度と看護の役割，○4-1 看護学を探究する意欲				

《授業の概要》

質の高い看護を提供できる専門職として、理解しておかなければならない法について、看護法、医事法、保健衛生法、薬務法等について学ぶ。知識として学ぶだけではなく、その内容の根拠や看護との関係に着目しながら学習する。それまで学んだ他の科目や日常生活での経験、マスメディアやインターネットからの情報、実習での経験と関連付けて学び、日常生活とかけ離れたものではないことも学習するとともに、社会人となるためのレディネスとしての保健・医療・福祉関連の法の学修を統合させる。

《授業の到達目標》

1．日本国憲法と関係法規の基本を説明できる。
2．看護法、医事法の基本を説明できる。
3．保健衛生法と薬務法の基本を説明できる。
4．福祉法とその他の関係法規の基本を説明できる。

《評価の方法》

定期試験90%、授業貢献度10%

《テキスト》

『系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令』（森山幹夫著　医学書院　2022年）

《参考図書》

適宜紹介する。

《履修上の留意点》

《備考》

保健師教育課程必修科目　本科目は4年次に履修することから、それまでに学修した科目との統合を図ること。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	ガイダンス 法の概念と保健師助産師看護師法（関係法規・基本となる法規）	当該科目のガイダンスを受ける。法の概念を学び、関係法規とは何か、なぜ関係法規を学ぶのかを考え、その意義を見出す。具体的には、日本国憲法、衛生法、厚生行政のしくみを理解する。また、保健師助産師看護師法が必須であることを理解する。 （予習）日本国憲法を確認する。 （復習）法の概念についてノートにまとめる。	丸山　敬子
2	保健師助産師看護師法と看護師の人材確保の促進に関する法律（保健師・助産師・看護師・免許取得要件・業務・義務・人材確保）	保健師助産師看護師法について、目的・定義・付属法令・免許・業務・義務等について講義で理解する。また、試験について自身の受験をイメージしながら理解する。さらに、看護師の人材確保の促進に関する法律の目的や定義を社会状況と照らし合わせながら理解する。（予習）保健師助産師看護師法、看護師の人材確保の促進に関する法律の目的や定義を確認する。（復習）授業内容をノートにまとめる。	丸山　敬子
3	医療法、医師法、その他の資格に関する法（医療法・医師に関する法律・他職種に関する法律）	医療法の目的・定義について講義を通して理解する。また、保健医療福祉関係に関する、看護職以外の職種について、それを規定している法規について講義を通して理解する。 （予習）大学と関連する病院や施設（実習等で学んだ施設）の概要を確認する。（復習）授業内容をノートにまとめる。	丸山　敬子
4	医療を支える法規 （医療・介護・移植医療・人の死・緊急時）	医療・介護の提供に関する法、移植医療の関する法、人の死に関する法、緊急時の看護・医療に関する法について講義を通して理解する。インターネットを活用して、主な法規に関する情報を得る。 （予習）医療を支える法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。（復習）授業内容をノートにまとめる。	丸山　敬子
5	共通保健法と分野別保健法 （地域保健・健康増進・精神保健・母子保健・学校保健・高齢者保健）	地域保健法と健康増進法について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。また、分野別の保健法について、目的や内容を講義を通して、さらに既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。（予習）保健法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。（復習）授業内容をノートにまとめる。	丸山　敬子

《専門教育科目　専門基礎科目　健康と社会のシステム》

科目名	看護関係法規	授業科目番号	2210040
担当者氏名	丸山　敬子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	感染症、食品に関する法（感染症予防・感染症の患者に対する医療・新感染症・食品安全）	感染症に関する法について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。感染症に関して、法律を身近なものと感じながら社会の状況を考察する。食品に関する法を講義を通して理解する。（予習）感染症に関する法と食品に関する法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。（復習）授業内容をノートにまとめる。	丸山　敬子
7	薬務法、その他の法（薬事・環境衛生・社会保険・福祉・労働）	薬務法・環境衛生法・社会保険法・福祉法・労働法・環境法に関する法について、目的や内容を講義を通して、また既存の学習内容とも照らし合わせて理解する。（予習）薬務やその他の法にはどのようなものがあるか、テキストの目次を活用して名称を調べる。（復習）授業内容をノートにまとめる。	丸山　敬子
8	看護と法についてのまとめ（看護関係法令・健康支援・社会保障）	関係法規を理解することは、対象の健康支援であることを講義を通して理解する。講師が出題する、関係法規に関する様々な問題を解きながら、本講義内容のまとめをする。（予習）7回目までの講義内容の確認をする。（復習）自己の学習が不十分と思われる内容を再学習する	丸山　敬子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅱ			授業科目番号	2313160
担当者氏名	山﨑　達枝			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○3-1 地域のネットワークを共有する力，○5-1 地域・国際社会の健康ニーズを理解する力，◎5-2 地域社会に貢献する態度				

《授業の概要》

静穏期における災害看護について、Ⅰで行ったフィールドワークを基に看護職者として災害時の看護方策を考える。一般市民に対し、平時における減災に向けた防災指導について企画することができる。被災地でのトリアージ、各災害場面におけるチーム医療・看護者としての役割について理解を深める。

《授業の到達目標》

1．地域に発生しやすい自然災害を理解し、減災にむけて知識を深め備えられることができる。
2．シミュレーションから被災現場からトリアージ・応急処置・病院受け入れまでの流れを計画し、看護職の役割が理解できる。
3．東日本大震災、原発被害地から復興までを学ぶことができる。

《評価の方法》

1．グループワーク参加態度、事前課題の準備（40%）
2．レポート提出（60%）

《テキスト》

1.『災害現場でのトリアージと応急処置（第2報）』（山﨑達枝著　日本看護協会出版会　2016年）
2.『シミュレーションで学ぶ避難所の立ち上げから管理運営』（山﨑達枝監修　荘道社　2016年）

《参考図書》

『エマルゴトレインシステムマニュアル』（日本災害医療教育研修協会 監修　へるす出版　2011年）

《履修上の留意点》

1．シミュレーション、演習がほとんど、積極的に参加できるよう予習や必要物品の準備など忘れないように揃えること。

《備考》

東日本大震災被災地見学（1泊2日、現地集合・解散（JR常磐線富岡駅）、予算約2万円、土日実施の場合もある）

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	エマルゴトレーニングシステムキッドを用いて 傷病者トリアージ～応急処置・搬送～病院受け入れ～までの一連の流れを企画することができる	（演習）3年生時に行ったエマルゴトレーニングシステム （模擬）事故・災害現場から搬送～受け入れ病院（トリアージ・応急処置）までの一連の流れの訓練企画を立案する。 （予習）テキスト１・２（第1章１・２・３）よく読み込み手法を理解し授業に望むこと （復習）次の授業では、企画を実践することができるよう再確認し備える	山﨑　達枝
2	エマルゴトレーニングシステムキッドを用いて、企画案から、傷病者トリアージ～応急処置・搬送～病院受け入れ～までの一連の流れを実施することができる	（演習）（模擬）事故・災害現場から搬送～受け入れ病院（トリアージ・応急処置）までの一連の流れを、訓練企画案に沿って演習を行う。 （予習）テキスト１・２（第1章１・２・３）よく読み込み演習につなげられるよう熟読する。 （復習）自ら立てた企画が、円滑に演習に繋げられたか、傷病者に適切な対応につながったのか、よくできた点とできなかった点を振り返る。	山﨑　達枝
3	傷病者への手当 ・三角巾・包帯での被覆 ・骨折時の固定	（演習）三角巾・包帯を用いた被覆、適切に圧迫されていること、出来上がりが奇麗であること。骨折時の固定ができること。 （予習）3年生時に配布したプリントを参照し三角巾を用いた被覆法の練習を行う。 （復習）演習で学んだこと、スムーズにポイントを抑えて奇麗に被覆できるように練習すること。	山﨑　達枝
4	傷病者への手当 ・三角巾・包帯での被覆 ・骨折時の固定 ・担架による傷病者の搬送	（演習）前授業の復習、担架による搬送訓練（平坦・階段の搬送） （予習）三角巾・包帯の被覆の練習 （復習）演習で行った実技、上手くできないところを練習する。	山﨑　達枝
5	段ボール使用した簡易ポータブルトイレの作成	（演習）段ボールを利用してポータブルトイレの作成 （予習）作成方法（資料）をよく読み理解し授業に望むこと	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　地域社会と看護》

科目名	災害看護活動論Ⅱ	授業科目番号	2313160
担当者氏名	山﨑　達枝		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	DIG（災害図上訓練）１ 想像力を高めて「もしも」に備える！　自然災害をイメージし、防災・減災につながる行動へ	（グループワーク）長岡市ハザードマップ、等高線、気象概要などから長岡市内の自然災害に関する。被災状況を理解し発表する。 （予習）ハザードマップを入手し事前学習 （復習）の授業で指導案が作成できるよう不足部分を準備する。	山﨑　達枝
7	DIG（災害図上訓練）２ 想像力を高めて「もしも」に備える！　自然災害の発生ををイメージし、防災・減災につながる行動へ	（グループワーク）前授業１で行った結果を基に、地域への指導案を作成し、発表しグループ間で意見交換。 （予習）指導案作成に向けて準備。 （復習）指導案の不足部分を追加修正　1週間後に提出	山﨑　達枝
8	中越地震被災地見学　１	中越地震被災地見学 （予習）宮本　匠氏・稲垣文彦氏などの中越地震後の復興に関する論文を読むこと。 （復習）本日の見学の内容をまとめる。	山﨑　達枝
9	中越地震被災地見学　２	中越地震被災地見学 （予習）中越地震に関する書物を読み知識を得て被災地訪問すること （復習）感想文　500字程度	山﨑　達枝
10	東日本大震災被災地見学　１	現地見学：東京電力福島第一原発事故現場の見学 （予習）東日本大震災について知識を深める。 （復習）本日の学びをまとめる。	山﨑　達枝
11	東日本大震災被災地見学　２	現地見学：東京電力福島第一原発事故現場の見学 （予習）東日本大震災について知識を深める。 （復習）本日の学びをまとめる。	山﨑　達枝
12	東日本大震災被災地見学　３	現地見学：東京電力福島第一原発事故による避難警戒区域見学 住民による体験談 （予習）避難区域や立ち入り禁止区域などの地域差について事前学習 （復習）本日の学びをまとめる。	山﨑　達枝
13	東日本大震災被災地見学　４	被災地見学：福島県内被災地の復興状況を知る。 東日本大震災・原子力災害伝承館訪問 （予習）情報収集（事前学習） （復習）本日の学びをまとめる。	山﨑　達枝
14	東日本大震災被災地見学　５	被災地見学：福島県内被災地の復興状況を知る。 仮設住宅訪問 （予習）避難所・福祉避難所・仮設住宅・災害復興住宅などについて調べる。 （復習）感想文：福島被災地見学の感想　500字程度	山﨑　達枝
15	まとめ	授業から学んだことをレポートする。2000字程度、タイトルは問わない。	山﨑　達枝

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護情報論			授業科目番号	2314030
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○3-1 地域のネットワークを共有する力				

《授業の概要》

看護におけるさまざまな「データ・情報・知識」について、蓄積・検索・分析・活用という観点から学習し、看護情報学の基礎を身につける。個人情報の保護に関する法律やガイドラインに基づく適切な情報の取り扱いなど、情報倫理や情報管理の意義について学ぶ。学術情報の検索と活用、医療情報システム、健康教育や患者教育における情報の活用方法、健康情報とメディア等、幅広く理解を深める。また、看護・医療における情報活用の意義及び看護活動における記録や報告等の情報の伝達の仕方、個人情報の取扱い、病院の情報システムにおける情報管理、地域保健医療ネットワークについて理解する。

《授業の到達目標》

1．看護情報とは何か、データ、情報及び知識の違いについて説明できる。
2．看護領域における情報のモラルや情報に対する責任について説明できる。
3．看護の現場でコンピューターを使用した情報がどのように活用され管理されているのか説明できる。

《評価の方法》

定期試験　90%　　授業への参加度　10%

《テキスト》

『エッセンシャル看護情報学 第3版』（太田勝正、前田樹海 編著　医歯薬出版　2020年）

《参考図書》

『系統看護学講座　看護情報学』（中山和弘著　医学書院　2021年）

《履修上の留意点》

テキストを事前に読んで、授業に臨むこと。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （看護情報学）	本授業の学習内容と学び方、評価について概説する。看護情報を何のために学ぶのかについて説明し、看護情報学教育の歴史と現状について理解する。 （予習）テキストp1～10を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
2	看護情報とは （看護情報の特徴）	データ、情報、知識の違いについて学び、看護におけるデータ・情報の特徴について理解する。 （予習）テキストp57～74を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
3	情報の活用 （情報の活用・方法）	看護の情報がどのように活用されているのか、その概要について理解する。 （予習）テキストp10～16を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
4	コンピューターリテラシー （ICT、コンピューターリテラシー）	コンピューターに関する基礎的知識について理解する。 （予習）テキストp22～34、p46～50を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
5	情報リテラシー （情報リテラシー・マネジメント能力）	情報リテラシーの概念とそのマネジメント能力について理解する。 （予習）テキストp17～18、p43～45を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護情報論	授業科目番号	2314030
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	情報倫理と法 （情報倫理・個人情報保護法）	看護情報を取り扱う上で情報倫理という概念について理解する。個人情報保護法に関する法律について理解する。 （予習）テキストp75～96を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
7	医療情報システム （病院情報システム・電子カルテ）	診療・看護で扱う病院情報システムの特徴と実際について理解する（電子カルテ含む）。 （予習）p113～145を読む。 （復習）配布資料に目を通す。	中村　悦子
8	まとめ （情報取り扱い）	これまでの学びの中から、看護情報の取り扱いに関する留意事項をまとめる。 （予習）これまでの配布資料に目を通す。	中村　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	医療安全論			授業科目番号	2314040
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	1単位	時間	15時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力，○2-4 自己の看護実践を振り返る力				

《授業の概要》

医療安全における基礎的知識を理解するとともに、医療の現場の取り組みの実際と医療安全対策における看護職者の責任と役割について学ぶ。リスク発生の原因とヒューマンエラーの関連について理解し、現場で発生するインシデント、アクシデントのリスク管理について学ぶ。授業は参加型とし、医療事故の実態調査と分析、与薬や輸液、転倒転落のシミュレーション・リフレクションを行い、グループによる事例分析などの演習を組み入れる。

《授業の到達目標》

1．医療安全の基本的な考え方と看護師の責任と役割について述べることができる。
2．医療事故分析から安全対策について述べることができる。
3．医療安全の組織的な対策について述べることができる。

《評価の方法》

課題レポートによる評価90%　授業中に数回の課題を出す。課題はその時点で指示する。
授業の参加度10%

《テキスト》

《参考図書》

1．『系統看護学講座 看護の統合と実践[2] 医療安全』（川村治子著　医学書院　2018年）
2．『医療安全』（山内豊明、荒井有美 編　南江堂　2015年）

《履修上の留意点》

グループワークを取り入れる。メンバーシップを発揮すること。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	医療安全とは （医療安全）	学習の内容、方法、評価について概説する。医療安全とは何か、医療安全を学ぶ意義について理解する。 （予習）この10年間におきた医療事故の実態について調べる。 （復習）配布資料に目を通し学習の振り返りをする。	中村　悦子
2	医療安全の動向 （医療事故、事故原因）	マスメヂアに取り上げられた医療事故を振り、事故を防止するためにどうしたらよいのか考える。 （予習）この10年間におきた医療事故の実態について調べる。 （復習）配布資料に目を通し学習の振り返りをする。	中村　悦子
3	事故発生のメカニズム （事故分析、対策）	人間の基本特性とエラーを誘発しやすい環境との関連について学ぶ。事故分析の考え方について学ぶ。 （予習）この10年間におきた医療事故の実態から、事故原因となった共通する因子について考えてくる。 （復習）配布資料に目を通し学習の振り返りをする。	中村　悦子
4	医療安全への取り組み （組織的取り組み）	国、職能団体の取り組みについて学ぶ。 （予習）この10年間におきた医療事故の実態から、事故原因となった共通する因子について考えてくる。 （復習）配布資料に目を通し学習の振り返りをする。	中村　悦子
5	診療における事故事例（１） （事故分析）	診療に関する看護師が関わり合った事故事例を分析する。 （予習）事前に渡された事故事例を読み、なぜ事故が起きたのか考えてくる。 （復習）配布資料に目を通し学習の振り返りをする。	中村　悦子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	医療安全論	授業科目番号	2314040
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	診療における事故事例（２） （事故分析）	診療に関する看護師が関わり合った事故事例を分析する。 （予習）事前に渡された事故事例を読み、なぜ事故が起きたのか考えてくる。 （復習）配布資料に目を通し学習の振り返りをする。	中村　悦子
7	療養上の世話における事故事例 （事故分析）	療養上の世話に関する事故事例を分析する。 （予習）事前に渡された事故事例を読み、なぜ事故が起きたのか考えてくる。 （復習）配布資料に目を通し学習の振り返りをする。	中村　悦子
8	まとめ （医療安全）	学習目標に照らし学習内容のまとめをする。 （予習）今まで配布された資料に目を通してくる。 （復習）今まで配布された資料に目を通し学習のまとめをする。	中村　悦子
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護実践力演習			授業科目番号	2314090
担当者氏名	加固　正子、大﨑　美奈子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	1単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎2-1 看護を安全に実施するための知識・技術・態度，○2-2 成長・発達・健康レベル別の看護実践力，○2-3 エビデンスに基づく看護実践力				

《授業の概要》

看護実践力を向上させるために、自己の課題に沿って看護技術の練習を行う。
第1回目に看護基礎技術の到達度チェックを行い、自己の課題を明らかにする。また、卒業時看護技術到達項目の中で共通する課題を明らかにし、到達度が低い項目に着目した演習計画を立てて実践的にグループ演習を行う。同時に、受け持ち患者を想定した状況設定を行い、看護の手順や対象者の尊厳を考えた実施計画と実践を練習する。対象者への説明や指導の場面では、ロールプレイなどを取り入れてより現実的な演習とする。最終的には、グループ間で相互評価を行い、学生自身の気づきと相互評価力を育成する。

《授業の到達目標》

1．新卒看護師に求められる看護実践能力について理解する
2．卒業時の到達目標について理解する
3．自己の看護実践能力の評価結果にそった看護実践能力を促進する

《評価の方法》

予習課題や復習内容への取り組み（20%）、看護技術到達度の考察（20%）、実践課題への取り組み（60%）

《テキスト》

なし

《参考図書》

『看護技術プラクティス』（竹尾恵子監修　学研メディカル秀潤社　2019年）　『患者さんが安心できる検査説明ガイドブック』（東京慈恵会医科大学附属病院グリーンカウンター 編　医学書院　2014年）

《履修上の留意点》

選択科目であり、自己の看護実践能力や到達度を知り、その向上促進方法を自分自身で把握していくことが大切です。

《備考》

１～３年次に記載した看護技術経験録を第１回目に持参してください。

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	看護実践能力と臨床看護実践能力 （臨床判断能力、倫理的判断能力、リスク･マネジメント）	新卒看護師に求められる臨床看護実践能力 ・新人看護研修の概要（厚生労働省） ・看護実践能力とは （予習）看護技術経験録の記載見直し （復習）個々の看護技術到達度表（３年次まで）の記載を再確認し、演習項目として希望する内容を考える	加固正子 大﨑美奈子
2	看護技術到達度の振返り （看護技術項目、到達度、情報リテラシー）	看護技術経験度 看護技術、情報リテラシー 、小テストと自己採点 （予習）看護専門用語集を読み返す （復習）分野別専門用語を計画的に復習する	加固正子 大﨑美奈子
3	患者・家族とのコミュニケーション （患者・家族指導、検査・処置の説明）	患者・家族とのコミュニケーション場面の振り返り （予習）患者・家族指導場面を振返って（個別レポート） （復習）新たな指導場面について資料をまとめる	加固正子 大﨑美奈子
4	演習候補技術 （技術項目の達成度、演習計画、アルゴリズム）	演習内容について 演習候補技術の選定とアルゴリズム作成（個別） （予習）選定した演習項目についての資料を読み込む （復習）状況に合わせたアルゴリズム・手順のポイントを修正する	加固正子 大﨑美奈子
5	個別演習	演習候補技術の選定とアルゴリズムにそった個別演習 （予習）不足した知識を調べ、修正したアルゴリズムを準備する （復習）不足した知識を調べる	加固正子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護実践力演習	授業科目番号	2314090
担当者氏名	加固　正子、大﨑　美奈子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	個別演習 （situation based training、パートナー、クリティーク）	状況設定のある看護ケア場面の設定　situation based training 説明を受けた後、自分で設定する （予習）看護技術項目と看護ケアの流れを作成する （復習）個別演習および指導の結果をまとめる	加固正子 大﨑美奈子
7	グループ演習	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習① 演習パートナーの選定 （予習）パートナーへの看護ケア計画（演じる内容）の説明資料作成 （復習）資料の精選	加固正子 大﨑美奈子
8	グループ演習	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習② 演習グループ内でクリティーク （予習）修正した説明資料の準備 （復習）資料の精選と修正	加固正子 大﨑美奈子
9	グループ演習	看護技術項目を個別のケアや時間の流れにそって演習③ （予習）修正した説明資料の準備 （復習）資料の精選と修正	加固正子 大﨑美奈子
10	グループ演習成果の中間評価	看護ケア計画案を時間の流れにそって実演 （指導後に修正） （予習）実際の場面として時間配分を設定する （復習）時間配分や内容の再確認	加固正子 大﨑美奈子
11	修正後の練習	看護ケア状況設定の最終修正 グループでケア看護ケア計画と技術をクリティーク （予習）実際の場面として時間配分を設定する （復習）クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認	加固正子 大﨑美奈子
12	修正後の練習	看護ケア計画の状況設定案の流れの修正と練習 （予習）実際の場面として時間配分を設定する （復習）クリティークを踏まえた時間配分や内容の再確認	加固正子 大﨑美奈子
13	発表準備１ （発表のポイント、演じ方、場面設定）	看護ケア場面のロールプレイ（看護師役）の発表練習をグループで行う （予習）同僚へのクリティークの基本を復習する （復習）個別に練習を重ねる	加固正子 大﨑美奈子
14	発表準備２ （発表のポイント、演じ方、場面設定）	看護ケア場面のロールプレイ（看護師役）の発表練習 （予習）看護ケア場面の進行表を改訂する	加固正子 大﨑美奈子
15	状況設定のある看護ケア発表 （発表時間、クリティーク、評価）	看護ケア計画のロールプレイ（看護師役）の発表と評価 （予習）練習結果を制限時間内にまとめる （復習）タイムラインを含めた発表原稿を清書し、提出する	加固正子 大﨑美奈子

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究			授業科目番号	2314080
担当者氏名	中村　悦子			実務経験のある 教員等による授業科目	○
授業方法	演習	単位	2単位	時間	60時間
必・選	必修	開講年次	4年	開講期	通年　（後期）
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○4-1 看護学を探究する意欲，◎4-2 看護を追究する基礎的研究能力				

《授業の概要》

研究課題別・指導教員別にグループに分かれ、１・２年次の「情報処理法」「情報活用法」「問題解決法」「統計分析法」や、３年次の「看護研究法」などで修得した知識を生かして、研究計画、研究発表会、実施報告書の完成までのプロセスを学ぶ。

研究課題は看護実践に関するものとし、各自の研究計画を設定する。グループまたは個別の指導を受けながら、資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返し、研究成果に関する成果発表へと結び付ける。これらの過程を通して、看護研究の実践的な方法や最新の知識や技術を自ら学び続ける素養を習得する。

《授業の到達目標》

1．看護学における関心や疑問に基づき研究テーマを探求し、文献検討を踏まえて研究目的を明確にできる　2．目的に沿った研究方法を検討し、研究計画書の構成に沿って計画書を作成できる　3．研究を実施する上で必要な倫理的配慮を検討できる　4．研究計画書に基づきデータを収集・分析し、結果を既存の知識と関連付け考察できる　5．作成規定に従い研究論文を作成し、口頭発表することができる

《評価の方法》

「看護研究課題　評価表」（資料5）を参考に、研究への取り組み、研究計画書、研究論文などを考慮して指導教員が総合的に評価する。

《テキスト》

特に指定なし

《参考図書》

『楽しくなる看護研究』（上野栄一 他著　メヂカルフレンド社　2012年）

《履修上の留意点》

看護学研究法での学習内容を復習して参加する。研究は各指導教員の指示に従い、積極的に実施する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1		ゼミナール形式で実施する。 ・研究テーマの決定 ・研究計画書の作成 ・倫理チェック ・研究の実施	各担当教員
2		・論文作成 ・研究の口頭発表 期間：4月～11月 内容：「看護課題研究」要項を参照	
3			
4			
5			

《専門教育科目　専門科目　看護の統合と実践》

科目名	看護課題研究	授業科目番号	2314080
担当者氏名	中村　悦子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	緩和・ターミナルケア看護論			授業科目番号	2315040
担当者氏名	中村　悦子、広井　貴子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，○1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，◎1-3 他者の自己決定を擁護する力				

《授業の概要》

成人看護援助論（慢性期）で学んだ緩和ケアの基本を発展させる内容とする。具体的な事例をもとに、どのような看護的介入が必要であるかについて学習する。
（中村悦子/8回）緩和ケアおよびターミナル期ケアの歴史、理念、倫理的問題、がんターミナル期の患者や家族の心理プロセスを理解し、人の生と死について考える。
（広井貴子/7回）具体的な事例をもとに、どのような看護的介入が必要であるかについて学習する。

《授業の到達目標》

1．緩和ケア及びターミナル期ケアの歴史について説明できる。　2．ターミナル期における患者の心理プロセスについて説明できる。　3．家族の心理プロセスと家族が抱える課題について説明できる。　4．講義や演習をとおし、人の生と死について考え、述べることができる。　5．緩和ケアをおこなう医療チームにおける看護師の役割について考え、述べることができる。

《評価の方法》

演習評価40%、レポート50%、グループワーク等授業への取り組み状況10%

《テキスト》

『緩和ケア』（恒藤暁、田村恵子 編　医学書院　2020年）

《参考図書》

1．『終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア』メヂカルフレンド社　　2．『緩和・ターミナル看護論』ヌーヴェルヒロカワ　　3．『ナーシング・グラフィカ　成人看護学(6)：緩和ケア』メディカ出版

《履修上の留意点》

・事前に提示する課題に真摯に取り組むこと。　・グループワークで自分の考えを深める。
・レポートについては、提出期限や提出場所については、授業で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	イントロダクション （緩和ケア）	学習内容及び方法、評価について概説する。緩和ケアを学ぶ意義について理解する。 （復習）配布資料に目を通し学習のまとめをする。	中村悦子
2	緩和ケアの歴史的変遷と現状 （緩和ケアの歴史）	緩和ケアの歴史的変遷と理念、現状における課題について考える。 （予習）テキストp2～17を読む。 （予習）配布資料から学習のまとめをする。	中村悦子
3	死のプロセス （死のプロセス、受容）	死とは何か、様々な視点から死について考える。また、死のプロセスについて学ぶ。 （予習）テキストp97～112を読む。自分なりの死生観について考えてくる。 （復習）配布資料から学習のまとめをする。	中村悦子
4	死を避けられない患者・家族への援助 （患者の心理、家族の心理、チームアプローチ）	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 （予習）テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。 （復習）配布資料から学習のまとめをする。	中村悦子
5	死を避けられない患者・家族への援助 （患者の心理、家族の心理、チームアプローチ）	患者、家族の心理に触れ、患者・家族が抱える課題について考える。また、チームアプローチの意義について学ぶ。 （予習）テキストp20～34、p243～248を読む。選んだ書籍を読み、患者・家族が抱える課題と看護者の役割について考えてくる。 （復習）配布資料から学習のまとめをする。	中村悦子

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	緩和・ターミナルケア看護論	授業科目番号	2315040
担当者氏名	中村　悦子、広井　貴子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	看取りースピリチュアルケア（全人的苦痛、スピリチュアルペイン）	ターミナル期における患者の全人的苦痛について学ぶ。また、村田理論のスピリチュアルケアについて理解し援助の在り方を考える。 （予習）テキストp9、p80～96、p132～149を読む。 （復習）配布資料から学習のまとめをする。	中村悦子
7	緩和ケアの広がり（非がん性患者、高齢者、地域）	緩和ケアの対象、療養の場の広がりについて学ぶ。 （予習）テキストp152～221を読む。 （復習）配布資料から学習のまとめをする。	中村悦子
8	緩和ケアにおける倫理的課題（生命倫理、看護倫理、意思決定、アドバンス・ケア・プランニング）	倫理的な課題についての基本的な知識および事例からその対応について学ぶ。 （予習）テキストp58～76を読む （復習）テキスト並びに配布した資料を読み返す	広井貴子
9	全人的ケアの実践（身体的ケア、精神的ケア、社会的ケア、スピリチュアルケア）	痛みをはじめとする主な身体症状と精神症状その治療・看護について学ぶ。 痛みのマネジメントについて学ぶ。 （予習）テキストp80～147を読む （復習）テキスト並びに配布した資料から学習のまとめをする。	広井貴子
10	さまざまなライフサイクルにおける特徴とケア（ライフサイクル、がん、非がん）	小児、AYA世代、高齢者などの特徴とケアについて学ぶ。 （予習）テキストp152～221を読む （復習）テキスト並びに配布した資料から学習のまとめをする。	広井貴子
11	むずかしい場面でのコミュニケーション（緩和ケア、コミュニケーション）	緩和ケアにおけるコミュニケーションや家族ケアについて学ぶ。 （予習）テキストp38～55を読む	広井貴子
12	むずかしい場面でのコミュニケーション（緩和ケア、コミュニケーション）	【演習】バッドニュース、患者が思いを訴えたとき、家族との関わりなど行う。 （復習）演習や実習での体験と知識とを統合させて考えをまとめる。	広井貴子
13	臨死期のケア（看取り、その人らしさ）	がん終末期、慢性疾患の終末期における全身状態の変化について学ぶ。 臨死期における症状の特徴とケアについて学ぶ。 （予習）テキストp224～253を読む	広井貴子
14	臨死期のケア（看取り、その人らしさ）	【グループワーク】事例をとおし、その人らしく生きるとは何かを考える。 （復習）テキスト並びに配布した資料から学習のまとめをする。	広井貴子
15	遺族ケア（悲嘆のプロセス、グリーフケア）	家族との死別喪失体験における悲嘆のプロセスについて理解する。 （予習）テキストp236～242、p249～254を読む。 （復習）配布資料から学習のまとめをする。	中村悦子

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	認知症ケア論			授業科目番号	2315050
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子			実務経験のある教員等による授業科目	○
授業方法	講義	単位	2単位	時間	30時間
必・選	選択	開講年次	4年	開講期	後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○1-1 幅広い教養と多様性を理解する力，◎1-2 人間の尊厳・権利を尊重する力，○3-2 多職種と連携・協働する力				

《授業の概要》

認知症についての基礎的知識を習得し、認知症とともに生きる人の体験を理解し、認知症本人のみでなく家族を含めた看護の役割を習得するため、「認知症を知る」ことと「認知症高齢者を理解する」ことを通して、老年期における認知症の発現過程と認知症高齢者との相互作用の実際について学習する。また、認知症高齢者のＱＯＬの向上にむけ、認知症高齢者を中心にした日常生活・社会生活に適応するための生活環境の整え方やリスクマネジメントについて学習する。

《授業の到達目標》

1．認知症の症状を呈する疾患のうち四大認知症の種類と疫学を説明できる。　2．認知症の検査と診断と治療が分かる。　3．認知症の中核症状と行動・心理症状が説明できる。　4．認知症と共に生きる人の心情が表現できる。　5．認知症の人々の倫理的課題・尊厳について意見交換できる。　6．認知症高齢者とその家族を支えるサポートシステムが述べられる。　7．認知症グループホームケアの意義を述べられる。　8．認知症の人とのコミュニケーション方法の原則を修得する。

《評価の方法》

レポート40%、定期試験60%

《テキスト》

『認知症の人びとの看護』（中島紀惠子 監修・編集　医歯薬出版　2017年）

《参考図書》

授業の中で紹介する。

《履修上の留意点》

認知症の治療や看護は日進月歩である。テキストあるいは参考図書から認知症ケアの課題が見出せるように学習して臨み、レポートやディスカッションで自己の考えを述べられるようにすること。レポートについては授業で説明する。

《備考》

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
1	授業ガイダンス 認知症の疫学、施策 （認知症の疫学） （認知症施策の変遷）	ガイダンス、科目概要 ・認知症疾患患者の動向と社会背景 ・認知症施策の動向 ・認知症に対する社会の認識・理解 【事前学習：認知症を学ぶにあたっての課題をレポートする】 【事後学習：本日の復習】　（レポート　5点）	袖山悦子
2	認知症の定義、四大認知症 （認知症とは） （四大認知症の病態・治療） （認知症の最新治療）	・アルツハイマー型認知症の特徴と治療 ・レビー小体型認知症の特徴と治療 ・血管性認知症の特徴と治療 ・前頭側頭型認知症の特徴と治療 ・認知症の最新の薬物療法 【事前学習：テキストを読み授業に臨む】　【事後学習：復習する】	袖山悦子
3	認知症の症状 （中核症状） （行動・心理症状） （うつ病・せん妄）	・中核症状 ・生理的物忘れと認知症の物忘れ ・行動・心理症状 ・うつ病、せん妄と認知症 【事前学習：認知症の原因疾患の理解と症状を対比させテキストを読んで臨む】　【事後学習：復習】	袖山悦子
4	認知症の症状のある人とのコミュニケーション （コミュニケーションの特徴） （コミュニケーションへの支援）	・コミュニケーションの基本 ・認知症のある人のコミュニケーションの特徴と支援 ・コミュニケーション能力のアセスメント ・アルツハイマー型認知症のコミュニケーションの特徴 【事前学習：コミュニケーションの基本の事前学習】 【事後学習：復習】	角山裕美子
5	認知症グループホーム （コミュニケーション） （ADL） （認知機能） （生活の楽しみ）	≪グループホーム実習≫ ・認知症高齢者とのコミュニケーション ・認知症高齢者の日常生活（日・週・年単位） ・認知症高齢者の生活の楽しみ ・家族との交流 ・グループホームでのそれぞれの役割	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子

《専門教育科目　専門科目　特論》

科目名	認知症ケア論	授業科目番号	2315050
担当者氏名	袖山　悦子、青柳　直樹、角山　裕美子		

《授業計画》

回	テーマ(キーワード)	学習内容及び方法/準備状況（予習・復習）	担当教員
6	認知症高齢者とのコミュニケーションの実際 （ADL） （認知機能） （生活の楽しみ）	≪グループホーム実習≫　同上 ・地域社会との交流 ・災害時の対応	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
7	認知症高齢者とのコミュニケーションの実際 （ADL） （認知機能） （生活の楽しみ）	≪グループホーム実習≫　同上 認知症高齢者とのコミュニケーション、グループホームの役割を体験しグループデスカッションを行い、レポートする（レポート　20点）	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
8	認知症の心情・介護家族の理解 （病名告知の受け止め） （今の自分・未来の自分） （認知症に対する社会の目）	・認知症者の手記から認知症の病名告知から現在までの気持ちの変化 ・認知症の病名告知を受けた介護家族の気持ちとその変化 【事前学習：手記を1冊読み、感想をまとめて臨む】 【事後学習：グループデスカッションと事前学習を統合させ、レポートする】 （レポート　5点）	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
9	認知症者への支援制度 （認知症介護者の講演）	認知症者への支援制度について認知症家族による実体験の講演から学ぶ ・認知症高齢者を支える家族の介護負担 ・認知症高齢者の介護で得られたこと ・介護における社会資源の活用方法 【事前学習：介護保険等認知症施策の再確認】 【家族の講演内容と事前学習を統合する】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
10	認知症者の看護 （認知症高齢者のアセスメント）	認知症高齢者のアセスメント ・観察とアセスメント ・認知機能障害の評価 ・ＡDLの評価 ・行動・心理症状の評価	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
11	認知症の看護 （生活環境づくり）	認知症高齢者の生活環境を整える ・環境と認知症高齢者 ・認知症高齢者の生活環境、療養環境	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
12	認知症ケアの倫理的課題 （認知症ケア時の倫理的問題） （アドボカシー）	認知症ケアの倫理的問題 ・認知症ケア時に生じる倫理的問題 ・認知症当事者の声 ・アドボカシー ・倫理的ジレンマ （レポート　5点）	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
13	認知症患者の終末期と看護 （認知症高齢者の終末期）	認知症高齢者の終末期看護 ・認知症高齢者の終末期とは　・認知症高齢者のQOL　・認知症高齢者の意思の尊重と介護家族の支援　・終末期の身体的変化 【事前学習：2年次の高齢者の終末期看護を復習する】 【事後学習：復習をする】	青柳直樹
14	認知症のケア技法 （ユマニュチュード） （パーソンセンタードケア）	認知症のケア技法 ・ユマニュチュード ・パーソンセンタードケア 【事前学習：提示した文献を読み臨む】 【事後学習：復習】	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子
15	≪事例≫ 認知の人の権利擁護、家族への支援方法のまとめと新たな社会資源の開発	社会資源の活用と課題 ・介護保険制度　・成年後見制度、日常生活自立支援事業　・高齢者虐待防止法、地域包括支援センター　・認知症家族の会 【事前学習：制度背景と主な制度を復習】　【事後学習：復習】 （レポート　5点）	袖山悦子 青柳直樹 角山裕美子